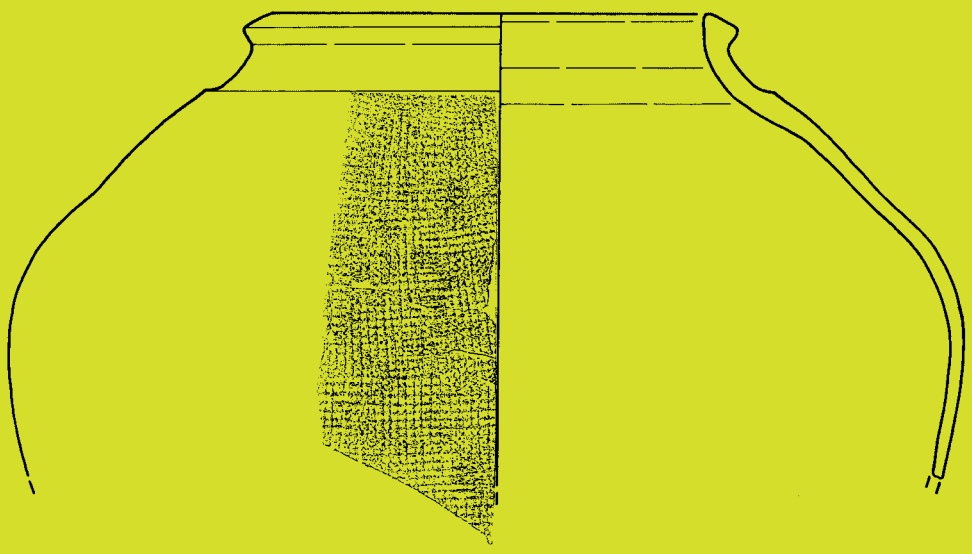
首　里　城　跡

－上の毛及び周辺地区発掘調査報告書－

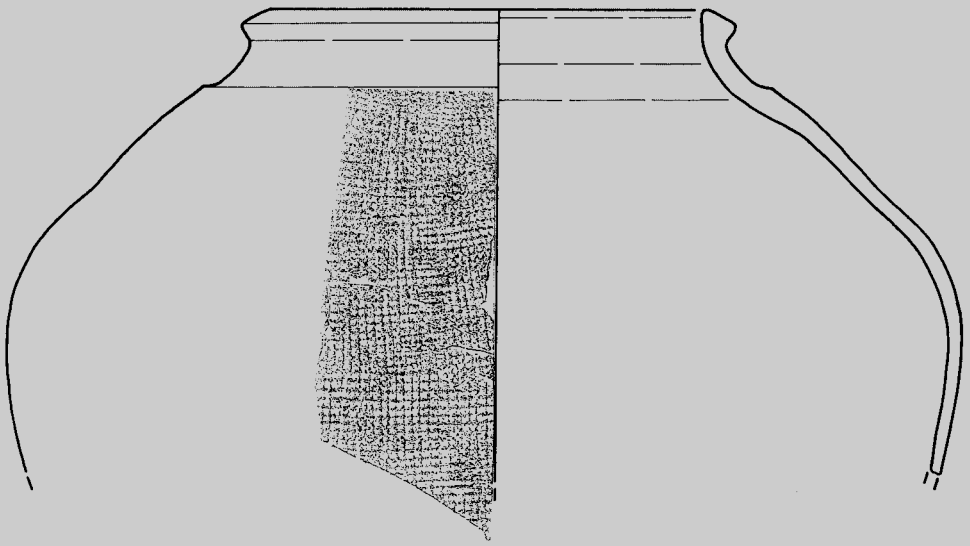


2005年　（平成17）　３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

首　里　城　跡

－上の毛及び周辺地区発掘調査報告書－



2005年 （平成17） ３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

首　里　城　跡

－上の毛及び周辺地区発掘調査報告書－

2005年　（平成17）　３月
沖縄県立埋蔵文化財センター

序

本報告書は、県営首里城公園整備に伴い平成6年度に県教育庁文化課が、同14年度に県立埋蔵文化財センターが実施した「上の毛（もう）及び周辺地区の発掘調査」の成果を、当センターがまとめたものであります。

発掘調査区域は、首里城跡の東側に延びる琉球石灰岩丘陵部で、「上の毛」と称されている地域と城郭沿いの緩やかな斜面部で、この調査の成果をふまえて公園整備が進められることになっております。

発掘調査を進めていくと、上の毛の東側では、集石遺構、石積遺構を、西側では御嶽に関連すると考えられる石積遺構が検出されました。また、城郭沿いの調査区では、城郭沿いに整備されていた石畳道の一部を検出しました。その他にも王国時代の様々な遺構の存在を想定していたのですが、去る沖縄戦や戦後の施設建設などで大きな破壊・改変を受けており、検出には至りませんでした。得られた遺物は中国産陶磁器をはじめとして、タイ産陶器、ベトナム産陶器、本土産陶磁器、沖縄産陶器、瓦、円盤状製品、石製品、金属製品、銭貨、骨製品、自然遺物など多種あります。

本報告書が、首里城周辺の往時の様子を窺い知る資料として、また、琉球王国の歴史と文化を理解する資料として広く活用されることを期待します。

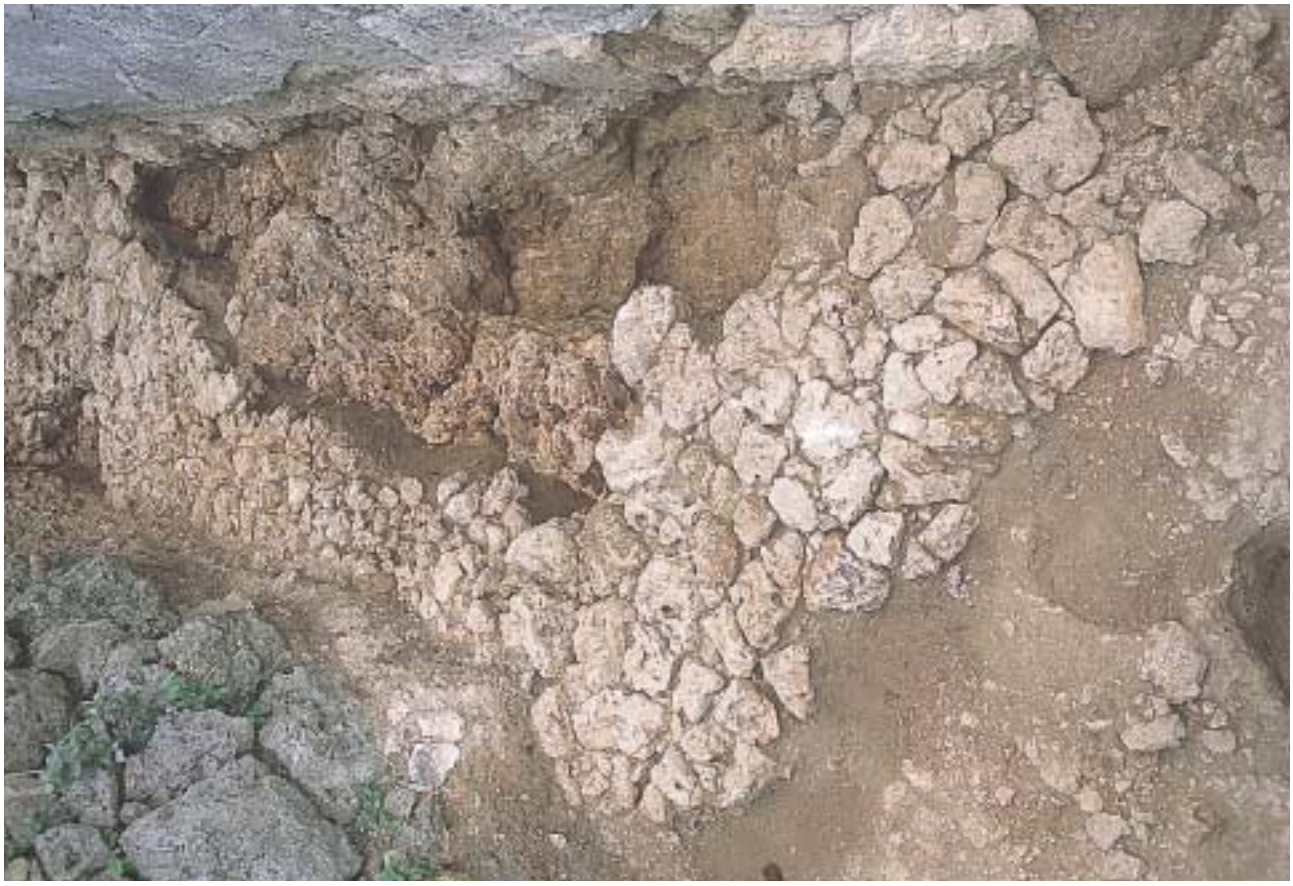
末尾ながら、発掘調査及び資料整理にあたり、御指導・御助言を賜りました諸先生方、並びに事業の実施にあたり御協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。

2005年（平成17）3月

沖縄県立埋蔵文化財センター
所長　安里嗣淳

巻頭図版１　首里城跡（航空写真）

巻頭図版２　上：Ａ地区俯瞰写真　下：Ｂ地区俯瞰写真



巻頭図版３　上：Ｃ地区石畳道検出状況　下：Ｃ地区石積検出状況

例　言

1．本書は、1994（平成６）年度と2002（平成14）年度に実施した首里城跡上の毛及び周辺地区の発掘調査の成果をまとめたものである。

2．発掘調査は県営首里城公園整備事業に伴うもので、沖縄県土木建築部からの分任事業として平成６年度は沖縄県教育庁文化課、平成14年度は沖縄県立埋蔵文化財センターが調査を実施した。

3．本書に掲載した地図は、国土地理院発行の１／25,000地形図を使用した。また航空写真は、国土地理院98 OKINAWA C60－48を使用した。

4．出土遺物の同定及び分析は下記の方々にご協力をいただいた。記して謝意を表します（職名等は当時、敬称略）。

陶磁器類	大橋　康二	（佐賀県立九州陶磁文化館副館長）
	堀内　秀樹	（東京大学埋蔵文化財調査室助手）
	森本　朝子	（福岡市教育委員会文化財指導員）
石　　質	神谷　厚昭	（元県立高等学校教諭）
貝　　類	名和　　純	（潟の生態史研究会会員）

5．本書は知念隆博を中心に、又吉純子ほかの協力を得て編集を行った。各節の執筆者は以下に示す通りである。

知念　隆博	第１章・第２章・第３章・第４章・第５章第３、５節、第８節（２・４）、第12節（２）第14～19節、第24～32節・第６章
片桐千亜紀	第５章２、６、７節
比嘉　尚樹	第５章第４節、第８節（１・３）、第12節（１）
山田　浩久	第５章第１、９～11、13節
金城　　達	第５章第20～23節

6．引用・参考文献は末尾に一括して掲載した。

7．本書に掲載された出土遺物の撮影及び現像・焼付は光嶋香・田村浩子が行った。

8．発掘調査で出土した遺物及び実測図・写真等の記録は、すべて沖縄県立埋蔵文化財センターにて保管している。

報 告 書 抄 録

ふりがな	しゅりじょうあと
書名	首里城跡
副書名	上の毛及び周辺地区発掘調査報告書
巻次	―
シリーズ名	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第27集
編著者名	知念隆博・片桐千亜紀・比嘉尚輝・金城達・山田浩久
発行機関	沖縄県立埋蔵文化財センター
所在地	〒903－0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193－7　℡ 098－835－8751･8752
発行年月日	2005年３月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
首里城跡（しゅりじょうあと）	沖縄県那覇市（おきなわけんなはし） 首里当蔵町（しゅりとうのくらちょう） ３丁目１番	472018		26° 12′	127° 43′	1994.5.10 ～ 1994.8.6 2002.11.1 ～ 2003.2.28	1080	県営首里城公園整備事業

所収遺跡名	種別	時代	遺構	遺物	特記
首里城跡	城跡	中世 近世 近代 現代		青磁、白磁、染付、色絵、青磁染付、褐釉染付、瑠璃釉、中国産陶器、中国産褐釉陶器、タイ産褐釉陶器、タイ産半練土器、その他の陶磁器、本土産青磁、本土産白磁、本土産染付、本土産色絵、本土産陶器、沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉陶器、陶質土器、瓦質土器、瓦、円盤状製品、石器・石製品、青銅製品、銭貨、鉄製品、煙管、骨製品、貝類遺体、脊椎動物遺体	

目　　次

序
巻頭図版
例言
報告書抄録

第１章　調査に至る経緯 …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査体制 …… 1

第２章　位置と環境 …… 3
　第１節　地理的環境 …… 3
　第２節　歴史的環境 …… 3

第３章　調査経過 …… 6

第４章　層序と遺構 …… 8
　第１節　Ａ地区 …… 8
　第２節　Ｂ地区 …… 8
　第３節　Ｃ地区 …… 8

第５章　遺物 …… 16
　第１節　青磁 …… 16
　第２節　白磁 …… 25
　第３節　染付 …… 30
　第４節　色絵 …… 36
　第５節　青磁染付 …… 40
　第６節　褐釉染付 …… 40
　第７節　瑠璃釉 …… 40
　第８節　中国産陶器（黒釉陶器、緑釉陶器、三彩、宜興窯） …… 41
　第９節　中国産褐釉陶器 …… 42
　第10節　タイ産褐釉陶器 …… 45
　第11節　タイ産半練土器 …… 45
　第12節　その他の陶磁器（ベトナム産陶器、産地不明陶器） …… 46
　第13節　本土産青磁 …… 47
　第14節　本土産白磁 …… 47
　第15節　本土産染付 …… 48
　第16節　本土産色絵 …… 52
　第17節　本土産陶器 …… 53
　第18節　沖縄産施釉陶器 …… 56
　第19節　沖縄産無釉陶器 …… 73
　第20節　陶質土器 …… 83
　第21節　瓦質土器 …… 91
　第22節　瓦 …… 93
　第23節　円盤状製品 …… 98
　第24節　石器・石製品 …… 102
　第25節　玉 …… 102
　第26節　青銅製品 …… 104
　第27節　銭貨 …… 105
　第28節　鉄製品 …… 108
　第29節　煙管 …… 109
　第30節　骨製品 …… 109
　第31節　貝類遺体 …… 111
　第32節　脊椎動物遺体 …… 123

第６章　結語 …… 144

図　目　次

第１図　沖縄本島の位置……4
第２図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡……5
第３図　グリッド設定……7
第４図　Ｃ地区石積遺構……9
第５図　Ｃ地区石畳遺構　……11
第６図　青磁１　……20
第７図　青磁２　……22
第８図　青磁３　……24
第９図　白磁　……28
第10図　染付１　……34
第11図　染付２　……36
第12図　色絵　……39
第13図　青磁染付　……40
第14図　褐釉染付　……40
第15図　瑠璃釉　……41
第16図　黒釉陶器　……41
第17図　緑釉陶器　……41
第18図　三彩　……42
第19図　宜興窯　……42
第20図　中国産褐釉陶器　……44
第21図　タイ産褐釉陶器・タイ産半練土器　…46
第22図　ベトナム産陶器　……46
第23図　産地不明陶器　……47
第24図　本土産青磁　……47
第25図　本土産白磁　……48
第26図　本土産染付　……50
第27図　本土産色絵　……52
第28図　本土産陶器　……54
第29図　沖縄産施釉陶器１　……64
第30図　沖縄産施釉陶器２　……66
第31図　沖縄産施釉陶器３　……68
第32図　沖縄産施釉陶器４　……70
第33図　沖縄産施釉陶器５　……72
第34図　沖縄産無釉陶器１　……76
第35図　沖縄産無釉陶器２　……78
第36図　沖縄産無釉陶器３　……80
第37図　陶質土器１　……86
第38図　陶質土器２　……88
第39図　陶質土器３　……90
第40図　瓦質土器　……92
第41図　瓦１　……94
第42図　瓦２　……96
第43図　円盤状製品　……99
第44図　石器・石製品……102
第45図　玉……102
第46図　青銅製品……104
第47図　銭貨……106
第48図　鉄製品……108
第49図　骨製品……109
第50図　煙管……110

図 版 目 次

巻頭図版１　首里城跡（航空写真）
巻頭図版２　上：Ａ地区俯瞰写真　　下：Ｂ地区俯瞰写真
巻頭図版３　上：Ｃ地区石畳道検出状況　　下：Ｃ地区石積検出状況

図版 １　遺構検出状況１ ……12
図版 ２　遺構検出状況２ ……13
図版 ３　遺構検出状況３ ……14
図版 ４　遺構検出状況４ ……15
図版 ５　青磁１ ……21
図版 ６　青磁２ ……23
図版 ７　青磁３ ……24
図版 ８　白磁 …… 29
図版 ９　染付１ ……35
図版10　染付２ ……37
図版11　色絵 ……39
図版12　青磁染付 ……40
図版13　褐釉染付 ……40
図版14　瑠璃釉 ……41
図版15　黒釉陶器 ……41
図版16　緑釉陶器 ……41
図版17　三彩 ……42
図版18　宜興窯 ……42
図版19　中国産褐釉陶器 ……44
図版20　タイ産褐釉陶器・タイ産半練土器 …46
図版21　ベトナム産陶器 ……46
図版22　産地不明陶器 ……47
図版23　本土産青磁 ……47
図版24　本土産白磁 ……48
図版25　本土産染付 ……51
図版26　本土産色絵 ……52
図版27　本土産陶器 ……55
図版28　沖縄産施釉陶器１ ……65
図版29　沖縄産施釉陶器２ ……67
図版30　沖縄産施釉陶器３ ……69
図版31　沖縄産施釉陶器４ ……71
図版32　沖縄産施釉陶器５ ……72
図版33　沖縄産無釉陶器１ ……77
図版34　沖縄産無釉陶器２ ……79
図版35　沖縄産無釉陶器３ ……80
図版36　陶質土器１ ……87
図版37　陶質土器２ ……89
図版38　陶質土器３ ……90
図版39　瓦質土器 ……92
図版40　瓦１ …… 95
図版41　瓦２ ……97
図版42　円盤状製品（１～17）……100
図版43　円盤状製品（18～26）……101
図版44　石器・石製品 ……103
図版45　玉 ……102
図版46　青銅製品 ……104
図版47　銭貨 ……107
図版48　鉄製品 ……108
図版49　骨製品 ……109
図版50　煙管 ……110
図版51　貝１　巻貝 ……119
図版52　貝２　巻貝 ……120
図版53　貝３　巻貝・二枚貝 ……121
図版54　貝４　二枚貝 ……122
図版55　脊椎動物遺体１ ……131
図版56　脊椎動物遺体２…… 133
図版57　脊椎動物遺体３ ……135
図版58　脊椎動物遺体４ ……137
図版59　脊椎動物遺体５ ……139
図版60　脊椎動物遺体６ ……141
図版61　脊椎動物遺体７ ……143

表 目 次

第１表　青磁観察一覧 ……17
第２表　青磁出土状況 ……19
第３表　白磁観察一覧 ……25
第４表　白磁出土状況 ……27
第５表　染付出土状況 ……31
第６表　染付観察一覧 ……32
第７表　色絵出土状況 …… 38
第８表　色絵観察一覧 …… 38
第９表　中国産褐釉陶器出土状況 …… 43
第10表　中国産褐釉陶器観察一覧 ……43
第11表　タイ産褐釉陶器・タイ産半練土器出土状況
……45
第12表　本土産染付出土状況 ……49
第13表　本土産色絵出土状況 ……52
第14表　本土産陶器出土状況 …… 53
第15表　本土産陶器観察一覧 ……53
第16表　沖縄産施釉陶器出土状況 ……61
第17表　沖縄産施釉陶器観察一覧 ……57
第18表　沖縄産無釉陶器観察一覧 ……74
第19表　沖縄産無釉陶器出土状況 ……81
第20表　陶質土器出土状況 ……84
第21表　陶質土器観察一覧 ……85
第22表　瓦質土器出土状況 ……91
第23表　瓦・塼出土状況 ……91
第24表　円盤状製品素材別出土状況 ……98
第25表　大きさと数量の相関 ……98
第26表　円盤状製品観察一覧 ……98
第27表　銭貨法量一覧 ……105
第28表　煙管観察一覧 ……109
第29表　貝類出土状況１（巻貝） ……112
第30表　貝類出土状況２（二枚貝） ……116
第31表　カニ出土一覧 ……124
第32表　サメ出土一覧 ……124
第33表　魚類出土一覧 ……124
第34表　カメ類出土一覧 ……124
第35表　ニワトリ出土一覧 ……124
第36表　ニワトリ？出土一覧 ……124
第37表　トリ出土一覧 ……124
第38表　ネコ出土一覧 ……124
第39表　ウマ出土一覧 ……124
第40表　ブタ歯出土一覧 ……125
第41表　ウシ出土一覧 ……125
第42表　ヤギ出土一覧 ……125
第43表　種不明出土一覧 ……125
第44表　ブタ出土量 ……126

第１章　調査に至る経緯

第１節　調査に至る経緯

首里城跡及び周辺文化財の復元・修復は1956年に開始された園比屋武御嶽石門の復元整備を嚆矢とし、守礼門・龍淵橋・円鑑池・弁財天堂・円覚寺総門などの周辺文化財の整備が行われた。首里城跡は1972年の本土復帰の年に戦災文化財復元整備事業として歓会門の整備が実施され、その後、久慶門の整備が着手される。城内に立地していた琉球大学は西原町への移転統合整備が進められ、1982年に完了した。その際に跡地利用として公園化構想が展開された。公園計画は沖縄県が1984年に策定した「首里城公園基本計画」で「首里城一帯について歴史的な都市公園として保全整備を図る」という構想を表し、1987年には県営公園区域約13.8ha、国営公園区域約4haの事業が決定され、首里城跡の整備が具体化した。現在までに国営公園区域では正殿・南殿・北殿・番所・奉神門・二階殿などが復元され、城郭は2001年度に整備が完了した。

県営公園は1991年より整備が行われており、現在までに、龍潭地区・ハンタン山地区・上の毛地区・首里杜館地区・管理用道路地区などの整備が行われている。今回の調査区である上の毛及び周辺地区は、1989年までキリスト教短期大学のキャンパスが立地していた場所で、大学の移転に伴い、整備計画が入り、その事前調査の必要性から、県土木建築部都市計画課より分任予算を受けた県教育庁文化課が1994年度に発掘調査を行い、現在は上の毛公園として供用されている。また、2002年度には上の毛公園から城の下を結ぶ園路整備の事前調査として、県土木建築部都市計画課より分任予算を受けた県立埋蔵文化財センターが発掘調査を行った。

第２節　調査体制

発掘調査は平成６年度には沖縄県教育庁文化課が、平成14年度は沖縄県立埋蔵文化財センターが実施し、資料整理及び報告書作成は平成７年度は沖縄県教育庁文化課、平成16年度に沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した。その体制は以下の通りである（職名等は当時）。

平成６年（発掘調査）

事業主体者	沖縄県教育委員会	教育長	嘉陽　正幸
事業所管	沖縄県教育庁文化課	課長	西平　守勝
事業総括	同上	課長補佐	知念　勇
	同上	課長補佐	新垣　末子
	同上	埋蔵文化財係長	大城　慧
事業事務	同上	管理係長	比屋根正治
	同上	管理係主査	新垣　和子
	同上	管理係主事	伊波　盛治
調査担当	同上	埋蔵文化財係専門員	長嶺　均

発掘調査作業員

稲福フミ子、北谷香、幸地ヨシ子、小橋川恵子、小橋川幸子、小波津夏子、米須美津、呉屋正一、呉屋光子、島袋文子、玉城富子、玉城信子、仲里ハル子、松本倫子、山畑キミ、柚木崎末子

資料整理作業員

新垣千恵子、内間淑乃、大村由美子、川上益子、喜屋武さおり、金城敬子、小嶺禮子、玉寄智恵子、豊見山ゆかり、仲間留美、花城聡子、古堅仁美、町田由美子、宮城サダ子、諸見里紀子、柳明美、外間香、浜元春枝

平成７年（資料整理）

事業主体者	沖縄県教育委員会	教育長	仲里　長和
事業所管	沖縄県教育庁文化課	課長	西平　守勝
事業総括	同上	課長補佐	日越　国昭
	同上	課長補佐	新垣　末子

	同　上	埋蔵文化財係長	大城　　慧
事業事務	同　上	管　理　係　長	比屋根正治
	同　上	管 理 係 主 査	新垣　和子
	同　上	管 理 係 主 事	當間　保智
担　　当	同　上	埋蔵文化財係専門員	長嶺　　均

資料整理作業員

上原小弥、大村由美子、親冨祖さおり、兼久綾子、川上益子、喜屋武さおり、喜屋武きよみ、喜屋武直子、金城敬子、金城房子、平良加代、照屋利子、友利映子、牧志珠代、真境名百合子、宮城サダ子、吉田トヨ子

平成14年度（発掘調査）

事業主体者	沖縄県教育委員会	教　　育　　長	津嘉山朝祥
事業所管	沖縄県立埋蔵文化財センター所長		安里　嗣淳
事業総括	同　上	副所長兼庶務課長	安冨祖英紀
事業事務	同　上	副所長兼庶務課長	安冨祖英紀
	同　上	庶 務 課 主 任	西江　幸枝
	同　上	庶 務 課 主 事	城間　千賀
事業実施	同　上	調　査　課　長	盛本　　勲
	同　上	調査課専門員	知念　隆博
	同　上	調査課嘱託員	新垣　　力

発掘調査作業員

新垣キク、伊禮武志、伊禮ヒロ子、上間清美、金城重人、儀間三枝子、小谷大道、呉我フジ子、照屋タケ、當間フミ、中塚末子、真栄城千枝子、宮国恵子、与那城好子、与那嶺勢津子

資料整理作業員

赤嶺雅子、新垣亜樹子、新垣キク、石原学、石嶺敏子、伊禮武志、伊禮ヒロ子、上間清美、海老名千夏、大城聖子、大村由美子、荻堂さやか、金武綾子、金城重人、儀間三枝子、久保田有美、小谷大道、米須あさみ、我那覇悠子、光嶋香、呉我フジ子、砂辺枝理子、照屋タケ、照屋利子、當間フミ、當山実、友利映子、仲里絹子、仲地まゆみ、中塚末子、鳩間玲奈、比嘉久美子、譜久村泰子、藤田奈穂美、外間瞳、真栄城千枝子、松浦美果、宮国恵子、与那嶺麻子、与那城好子、与那嶺勢津子

平成16年度（資料整理）

事業主体者	沖縄県教育委員会	教　　育　　長	山内　　彰
事業所管	沖縄県立埋蔵文化財センター所長		安里　嗣淳
事業総括	同　上	副所長兼庶務課長	赤嶺　正幸
事業事務	同　上	副所長兼庶務課長	赤嶺　正幸
	同　上	庶 務 課 主 査	比嘉美佐子
	同　上	庶 務 課 主 査	西江　幸枝
	同　上	庶 務 課 主 事	城間奈津子
事業実施	同　上	調　査　課　長	盛本　　勲
	同　上	調査課専門員	知念　隆博

資料整理作業員

阿部直子、大村由美子、荻堂さやか、喜納ひとみ、瑞慶覧尚美、田村浩子、光嶋香、仲間留美、仲宗根めぐみ、野村知子、外間瞳、松門孝、宮里なつ子、屋嘉比柴紀、與古田愛

資料整理作業協力者

新垣力、新垣利津代、上原美穂子、大村由美子、荻堂さやか、我那覇悠子、金城敬子、久保田有美、国場のりえ、崎原美智子、平良貴子、比嘉孝子、比嘉登美子、譜久村泰子、又吉純子、宮城奈緒

第２章　位置と環境

第１節　地理的環境

首里城跡は那覇市北東部の標高100～130m前後の琉球石灰岩丘陵地に立地する。北側には虎頭山、弁ヶ嶽などの丘陵及び真嘉比川が延び、南側は安里川の浸食により形成された凹地があることから、自然を巧に利用した立地である。

首里城跡は周辺一帯では高所に位置するため、城内の物見からは北には浦添城跡、浦添市から読谷村までの西海岸一帯、東には弁ヶ嶽、久高島、南には識名、西には那覇港、那覇の街、遠くには慶良間諸島及び久米島を望むことができる。

首里城跡周辺の地質は、第三紀鮮新世の島尻層群の泥岩・砂岩を基盤とし、第四紀更新世の琉球石灰岩が上層に分布する。透水層の琉球石灰岩と不透水層の島尻層群泥岩との境界で水分が、湧水として現れる。

このように首里城跡は、防敵、視界、水の確保などの重要な要素を備えた場所に立地しているといえる。

第２節　歴史的環境

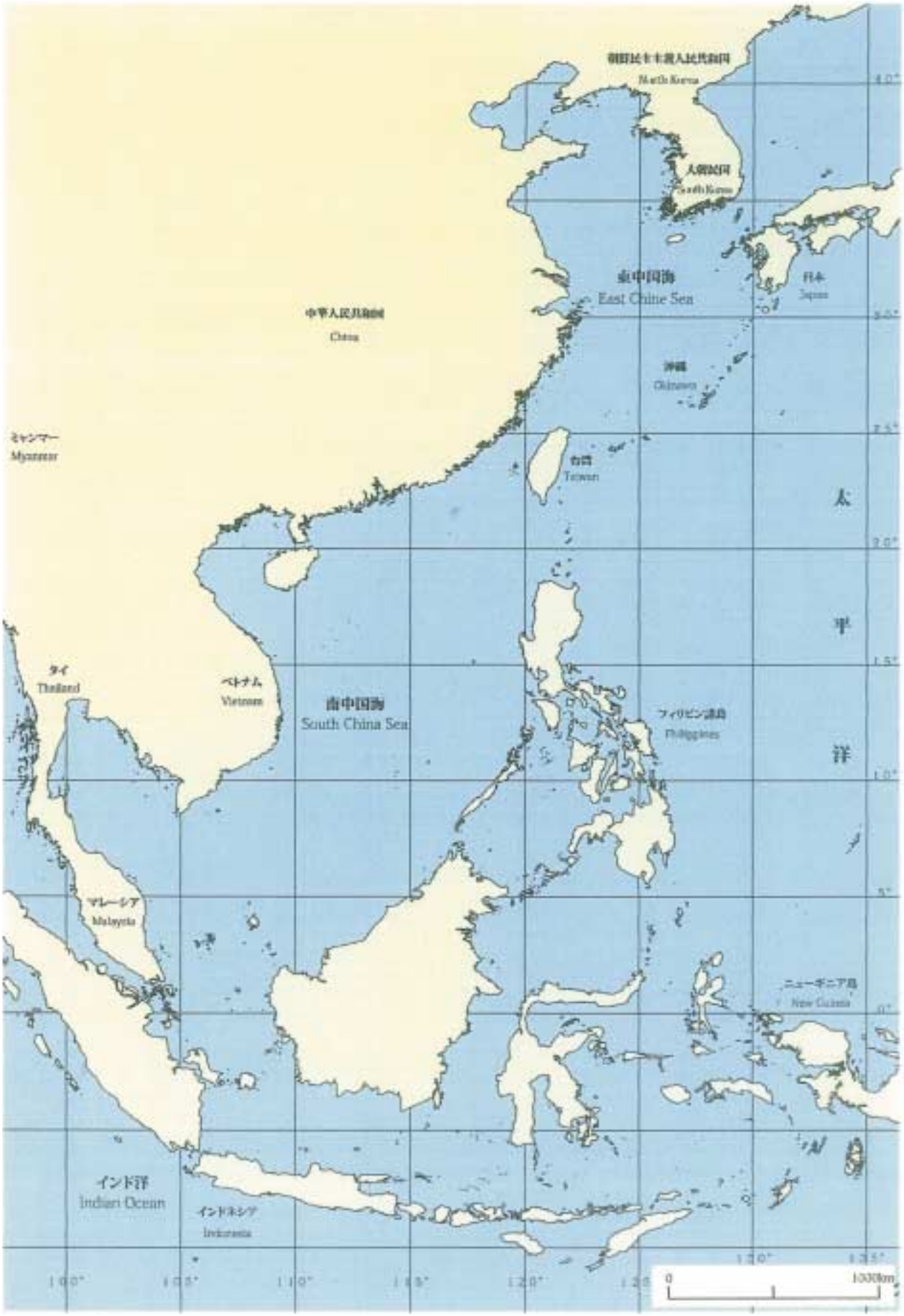
首里城の築城年代については、これまでの発掘調査の成果から14世紀代まで遡ることが考えられるが、判然としない。首里城の様子について「安国山樹華木之碑記」によると、尚巴志王代（1422～1439年）には王城としての基本的な構造・指針は確立していたと考えられる。

その後、1469年に第二尚氏王統になるが、引続き王城となり、尚真王代（1477～1526年）に歓会門や久慶門の整備、北側外郭の整備が行われ、尚清王代（1527～1555年）に継世門と南側外郭の整備が行われ、現在復元されている首里城の全貌に近づいていったと推定される。

今回の調査区である上の毛は、首里城が整備される以前にはグスクであったが、整備が始まると管理上の問題で除かれたとされる（註）。古地図や絵図では、既にグスクとして扱われていないが、1931年ごろ作成された「首里城附近ノ図」にも、西側に「国中城ノアマフレダケノ御イベ（国中城御嶽）」があることが確認できる。「国中城ノアマフレダケノ御イベ」は首里城の主要な御嶽の一つに数えられ、国王が拝みに来ることがあったとされる。このことから上の毛に首里城に関連する重要な施設が存在したことが推測される。

去る沖縄戦では、首里城下には日本軍の司令部である旧第32軍司令部壕がおかれたこともあり、首里城一帯は米軍による集中砲火を浴び、様々な貴重な文化財が消失した。戦後は1950年に首里城跡に琉球大学が設置されるが、その際に大規模な造成が行われ、往時の様子は僅かに偲ばれる程に変貌を遂げた。上の毛も、1962年に沖縄キリスト教短期大学の校舎が建設されるが、その際に大規模な造成や切土などの地形改変が行われた。

現在、首里城跡は国営公園及び県営公園として整備されており、発掘調査、整備修復が行われている。上の毛及び周辺についても、一部分を残して、県営公園としての整備が行われており、往時の歴史的景観を取り戻しつつある。


朝鮮民主主義人民共和国
North Korea
大韓民国
South Korea
東中国海
East China Sea
日本
Japan
中華人民共和国
China
沖縄
Okinawa
ミャンマー
Myanmar
台湾
Taiwan
太
平
洋
タイ
Thailand
ベトナム
Vietnam
南中国海
South China Sea
フィリピン諸島
Philippines
マレーシア
Malaysia
ニューギニア島
New Guinea
インド洋
Indian Ocean
インドネシア
Indonesia
0
1000km

第1図　沖縄本島の位置

第2図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡

第３章　調査経過

上の毛及び周辺地区の発掘調査は平成６年度に沖縄県教育庁文化課が、平成14年度は沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した。

平成６年度の調査は、試掘調査により得られた情報を基に東側をＡ地区、西側をＢ地区と設定し調査を行った。Ａ地区及びＢ地区ともに1989年までは沖縄キリスト教短期大学が存在した場所であり、当時の造成土をバックホウなどにより除去することから開始し、その後、地区毎にグリッドを設定した。グリッドの配置は南北方向にアルファベット、東西方向へ算用数字を割当て、北西側の杭を示準して呼称した。

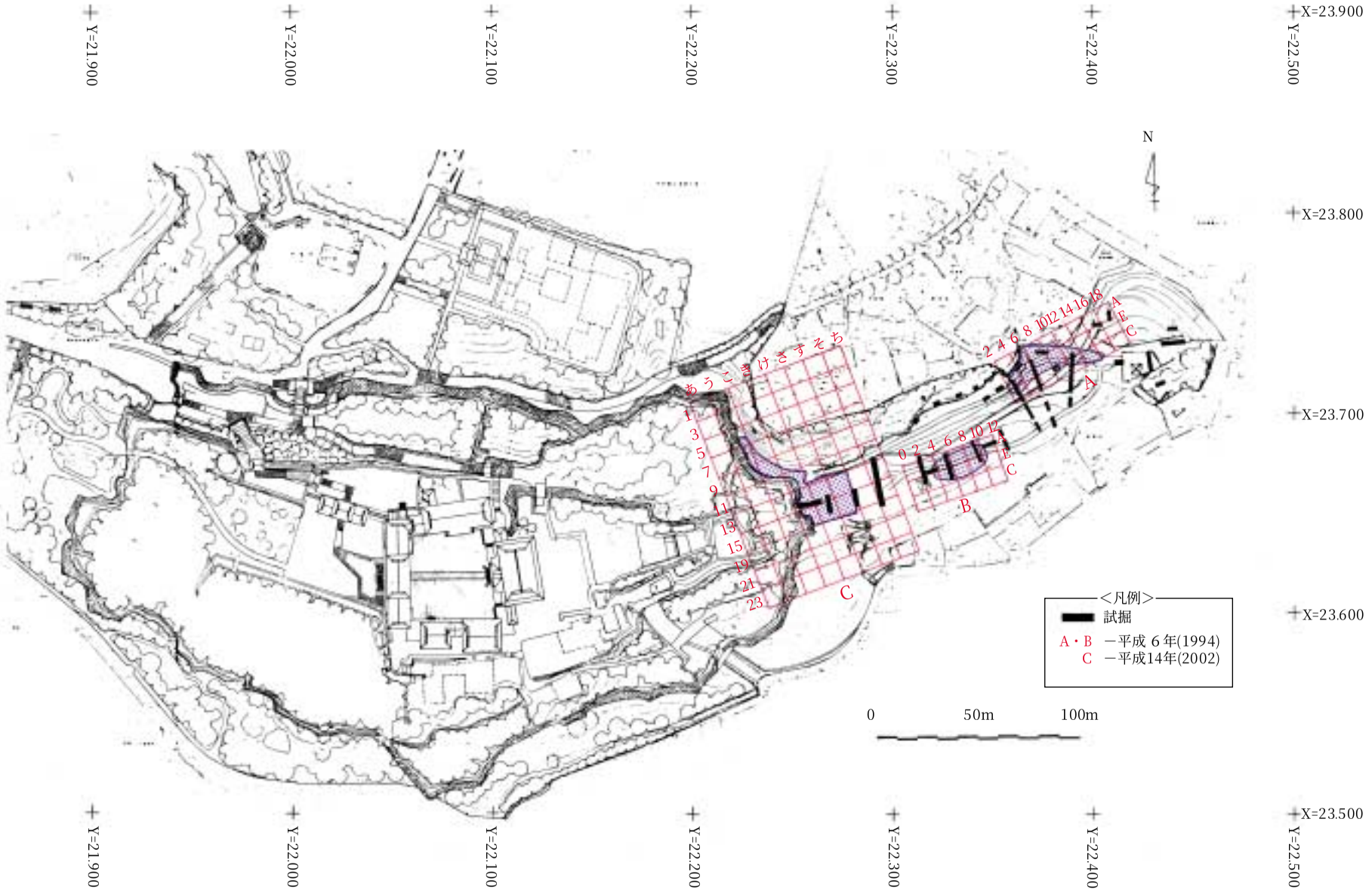
遺構は、Ａ地区では石積遺構及集石遺構が検出されているが、Ｂ地区では沖縄キリスト教短期大学の建設の際に岩盤まで掘削されており、遺構は確認できていない。

平成14年度の調査は、平成６年度の西側の未調査部分及び城郭沿いの旧道の検出を目的として行った。調査区は雑草が繁茂した状態であったため、除去作業から行った。その後、グリッド設定を行った。グリッドは南北方向に算用数字、東西方向にひらがなを割当て、北西側の杭を示準して呼称した。今回の報告ではＣ地区としている。

調査は、絵図などに描かれている国中城御嶽と考えられる岩盤が露出している部分から開始した。造成土が厚く堆積し、また、短期大学の解体作業時に生じたと考えられるコンクリート片や石灰岩が混在していることから、掘下げには時間を要した。掘下げの途中より、石積が現れ、検出作業を続けていくと、下層より並ぶ方向の異なる石列を検出した。これらの遺構は平面形が「コ」形であり御嶽を取り囲む様に配置されている。この御嶽は現在でも訪ねてくる方が多くいるため、御嶽直下の調査まではできなかった。

城郭沿いの旧道の調査は、絵図により城の下より石畳が続いていたことが判明しているので、その検出作業を行った。始めに絵図や古写真で旧道が城郭に接している部分から調査を行った。そこですぐに石畳を検出できたので、東西北への延長部分の確認を行った。北方向は約２ｍで端を検出したが、東西方向は遺構が破壊を受けており検出できなかった。

遺構の実測作業及び写真撮影を行い、土嚢袋などで養生を行い現場の作業を完了した。


Y=21.900
Y=22.000
Y=22.100
Y=22.200
Y=22.300
Y=22.400
Y=22.500
X=23.900
X=23.800
X=23.700
X=23.600
X=23.500
N
あ う こ さ け さ す そ た
1 3 5 7 9 11 13 15 19 21 23
2 4 6 8 10 12 14 16 18
0 2 4 6 8 10 12
A
B
C
<凡例>
試掘
A・B －平成 6 年(1994)
C －平成14年(2002)
0
50m
100m

第3図　グリッド設定

第４章　層序と遺構

第１節　Ａ地区

Ａ地区は最も東側に位置し、沖縄キリスト教短期大学のテニスコートが所在した場所であり、比較的平坦となっている。短期大学施設の建設及び撤去等により往時の面影は消滅していたが、岩盤である琉球石灰岩の間に僅かに石積遺構や集石遺構が確認されている。以下にＡ地区の層序及び遺構について略述する。

１．層序

遺構直上まで短期大学等の施設が建設されていたため、アスファルトやコンクリートを除去すると層としては、１層のみに留まった。

１層－褐色土層。遺構が確認できる層。青磁及び白磁等の古手の遺物を検出している。小範囲ではあるが、若干黒味を帯びる部分がある。

２．遺構

Ａ地区から石積遺構が１基、集石遺構が８基検出されている。石積遺構はC－13グリッドから検出されており、西側の岩盤を起点とし曲線を描きながら東側へ延びているが、東側の端は明瞭でない。石積は南北両側に人頭大の琉球石灰岩を配置し、その間に拳大の琉球石灰岩を裏込めとして入れている。

集石遺構は全部で８基検出されている。各集石を構成するのは10～20㎝の琉球石灰岩であり、１重を基本とし、複数重なる部分があるものもある。また、各集石の形態が一様でないため、集石の関係は不明である。

第２節　Ｂ地区

Ｂ地区は沖縄キリスト教短期大学の校舎等が建設されていたため、岩盤まで掘削されており、遺構は確認されておらず、層は造成土のみであった。また、Ｂ地区からは遺物も少量であった。

第３節　Ｃ地区

Ｃ地区は造成等も受けているが、北側では現表土下約１ｍから石積遺構が確認されている。南側は岩盤まで掘削されており、遺構は確認できていない。城郭沿いは、石畳を検出している。層序に関しては、厚い造成土の下から暗褐色土の未撹乱の層を確認している。以下にＣ地区の層序及び遺構について略述する。

１．層序

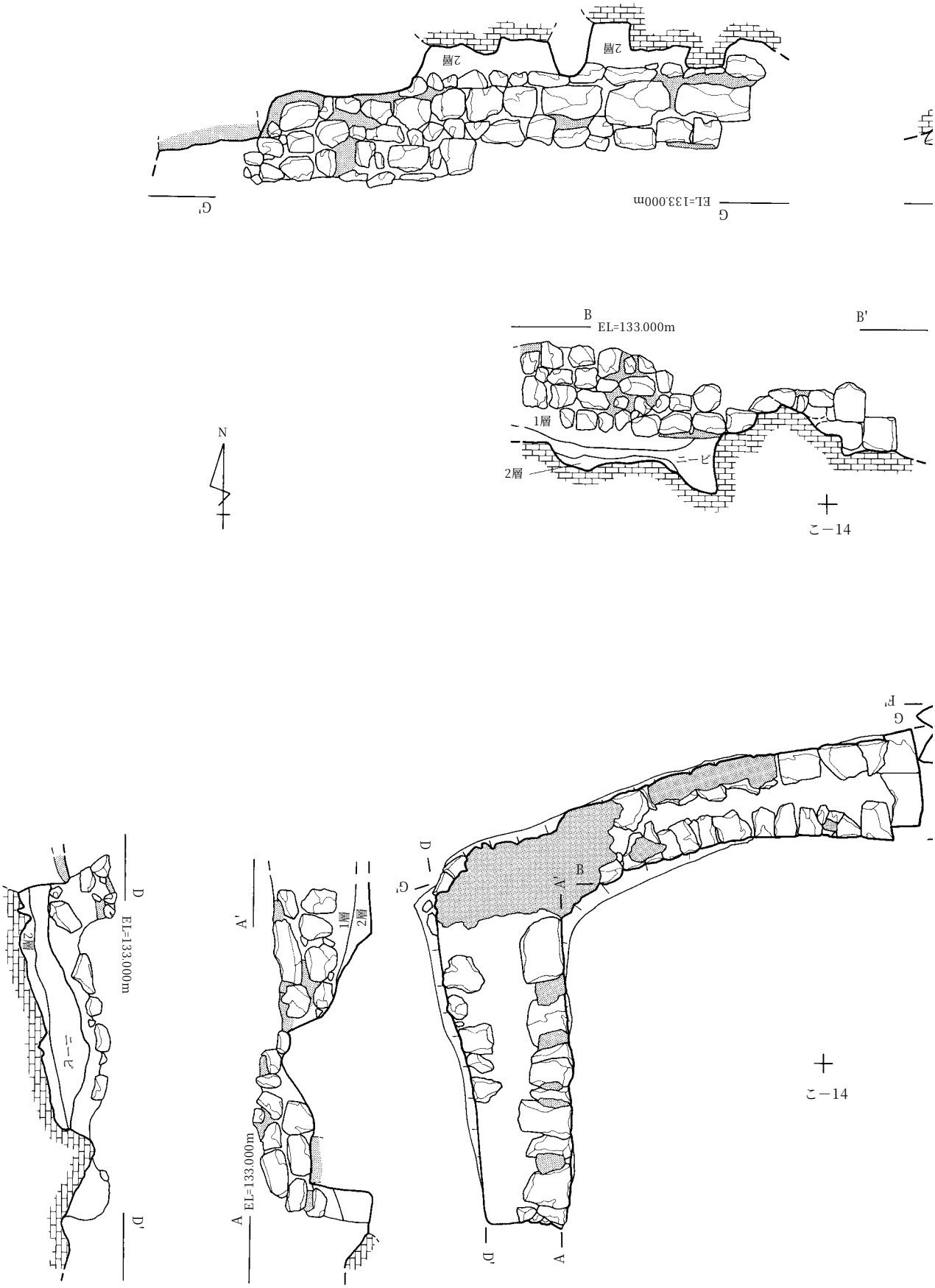
１層－明褐色混礫土層。近現代の遺物も含む造成土。

２層－暗褐色土層。Ｃ地区石積の下部分と同時期と捉えられる層。陶磁器と比較して、銭貨の検出が多い。

２．遺構

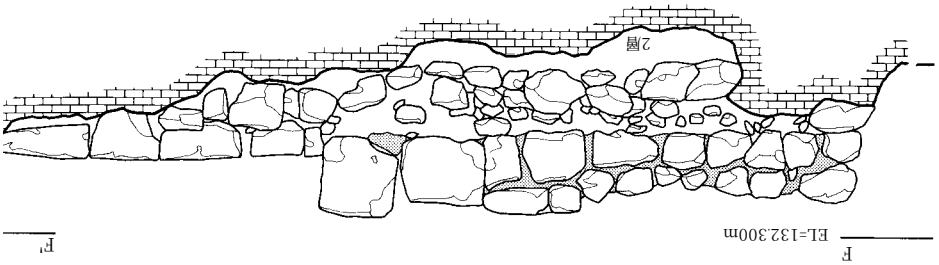
Ｃ地区の遺構は国中城御嶽に関連すると考えられる石積遺構（第４図）、城郭沿いに検出した石畳（第５図）がある。石積遺構の平面形は北面している御嶽を取り囲むように「コ」状になっている。石積を構成する石は琉球石灰岩を荒く加工したもので、裏込めは少量である。コンクリートにより補強されている部分があることから、それほど遡らない期間に修復補強された可能性がある。また、石積の中央部に切石により構成されている部分及び北側に突出している石積が確認できるが、これらは２層より確認できること及び上部の石積と設置面が不整合であるため、時期的には遡ると考えられる。

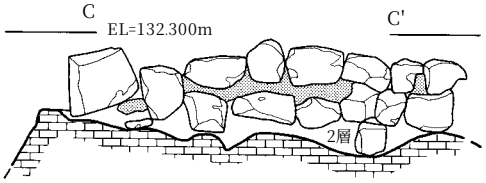
城郭沿いの石畳は、地山である赤土の上に敷き詰められているが、城郭に接する部分は岩盤まで削られていた。調査範囲の南側は切石により端が設定されており、また、石畳の南側は岩盤である石灰岩が起伏に富んでいる。そのことより、石畳は検出した部分を起点に東側に方向を変化させたか若しくは南側には石畳とは別の舗装により道が構成されていた可能性がある。但し、東側には石畳は検出されていない。



2層
2層
G'
G
EL=133.000m
B
EL=133.000m
B'
1層
2層
ニーピ
こ−14
N
D
EL=133.000m
2層
ニーピ
D'
A'
1層
2層
A
EL=133.000m
D
G'
B
A'
D'
A
G
F'
こ−14

第4図　C地区　石積遺構

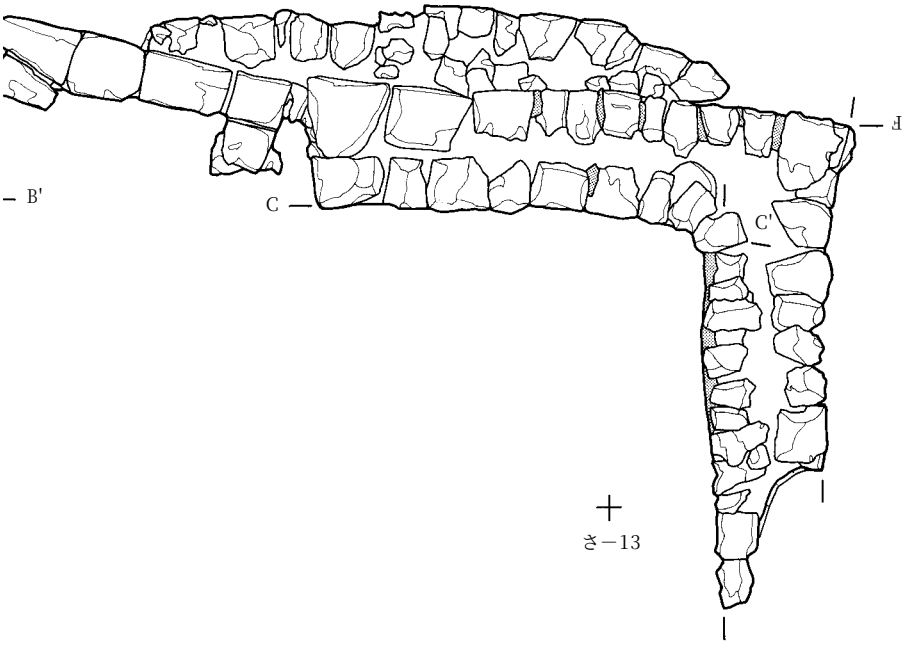




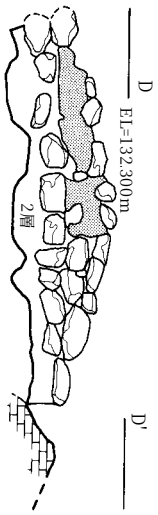
さ−13

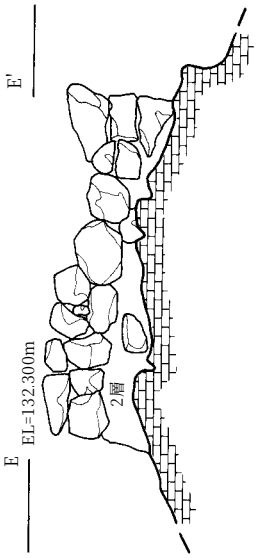
＜凡例＞

セメント



さ−13





0 5m

第5図　C地区　石畳遺構

A地区石積遺構（東より撮影）

A地区１号集石（南より撮影）

図版１　遺構検出状況１

A地区２号集石（南より撮影）

A地区５号集石（南より撮影）

図版２　遺構検出状況２

A地区７号集石（西より撮影）

A地区４号・８号集石（南より撮影）

図版３　遺構検出状況３

C地区石積検出状況

石畳遺構（北より撮影）

図版４　遺構検出状況４

第５章　出土遺物

今回の調査では、中国産陶磁器、タイ産陶器、ベトナム産陶器、本土産陶磁器、沖縄産陶器、瓦、円盤状製品、石器・石製品、玉、金属製品、骨製品、自然遺物が出土した。年代は青磁、白磁は14世紀代に位置づけられるものもあるが、概ね近世以降に位置づけられる。量的に多いのはＡ地区であり、Ｂ地区及びＣ地区は少量の出土であった。

第１節　青磁（第６～８図）

中国産青磁は総数328点出土している。時期的には14世紀末～15世紀頃のものが中心である。その器種としてあげられるのは、碗、小碗、皿、盤、壺、瓶、酒会壷、器台、蓋置、香炉等である。器種別でみると、碗が大半を占める。ほとんどは小破片のため、全形を窺える資料が少ない。

１．碗（１～16、38）

Ａ類：胴部から口縁部にかけて、直線的に立ちあがるもの（１）。
Ｂ類：口縁部が外反するもの。有文と無文の二つに分類した。
　Ⅰ　胴部が有文のもの。外面にラマ式蓮弁文を描く（２、３）。
　Ⅱ　胴部が無文のもの（４、５）。
Ｃ類：直口口縁を呈するもの。文様の有無により３つに分類した。
　Ⅰ　外面に雷文帯を廻らしているもの（９、10）。
　Ⅱ　外面に蓮弁文を描くもの（11）。
　Ⅲ　無文のもの（12、38）。
Ｄ類：口縁部が、やや内側に向いているもの（13）。
底部：６は内底に牡丹と思われる文様が見られるが、不明瞭である。７は内底に牡丹（？）の文様が入る。８は内底が露胎する。15は胴部外面に蓮弁文、内底に牡丹の文様が入る。16は内底に牡丹の文様が入る。６～８はＢ類の底部にあたるものと考えられる。15、16は分類不明。

２．小碗（14）

小碗は口縁部資料一点のみの出土である。

３．皿（17～22）

Ａ類：口縁部が外反するもの。端部の形態から二つに分類した。
　Ⅰ　大きく外反するもの（17）。
　Ⅱ　小さく外反するもの（18）。
Ｂ類：口縁部を外側に折り曲げるもの（19）。
底部：20は胴部外面に蓮弁文、内底には菊花文が施される。21は内底に唐草文が施される。22は胴部外面に蓮弁文が施されると考えられる。

４．盤（23～28）

Ａ類：口縁部を外側に折り曲げ、端部を摘み上げる鍔縁口縁のもの（23、24）。
Ｂ類：直口口縁で、端部が玉縁状を呈するもの。（25）。
底部：26は内底に文様が見られるが、不明瞭である。27は無文。28は胴部内面に櫛描き文が施される。

５．壺（29）

口縁部内面に櫛描き文。頸部外面に草花文。胴部外面に文様がみられるが、不明瞭である。

６．瓶（30～32）

30は内面に轆轤痕が見られる双耳瓶。31は頸部で、無文の瓶。32は胴部で、外面に唐草文が施されてい

ると考えられる。

7． 蓋（33、34）

33、34は酒会壺の蓋で、33は甲胴部で、外面に連弁文が施されていると考えられる。34は端部のみの資料である。

8． 器台（35）

花盆台で、胴部片と考えられる。

9． 蓋置（36）

頸部と思われ、穴が開いている。

10. 香炉（37）

底部で、三足付きの香炉である。

第１表　青磁観察一覧ａ

単位：cm

図	番号	器種・分類	部位	口径	器高	底径	文様・成形等の特徴	素地	釉色・施釉状況等	出土地
第６図（図版５）	1	碗／A	口	16.6	－	－	外面に箆彫りの鎬蓮弁文。	黄灰色の細粒子。	黄緑灰色の釉。	A地区 C－10　1層
	2	碗／B－Ⅰ	口	17.6	－	－	両面ともに片切彫りのラマ式蓮弁文。	灰白色の細粒子。	緑灰色の釉。	A地区 D－9　1層
	3		口	－	－	－	胴部外面に二本の圏線が入っている。内面には片切彫りのラマ式蓮弁文。	灰白色の微粒子。	灰色の釉。	C地区 き－11　1層
	4	碗／B－Ⅱ	口	16.6	－	－	口縁部は外反。	黄灰色の細粒子。	灰黄緑色の釉。	A地区 C－11　1層
	5		口	－	－	－	両面に細かい貫入が入る。	灰色の細粒子。	緑灰色の釉。	A地区 ｸﾞﾘｯﾄﾞ不明 1層
	6	碗／B	底	－	－	7.5	内底に牡丹（？）の文様があると考えられるが、不明瞭。	灰白色の微粒子。	暗緑灰色の釉を全面に施釉後、高台内面を釉剥ぎ。	A地区 D－8　1層
	7		底	－	－	8.5	内底に牡丹（？）の印花文。	灰黄色の粗粒子。	黄緑灰色の釉を内底から畳付まで施釉後、畳付を釉剥ぎ。	A地区 D－8　1層 3号集石
	8		底	－	－	6.0	内底に一本の圏線。両面に細かい貫入が入る。	灰色の粗粒子。	灰黄緑色の釉を施釉後、内底と高台内面を釉剥ぎ。	A地区 D－11　1層
	9	碗／C－Ⅰ	口	－	－	－	外面の口縁部に片切彫りの雷文帯を廻らす。	灰白色の細粒子。	黄緑灰色の釉。	B地区 C－5　1層
	10		口	15.0	－	－	外面の口縁部に片切彫りの雷文帯を廻らす。胴部には箆彫りの蓮弁文を施す。	灰白色の細粒子。	黄灰緑色の釉。	B地区 C－5　1層
	11	碗／C－Ⅱ	口	15.4	－	－	外面に片切彫りの蓮弁文。両面に粗い貫入が入る。	黄灰色の細粒子。	灰黄緑色の釉。	A地区 C－11　1層
	12	碗／C－Ⅲ	口	－	－	－	口縁部と胴部の間で内湾し、そこから直口する。	灰白色の細粒子。	黄緑色の釉。	C地区 き－11　1層
	13	碗／D	口	12.2	－	－	口縁部が内湾。焼成不良。	橙色の細粒子。	釉が剥がれており、不明。	A地区 D－8　1層
	14	小碗	口	8.6	－	－	両面に粗い貫入が入る。	灰白色の細粒子。	黄緑色の釉。	A地区 B－8　1層

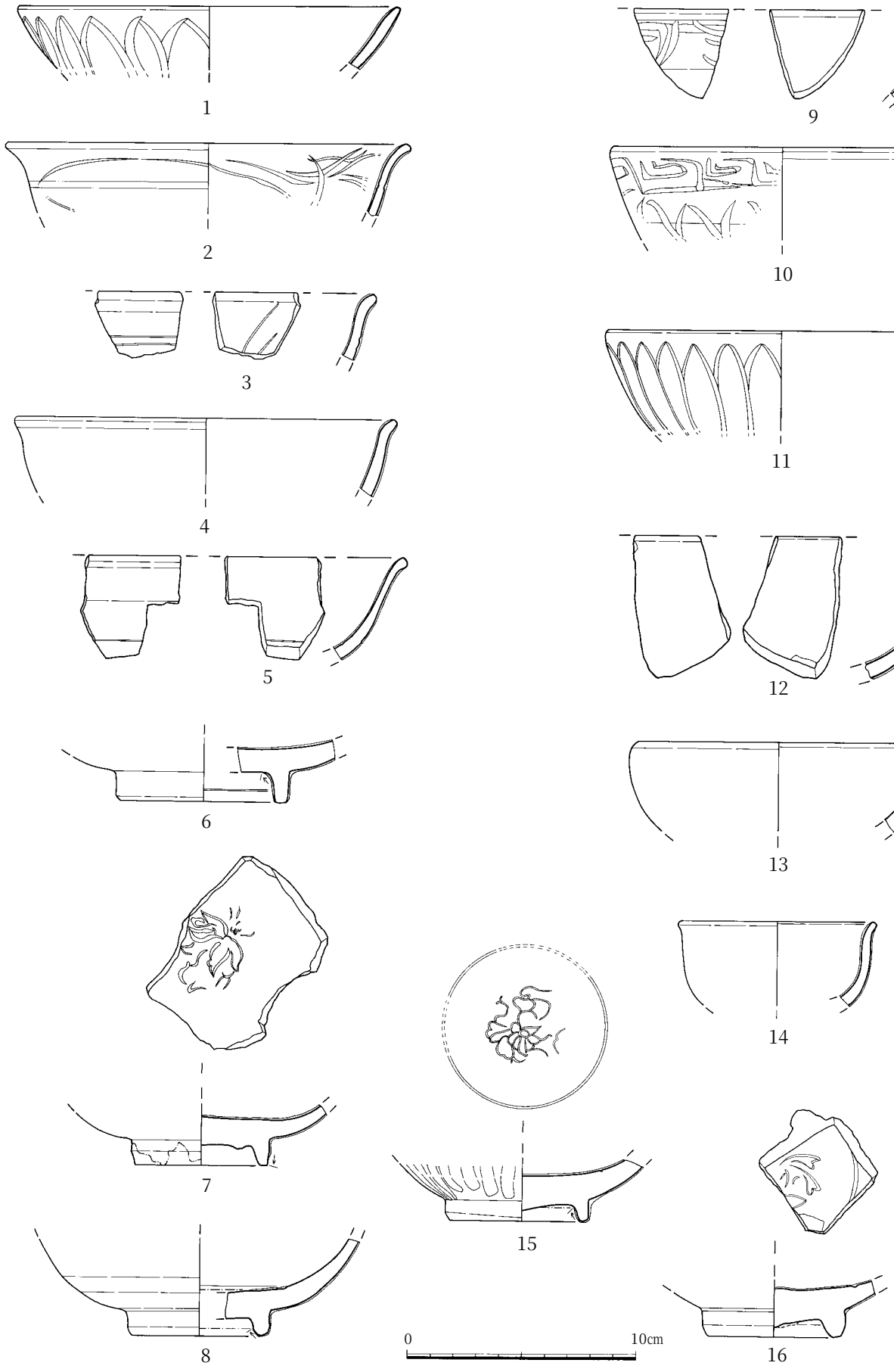
第１表　青磁観察一覧ｂ

単位：cm

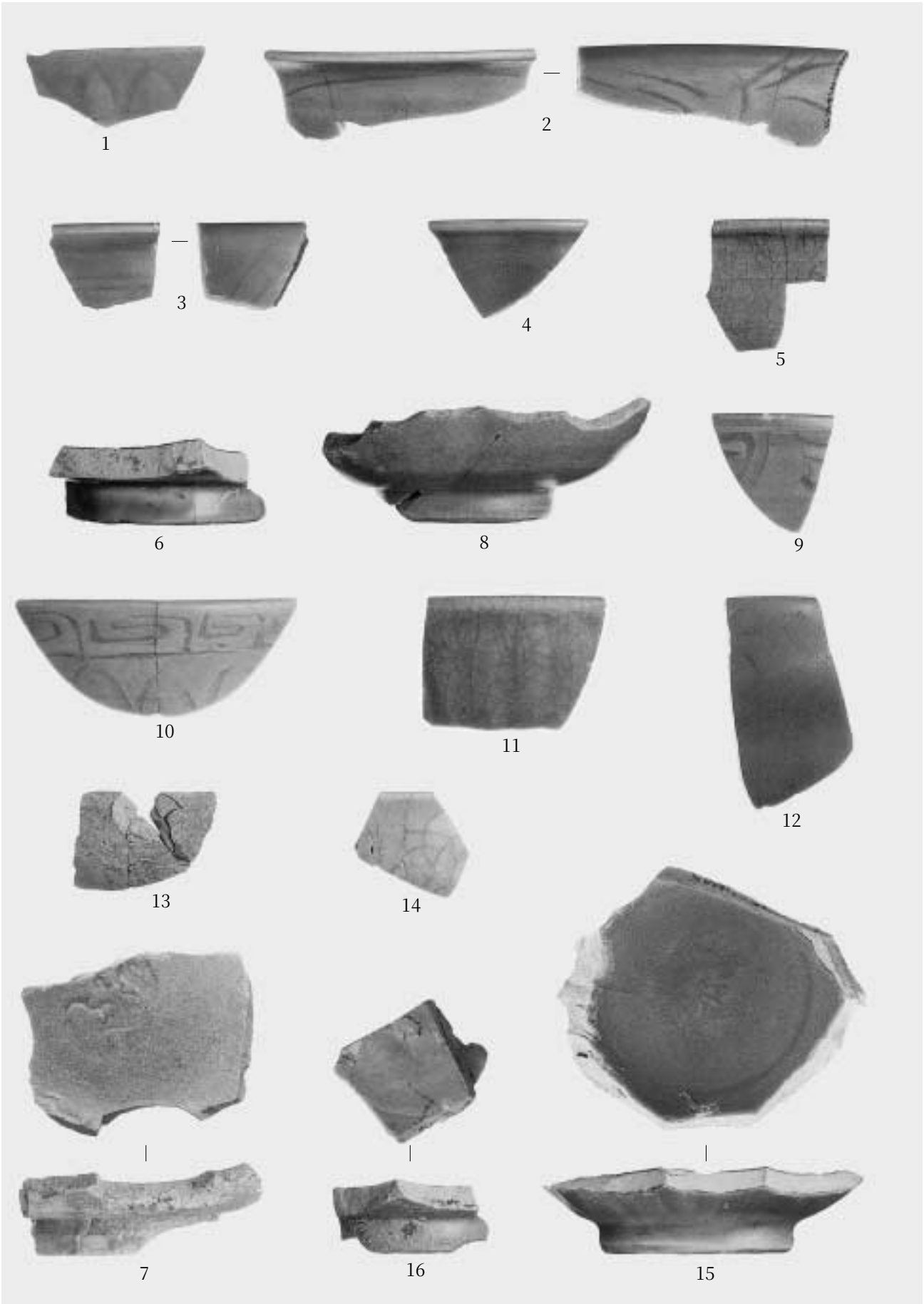
図	番号	器種・分類	部位	口径	器高	底径	文様・成形等の特徴	素地	釉色・施釉状況等	出土地
第６図（図版５）	15	碗	底	－	－	5.8	外面に片切彫りの蓮弁文。内底に牡丹の印花文と、一本の圏線が入る。	灰白色の微粒子。	暗緑灰色の釉を全面に施釉後、高台内面を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｃ－11　１層
	16		底	－	－	5.8	内底に牡丹の印花文と、一本の圏線が入る。	灰白色の微粒子。	黄緑灰色の釉を施釉。高台内面が一部露胎。	Ａ地区 Ｄ－７　１層
第７図（図版６）	17	皿／Ａ－Ⅰ	口～底	10.8	3.5	5.8	底部付近から胴部にかけては急に立ち上がり、口縁部で外反する。	灰白色の細粒子。	黄緑色の釉を施釉後、高台内面と内底を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｄ－７　１層
	18	皿／Ａ－Ⅱ	口	－	－	－	稜花形に成形。両面に細かい貫入が入る。	灰黄色の微粒子。	灰黄緑色の釉。	Ａ地区 Ｄ－８　１層
	19	皿／Ｂ	口	12.2	－	－	外面に蓮弁文（？）。	灰色の微粒子。	緑灰色の釉。	Ｃ地区　表採
	20	皿	底	－	－	6.4	外面に片切彫りの蓮弁文。内底に菊花文（?）と一本の圏線が入る。	灰白色の細粒子。	緑灰色の釉を全面に施釉後、高台内面を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｅ－13　１層
	21		底	－	－	5.4	内底に唐草文（？）。両面に粗い貫入が入る。	灰白色の微粒子。	黄緑灰色の釉を施釉後、高台内面を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｄ－12　１層
	22		底	－	－	5.4	外面に片切彫りの蓮弁文（？）。内底に一本の深い圏線が入る。	灰白色の細粒子。	黄緑灰色の釉を施釉後、高台内面を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｄ－11　１層
	23	盤／Ａ	口	22.2	－	－	口縁部が鍔縁状。	灰色の細粒子。	暗黄灰色の釉。	Ａ地区　盛土
	24		口	－	－	－	鍔縁は平坦で、端部を稜花形に成形。両面に細かい貫入が入る。	黄灰色の微粒子。	暗黄緑灰色の釉。	Ｂ地区 Ｂ－４　１層
	25	盤／Ｂ	口	－	－	－	口縁部両面に丸彫りの唐草文（？）。	灰白色の微粒子。	緑灰色の釉。	Ｂ地区 Ｃ－５　１層
	26	盤	底	－	－	8.0	内底に文様が見られるが、不明瞭。両面に細かい貫入が入る。	灰色の微粒子。	灰黄緑色の釉を施釉後、高台内面を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｅ－８　１層
	27		底	－	－	－	内底に三本の圏線が入るが、釉のかかり方で、一本の厚い圏線に見える。内面のみ粗い貫入が入る。	灰白色の微粒子。	緑灰色の釉を全面に施釉。	Ｂ地区 Ｃ－５　１層
	28		底	－	－	12.0	内面に箆彫りの櫛描き文。内底に一本の圏線が入る。	灰白色の細粒子。	明緑色の釉を施釉後、高台内面を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ａ－７　１層
	29	壺	口	8.4	－	－	口縁部内面に線彫りの櫛描き文。頸部外面に草花文（？）。胴部外面に文様があるが、不明瞭。	灰白色の細粒子。	明緑色の釉。	Ａ地区 Ｅ－12　１層
	30	瓶	頸	－	－	－	頸部外面中央に二本の圏線が入る。その圏線の上から両面のみ貫入が入る。頸下部に一本の圏線が入る。耳が付いていたと考えられる。内面に轆轤痕が見られる。	灰色の細粒子。	緑灰色の釉。	Ｃ地区 け－13　２層
	31		頸	－	－	－	頸部内面に調整（？）した跡がある。	黄灰白色の細粒子。	黄緑灰色の釉。	Ａ地区 出土層不明
	32		胴	－	－	－	外面に片切彫りの唐草文（?）が描かれ、その間に二本の圏線が入る。	灰白色の細粒子。	緑灰色の釉。	Ａ地区 Ｄ－７　１層
第８図（図版７）	33	蓋	端	－	－	－	外面に箆彫りの蓮弁文。外面は粗く、内面は細かい貫入が入る。	灰白色の細粒子。	黄緑灰色の釉を施釉後、裏面の鍔下面から身受け部分を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｄ－７　１層
	34		端	－	－	－	端部が一部隆起している。両面に粗い貫入が入る。	黄灰白色の細粒子。	緑灰色の釉を施釉後、裏面の鍔下面を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｄ－11　１層
	35	器台	胴	－	－	－	頸部外面に二本の圏線が入る。胴部には大きな穴が開いていたと考えられる。両面に粗い貫入が入る。	白色の細粒子。	緑灰色の釉。	Ａ地区 Ｄ－８　１層
	36	蓋置	頸	－	－	－	頸部に穴が開いている。	灰白色の微粒子。	緑灰色の釉。	Ｃ地区　表採
	37	香炉	底	－	－	3.6	底部付近から胴部にかけて腰折れ状に成形。三足である。	黄灰色の細粒子。	濃緑灰色の釉を全面に施釉後、内底と外底を釉剥ぎ。	Ａ地区 Ｄ－11　１層
	38	碗／Ｃ－Ⅲ	口	－	－	－	直口口縁。他の出土した青磁より古いものと思われるが、不明瞭である。	灰色の微粒子。	淡黄緑色の釉が外面は口縁部以外は剥げ，内面は一部が釉剥げする。	Ａ地区 Ｂ－９　１層

第２表　青磁出土状況

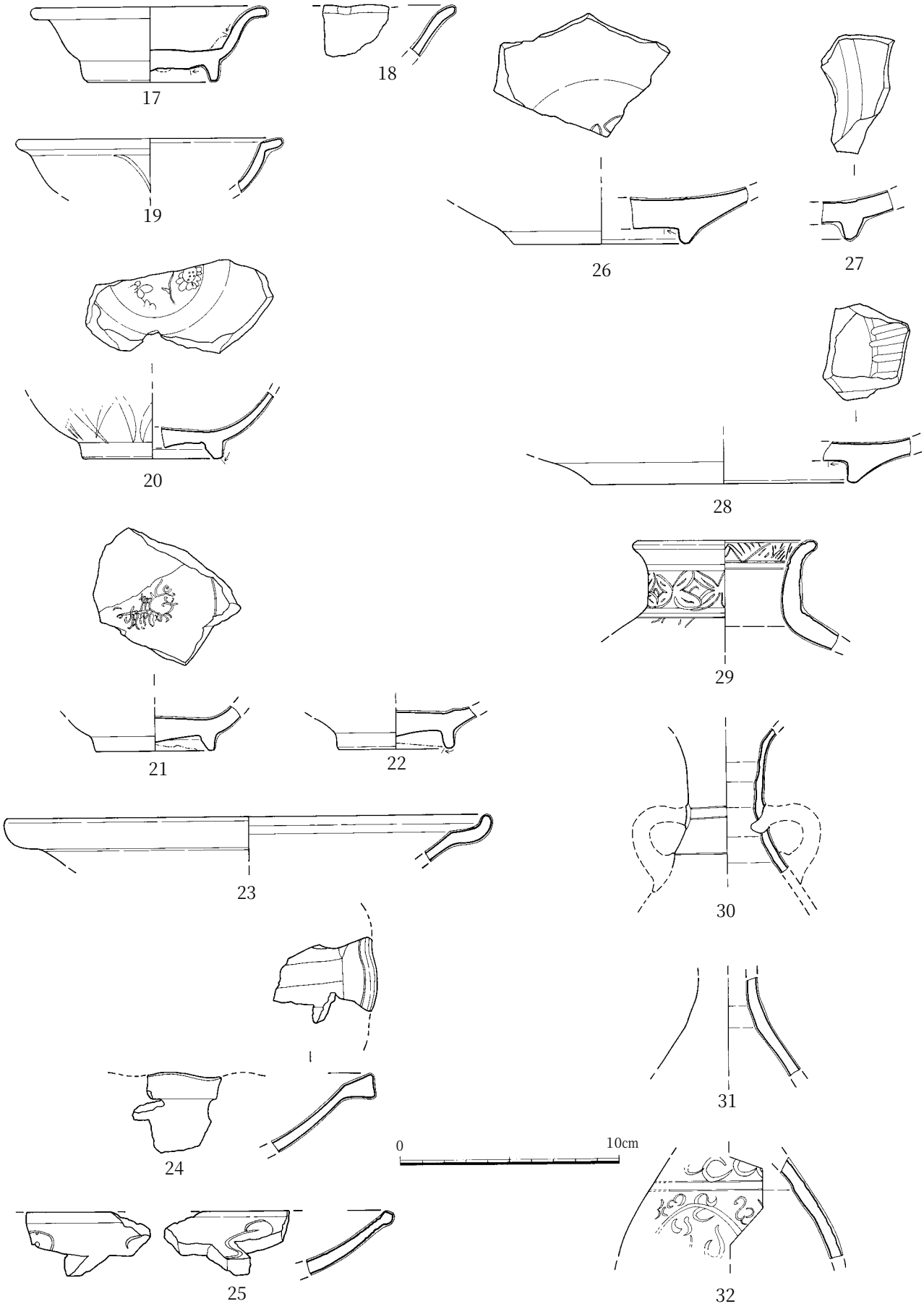
出土地			器種分類	碗																小碗	皿										盤						壺	鉢	瓶		酒会壺		蓋置	蓋	器台	香炉		器種不明		合計
				A	B							C					D	分類なし			A				B			C	分類なし		A			B	分類なし															
					I		II		分類なし			I		II		III					I			II																										
				口	口	胴	口	胴	口	胴	底	口	胴	口	胴	口	口	胴	底	口	口～底	口	胴	口	口	胴	底	口	胴	底	口	胴	底	口	胴	底	口	口	頸	胴	胴	蓋				胴	底	口	胴	
A地区	A	3	1層																																						1									1
A地区	A	5	1層																												1	1																		2
A地区	A	6	1層				3	1										1																																5
A地区	A	7	1層																			1								1	1					1														4
A地区	A	8	1層				1					1				1		1						1							1																			6
A地区	B	4	1層				1											1																												1				3
A地区	B	5	1層				2	1							1														1																					5
A地区	B	6	1層				2					2						3													1																			8
A地区	B	7	1層		1		1											1	1																															4
A地区	B	8	1層															4		1																														5
A地区	B	9	1層			2	1	1						1								2										1						1												9
A地区	B	10	1層																																					1										1
A地区	C	1	1層				1																													1														2
A地区	C	2	1層				1																						1		1																			3
A地区	C	3	1層				1						1					1																																3
A地区	C	5	1層				1					2																			1					1														5
A地区	C	7	1層											1				3				1										1																		6
A地区	C	8	1層				1			1			1					1	1																															5
A地区	C	9	1層															1																																1
A地区	C	10	1層	2			1						1																	1																				5
A地区	C	11	1層				2				2		1	2	2			3	1							1																				1				15
A地区	C	12	1層															1																																1
A地区	D	4	1層															1																																1
A地区	D	5	1層				1							1				2																																4
A地区	D	6	1層															1																	1															2
A地区	D	7	1層				2	1										5	1		1		1							1										2	2			1						17
A地区	D	8	1層				1				1		1				1	1						1							1	1								1					1					10
A地区	D	8	1層 3号集石								1																																							1
A地区	D	9	1層		1					1				1				2				1									1																	1		8
A地区	D	9	1層 6号集石				1																																											1
A地区	D	10	1層				1																																											1
A地区	D	10	1層 6号集石																			1																												1
A地区	D	11	1層				8	2			2					1		2	1						2					3	2	1	2			2				1				1			1			31
A地区	D	12	1層			1	4							1				1												1											1								2	11
A地区	D	13	1層					1										1								1				1																				4
A地区	E	3	1層																																	1														1
A地区	E	7	1層													1		4																		1				1										7
A地区	E	8	1層				1					1		1				3	1				1								1					1				1							1			12
A地区	E	9	1層				1																																											1
A地区	E	11	1層				1											1								1																								3
A地区	E	12	1層												1																						1													2
A地区	E	13	1層																											1																				1
A地区	グリッド不明		1層				1																																											1
A地区	盛土					1						1						2													1																			5
A地区	不明					1	4	1							3	1		1								1	1									1			1										1	16
B地区	B	2	1層															1												1																				2
B地区	B	3	1層				2									1																																		3
B地区	B	4	1層									1		1	3																1																			6
B地区	B	5	1層																																						1									1
B地区	B	5	1層																1						1																									2
B地区	B	9	1層				1																																											1
B地区	C	1	1層															1																																1
B地区	C	2	1層																							1																								1
B地区	C	4	1層											1		1		2														1										1								6
B地区	C	5	1層									1						1																1																3
B地区	盛土													1		1																																		2
B地区	不明								1									1																																2
C地区	き	11	1層		1		1	1					1	1		3		4					1								1	1								1	2				1					19
C地区	き	12	1層																1																															1
C地区	く	13	1層															1																																1
C地区	く	14	1層						1									1																																2
C地区	け	13	1層				1		1					1																																				3
C地区	け	13	2層																																				1										1	2
C地区	け	15	1層				1											1																						1										3
C地区	こ	13	2層				1											1												1																				3
C地区	こ	15	1層				2							1																																				3
C地区	さ	13	1層				2																																											2
C地区	さ・し	14	1層				2																							1																				3
C地区	表採						2									1									1																		1							5
不明												1	1			1		1	1						1	2	1			1										1										11
合計				2	3	5	60	9	3	2	6	10	7	14	10	12	1	63	9	1	1	6	3	2	5	7	2	1	1	14	13	7	2	1	1	9	1	1	2	10	7	1	1	2	2	2	2	1	4	328



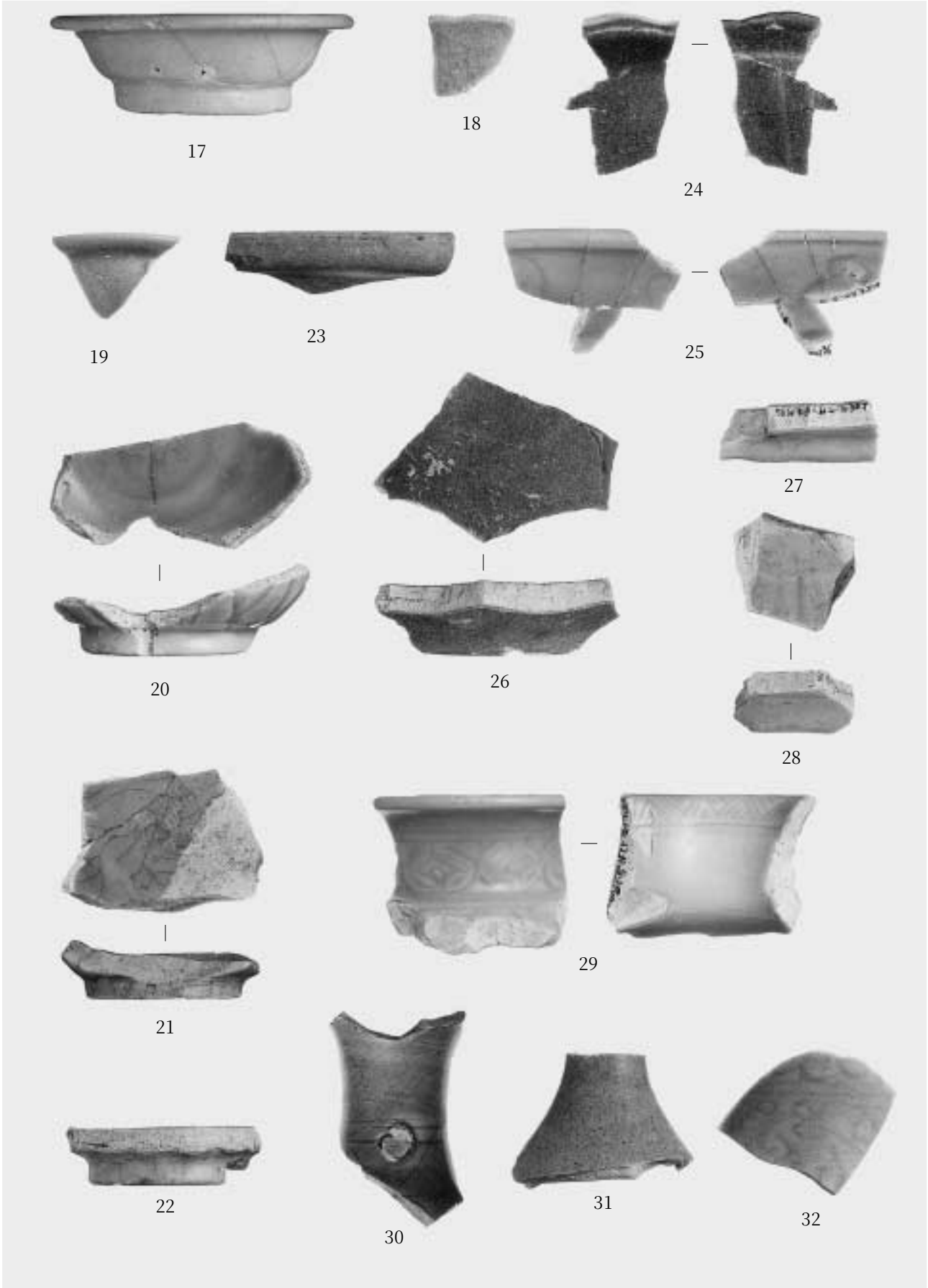
第６図　青磁１　碗(1～13・15・16)、小碗(14)



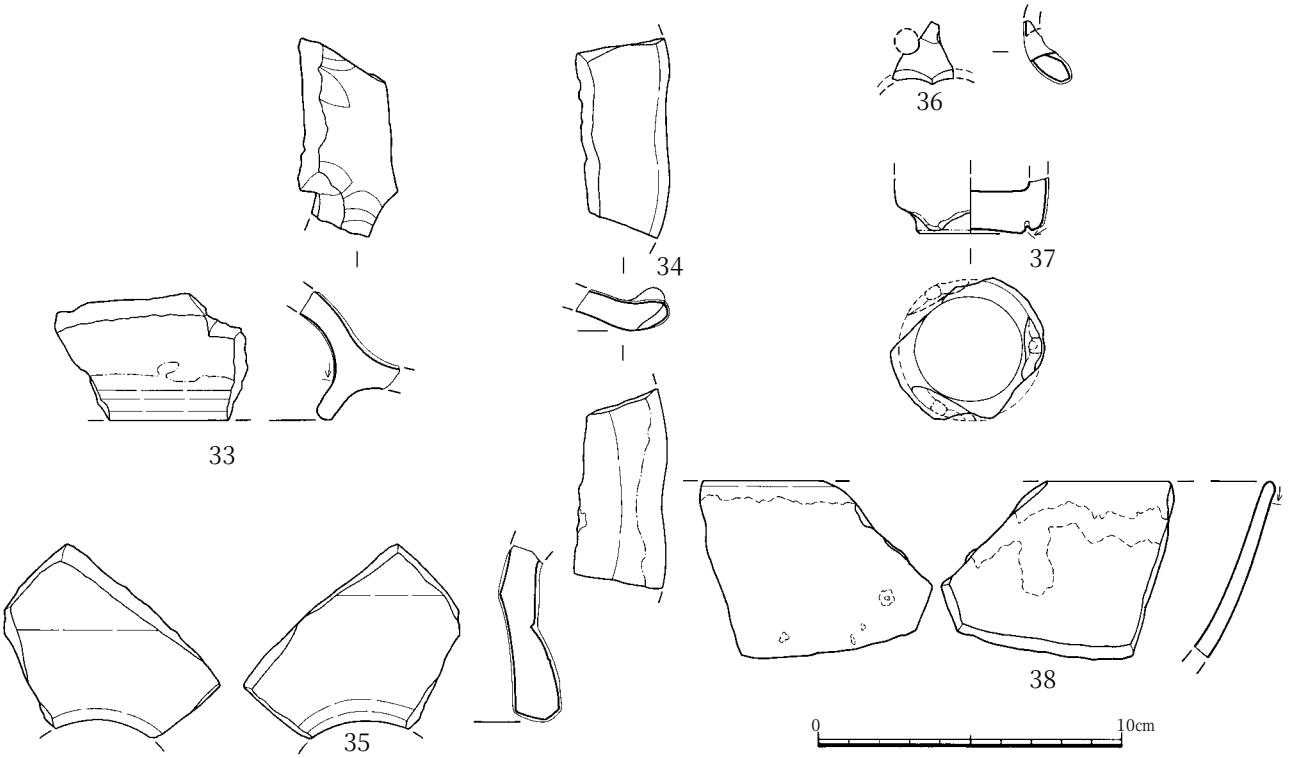
図版５　青磁１



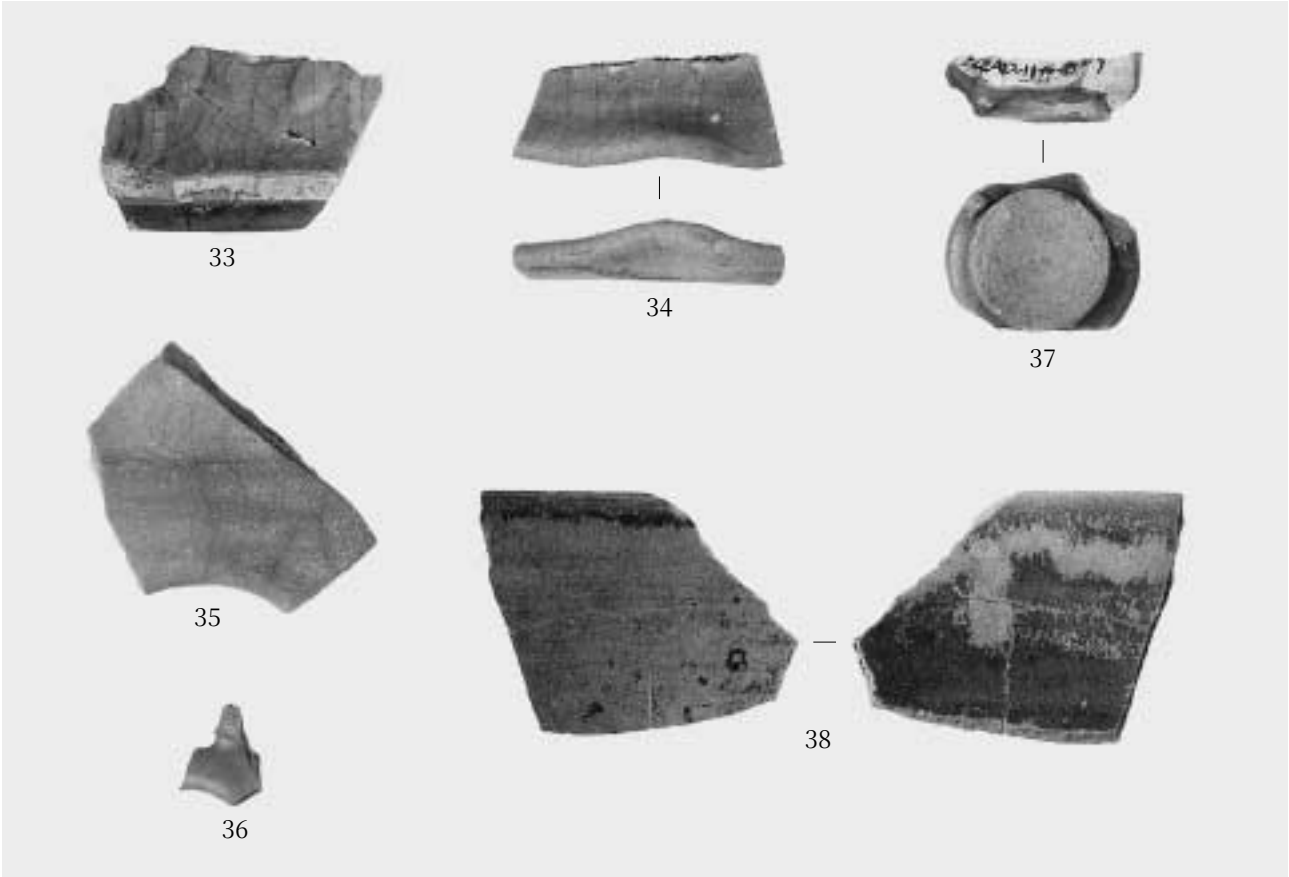
第７図　青磁２　皿(17～22)、盤(23～28)、壺(29)、瓶(30～32)



図版６　青磁２



第8図　青磁3　蓋(33・34)、器代(35)、蓋置(36)、香炉(37)、碗(38)



図版7　青磁3

第２節　白磁（第９図）

白磁は総数340点出土した。器種は碗・皿・小坏・袋物が確認された。最も多く出土したものは碗で、近世が主体となる。時代幅も広く14世紀～19世紀の清朝まで確認された。分類は碗・皿・坏について行い、碗・皿については金武分類（金武1990）を参考にした。碗は近世の資料である分類Ｃが主体となり、中世のものは図下したもののみである。皿は中世の資料である分類Ａが最も多く出土し、分類Ｂがそれに続く。近世の資料である分類Ｃは図下したもののみであり、碗の出土状況と逆転していることが興味深い。

以下、分類概念を記述し、詳細は観察表にてまとめる。

１．碗（１～８・20）

Ａ：金武分類の外反碗。福建系。中世。（１）

Ｂ：金武分類の薄手直口碗（今帰仁タイプ）。福建系。中世。２は口縁部が内傾していないため、金武分類と若干異なるが、これに含めた。

Ｃ：型押成形の端反碗や口禿碗など。福建や徳化窯系。近世。（３・５～８）

Ｄ：角高台の底部。泉州窯系青磁の可能性があるが、不明なため白磁に入れた。（４）

２．皿（９～14）

Ａ：内彎皿で小形と大形がある。釉薬は内底から外面腰部まで施釉。金武分類の内彎皿・抉入高台皿に該当するものである。福建系。中世。（９・10）

Ｂ：金武分類の薄手外反皿、全面施釉後に畳付の釉薬を掻き取る。景徳鎮窯系。中世。（11）

Ｃ：薄手の端反皿。型押成形。徳化窯系。近世。（12～14）

３．杯（15、16、17）

Ａ：いわゆる八角杯、外面に面取りを施す。福建系。中世。（16）

Ｂ：同じく八角杯だが薄手の型押成形で、外面に八仙文。徳化窯系？近世。（15）

Ｃ：型押成形の小杯で無文。徳化窯系。近世。（17）

４．袋物（18・19）

18と19、器種の同定は困難。

第３表　白磁観察一覧ａ

単位：cm

図	番号	器種	分類	部位	口径 器高 底径	観　察　事　項	出土地
第９図（図版８）	1	碗	A	口	14.8 － －	体部が丸みを帯び、口縁部でやや外反し、口唇部は丸みを帯びる。外体部上方及び内面上方に轆轤成形痕が顕著に見られる。素地は灰色を呈し微粒子。釉色は灰色を呈する。14世紀。	Ａ地区 Ｃ－５ １層
	2		B	口	－ － －	器壁が薄く逆「ハ」の字に開く。口縁部が内傾していないところが、金武分類と若干異なる。釉は灰色で内外面ともに口縁部から体部上方まで施釉され、体部下半から露胎。素地は灰色で微粒子。１４後半～１５前半。	Ａ地区 Ｃ－11 １層
	3		C	底	－ － 3.6	型押し成形。高台は三角形状を呈し、腰部は丸みを帯びる。高台外底面に銘款。釉は白色で、内外全面に施釉し、畳付は釉剥ぎする。素地は白色で微粒子。徳化窯。18世紀後半～１９世紀前半。	Ａ地区 Ｄ－７ １層
	4		D	底	－ － 5.6	高台は幅広の方形を呈する。内削りが浅く、削り痕が明瞭に残る。釉は観察できない。素地は灰色で細粒子。大粒の黒色鉱物が目立つ。泉州窯系の青磁の可能性がある。	Ｃ地区 き－11 １層
	5	小碗	C	口	7.6 － －	器壁が薄く、腰部が丸みを帯び、口縁部は外反し、口唇部はやや尖る。乳白色の釉を内外全面に施釉し、口禿とする。素地は白色で微粒子。徳化窯。18世紀後半～19世紀前半。	Ａ地区 Ｃ－３ １層

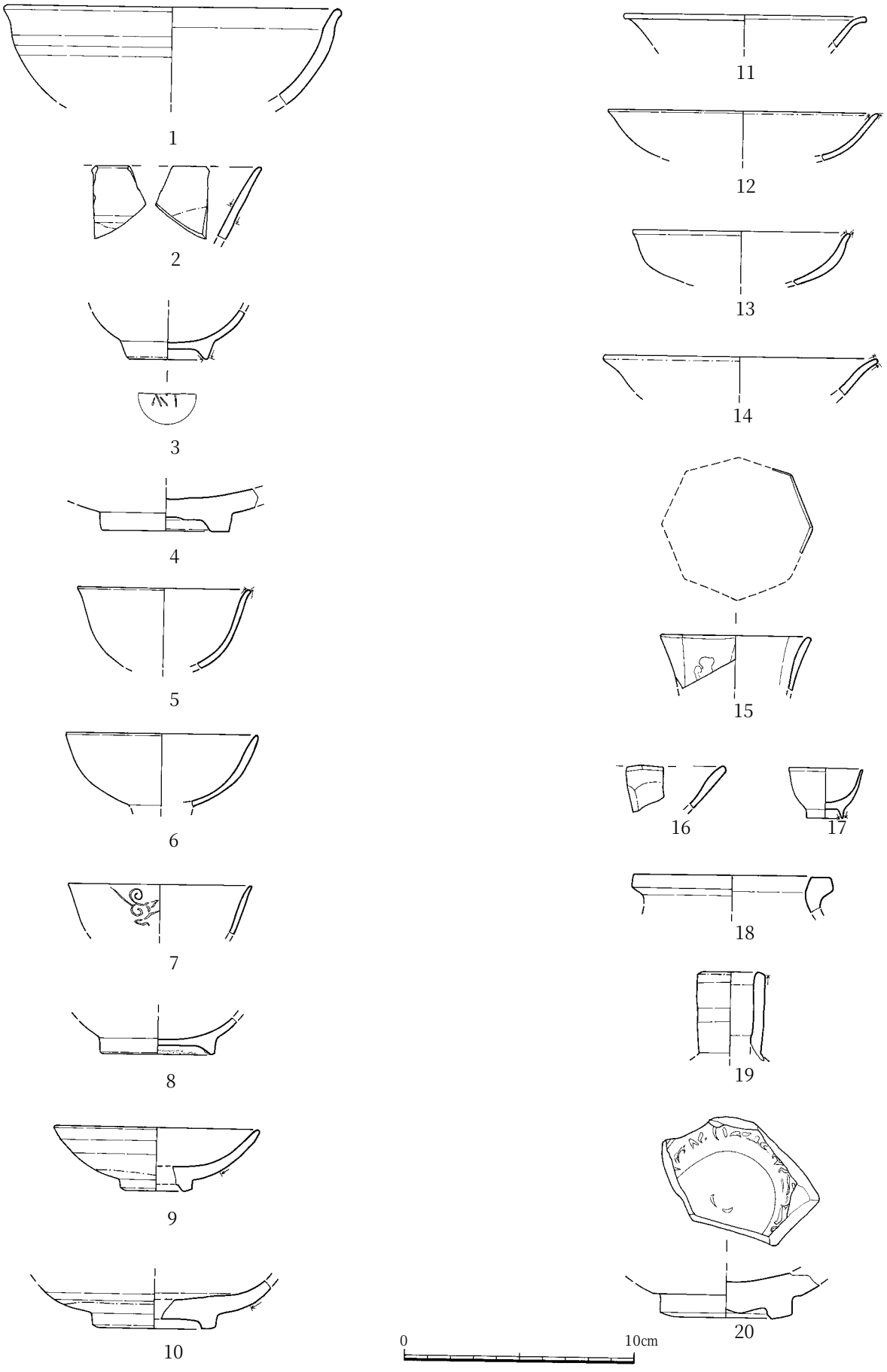
第３表　白磁観察一覧ｂ

単位：cm

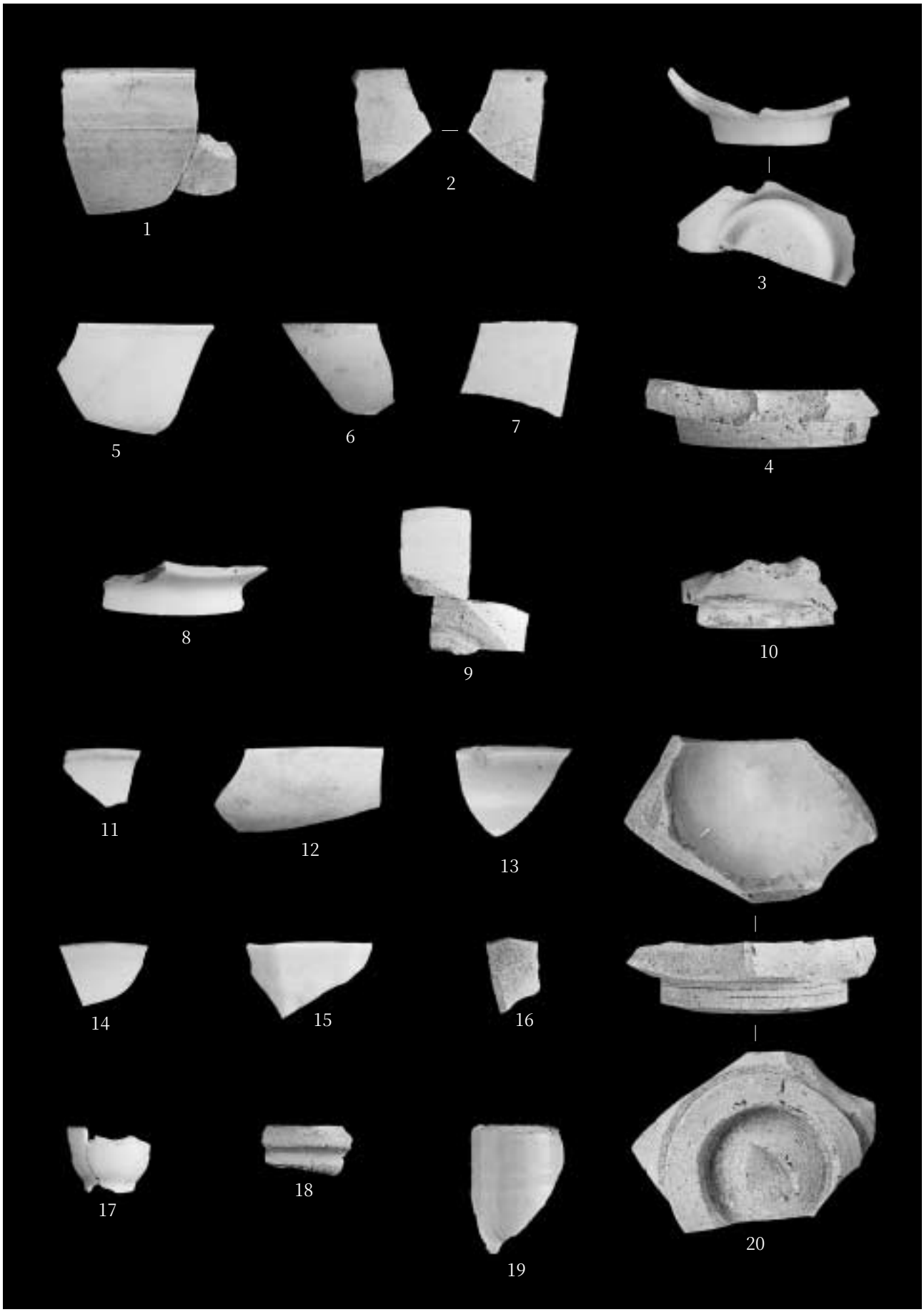
図	番号	器種	分類	部位	口径 器高 底径	観　察　事　項	出土地
第９図（図版８）	6	小碗	C	底	― ― 8.4	高台脇から逆ハの字に大きく開き、体部中央から丸みを帯びて立ち上がる。直口口縁を呈し、口唇部が尖る。器壁は腰部に比して体部上方が厚くなる特徴がある。白灰色の釉を内外全面に施釉し、口唇部は口禿とする。素地は白色微粒子。福建。18世紀～19世紀前半。	A地区 A－8 1層
	7		C	口	8.0 ― ―	型押し成形。口縁部がやや外反し、口唇部は尖る。器壁は体部上方が膨らみ、腰部に向かって薄くなる特徴がある。外体面に草花文？が型押しされている。白色の釉が内外全面に施釉され、口唇部は口禿とする。素地は白色微粒子。福建。18世紀頃。	A地区 B－9 1層
	8		C	底	― ― 5.0	型押し成形。高台は三角形状を呈する。畳付から内側脇に多量の砂が付着している。白灰色の釉が内外全面に施釉され、畳付は釉剥されている。素地は白灰色で微粒子。徳化窯。18世紀～19世紀前半。	A地区 B－6 1層
	9	小皿	A	口～ 底	9.0 2.8 3.2	高台畳付外脇を斜めに面取りする。腰部から口縁部にかけて内彎し、口唇部は舌状を呈する。外面に轆轤成形痕が顕著に見られる。畳付けが抉られるタイプの可能性があるが、残っていないため不明。乳白色の釉を外面は胴部下半まで、内面は全面施釉している。素地は白色で微粒子。14世紀後半～15世紀前半。	B地区 C－4 1層
	10	皿	A	底	― ― 5.4	碗の可能性もある。高台の器形は９と類似するが大型である。畳付外脇を面取りする。腰部から内彎しつつ立ち上がる。見込は１条の隠圏線が巡る。乳白色の釉を外面は体部下半まで、内面は全面施釉する。素地は白色で微粒子。14世紀～15世紀。	A地区 C－9 1層
	11		B	口	10.6 ― ―	器壁が薄く、口縁部は強く外反し、口唇部は丸みをもたせる。白灰色の釉を内外面に施釉する。素地は白色で微粒子。景徳鎮系。15世紀～16世紀。	A地区 E－9 1層
	12		C	口	11.8 ― ―	器壁が薄く、口唇部を尖らせ、腰部に丸みをもたせる。乳白色の釉を内外全面に施釉し、口唇部内面を口禿とする。素地は白色で微粒子。徳化窯。18世紀～19世紀。	A地区 C－9 1層
	13		C	口	15.0 ― ―	型作り。腰部が逆ハの字に大きく開き、体部中央で強く屈曲し内彎させ、口縁部にかけてやや外反する。口唇部に丸みをもたせる。器壁は体部中央が膨らむ特徴がある。白灰色の釉を内外全面に施釉し、口禿とする。素地は白灰色で微粒子。徳化窯。18世紀後～19世紀中。	A地区 D－7 1層
	14		C	口	12.0 ― ―	体部は逆ハの字に大きく開き、口縁部は外反し、口唇部は平坦に仕上げる。乳白色の釉を内外全面に施釉し、口禿とする。素地は白色で微粒子。16世紀～17世紀。	A地区 A－7 1層
	15	小坏	B	口	6.6 ― ―	薄手の型押し成形で、外面に八仙文。口唇部を丸くおさめる。器壁は口縁部から体部上方が膨らみ、体部下半に向かって薄くなる特徴がある。白色の釉を内外全面に施釉する。素地は白色で微粒子。福建。16世紀～17世紀。	A地区 D－5 1層
	16		A	口	― ― ―	八角坏で外面に面取りを施す。口縁部から体部上方が膨らみ、体部中央に向かって薄くなる特徴がある。灰色の釉を内外全面に施釉する。器面には細かい貫入が目立つ。素地は灰白色で細粒子。15世紀～16世紀前。	A地区 B－8 1層
	17		C	口～ 底	3.2 2.2 1.6	とても小型である。高台は三角形状を呈し、腰部は丸みをもたせ、ほぼ真っ直ぐ立ち上がり、直口口縁となる。口唇部は尖らす。器壁は高台底面及び腰部が厚く、体部中央から口縁部まで薄く仕上げる。灰白色の釉を内外全面に施釉し、畳付は釉剥する。素地は白灰色で微粒子。17世紀～18世紀。	A地区 D－7 1層
	18	瓶		口	8.6 ― ―	口縁部をＬ字に折り、頂部を丁寧に面取りする。灰色の釉を内外面に施釉する。素地は灰色で微粒子。16世紀後～17世紀。	A地区 C－7 1層
	19	袋物		口	3.0 ― ―	筒型の口をもつ。器形等は判断できない。口部中央に轆轤成形痕が観察できる。意識して蛇腹状に仕上げたものの可能性がある。乳白色の釉を外面に施釉し、口唇部から内面は露胎。素地は灰色で微粒子。清朝？	A地区 A－4 1層
	20	碗		底	― ― 5.8	金武分類の外反碗と推測される。高台畳付を斜めに削り、接地面は畳付内側の僅かである。高台削りは外底面三角形状に削り、中央を抉る。見込は草花文？を描く。灰色の釉を内面は全面施釉し、外面は観察できないが、体部下半までであろう。素地は灰色で微粒子。	A地区 E－7 1層

第４表　白磁出土状況

出土地				器種分類	碗							小碗		皿					小皿	小杯			瓶	袋物	器種不明			合計
					A	B	C			D		C		A		B		C	A	A	B	C						
					口	口	口	胴	底	底	底	口	底	口	底	口	胴	口	口～底	口	口	口～底	口	口	口	胴	底	
A地区	A	3	1層			1	1																			2		4
		4	1層																					1				1
		5	1層			1																						1
		6	1層			1		1						1														3
		7	1層			1		1										1							1	2		6
		8	1層					1					1															2
	B	4	1層				2																			2		4
		5	1層			1	4	4																		1		10
		6	1層			1	1	1					1	1											1	3	1	10
		7	1層			2																						2
		8	1層			1		1												1					1	1		5
		9	1層			1						1		1												1		4
	C	3	1層			1	3	3				1													2	7		17
		4	1層			1	1	2																		2		6
		5	1層	1		1	2	2																	1			7
		7	1層			1	1	3								1							1					7
		8	1層			2		3																	1	6		12
		9	1層			3		1							1			1							2	9	2	19
		10	1層					4																		1		5
		11	1層		1			1						1												1		4
		12	1層			1																						1
	D	2	1層			1																				1		2
		3	1層																							1		1
		4	1層					1																		1		2
		5	1層			5															1							6
		7	1層			19	7	7								2	1	1				1				15		53
		8	1層			8	3	7																		8	2	28
		9	1層			5	1	3																		5	1	15
		10	1層			2	2																			2		6
			1層 6号集石												1													1
		11	1層			1		1						1														3
		12	1層			1	1																					2
		13	1層				1																					1
	E	4	1層			1																						1
		6	1層																							2		2
		7	1層			4	1	2	1																	8		16
		8	1層			6	1	9						1		2										8		27
		9	1層			2		3						1		1										5		12
		13	1層					1																				1
盛　土						1	5	7																				13
不　明								1																				1
B地区	B	4	1層											1														1
	C	4	1層																1									1
			1層																							1		1
盛　土						1																						1
C地区	き	11	1層							1			1														1	3
		12	1層				1																					1
	く	15	1層																									0
	け	13	1層			1	1						1															3
	こ	13	2層			1										1												2
		15	1層					1																				1
不　明								3																				3
合　計					1	1	79	39	74	1	1	2	2	10	2	7	1	3	1	1	1	1	1	1	9	95	7	340



第９図　白磁　碗(1～4・20)、小碗(5～8)、小皿(9)、皿(10～14)、小杯(15～17)、瓶(18)、袋物(19)



図版８　白磁

第３節　染付（第10・11図）

染付は、碗、皿をはじめ、小杯、盤、鉢等の器種が確認されている。碗、皿が多く、時期としては17～18世紀代のものが主となっている。景徳鎮窯より福建・広東系が多い。以下に各器種について略述し、個々の詳細は表に記す。

１．碗（１～14）

碗は口縁部が直口するものと、外反するものが確認できる。文様は抽象化されたものや草花文及び雲文等を簡略したものが多く、判別できるものは寿字文（10)、雲龍文（11）がある。

底部は、比較的古手のものが出土しており、15～16世紀代と考えられるものを図化した。12は外面にラマ式蓮弁文、見込に宝相華唐草文を施し、13は見込に「福」を描く。

２．皿（15～19）

皿は全体を窺うことのできる資料がないため、特徴的なものを図化した。15・16は福建・広東系のものであり、17～19は景徳鎮窯のものと考えられる。

３．小碗（20～27）

小碗は全体を窺えるものが多い。口縁部の形態は、外反するもののみである。文様の判別可能なものが多い。

４．杯（28）

杯は１点図化した。口縁部は外反する。外面に魚文及び花文を施している。

５．小杯（29～31）

小杯は３点図化した。29は碁笥底で文様も細かく描かれているが、30・31は文様は簡略化されている。

６．瓶（32）

瓶の首へと移行する部分である。外面の文様は、雲を表現したものと考えられる。

７．蓋（33）

蓋の肩の部分である。外面に波濤文を施す。

８．鉢（34～36）

鉢は３点図化した。35は口縁部に平坦に造られ、内外両側に鍔状にせり出すのもであり、角には抉りを入れている。

第５表　染付出土状況

出土地				器種	碗			小碗				皿				杯	小杯				瓶	盤	蓋	鉢		蓮華			袋物	合計
					口	胴	底	口～底	口	胴	底	口～底	口	胴	底	口	口～底	口	胴	底	胴	底	胴	口	胴	柄	皿	胴	
A地区	A	3	1層		2				1		1		1		1															6
		4	1層							1																				1
		5	1層			1	1			1			1		1															5
		6	1層		3	4	1		1	1			1		1	1														13
		7	1層		3	4				1	1				1															10
		8	1層		4	1									1															6
	B	4	1層		3	1	3			1								1							1					10
		5	1層		8	5	3		1		2		1	1											1					22
		6	1層		11	5			3	3	1				1			1							2					27
		7	1層		3	4	3		1	1				1	1															14
		8	1層		3	3	1				1														1					9
		9	1層		4				1	1															1					7
		10	1層		1																									1
	C	1	1層								1																			1
		2	1層		3	1				2					1															7
		3	1層		7	18	2		3	3			2	2	2					1					1	1				42
		4	1層		3	6	4		1	2			1	1	2					1									2	23
		5	1層			4	2				1		1																	8
		6	1層			3								1																4
		7	1層		7		1		2	3	2				1															16
		8	1層		10	14	7		1	2	4		1	1	3													1	1	45
		9	1層		5	6	3		1		3	1		1	1					1										22
		10	1層		2	2	4																						1	9
		11	1層		3	5	4						3		3														1	19
		12	1層		2		1																							3
	D	2	1層		1		2			1			1																	5
		3	1層		1					1			1																	3
		4	1層		2		1								1															4
		5	1層		3	1	2			1					1		1	1											1	11
		6	1層		1				1		1			1																4
		7	1層		30	45	27		15	9	7		3	5	12			1							1					155
		8	1層		13	14	11		7	5	4		3	4	4		1			1					2					69
		9	1層		17	12	8		3	5	4		2	4	1			1												57
		10	1層		5	3	4	2	3	4			1	2	3															27
			1層 6号集石										1																	1
		11	1層		1	2			1	1								2												7
		12	1層		2				1																					3
		13	1層							1																				1
	E	5	1層		1																									1
		7	1層		7	7	3		1		1		1	1	3															24
		8	1層		13	25	19		2	3	11			4	14			1		1				1						94
		9	1層		3	8	2		1	1	4		1																	20
		12	1層		1				1	1																				3
	盛土				3	7	8		2	2	1		1		3										1					28
	不明				2		1			1			1												1					6
B地区	B	1	1層			1			1																					2
		2	1層		1									1																2
		5	1層		1																									1
	C	2	1層				1																							1
		4	1層			1																								1
		5	1層			1																								1
	盛土																								1					1
	不明				1													1												2
C地区	き	11	1層		1	1													1				1							4
	く	14	1層																						1				1	2
		15	1層			1	1														1									3
	け	13	1層		4	9																								13
		15	1層		3		9													1										13
	こ	13	1層				3		1													1								5
		15	1層			7																								7
	さ	13	1層			1																								1
	さ･し	14	1層		1						1																			2
	表採				1	1	1																							3
試掘							1				1																			2
不明						4	4								1															9
合計					206	238	148	2	56	58	52	1	28	30	63	1	2	9	1	6	1	1	1	1	14	1	1	7	928

第６表　染付観察一覧ａ

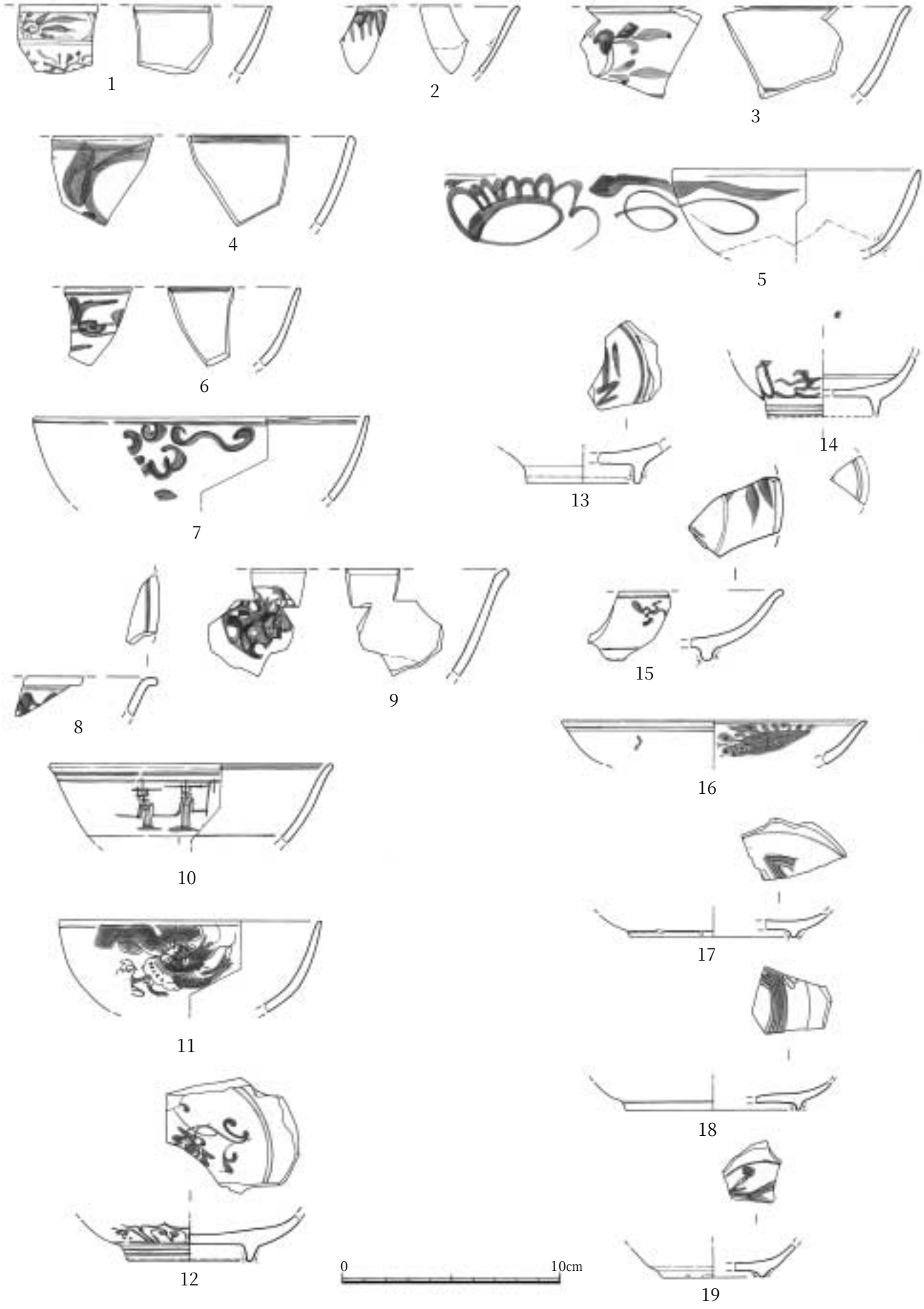
単位：㎝

図	番号	器種	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第10図（図版９）	1	碗	口縁	－	－	－	口縁部は直口する。文様は外面に草花文？、内面に圏線を施す。素地は白色。釉は僅かに青味を帯びる。	Ａ地区 Ｃ－８　１層
	2		口縁	－	－	－	口縁部は直口する。文様は外面口縁部に柳若しくは波文を施す。素地は白灰色。透明釉で内面胴部中位まで施釉。	Ａ地区 Ｅ－８　１層
	3		口縁	－	－	－	口縁部が僅かに外反する。文様は外面に草花文及び圏線、内面に圏線を施す。素地は白色。釉は僅かに青緑色を帯びる。	Ａ地区 Ｅ－８　１層
	4		口縁	－	－	－	口縁部は直口する。文様は外面に草花文？、内面に圏線を巡らす。素地は乳白色。釉は白色。内面に貫入が入る。	Ａ地区 Ｄ－９　１層
	5		口縁	11.4	－	－	口縁部は直口する。文様は外面に簡略化・抽象化されたもの（雲文？）を施す。素地は白色。釉は白色。口縁部に熱を受けた痕がある。	Ａ地区 Ｂ－６　１層
	6		口縁	－	－	－	口縁部は直口する。文様は外面に草花文及び圏線、内面に圏線を施す。素地は灰色。透明釉。	Ｃ地区 き－11　１層
	7		口縁	15.4	－	－	口縁部は直口する。文様は外面に雲文？及び圏線、内面に圏線を施す。素地は白色。釉は白色。	Ａ地区 Ｂ－９　１層
	8		口縁	－	－	－	口縁部は外側に折れる。文様は外面は明確でないが、内面は口縁部に圏線が巡る。素地は白色。釉は青味を帯びる。全体に粗い貫入が入る。	Ａ地区 Ｄ－８　１層
	9		口縁	－	－	－	口縁部は端反である。文様は外面胴部に印花文を施す。素地は乳白色。釉は透明釉。全体に粗い貫入が入る。	Ａ地区 Ｂ－５　１層
	10		口縁	13.0	－	－	口縁部は外反する。文様は外面に寿字文及び圏線、内面に圏線を巡らす。素地は灰白色。釉は透明釉。	Ｃ地区 さ・し－14 １層
	11		口縁	12.0	－	－	口縁部は直口する。文様は外面に龍文及び雲文が施される。素地は白色。釉は白色。	Ａ地区 Ｂ－６　１層
	12		底	－	－	5.8	外面高台際にラマ式蓮弁文、高台に圏線、見込に宝相華唐草文を施す。素地は白色。釉は白色。畳付は露胎。	Ｃ地区　表採
	13		底	－	－	5.2	見込に「福」文を施す。素地は白色。釉は白色。畳付は露胎。	Ｃ地区 く－15　１層
	14		底	－	－	－	外面胴部にアラベスク文、高台及び外底に圏線、内面に圏線を施す。素地は白色。釉は青味を帯びる。	Ａ地区 Ｅ－８　１層
	15	皿	口～底	－	－	－	口縁部は外反する。外面に宝文？、内面に草花文を施す。素地は白灰色。透明釉。	Ａ地区 Ｃ－９　１層
	16		口縁	14.0	－	－	口縁部は僅かに外反する。外面に圏線、内面に草花文を施す。素地は白色。透明釉。	Ａ地区 Ｄ－10　１層
	17		底	－	－	7.6	外面高台際に圏線、見込に「寿」字文を施文する。素地は白色。畳付以外に白色釉を施釉。高台に砂が付着する。	Ａ地区 Ｅ－７　１層
	18		底	－	－	8.0	外面高台際に圏線、見込に雨龍？を施文する。素地は白色。畳付以外に白色釉を施釉。	Ａ地区 Ｄ－５　１層
	19		底	－	－	4.6	見込に草花文を施文する。素地は白色。畳付及び外底は露胎。	Ａ地区 Ｄ－７　１層

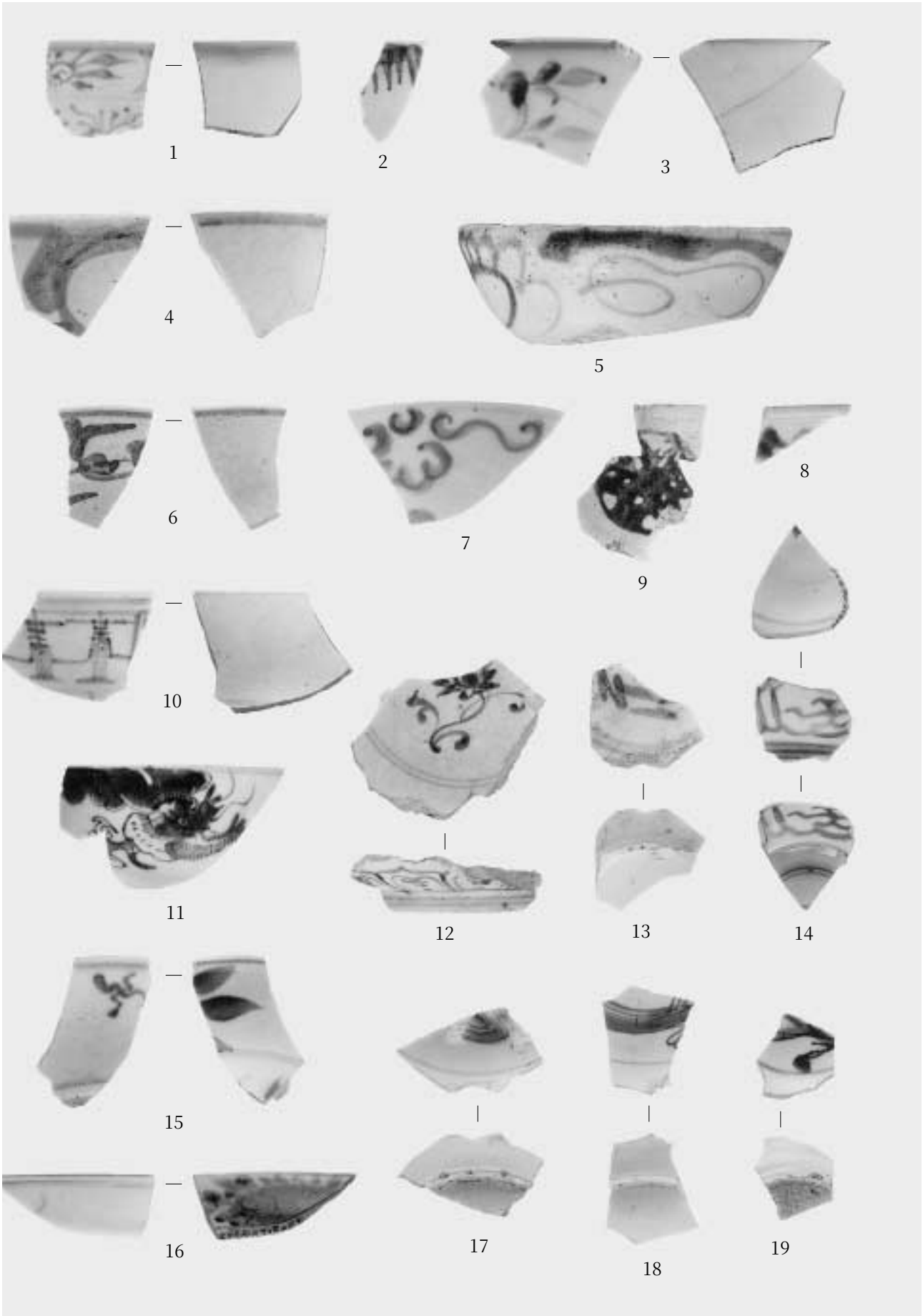
第６表　染付観察一覧ｂ

単位：cm

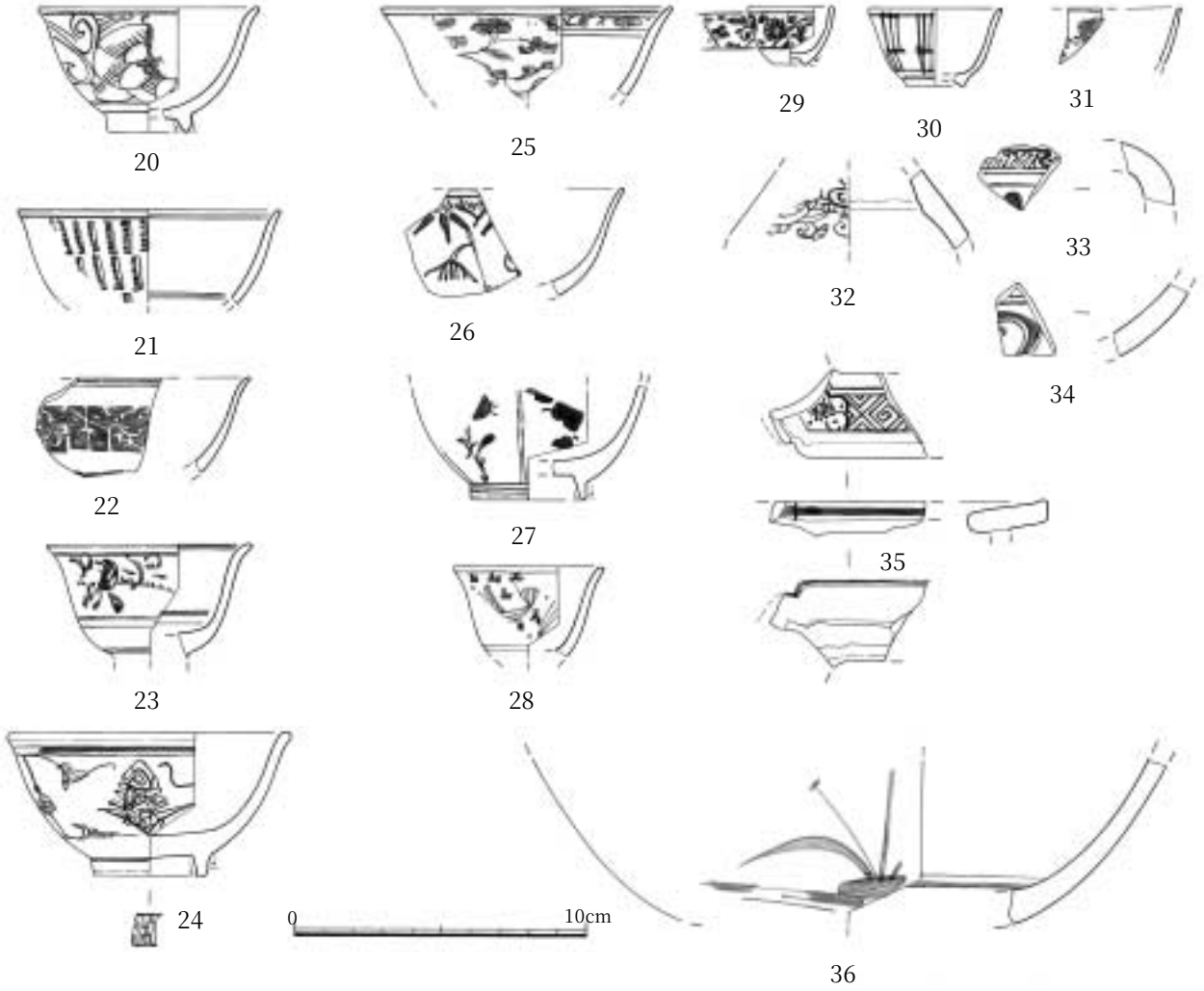
図	番号	器種	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第11図（図版10）	20	小碗	口～底	7.6	4.3	2.8	口縁部は外反する。外面に唐草文が施文される。素地は白灰色。釉は白色で、全体的に濁っている。畳付は露胎。	A地区 D－10　1層
	21		口縁	9.0	—	—	口縁部は外反する。文様は外面全体に梵字が描き込まれている。素地は白色。釉は僅かに青味を帯びる。	A地区 D－7　1層
	22		口縁	—	—	—	口縁部は外反する。胴部に獣面文を施文する。素地は白色。透明釉。	A地区 D－8　1層
	23		口縁	7.0	—	—	口縁部は外反する。文様は外面に唐草文及び圏線、内面に圏線を施文する。素地はうすい灰緑色。釉は透明釉。文様の発色は悪い。	C地区 こ－13　2層
	24		口～底	9.7	5.0	3.8	口縁部は外反するが、雑な成形のため、外反しない部分もある。文様は外面に唐草文、外底に落款を施文する。素地は白色で、畳付は露胎。透明釉。	A地区 D－10　1層
	25		口縁	10.0	—	—	口縁部は外反する。内外面に花唐草文を施文する。素地は白色。透明釉。	A地区 D－7　1層
	26		口縁	—	—	—	口縁部は僅かに外反する。文様は外面に笹文を施文する。素地は白色。透明釉。	A地区 D－8　1層
	27		底	—	—	4.0	外面を区画し、その中に花卉文を配置する。素地は白色。釉は透明釉。	A地区 C－1　1層
	28	杯	口縁	5.2	—	—	口縁部は外反する。外面に魚文及び花卉文を配置する。素地は白色。透明釉。	A地区 A－6　1層
	29	小杯	口～底	3.0	2.0	1.0	直口する口縁部と碁笥底の底部である。外面に菊唐草文を施文する。素地は白色。透明釉。	A地区 D－5　1層
	30		口～底	2.6	2.7	2.0	口縁部は直口する。外面に格子文を施す。素地は白色。透明釉。	A地区 D－8　1層
	31		口縁	—	—	—	直口口縁。薄く成形される。外面に草花文？を施文する。素地は白色。透明釉。	B地区　不明
	32	瓶	胴	—	—	—	外面に唐草文が施される。素地は白色。青味を帯びる釉を内外面に施釉する。	C地区 く－15　1層
	33	蓋	胴	—	—	—	外面に波濤文、圏線を施文する。素地は白色。透明釉。	C地区 き－11　1層
	34	鉢	胴	—	—	—	外面にラマ式蓮弁文、圏線を施す。素地は白色。白色釉。	C地区 く－14　1層
	35		口縁	—	—	—	植木鉢の口縁部。多角形を呈していたと考えられる。文様は外面に花卉文及び襷文を施文する。素地は白色。透明釉。	A地区 E－8　1層
	36		胴	—	—	—	外面に草花文を施文する。素地は乳白色。透明釉。全体に粗い貫入が入る。	A地区 B－6　1層



第10図染付1　碗(1～14)、皿(15～19)



図版9　染付1



第11図　染付２　小碗(20～27)、杯(28)、小杯(29～31)、瓶(32)、蓋(33)、鉢(34～36)

第４節　色絵（第12図）

ここでは13点を報告する。器種としては碗・皿・小碗・小皿・小杯等が確認できる。１は碗の資料で、口縁部は外反し、外面には草花文を施す。福建産で18世紀頃。出土区はＡ地区Ｅ－８・１層。２は小碗の資料で、口縁部は外反し、口唇部は露胎のいわゆる口禿げで、型作りによる成形である。外面には草花文を施す。Ａ地区Ｃ－７・１層出土。時期は福建産で18世紀後半～19世紀前半頃と考えられる。３は小碗である。口縁外面に黄色で圏線を巡らす。18世紀後半から19世紀前半頃で、Ａ地区Ｄ－４・１層出土。４は小杯である。文様は判然としないが朱色による上絵付けが確認できる。徳化窯産で18世紀後半～19世紀前半頃。Ａ地区Ｃ－10・１層出土。５は碗の資料である。福建産で18世紀頃。Ａ地区Ｄ－３・１層出土。６は小杯の資料である。緑色で上絵付けがなされるが、文様の種類は判然としない。時期は18世紀から19世紀頃で、Ａ地区Ｃ－９・１層出土。７は小杯の資料である。黄色、青色、朱色によって上絵付けがなされる。時期は18世紀後半から19世紀前半頃で徳化窯産。Ａ地区Ａ－６・１層出土。８、９も小杯の資料で、清朝代のものと推察される。18世紀後半から19世紀中頃か。８はＡ地区Ｅ－８・１層、９はＡ地区Ｄ－９・１層出土。10は小皿の資料である。口唇は口禿げで口縁は外反する。徳化窯産で時期は18世紀後半から19世紀中盤頃。Ａ地区Ｄ－７・１層出土。11も小皿の資料である。見込みに上絵付けによる草花文を描く。時期は18世紀後半から19世紀中頃で、Ａ地区Ｅ－８・１層出土。12は皿の底部片である。見込みは蛇の目釉剥ぎ後、緑釉を施釉。福建産で時期は18世紀頃と考えられる。Ａ地区Ａ－６・１層出土。13は小破片のため判然としないが、碗の胴部または蓋と考えられる資料である。外面には朱色による上絵付けでラマ式蓮弁が巡る。景徳鎮産で時期は17世紀頃と推察される。Ａ地区Ｄ－７・１層出土。

図版10　染付2

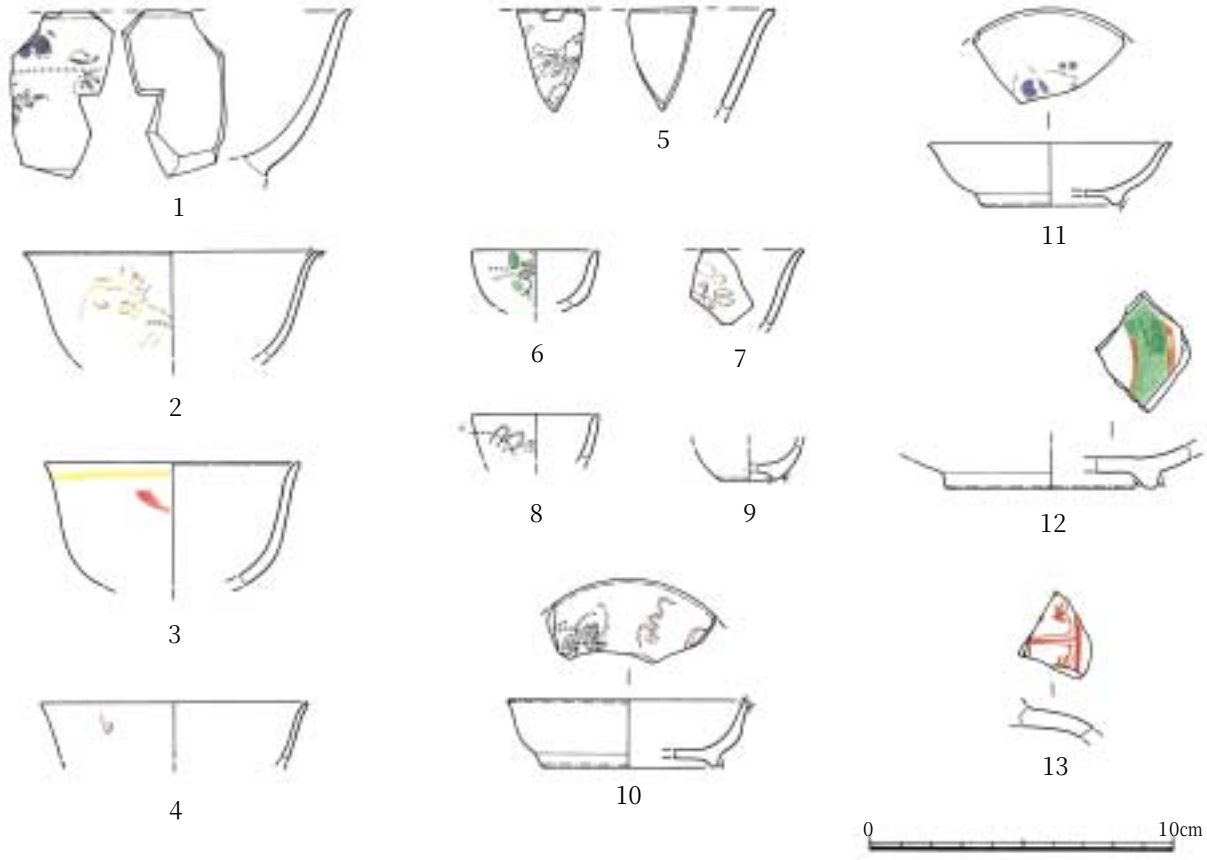
第７表　色絵出土状況

出土地				器種	碗			小碗		小杯		皿	小皿	盤	蓋	器種不明	合計
					口	胴	底	口	胴	口	底	底	口～底	底	胴	胴	
A地区	A	6	1層					1				1	1				3
	B	4	1層			1											1
		5	1層			1											1
		6	1層			1											1
	C	3	1層			1		1									2
		4	1層			2		1	1								4
		5	1層			1				2							3
		7	1層			1		2	1	1							5
		8	1層	1													1
		9	1層	1						1		1					3
		10	1層					1									1
		12	1層	1													1
	D	2	1層									1					1
		3	1層	1													1
		4	1層					1									1
		5	1層		1												1
		6	1層	1													1
		7	1層	3	3	1		2							1		10
		8	1層	2	1		3	1						1			8
		9	1層		1			1		1							3
		10	1層		1			3									4
		12	1層						1								1
	E	7	1層					1									1
		8	1層	3	2			3	1				1			1	11
		9	1層		1			2									3
合　計					13	18	1	10	15	6	1	3	2	1	1	1	72

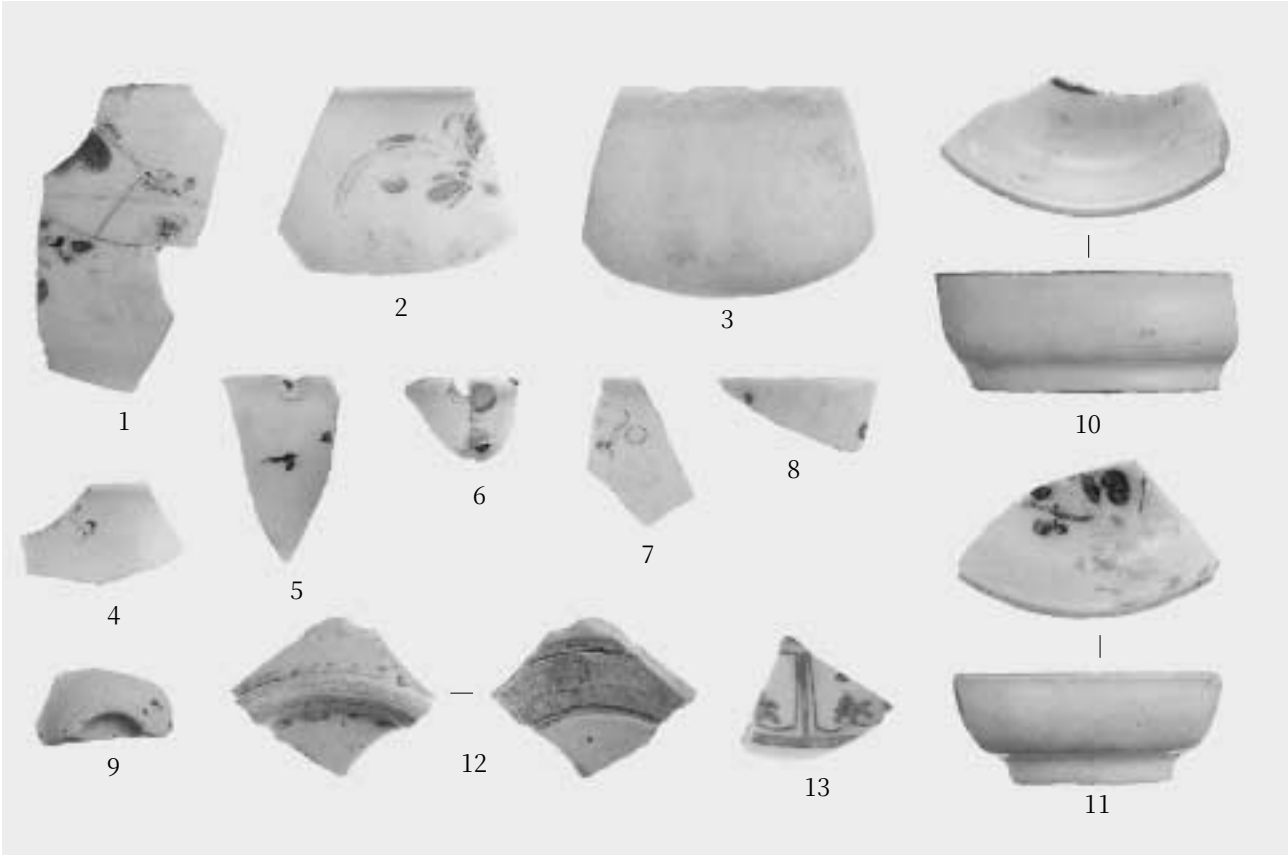
第８表　色絵観察一覧

単位：cm

図	番号	器種	部位	口径 器高 底径	器形・成形・文様等の特徴	釉色・施釉状況・貫入等	産地	年代	出土地
第12図（図版11）	1	碗	口縁部	― ― ―	口縁部は外反する。体部が外面に青紫色で草花文を施す。	釉は青白色を帯びる。素地土は乳白色。	福建	18c	A地区 E－8 1層
	2	小碗	口縁部	9.8 ― ―	口縁部は外反する。口唇部は露体。体部外面に草花文を施す。型づくり。	釉は白色。素地土は白色の微粒子。	福建	18c後～19c前	A地区 C－7 1層
	3		口縁部	8.4 - ―	口縁部は外反する。口唇部は露体。口縁外面に黄色による圏線を巡らせる。体部外面にも朱色で文様を施すが詳細は不明。	釉は白色。素地土は白色で、まばらに黒色粒を含む。	徳化窯	18c後～19c前	A地区 D－4 1層
	4		口縁部	8.8 ― ―	口縁部は外反する。口唇部は露体。体部外面には朱色による文様が確認できる。	釉は白色。素地土は白色。	徳化窯	18c後～19c前	A地区 C－10 1層
	5	碗	口縁部	― ― ―	口縁部は外反する。体部外面には草花文？が見られる。文様の色は剥げ落ち不明。	釉は白色。素地土は白色でまばらに黒色粒を含む。	福建	18c	A地区 D－3 1層
	6	小杯	口縁部	4.2 ― ―	緑色で上絵付けがなされるが、文様は判然としない。	釉は白色。素地土は白色。	中国	18～19c	A地区 C－9 1層
	7	小碗	口縁部	― ― ―	口縁部は外反する。黄色、青色、朱色によって絵付けがなされる。	釉は白色。素地土は白色。	徳化窯	18c後～19c前	A地区 A－6 1層
	8	小杯	口縁部	4.2 ― ―	口縁部は直口する。文様は判然としない。	釉は白色。素地土は白色。	中国	清朝代？	A地区 E－8 1層
	9		底部	― ― 1.7	底部は碁笥底。	釉は青白色。素地土は白色。僅かに黒色粒を含む。	中国	清朝代	A地区 D－9 1層
	10	小皿	口～底部	8.0 2.3 5.9	口縁部は外反する。口唇部および畳付から外底面にかけては露体。見込みに草花文を描く。	釉は白色。素地土は白色でまばらに黒色粒を含む。	徳化窯	18c後～19c中	A地区 D－7 1層
	11		口～底部	8.0 2.1 4.7	口縁部は外反する。畳付から外底面にかけては露体。見込みに青色、朱色で草花文を描く。	釉は白色。素地土は白色でまばらに黒色粒を含む。	徳化窯	18c後～19c中	A地区 E－8 1層
	12	皿	底部	― ― 7.0	見込みは蛇の目釉剥ぎ後、緑釉を施釉。	釉は青白色。素地土は乳白色。	福建	18c頃	A地区 A－6 1層
	13	蓋	胴部	― ― ―	微細な胴部片のため、器種を判断するのは難しいが、蓋の破片だと考えられる。朱色によりラマ式蓮弁を巡らせる。	白色釉を施釉。素地土は乳白色で、僅かに黒色粒を含む。	景徳鎮	17c？	A地区 D－7 1層



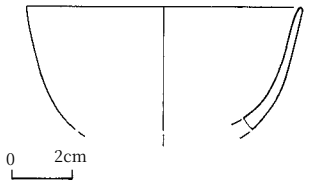
第12図　色絵　碗(1・5)、小碗(2～4・7)、小杯(6・8・9)、小皿(10・11)、皿(12)、蓋(13)



図版11　色絵

第５節　青磁染付（第13図）

青磁染付は１点出土している。器種は小碗で、外面に青色釉をかける。口縁部は直口している。底部が欠損しているため、染付の部分の状態が確認できない。福建系。口径9.2cm。Ａ地区Ｅ－９・１層出土。



第13図　青磁染付

図版12　青磁染付

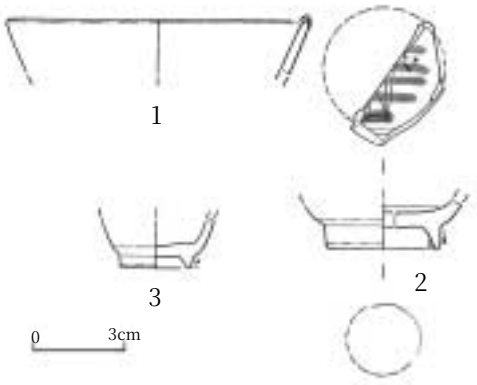
第６節　褐釉染付（第14図）

褐釉染付は総数13点出土した。器種は小碗と小杯がある。小破片のみで全形が把握できる資料がない。特徴的な遺物を図化した。

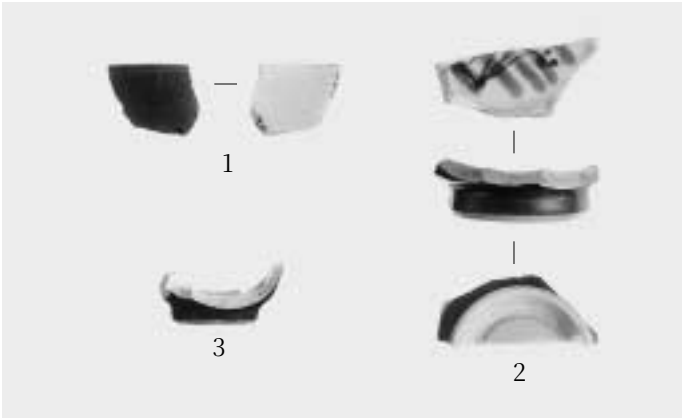
１は小碗の口縁部資料である。直口口縁を呈する。釉は口唇部を口禿とし、外面は茶褐色、内面は淡灰白色を呈する。素地は白色で微粒子。口径およそ10.0㎝。Ａ地区Ｃ－７・１層出土。18世紀の所産と考えられる。

２は小杯の底部資料である。高台は、畳付外面を斜めに削る。造りが丁寧である。釉色は外面の高台側面まで茶褐色を呈するが、畳付と畳付外側面は丁寧に釉剥する。高台外底面・側面及び内面は淡青白色を呈する。外底面に１条の圏線、見込に１条の圏線と文様を呉須にて描く。素地は灰白色で微粒子。底径3.6㎝。Ａ地区Ｄ－７・１層出土。18世紀の所産と考えられる。

３は小碗の底部資料である。高台畳付は丸みを帯び、腰はほとんど張らず、胴部に向かってほぼまっすぐ立ち上がる。釉は外面茶褐色を呈するが、畳付から外底面までは露胎する。内面乳白色を呈する。素地は白色で微粒子。底径2.2㎝。Ａ地区Ｃ－２・１層出土。18世紀の所産と考えられる。



第14図　褐釉染付



図版13　褐釉染付

第７節　瑠璃釉（第15図）

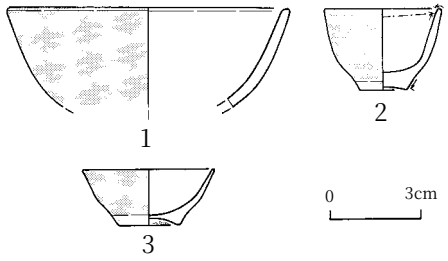
瑠璃釉は総数40点出土した。器種は小碗・小杯・袋物が見られるが小破片が大半を占め、実測可能な３点を図化した。

１は小碗で口縁部から腰部まで残存する。腰部がやや張り、口縁部まで逆ハの字にシャープに立ち上がり、直口口縁を呈する。釉は口唇部を口禿とし、残りは全面施釉する。釉色は外面淡藍色、内面乳白色を呈する。外面には細かい貫入が見られる。素地は白色で微粒子。口径9.4㎝。Ａ地区Ｅ－８・１層出土。18世紀～19世紀前半の福建省の所産と考えられる。

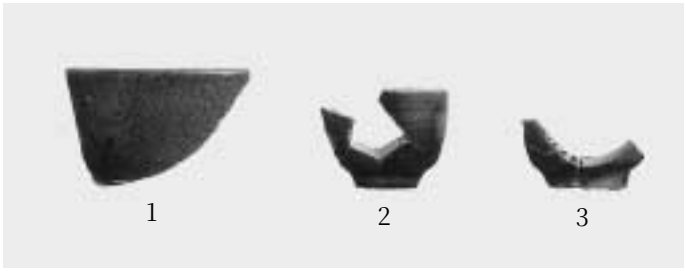
２は小杯で口縁から底部まで残存し、全形が把握できる。高台は上底状を呈しており、造りが丁寧である。やや腰が張り、強く屈曲して口縁部に向かって逆ハの字状にシャープに立ち上り、直口口縁を呈する。釉は外面口唇部から高台脇まで施釉されるが、上底状の底部は露胎する。内面は口縁部上端が露胎するが、残りは全面施釉とする。外面は藍色だが、薄い場所も見られる。口唇部及び内面は淡青白色である。素地は白色で微粒子。口径3.9㎝、器高2.7㎝、底径1.7㎝。Ａ地区Ｄ－12・１層出土。17世紀～18世紀、景徳鎮の所産と考えられる。

３も小杯で口縁から底部まで残存し、全形が把握できる。型作りで、高台畳付は逆三角形状を呈し、腰が

微妙に張り、口縁に向かって逆ハの字に大きく開く。口縁部はやや外反する。畳付に砂が付着する。釉は口唇部を口禿とすし、残りは全面施釉する。釉色は外面淡白藍色で、内面は淡灰白色を呈する。素地は白色で微粒子。口径4.4㎝、器高1.85㎝、底径2.0㎝。Ａ地区Ｂ－７・１層出土。18世紀～19世紀、徳化窯の所産と考えられる。



第15図　瑠璃釉

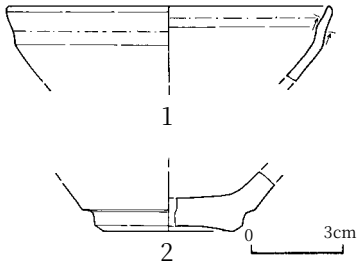


図版14　瑠璃釉

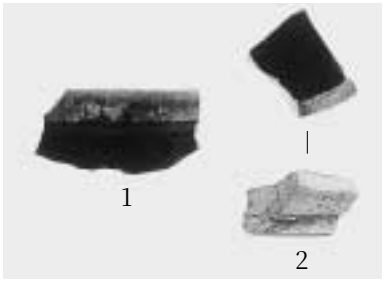
第８節　中国産陶器

中国産陶器は僅かであるが、黒釉陶器、緑釉陶器、三彩、宜興窯が出土している。以下に個々について記す。なお、中国産褐釉陶器は数量が多いため、別節にて扱っている。

１．黒釉陶器（第16図）



第16図　黒釉陶器

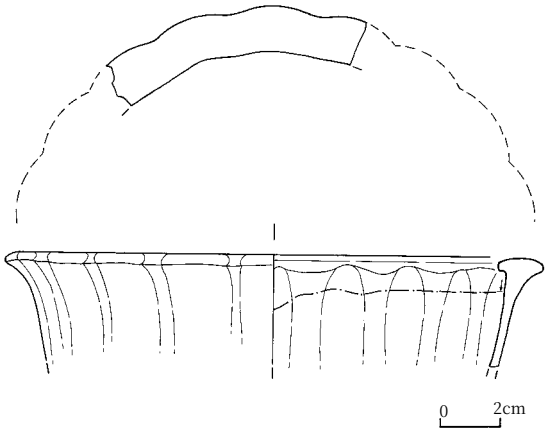


図版15　黒釉陶器

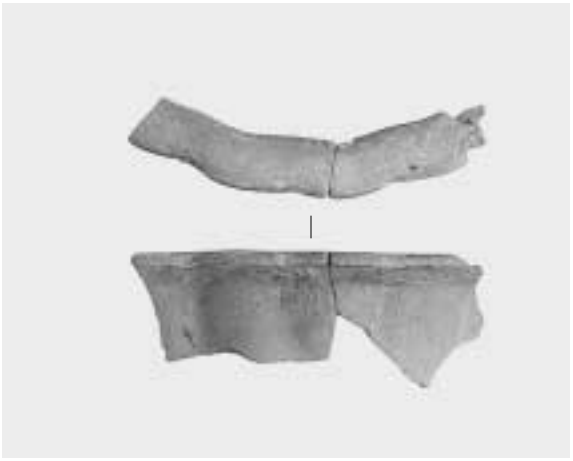
黒釉陶器は６点出土しており、そのうち２点を報告する。１は口縁部の資料である。口径は約10㎝で、内外面に黒色、茶褐色釉を施釉する。素地土は灰色の微粒子で僅かに黒色粒を含む。口縁部の窄まる部分から口唇、口縁内面にかけては露胎で、口唇を銀等の金属で装飾していた可能性がある。口径10.8cm。Ａ地区Ｄ－９・１層出土。２は底部の資料である。畳付けは斜位に削られ、内底面は軽い上げ底状。高台と胴部の際は水平に削られる。内抉りは深い。素地土は灰色の微粒子で僅かに黒色粒を含む。底部外面は露胎で、見込みには黒色釉を厚く施釉する。１・２ともに明代の製品である。底径4.9cm。Ａ地区Ｄ－11・１層出土。

２．緑釉陶器（第17図）

緑釉陶器は１点出土している。器種は鉢であり、口縁部は外面は外反し稜花状に成形され、内面は鍔状に僅かにせり出す。胴部も口縁部に合わせて成形されている。釉は外面及び内面口縁直下まで施される。素地は灰色。口径17.9cm。Ａ地区Ｅ－７・１層出土。



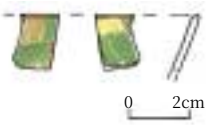
第17図　緑釉陶器



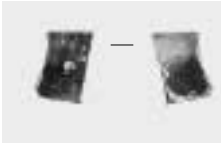
図版16　緑釉陶器

３．三彩（第18図）

三彩は３点出土しており、そのうち１点を報告する。器種は皿の口縁部片で緑釉及び黄釉を施す。素地土は褐色の微粒子。明代のものと考えられる。Ａ地区Ｃ－９・１層出土。



第18図　三彩



図版17　三彩

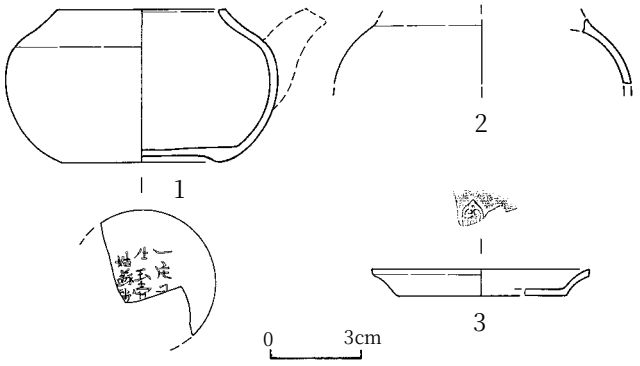
４．宜興窯（第19図）

宜興窯は急須及び皿が出土している。

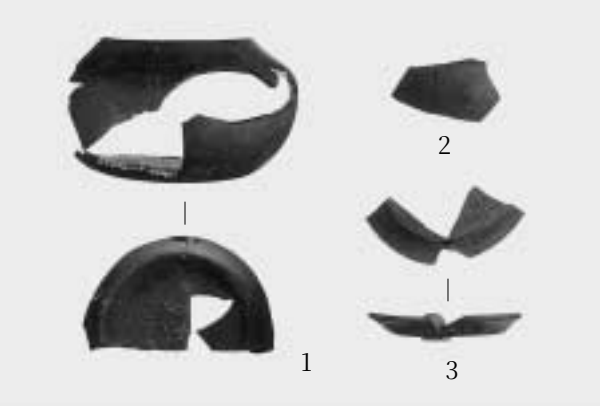
１は急須であり、注口が欠損しているため、全体を窺うことはできない。底部は碁笥底状に成形されている。外底に字款が確認できる。素地は紅紫色。Ａ地区Ｅ－８・１層出土。

２は急須の肩の部分である。小破片のため全体を窺うことはできない。素地は紅紫色。Ａ地区Ｄ－５・１層出土。

３は皿である。胴部から口縁部にかけて外反する。底部に高台は付かない。見込に蓮弁を記す。蓋の可能性もある。口径7.1cm。Ａ地区Ｃ－８・１層出土。



第19図　宜興窯



図版18　宜興窯

第９節　中国産褐釉陶器（第20図）

中国産褐釉陶器は総数369点出土している。小破片が多く、全形を窺える資料が少ない。

１．壷（１～７、９～12）

Ａ類：口縁部が少し窄まり、端部が隅丸状のもの（２）。

Ｂ類：口縁部の断面形態が方形状のもの（３～５）。

Ⅰ　口縁部が少し窄まるもの（３）。

Ⅱ　口縁部が外反し、外面の口唇下部から上部にかけて外向けに直線的な形状のもの（４、５）。

Ｃ類：口縁部が玉縁状のもの（６、７）。

底部：９は底部が高台造りである。10、12は底部が上げ底で、10は底部から直線的に立ち上がる。11は底部が平坦である。

その他：１は口唇端部が欠落しているため不明瞭である。

２．急須（８）

小形で口縁部と思われるものが１点のみ出土している。

第９表　中国産褐釉陶器出土状況

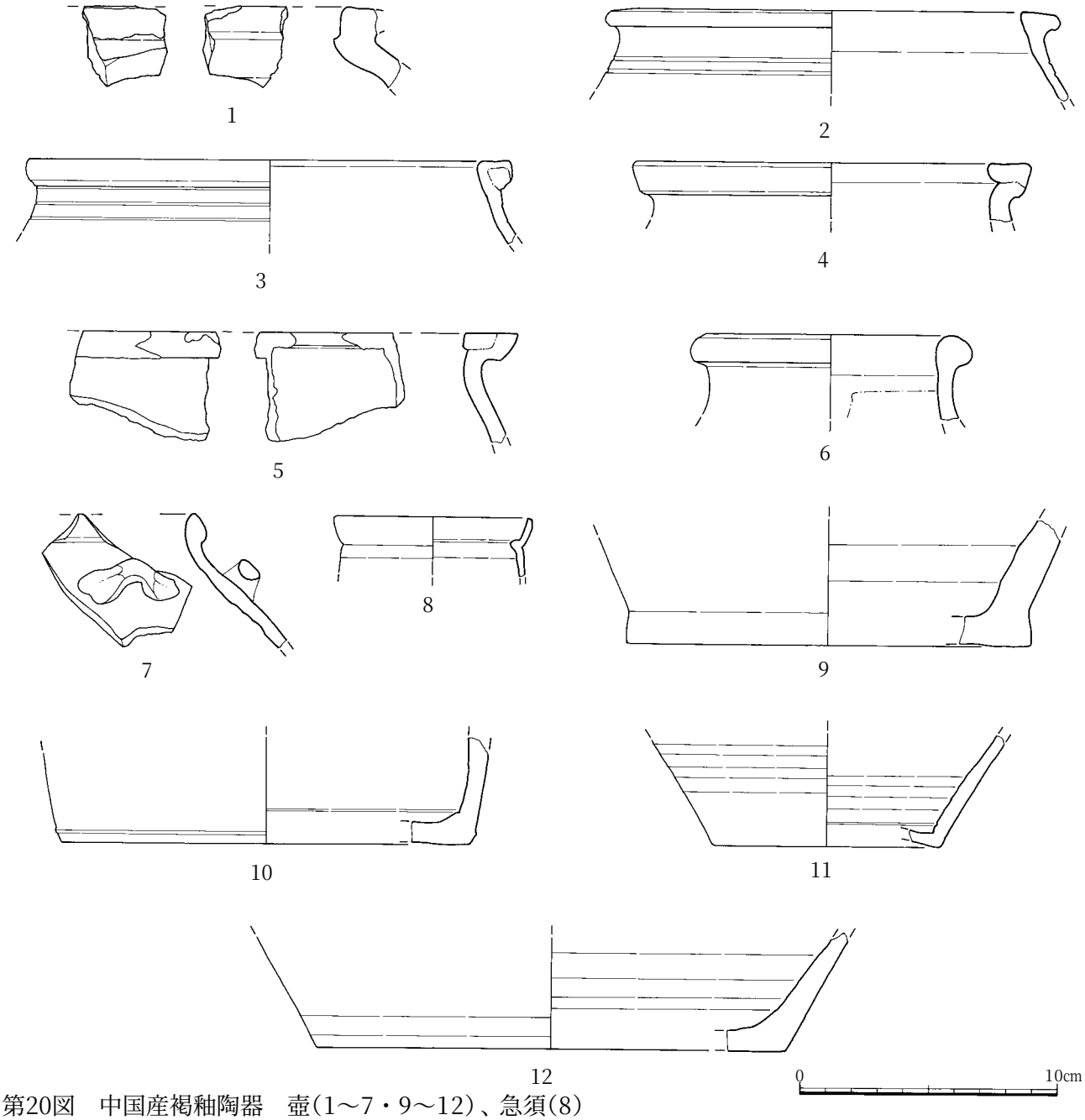
出土地				器種分類	壺						急須	器種不明					合計
					A	B		C	分類不明		口	口	頸	耳	胴	底	
					口	Ⅰ口	Ⅱ口	口	口	底							
A地区	A	3	1層												2	1	3
		5	1層												1		1
		6	1層												3		3
		7	1層									1			3		4
		8	1層												4		4
	B	2	1層												1		1
		4	1層												3		3
		5	1層									1			9		10
		6	1層												2		2
		7	1層											1	3		4
		8	1層						1						8		9
		9	1層												6		6
		10	1層												1		1
	C	2	1層												2		2
		3	1層									1			4		5
		4	1層												5		5
		5	1層												4	1	5
		7	1層							1					5		6
		8	1層			1									11		12
		9	1層												11		11
		10	1層												2		2
		11	1層												8	1	9
	C-12・D-13		1層												1		1
	D	1	1層	1													1
		4	1層												2		2
		5	1層												1		1
		6	1層												1		1
		7	1層				1								27		28
		8	1層						2						11		13
		9	1層												19	1	20
		10	1層												8		8
			1層 6号集石					1				3					4

出土地				器種分類	壺						急須	器種不明					合計
					A	B		C	分類不明		口	口	頸	耳	胴	底	
					口	Ⅰ口	Ⅱ口	口	口	底							
A地区	D	11	1層					1							13		14
		12	1層							1					4		5
		13	1層												1		1
	E	7	1層												2		2
		8	1層							1			2		23		26
			1層 8号集石					1									1
		9	1層												5		5
		12	1層												2		2
	盛土			1	1										9	2	13
	不明											7					7
B地区	B	1	1層												1		1
		2	1層												3		3
		3	1層												1		1
		4	1層												3		3
		5	1層												2		2
	C	1	1層												1		1
		2	1層												4		4
		4	1層												5		5
		5	1層												2		2
	盛土														2		2
	不明														4		4
C地区	き	11	1層								1				20		21
		12	1層												5		5
	く	14	1層												13		13
		15	1層												2		2
	け	13	1層	1					1	1					8	1	12
		15	1層										1		6		7
	こ	13	1層												1		1
	表採														8	1	9
不明															8		8
合計				3	2	1	3	4	4	1	3	10	1	329	8	369	

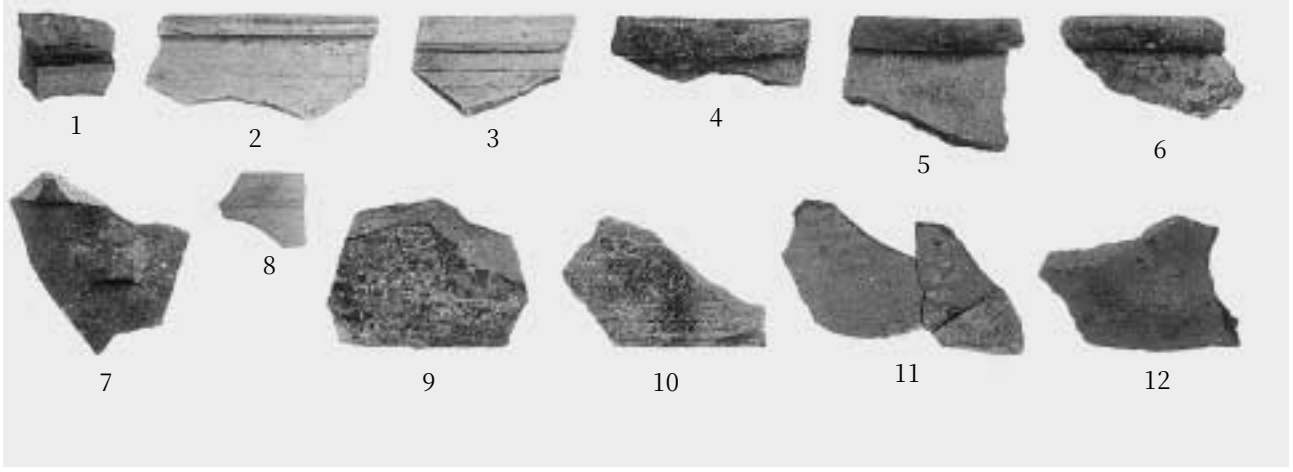
第10表　中国産褐釉陶器観察一覧

単位：cm

図	番号	器種	分類	部位	口径 器高 底径	文様・成形等の特徴	素地	釉色・施釉状況等	出土地
第20図（図版19）	1	壺		口縁部	— — —	口唇部上面に小さい凹みがある。口縁の端部は欠落。	灰色で、微量の白色粒を含む。	黒褐色の釉を施釉。両面ともに厚く施釉。	A地区 D－8　1層
	2		A	口縁部	17.8 — —	両面に細かい轆轤痕。外面頸部中央に沈線を二本施している。	橙色で、微量の石英を含む。	釉が剥げている。口唇部から内面は露胎。	A地区　盛土
	3		B－Ⅰ	口縁部	19.0 — —	口唇部の断面形態が方形状。口唇部上面に小さい凹みがある。内面に轆轤痕。外面頸上部に一本、頸部中央に二本沈線を施す。	橙白色で、微量の石英を含む。	釉が剥げている。	A地区 C－8　1層
	4		B－Ⅰ	口縁部	15.6 — —	口縁部の断面形態が方形状。口唇部上面に細かい轆轤痕。	茶紫色で、白色粒子を含む。	黒褐色の釉を施釉。外面は厚く施釉。口唇部は露胎。	A地区　盛土
	5		B－Ⅱ	口縁部	— — —	小形の壷？口縁部の断面形態が方形状。口唇部上面に細かい轆轤痕。	茶褐色で、白色粒子を含む。	黄灰色の釉を施釉。口唇部内面は露胎。	A地区 D－7　1層
	6		C	口縁部	11.0 — —	口縁部は玉縁状に成形。内面に轆轤痕。	暗橙灰色で、石英を含む。	暗灰褐色の釉を施釉。	A地区 E－8　1層 8号集石
	7		C	口縁部	— — —	口縁部を玉縁状に成形。肩上部に横耳を貼りつけている。	橙灰色で、微量の石英を含む。	暗褐色の釉を施釉。	A地区 D－10　1層 6号集石
	8	急須		口縁部	7.8 — —	やや小形の器形。外面に細かい轆轤痕。	灰白色	釉が剥げている。	C地区 き－11　1層
	9	壺		底部	— — 15.9	微弱な高台になっている。	黄灰色で、微量の白色粒子を含む。	暗黄色の釉を施釉。外面は厚く施釉。	C地区 け－13　1層
	10			底部	— — 16.0	底部が上げ底で、底部から直線的に立ち上がる。両面に細かい轆轤痕。	橙紫色で、微量の白色粒子を含む。	暗緑黄色の釉を施釉。外底は露胎。	A地区 D－12　1層
	11			底部	— — 9.0	底部が平坦になっている。両面に轆轤痕。	暗紫色で、白色粒子を含む。	釉が剥げている。	A地区 E－8　1層
	12			底部	— — 18.4	底部が上げ底になっている。両面に細かい轆轤痕。	茶褐色で、微量の白色粒子を含む。	釉が剥げている。	A地区 C－7　1層



第20図　中国産褐釉陶器　壺(1～7・9～12)、急須(8)



図版19　中国産褐釉陶器

第10節　タイ産褐釉陶器（第21図）

タイ産褐釉陶器は総数32点出土している。小破片が多く、全形の窺える資料が少ない。特徴的な遺物をを図示した。

１は口縁部を玉縁状に成形するもので、小形の壺と思われる。両面に黒褐色の釉を施釉する。口径12.2㎝。Ａ地区Ｅ－７・１層出土。２は口縁部の外反が強く、端部の玉縁状口縁を肥厚させ、外側に垂らす形のもの。口唇部から内面にかけて黄緑色の釉を施釉する。外面は露胎している。口径18.6㎝。Ａ地区Ｅ－８・１層出土。３は口縁部をラッパ状に外反するもので、口唇部を少し突出し、蓋受部を設けている。基本的に両面に黒褐色の釉を施釉するが、内面のくびれの部分から下と、口唇部から外面にかけての釉が剥がれている。口径23.0㎝。Ａ地区Ｂ－６・１層出土。

第11節　タイ産半練土器（第21図）

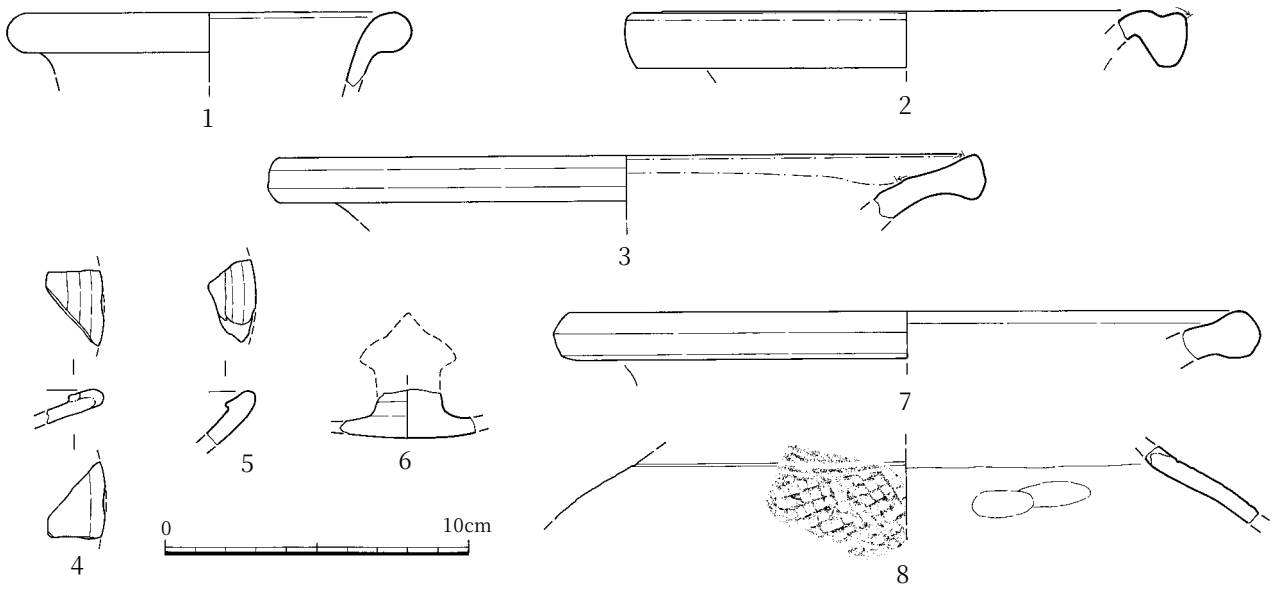
タイ産半練土器は総数14点出土している。小破片が多く、全体の窺える資料がない。蓋３点と身２点の資料を図示した。

蓋の形態は落し蓋と思われるものが確認できた。４は蓋端部を折り曲げて端部に接着させている。Ａ地区Ｄ－３・１層出土。５は蓋端部を折り曲げ、折り曲げた先端部を摘み上げたもの。Ａ地区Ａ－６・１層出土。６は撮と端部が欠落したもの。Ｂ地区Ｃ－５・１層出土。

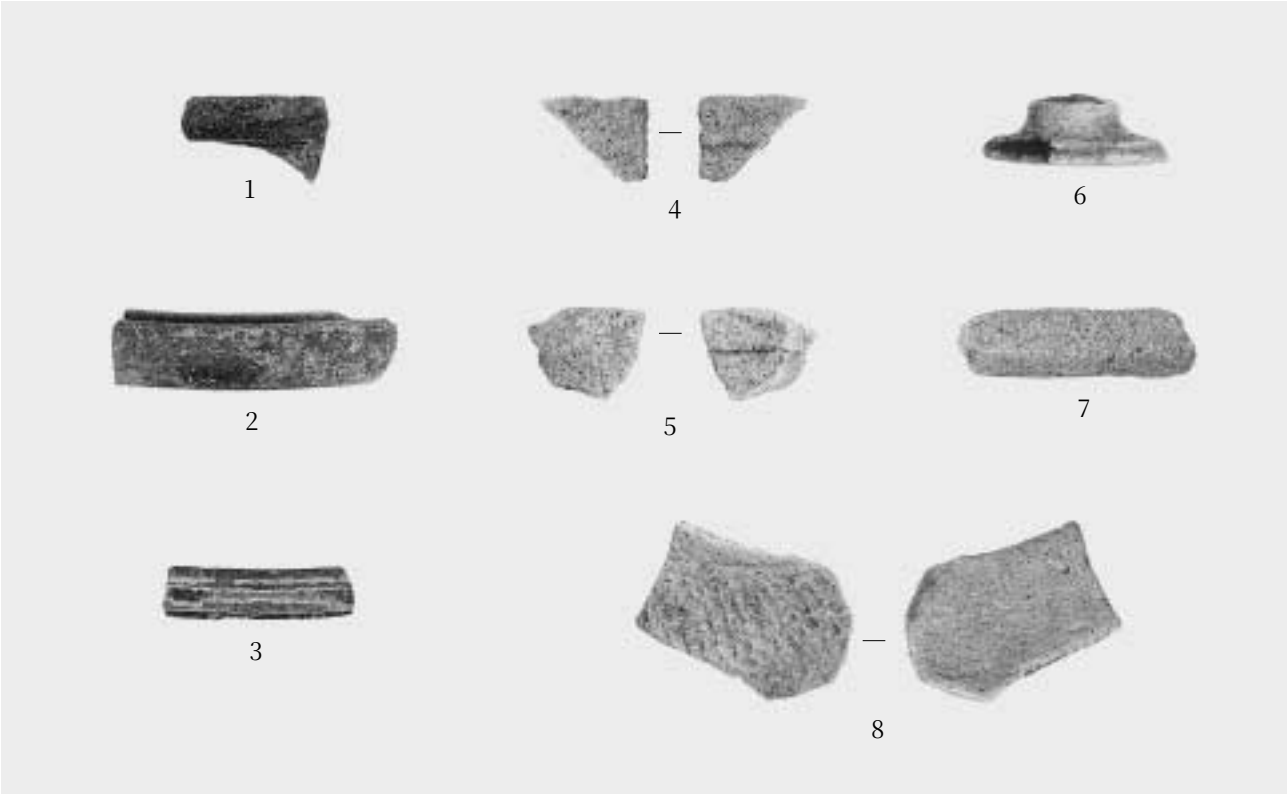
身は壺形の器形と思われるものが確認できた。７の口縁部はラッパ状に外反させ、口唇部を玉縁状に仕上げたもの。口径23.4㎝。Ａ地区Ｃ－11・１層出土。８の胴部外面は格子状のたたき痕がはいっており、内面には調整痕がみられる。Ａ地区出土層不明。

第11表　タイ産褐釉陶器・タイ産半練土器出土状況

出土地＼器種				褐釉陶器		計	半練土器			計
				壺			壺		蓋	
				口	胴		口	胴		
Ａ地区	Ａ	6	１層			0			1	1
		7	１層	1	1	2				0
	Ｂ	6	１層	1	1	2				0
		9	１層	1		1				0
	Ｃ	4	１層		1	1				0
		7	１層		1	1	1			1
		8	１層		4	4				0
		10	１層		1	1				0
		11	１層			0	1	1		2
	Ｄ	3	１層			0			1	1
		7	１層		2	2		1		1
		9	１層		2	2				0
		11	１層		1	1				0
		12	１層		1	1				0
	Ｅ	8	１層	1	1	2				0
		9	１層	1		1				0
	不　明					0		1		1
Ｂ地区	Ａ	2	１層	1		1				0
	Ｂ	2	１層		1	1				0
	Ｃ	5	１層			0			1	1
Ｃ地区	き	11	１層		5	5				0
	く	14	１層			0		1		1
	け	15	１層			0		2		2
	こ	13	２層		1	1				0
	さ･し	14	１層			0		1		1
	不　明				3					0
不　明						0		2		2
合　計				6	26	32	2	9	3	14



第21図　タイ産褐釉陶器　壺(1～3）タイ産半練土器　壺(4～6)、壺形(7・8）



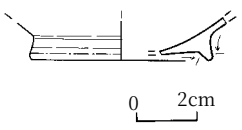
図版20　タイ産褐釉陶器・タイ産半練土器

第12節　その他の陶磁器

その他の陶磁器として、ベトナム産陶器、産地不明陶器が出土している。以下に詳細を記す。

１．ベトナム産陶器（第22図）

ベトナム産と考えられる資料が１点出土している。内外面ともに貫入が見られ、畳付部は露胎。15～17世紀？底径6.0cm。A地区C－11・１層出土。

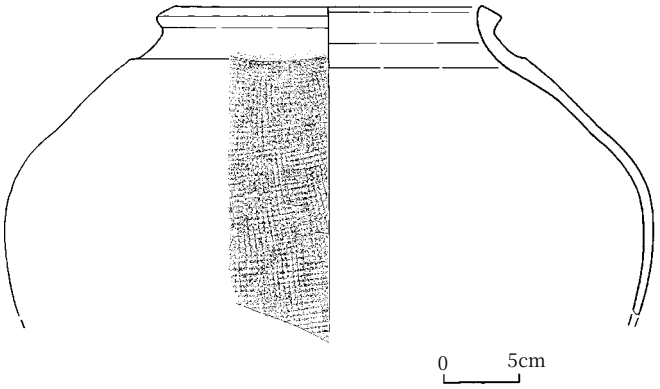


第22図　ベトナム産陶器

図版21　ベトナム産陶器

２．産地不明陶器（第23図）

壺が１点確認されている。肩の部分から頸の部分へやや直線的に至り、頸で一旦窪んでから口縁部へと至る。口縁部の断面は三角形を呈する。外面胴部は格子状の叩きにより調整されている。素地は紫色で、白色粒子を含む。無釉。口径22.8cm。Ａ地区Ｄ－10・１層出土。

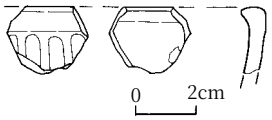


第23図　産地不明陶器

図版22　産地不明陶器

第13節　本土産青磁（第24図）

本土産青磁は一点のみの出土である。出土したのは肥前産青磁の口縁部で、器種は香炉と思われる。口縁部は内側に折れ、口唇部は平坦である。外面は箆彫りの蓮弁文が施される。素地は白色で、釉は緑灰色の釉を施釉。Ａ地区Ｃ－７・１層出土。



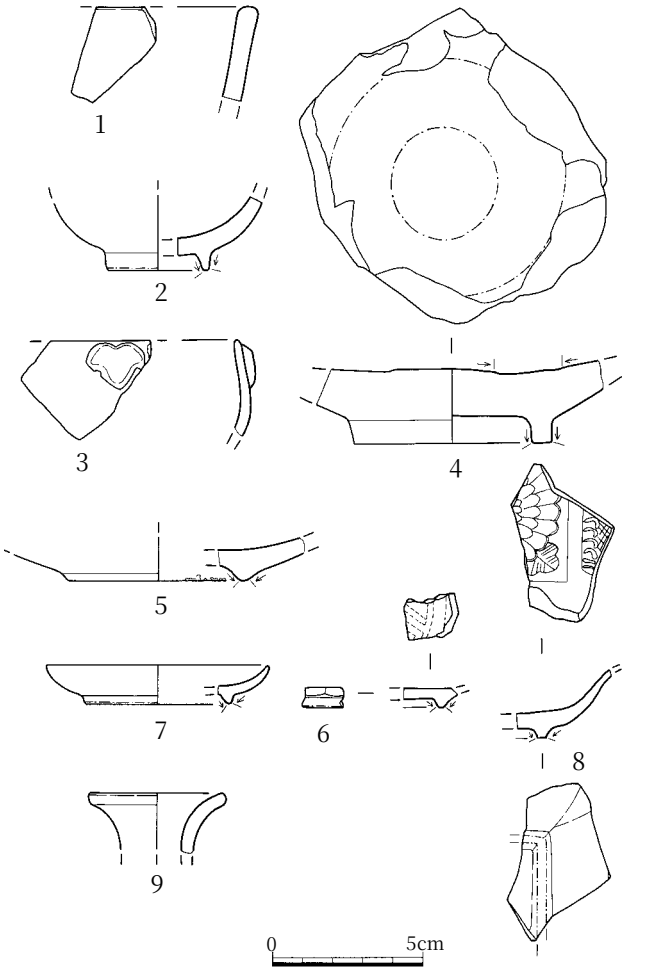
第24図　本土産青磁

図版23　本土産青磁

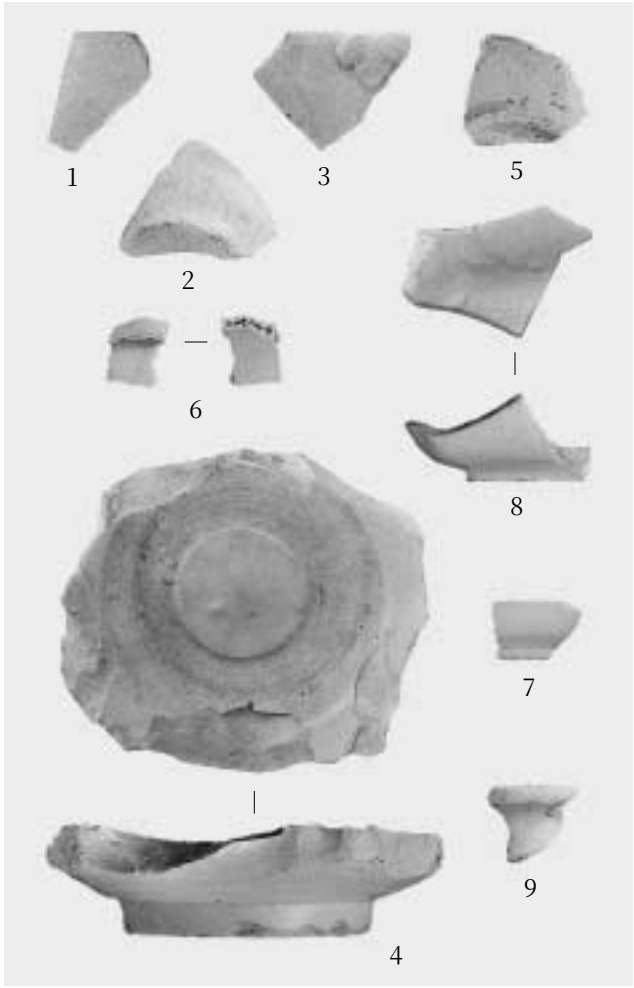
第14節　本土産白磁（第25図）

本土産白磁は総数62点出土している。器種は碗、小碗、皿、鉢、瓶等である。時期としては17世紀以降のものが多く、産地は肥前が多く、その他に瀬戸・美濃系が確認されている。出土地は大部分がＡ地区であり、Ｂ地区・Ｃ地区はほとんど確認できていない。全体を窺うことのできるものが少ないため、特徴的なものを図化した。

１は口縁部が直口する碗である。文様は無く、内外面に細かい貫入が入る。素地は白色。Ａ地区Ｂ－８・１層出土。２は碗の底部片である。文様は無く、内外面に粗い貫入が入る。素地は白色で緻密である。畳付は露胎。底径3.4cm。Ｃ地区けー13・１層出土。３は鉢の口縁部片である。口縁部に花文を貼付する。内外面に細かい貫入が入る。素地は白色。陶器の可能性もある。Ｂ地区Ｂ－２・１層出土。４は皿の底部片である。文様は無い。素地は白色で緻密。見込は蛇の目状に釉が剥がれている。畳付は露胎。外底に砂？が付着。底径6.5cm。肥前。試掘出土。５は皿の底部片である。高台は低く成形されており、胴部と高台の境が明瞭でない。文様は無い。素地は灰色で緻密。釉は濁る。畳付は露胎。高台内側に籾殻？が多く付着している。底径6.0cm。肥前。Ａ地区Ｃ－４・１層出土。６は皿の底部片である。胴部と高台の境が明瞭でない。見込には型押しの寿字文が入る。素地は白色で緻密。畳付は露胎。瀬戸・美濃系。Ａ地区Ｃ－４・１層出土。７は口縁部が直口する皿である。文様は無い。素地は白色。畳付は露胎。口径7.4cm、器高1.3cm、底径5.5cm。瀬戸・美濃系。Ａ地区Ｄ－８・１層出土。８は角皿である。見込は方形に区画された内部を菊花による草花文を施す。胴部内面は、区画された内部を波濤文及び格子文を施す。素地は白色で緻密。釉は僅かに灰色を帯びる。畳付は露胎。瀬戸・美濃系。Ａ地区Ｄ－10・１層出土。９は瓶の口縁部片である。頸及び口縁部は緩やかな曲線を描くが、口唇部はやや立ち上がる。素地は白灰色。熱を受けたと考えられる気泡が全体に確認できる。口径4.6cm。肥前。Ｃ地区く－15・１層出土。



第25図　本土産白磁　碗(1・2)、皿(4～8)、鉢(3)、瓶(9)



図版24　本土産白磁

第15節　本土産染付（第26図）

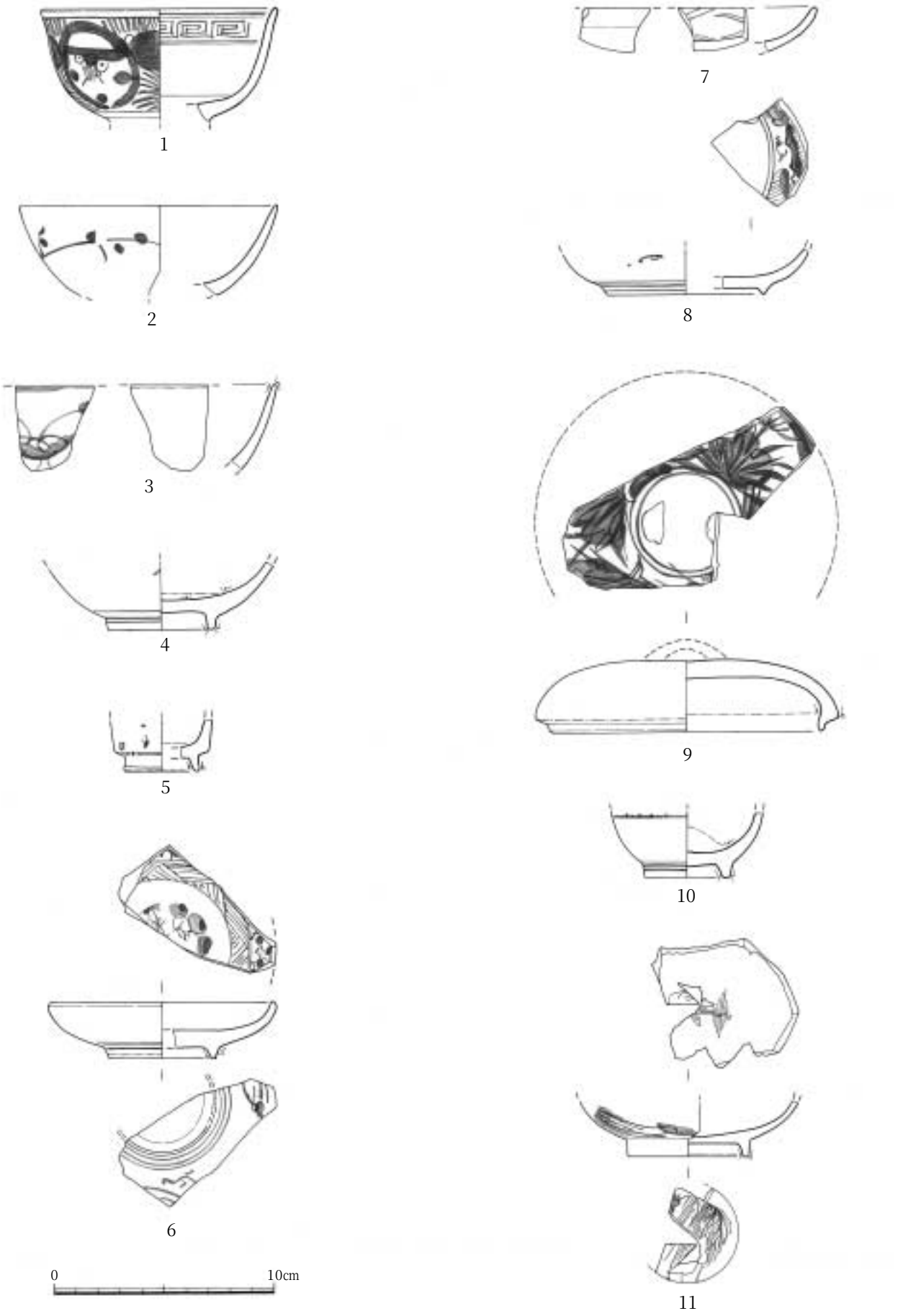
本土産染付は総数168点出土した。器種は碗、小碗、皿、蓋、瓶等が確認されており、数量は碗が最も多い。産地は肥前が多く、僅かではあるが、薩摩も検出されている。時期的には18世紀以降のものが主となっている。

１は碗である。口縁部は直口する。高台が欠損しており、全体は窺えない。文様は外面に雨龍文？及び花文を施し、内面口縁部には雷文帯を施す。素地は白色。肥前。口径10.8㎝。Ａ地区Ｄ－10・１層出土。２は碗である。口縁部は直口する。文様は外面に草花文を施す。素地は灰白色。肥前。口径11.8㎝。Ａ地区Ｅ－13・１層出土。３は直口口縁の碗である。文様は外面に草花文を施す。素地は白色。口唇部内側は釉が薄い。肥前。Ａ地区Ｃ－４・１層出土。４は碗の底部である。文様で確認できるのは、高台際の圏線である。素地は白灰色。畳付は露胎で、見込は蛇の目釉剥ぎ。肥前。底径4.8㎝。Ａ地区Ｄ－３・１層出土。５は小杯の底部である。角の明瞭でない八角になると考えられる。文様は高台際に圏線があり、胴部にも文様はあるが、釉が濁っており、明瞭でないため特定できない。素地は白色。畳付は露胎。肥前。底径3.4㎝。Ａ地区Ｄ－２・１層出土。６は皿である。口縁部は僅かに内弯する。文様は外面に草花文、内面胴部に草花文、見込に網代文及び草花文を施す。素地は白色。畳付は露胎。底径4.8㎝。Ａ地区Ｂ－７・１層出土。７は皿の口縁部片である。文様は内面に認められる。素地は白灰色。薩摩。Ａ地区Ｄ－10・１層出土。８は皿の底部である。文様は外面高台際に圏線、内面胴部に草花文？が施される。素地は白色。釉は濁る。畳付及び外底は露胎。肥前。底径7.2㎝。Ａ地区Ｃ－11・１層出土。９は蓋である。外面中央の欠損部分は把手がついていたと推測される。文様は外面に草花文が施される。素地は白灰色。庇部及び実受け部は露胎。口径13.8㎝、器高3.3㎝、底径12.0㎝。Ａ地区Ｄ－10・１層出土。10は瓶の底部である。胴部中位より上が欠

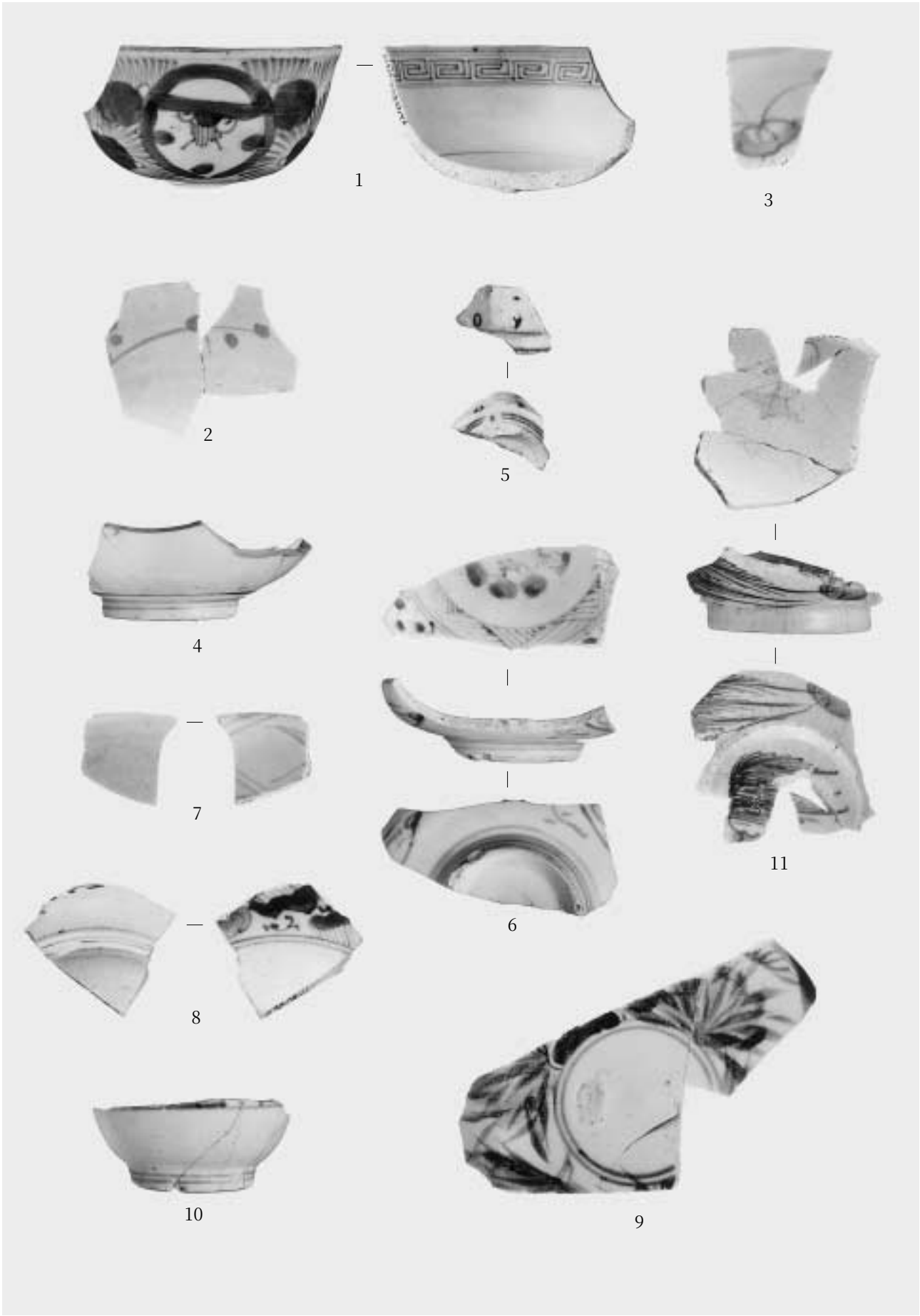
損しているため全体は窺うことができない。文様は高台外面に圏線が施される。畳付及び内面は露胎。肥前。底径3.8㎝。A地区D－11・1層出土。11は皿である。内外面に柳文が施される。素地は白色。全体に粗い貫入が入る。底径5.6㎝。A地区B－7・1層出土。

第12表　本土産染付出土状況

出土地＼器種				碗			小碗		小杯	皿		蓋	瓶	袋物		器種不明			合計
				口	胴	底	口	底	底	口	底		底	胴	底	口	胴	底	
A地区	A	6	1層		1					1					1				3
		7	1層					1		1		1		1					4
	B	4	1層		2	1						1		1					5
		5	1層	2															2
		6	1層	2		1	1			1	1	2						1	9
		7	1層	1			1			1	1	1							5
		8	1層							1									1
		8	1層	1	1														2
	C	2	1層	1	1													1	3
		3	1層	1	1						1			2					5
		4	1層	1	2					1		2		1					7
		5	1層											1			1		2
		7	1層	1	3							1						1	6
		8	1層	2	3							1		1					7
		9	1層		3	1								1			1	1	7
		10	1層								1	1							2
		11	1層	1	1			1		1	1								5
	D	2	1層		1				1										2
		3	1層			1													1
		4	1層									1							1
		5	1層	2															2
		7	1層	2	4		1			1	1	1			1		1		12
		8	1層	3	1									1	1		2		8
		9	1層		4									3					7
		10	1層	1	2	1				1		1		1	1				8
		11	1層	2									1						3
		12	1層	1													1		2
	E	7	1層		2	1								2					5
		8	1層	4	4	1						1		2		1	1		14
			1層 8号集石		1														1
		9	1層	2	1														3
			1層	1															1
	盛　土				5									1		1			7
	不　明													2					2
B地区	B	1	1層		1														1
		4	1層													1			1
	盛　土				1				1										2
C地区	け	13	1層														2		2
		15	1層	1			1												2
	こ	15	1層	1														1	2
	不　明						1												1
不　明					1		1				1								3
合　計				33	46	7	6	2	1	10	7	14	1	20	4	3	9	5	168



第26図　本土産染付　碗(1～4)、小杯(5)、皿(6～8・11)、蓋(9)、瓶(10)



図版25　本土産染付

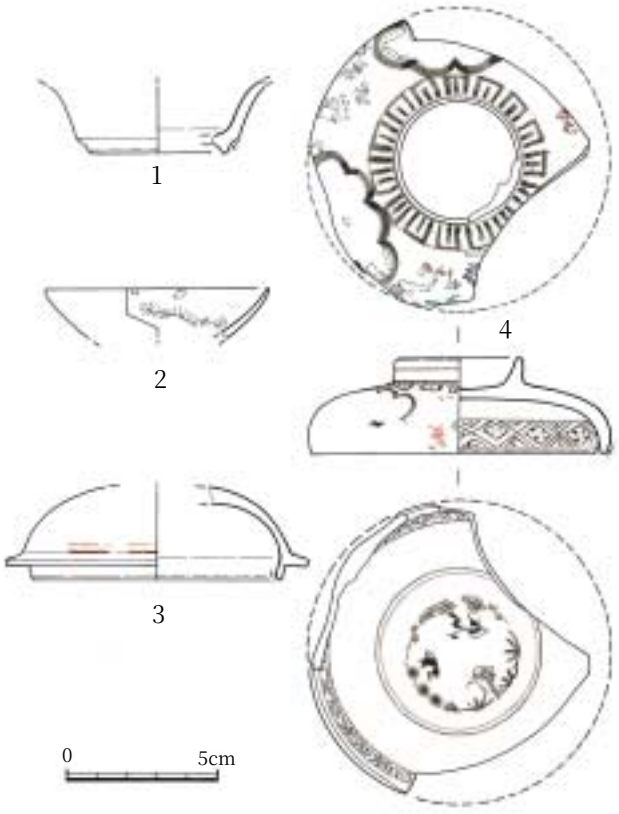
第16節　本土産色絵（第27図）

本土産色絵は総数29点出土している。器種は、碗、小碗、皿、小杯、蓋が確認されている。時期は17世紀以降のものが多い。産地は肥前、瀬戸・美濃系が多い。

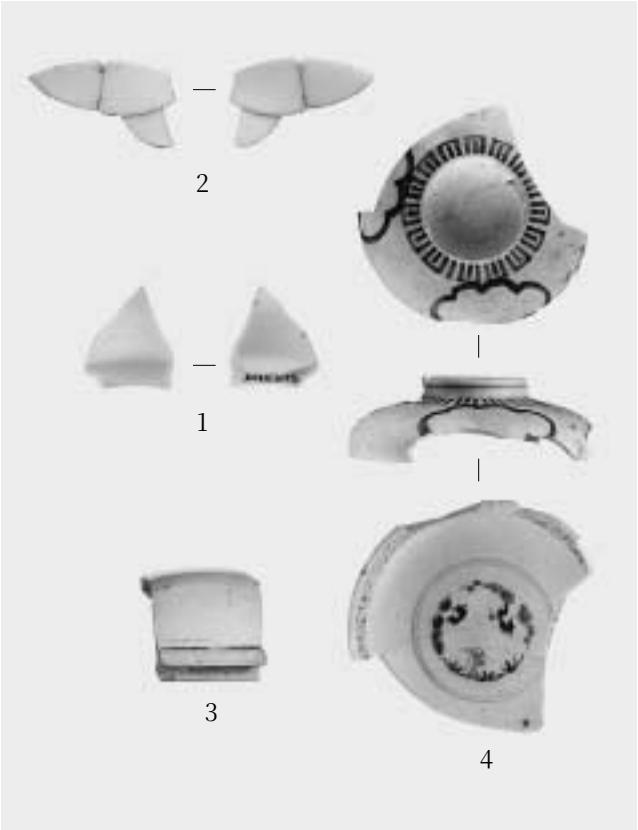
１は皿の底部である。高台際から口縁部へ外反する。高台は露胎。素地は白色。底径4.4㎝。瀬戸・美濃系。Ａ地区Ｄ－13・１層出土。２は皿の口縁部である。内面に植物が描かれる。素地は白色。口径7.4㎝。瀬戸・美濃系。Ａ地区Ｂ－７・１層出土。３は蓋である。肩部と庇部の境に赤色により圏線が巡る。素地は白色。身受け部及び口唇部外面は露胎。口径10.0㎝、底径8.1㎝。肥前。Ａ地区Ｅ－８・１層出土。４は蓋である。外面に蓮弁文及び雲文等を、内面に四方襷文及び草花文を施す。素地は白灰色。摘み径4.2㎝、器高3.1㎝、口径9.8㎝。摘み部上端は露胎。肥前。Ａ地区Ｅ－８・１層出土。

第13表　本土産色絵出土状況

出土地＼器種				碗		小碗		皿		小杯		蓋	器種不明	合計
				口	胴	口	胴	口	底	口	胴		底	
A地区	A	5	１層		1									1
	B	5	１層				2							2
		6	１層	1										1
		7	１層					1						1
		9	１層		1									1
	C	2	１層						1					1
		4	１層								1			1
		10	１層										1	1
	D	7	１層	1	1		1		2					5
		8	１層				1			1				2
		9	１層				1							1
		12	１層	1										1
		13	１層						1	2				3
	E	7	１層	1										1
		8	１層			1	1					2		4
	盛　土			1										1
不　明				1	1									2
合　計				6	4	1	6	1	4	3	1	2	1	29



第27図　本土産色絵　皿(1・2)、蓋(3・4)



図版26　本土産色絵

第17節　本土産陶器（第28図）

本土産陶器は総数104点出土している。器種は碗、小碗、皿、盤、瓶、壺、急須等が確認されている。産地は肥前、薩摩、関西系が確認されている。時期は15世紀代の遺物は小量で、17世紀以降のものが主である。個々の観察については、第15表の観察表に記す。

第14表　本土産陶器出土状況

出土地				碗		小碗		皿		盤	瓶	壺	鉢	擂鉢		急須						袋物	蓋	器種不明		合計
				胴	底	口	底	口	底	胴	底	胴	口	口	底	口	取手	注口	胴	底	蓋	胴		注口	胴	
A地区	A	4	1層		1																					1
		5	1層					1																		1
		6	1層					2				2			1											5
		7	1層			1												1							1	3
		8	1層					1																		1
		9	1層					1																		1
	B	5	1層									1														1
		6	1層			1		1								1	1									4
		8	1層																			1			2	3
		9	1層	1																						1
	C	3	1層	2														1	1	1					2	7
		4	1層	1				1																		2
		5	1層	1																						1
		7	1層	1	1																					2
		8	1層												1				3							4
		9	1層												1					2						3
		10	1層									1														1
		11	1層							1													1			2
	D	2	1層	1	1																					2
		5	1層	1																	1				1	3
		6	1層		1			1											1					1		4
		7	1層			2		1				2										2				7
		8	1層	2									1					1							1	5
		9	1層	1		1	1					1							1							5
		10	1層	1								1							1							3
		11	1層					1							1											2
		12	1層																						1	1
	E	8	1層		1				1				1		1								1		1	6
		9	1層																1			1			1	3
	盛土											2			1	1	1									5
	不明													2												2
C地区	き	11	1層																				2			2
	く	14	1層									1														1
	け	13	1層																						1	1
	こ	13	2層	2																					1	3
		15	1層					1			1															2
	表採																						1			1
不明											1				1										1	3
合計				14	5	5	1	11	1	1	2	11	2	2	7	2	2	3	8	3	1	4	5	1	13	104

第15表　本土産陶器観察一覧ａ

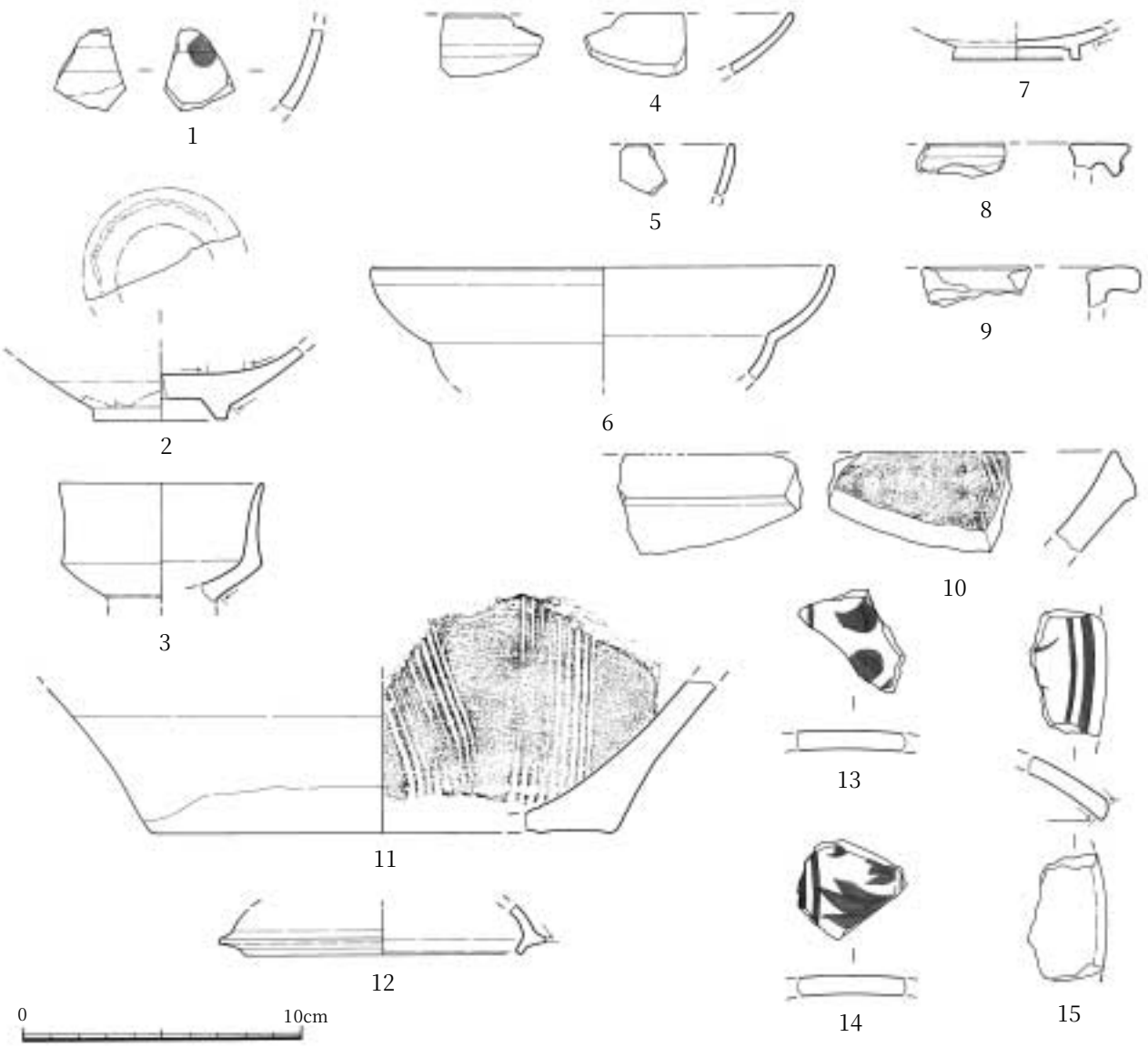
単位：cm

図	番号	器種	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第28図（図版27）	1	碗	胴部	－	－	－	内外面に呉須で施文される。素地は褐色。釉は灰色が強く、外面下位は露胎。	C地区 こ－13　2層
	2		底部	－	－	4.7	高台内側は深く成形されている。素地は褐色。内外面に灰釉が施釉され、外面は胴部下位より露胎となり、内面は見込が蛇の目釉剥ぎされている。蛇の目釉剥ぎされている部分に砂若しくは籾殻が付着。薩摩。	A地区 C－7　1層
	3	小碗	口縁	7.4	－	－	腰部が張出し、口縁部へ緩やかに外反するように至る。素地は灰白色。内外面に灰釉？が施釉。	A地区 D－9　1層
	4	皿	口縁	－	－	－	内面に施釉されるが、磨耗により明瞭ではない。素地は乳白色。肥前。	C地区 こ－15　1層
	5		口縁	－	－	－	内外面に銅緑釉が施釉される。素地は乳白色。内野山？。	A地区 B－6　1層
	6		口縁	16.8	－	－	胴部中位で立上る角度を変え、口縁部は花鉢状に開く。磨耗により釉は落ちている。素地は乳白色。肥前。	A地区 A－5　1層
	7		底部	－	－	4.6	内外面に灰釉が施釉される。素地は白灰色。関西系。	A地区 A－6

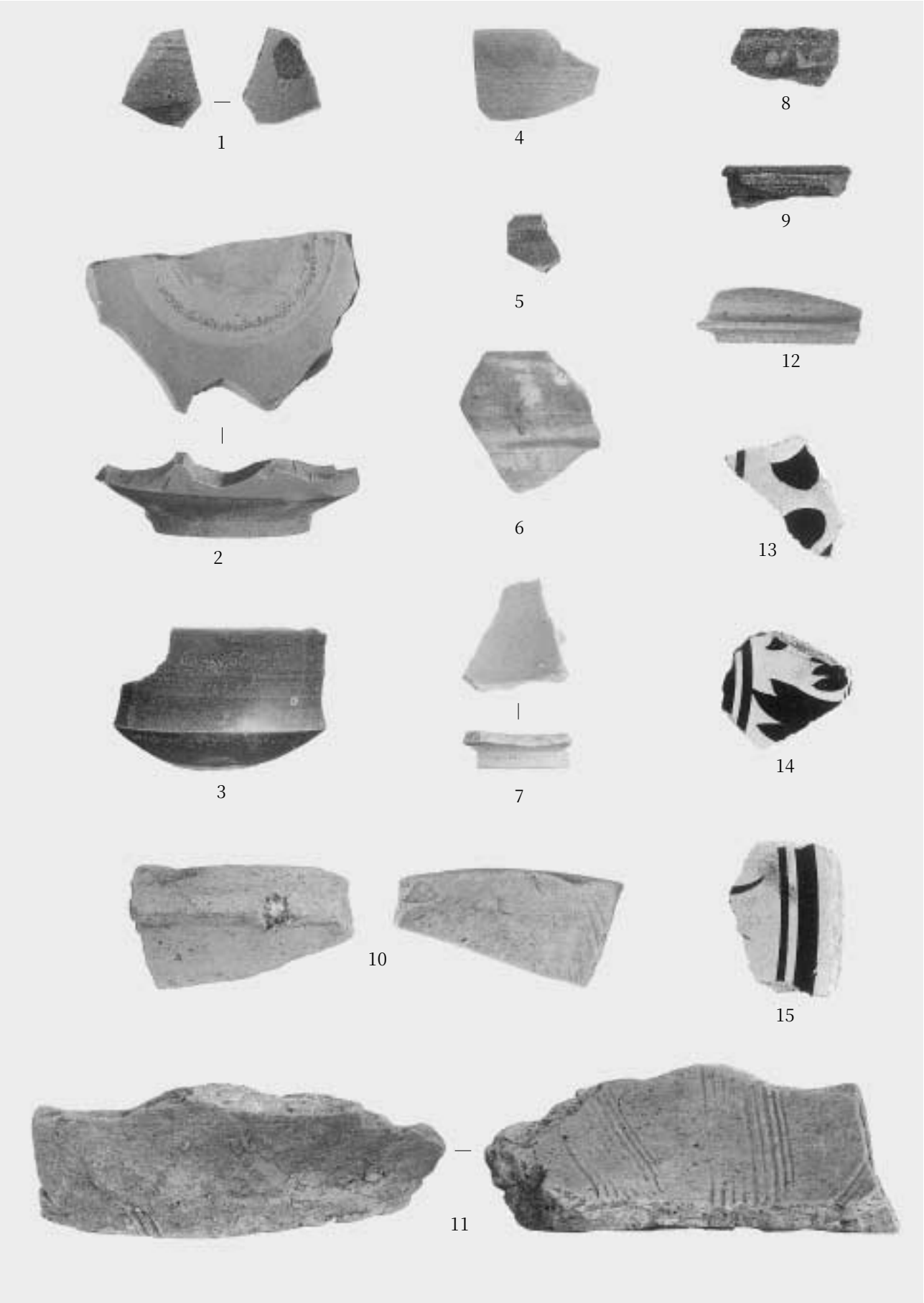
第15表　本土産陶器観察一覧ｂ

単位：cm

図	番号	器種	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第28図（図版27）	8	鉢	口縁	－	－	－	口縁部及び口唇部で窪みを入れる。黒色の釉を施釉。素地は紫茶色。薩摩。	A地区 E－8　1層
	9		口縁	－	－	－	鉄砂釉を内外面に施釉。素地は褐色。薩摩。	A地区 D－8　1層
	10	擂鉢	口縁	－	－	－	口唇部外面に僅かに突出部を造る。素地は明褐色で白色粒子を含む。肥前。	A地区 出土層不明
	11		底部	－	－	16.8	内面に９本で１束の擂目を施す。素地は明褐色で白色粒子を含む。肥前。	A地区 D－11　1層
	12	蓋	肩部	11.8	－	10.0	外面に透明釉を施す。素地は白灰色。肥前。	A地区 C－11　1層
	13		肩部	－	－	－	外面に草花文を施す。内外面に透明釉を施す。素地は乳白色。瀬戸・美濃系。	C地区 き－11　1層
	14		肩部	－	－	－	外面に草花文を施す。内外面に透明釉を施す。素地は乳白色。瀬戸・美濃系。	C地区 き－11　1層
	15		肩部	－	－	－	外面に草花文を施す。内外面に透明釉を施す。素地は乳白色。瀬戸・美濃系。	C地区　表採



第28図　本土産陶器　碗(1・2)、小碗(3)、皿(4～7)、鉢(8・9)、擂鉢(10・11)、蓋(12～15)



図版27　本土産陶器

第18節　沖縄産施釉陶器（第29～33図）

釉薬を塗布するもので「上焼（ジョウヤチ）」と呼称されるものである。器種は碗、小碗、皿、小杯、瓶、壺、鉢、鍋、急須等があり、釉薬も灰釉、鉄釉、黒釉、白釉、透明釉が確認されている。各分類の概要を述べ、個々の観察については、第17表の観察表に記す。

１．碗（１～12）

A類：高台から口縁部へかけてやや直線的に立上るもの。灰釉（A－１）、鉄釉（A－２）がある。
B類：口縁が端反し、腰部が丸味を帯びると考えられるもの。
C類：口縁部は外反し、高台際の削りが不明瞭なもの。
D類：C類と同器型で、自化粧を施し、文様を描く。釉を掛け分ける。

２．小碗（13～20）

A類：口縁部が外反するもの。掛分け（A－１）、白化粧（A－２）がある。
B類：胴部が面取りされ、口縁部が端反のもの。
C類：高台際から口縁へ丸味をもつもの。

３．小杯（21）

口縁部は直口し、高台際に削りが認められる。

４．皿（22～25）

皿は出土数が少なく、分類はできないが、口縁形態をみると、内弯（21）、口唇部が立上るもの（22）等がある。

５．鉢（26～34）

A類：口縁部が内弯するもの（26）。
B類：口縁部を外側に折り曲げるもので、短いもの（B－１）、長いもの（B－２）がある。
C類：口縁部を玉縁状に肥厚させるもの（31）。

６．鍋（35・36）

口縁部が「く」字に屈曲するもので、耳がつくもの（36）もある。

７．急須（37～41）

全体が球形をするもので、肩部に把手を取付けるためのものを貼付し、底部に円錐状の脚部を３個貼付する。

８．瓶（42～47）

口縁部が朝顔状に開くもの（43・44）、底部に脚部が付くもの（42・45）、胴部に獣面を貼付するもの（47）がある。

９．酒器（48～51）

胴部が丸味を帯びるものが確認されている。

10．香炉（52～54）

口縁部下位に孔を巡らすもの（52）、頸部を垂直に立上げ、口縁部を外反させるもの（53）があり、底部では獣面の脚部を貼付けるもの（54）がある。

11．火取（55～58）

底部から口縁部にかけて垂直に立上るもの（55～57)、胴部及び口縁部が内弯するもの（58）がある。

12. 火炉（59・60）

59は底部であり、胴部が垂直に立上る。外底に銘あり。60は内面口縁部に平面が三角形の器物受を貼付するものである。

13. 蓋（61～67）

A類：摘み及び庇をもつ、急須等の蓋である。

B類：皿を伏せた器形であり、鍋の蓋である。

C類：壺に対応するものである。

13. 壺（68～70）

68は耳が縦位の四耳壺である。底部に焼成の際の痕が残る。69・70は小型の壺で、胴部で大きく膨らみ、直線的な頸部を経て、口縁部が外反する。

14. 灯明具（71）

小型の皿状を呈する。全面に鉄釉を施釉する。

15. 碍子（72）

電気関係の部品と考えられる。

第17表　沖縄産施釉陶器観察一覧ａ

単位：cm

図	番号	器種・分類	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第29図（図版28）	1	碗/A－1	口～底	13.3	6.3	6.5	畳付及び周辺に細かい砂粒が付着。灰釉を内外面胴部中位まで施釉。素地は灰白色。	A地区 D－10　1層 6号集石
	2	碗/A－2	口～底	13.2	6.6	6.2	口縁部で僅かに肥厚する。鉄釉を内外面胴部下位まで施釉。素地は淡黄色。	A地区 E－8　1層
	3	碗/B	口縁	12.0	－	－	口縁部は端反となっている。焼成の際に溶着した跡が、胴部に残る。鉄釉。素地は橙色。	A地区 D－7　1層
	4		口縁	12.4	－	－	口縁部は端反である。鉄釉を施釉する。素地は乳白色。	C地区 さ－13　2層
	5	碗/C－1	口縁	－	－	－	外面に鉄釉、内面に灰釉を掛け分ける。素地は灰白色。	A地区 C－3　1層
	6	碗/C－2	口～底	13.4	6.5	6.3	外面に鉄釉、内面に白化粧を掛け分ける。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。	A地区 D－10　1層
	7	碗/D－1	口～底	13.1	6.4	6.7	腰部に陰圏線２条を巡らす。白化粧。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。	A地区 D－10　1層
	8	碗/D－2	口縁	12.6	－	－	白化粧の上に外面は呉須により草花文を描く。素地は淡黄色。	A地区 D－12　1層
	9	碗/B	底	－	－	5.8	内外面に鉄釉を施釉。素地は淡黄色。見込は蛇の目釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。	A地区 D－3　1層
	10	碗/C－1	底	－	－	6.6	外面に鉄釉、内面に灰釉を掛け分ける。内面胴部及び見込に呉須により圏線を描く。素地は灰色。見込は蛇の目釉剥ぎ。	C地区 こ－13　2層
	11	碗/C－2	底	－	－	6.2	外面に鉄釉、内面は白化粧を施す。見込に鉄釉による花文？を描く。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。内面に細かい貫入が入る。	A地区 A－3　1層

第17表　沖縄産施釉陶器観察一覧b

単位：cm

図	番号	器種・分類	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第29図（図版28）	12	碗/D－2	底	－	－	6.0	白化粧の上に外面は呉須で丸文を描く。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。内外面に粗い貫入が入る。	C地区 こ－15　1層
	13	小碗/A－1	口縁	－	－	－	外面に鉄釉、内面に白化粧を掛け分ける。素地は白灰色。	A地区 C－3　1層
	14		口縁	－	－	－	外面に鉄釉、内面に灰釉を掛け分ける。素地は灰色。	A地区 C－7　1層
	15	小碗/A－2	口縁	－	－	－	外面に呉須で巴文を描く。素地は乳白色。	C地区 け－13　1層
	16		口～底	8.3	4.4	3.8	内外面に白化粧を施し、外面胴部に陰圏線を巡らす。素地は灰色。見込は蛇の目釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。	A地区 D－7　1層
	17	小碗/B	口～底	8.2	4.4	3.8	胴部を面取りする。内外面に白化粧を施す。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。	A地区 B－4　1層
第30図（図版29）	18	小碗/C	口～底	9.0	4.3	4.0	内外面に透明釉を施釉。素地は白灰色。全体に粗い貫入が入る。	A地区 C－4　1層
	19	小碗/A－1	底	－	－	4.0	外面に黒釉、内面に透明釉を掛け分ける。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。	A地区 A－6　1層
	20		底	－	－	4.4	外面に鉄釉、内面に灰釉を掛け分ける。素地は灰色。見込は蛇の目釉剥ぎ。	A地区 E－8　1層
	21	小杯	口～底	4.5	2.5	2.0	外底以外に透明釉を施釉。素地は白灰色。	A地区 C－3　1層
	22	皿	口～底	18.6	4.6	8.4	白化粧の上に内面は呉須で花文及び圏線を描く。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。全体に細かい貫入が入る。	A地区 D－11　1層
	23		口～底	12.2	3.6	6.0	胴部上位で開く。内外面の胴部中まで藁灰釉を掛け、呉須で唐草文？及び圏線を巡らす。素地は淡黄色。	A地区 E－8　1層
	24		口縁	－	－	－	胴部中位及び口縁部で立上る角度を変化させる。白化粧の上に内面は呉須及び鉄釉により格子文を描く。素地は淡黄色。全体に細かい貫入が入る。	A地区 A－3　1層
	25		口縁	－	－	－	白化粧の上に内面は呉須で花文を描く。素地は乳白色。粗い貫入が入る。	C地区 こ－15　1層
	26	鉢/A	口縁	－	－	－	外面は鉄釉、内面は白化粧を掛け分ける。素地は白灰色。内面に粗い貫入が入る。	C地区 け－13　2層
	27	鉢/B－1	口縁	－	－	－	鉄釉を全体に施釉。素地は灰色。粗い貫入が入る。	C地区 こ－15　1層
	28		口縁	－	－	－	口縁部を僅かに外側へ出す。内面口縁部に圏線を巡らす。釉は灰釉。素地は灰白色。細かい貫入が入る。	A地区 D－7　1層
	29	鉢/B－2	口縁	－	－	－	外面に鉄釉、内面に白化粧を掛け分ける。素地は乳白色。内面に粗い貫入が入る。	A地区 B－4　1層
	30		口縁	－	－	－	外面に鉄釉、内面に灰釉を掛け分ける。素地は灰色。	A地区 盛　土
	31	鉢/C	口縁	－	－	－	内外面に白化粧を施す。素地は乳白色。細かい貫入が入る。	A地区 D－10　1層

第17表　沖縄産施釉陶器観察一覧ｃ

単位：㎝

図	番号	器種・分類	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第30図（図版29）	32	鉢/Ｂ－１	底	－	－	10.0	外面に鉄釉を施す。素地は灰白色。	Ａ地区 Ｅ－９　１層
	33	鉢/Ｂ－２	底	－	－	9.4	外面に鉄釉、内面に透明釉を掛け分ける。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。	Ａ地区 盛　土
	34	鉢/Ｃ	底	－	－	9.4	白化粧を施す。素地は乳白色。見込は蛇の目釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。	Ａ地区 Ｄ－８　１層
第31図（図版30）	35	鍋	口縁	16.4	－	－	外面は胴部中位まで、内面は口縁部以外に鉄釉が施される。胴部下位に煤が付着。素地は橙色。	Ａ地区 Ｅ－８　１層
	36		口縁	16.0	－	－	口縁部に横耳を貼付する。釉は口縁部以外鉄釉を施釉する。素地は灰色。	Ａ地区 Ｅ－８　１層
	37	急須	口縁	6.3	－	－	胴部上位を飛鉋にて刻文及び２条の圏線を描く。釉は灰釉。素地は灰白色。	Ａ地区 Ｄ－７　１層
	38		口縁	6.4	－	－	肩部に三角形の耳を貼付する。文様は白化粧を下地として、肩部に線彫りし、その上に呉須、灰釉及び緑釉で彩色している。素地は橙色。	Ｂ地区 盛　土
	39		底	－	－	5.8	円錐状の脚部を貼付している。釉は外面に藁灰釉を下地とし、緑釉を掛ける。素地は灰白色。	Ａ地区 Ｄ－10　１層 ６号集石
	40		口～底	9.6	12.3	9.7	肩部に三角形の耳を１対貼付し、底部には円錐状の脚部を３脚貼付する。外面底部以外、内面底部に鉄釉を施釉。	不　明
	41		胴	－	－	－	把手である。全体に鉄釉を掛ける。素地は灰色。	Ａ地区 Ｄ－６　１層
	42	瓶	胴	－	－	7.2	脚部である。外面に鉄釉を掛ける。素地は灰色。	Ｃ地区 く－15　１層
	43		口縁	5.2	－	－	朝顔状に開く。白化粧を下地として口縁部に呉須を掛ける。素地は乳白色。粗い貫入が入る。	Ｃ地区 き－11　１層
	44		口縁	5.5	－	－	朝顔状に開く。外面及び内面口縁部に鉄釉を施釉。素地は乳白色。	Ａ地区 不　明
	45		底	－	－	－	脚部は欠損している。脚部の根元で陽圏線を巡らす。釉は外面に鉄釉を施釉。素地は乳白色。内面に轆轤痕が顕著である。	Ａ地区 Ｅ－９　１層
	46		底	－	－	5.4	外面高台際まで灰釉を施釉する。素地は灰色。内面に轆轤痕が顕著である。	Ａ地区 不　明
	47		胴	－	－	－	外面に獣面を貼付する。釉は内外面鉄釉を施釉。素地は灰白色。	Ｃ地区 さ･し―14　１層
	48	酒器	口縁	4.8	－	－	「カラカラ」といわれているものであり、残存部は酒を注ぎ入れる部分である。白化粧を施す。素地は乳白色。全体に粗い貫入が入る。	Ａ地区 Ｄ－３　１層
	49		底	－	－	9.4	外面は白化粧を下地に緑釉を掛けている。素地は乳白色。内面は轆轤痕が残る。	Ａ地区 Ｃ－２　１層
	50		胴	－	－	－	胴部中位を線彫りで区画し、それぞれを呉須及び灰釉を掛ける。素地は乳白色。	Ａ地区 Ｂ－８　１層
	51		底	－	－	8.0	内傾した僅かに高まりを持つ高台である。外面に鉄釉を掛ける。素地は灰紫色。	Ａ地区 Ｄ－８　１層

第17表　沖縄産施釉陶器観察一覧ｄ

単位：cm

図	番号	器種・分類	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第32図（図版31）	52	香炉	口縁	8.6	—	—	口縁部下位に孔を巡らす。釉は灰釉を掛ける。素地は灰色。	A地区 E－8　1層
	53		口縁	17.0	—	—	短頸から口縁部を外に曲げる。全体に藁灰釉を掛ける。素地は灰色。	A地区 盛　土
	54		底	—	—	—	獣面の脚部を貼付する。外面に鉄釉？黒釉？を施釉する。素地は灰色。	A地区 E－8　1層
	55	火取	口～底	9.6	8.4	7.0	僅かな高さの高台をもち、腰部から口縁部にかけては直線的に立上る。口縁部は内弯する。底部中央で最薄となる。釉は外面に鉄釉が施釉される。素地は灰色。	A地区 D－10　1層 10号集石
	56		口縁	10.0	—	—	外面及び内面口縁部に白化粧を施す。素地は乳白色。粗い貫入が入る。	A地区 不　明
	57		口縁	12.6	—	—	外面及び内面口縁部に鉄釉を施釉する。素地は紫灰色。	A地区 D－9　1層
	58		口縁	11.2	—	—	口縁部は内弯する。外面に飛鉋で刻文し、鉄釉及び灰釉を掛ける。素地は白灰色。	A地区 E－8　1層
	59	火炉	底	—	—	8.6	外面に陰圏線を数条巡らす。釉は鉄釉を外面腰部まで施釉する。外底に墨書にて字款が記されている。素地は乳白色。	C地区 け－15　1層
	60		口縁	—	—	—	内面口縁部に器物受を貼付する。外面から内面胴部上位まで鉄釉？黒釉？を掛ける。素地は灰色。	A地区 D－7　1層
	61	蓋/A	庇	6.6	—	4.4	撮を欠損している。外面１ヶ所に孔を穿つ。外面に呉須を掛け、その上に文様を描く。素地は白色。	A地区 B－5　1層
	62		撮～庇	7.5	3.7	5.6	外面３ヶ所に孔を穿つ。外面に鉄釉を施釉する。素地は灰色。撮径1.7cm	A地区 B－4　1層
	63		庇	6.0	—	4.2	撮を欠損している。外面１ヶ所に孔を穿つ。透明釉を外面に施釉する。素地は白灰色。	A地区 D－10　1層
	64		庇	7.7	—	5.3	外面に線彫りし、その上に灰釉及び鉄釉を施釉する。内面は白色釉を掛ける。素地は乳白色。外面に粗い貫入が入る。	A地区 D－12　1層
	65	蓋/B	撮～庇	6.9	3.9	14.8	外面肩部から内面肩部中位まで灰釉が施釉される。素地は橙色。	A地区 E－8　1層
	66	蓋/C	撮	（撮径） 6.6	—	—	外面に鉄釉？黒釉？を施釉する。素地は灰色。	C地区 け－13　1層
第33図（図版32）	67	蓋	撮	（撮径） 4.2	3.6	6.3	外面に鉄釉？黒釉？を施釉するが、中位を蛇の目釉剥ぎにする。庇の端部が人為的に打割されているため、二次的利用を考慮されたものの可能性がある。	A地区 C－10　1層
	68	壺	口～底	13.1	17.3	10.2	肩部に縦位の耳が貼付されている。内外面に鉄釉が施釉される。素地は灰色。外底に焼成の際の付着物がある。	A地区 不　明
	69		口縁	3.1	—	—	小型の壺である。外面及び内面口縁部に鉄釉？黒釉？を施釉する。素地は白灰色。	A地区 D－8　1層
	70		胴	—	—	3.4	小型の壺である。外面高台際まで鉄釉を施釉する。素地は乳白色。	A地区 C－9　1層
	71	灯明具	口縁	6.0	—	—	皿状の灯明具である。全体に鉄釉を施釉する。素地は灰色。	A地区 C－4　1層
	72	碍子		（穴径） 上　0.9 下　0.6	5.1	4.2	上位に抉りを入れ、中心に穴が通る。釉は鉄釉を施釉する。素地は橙色。	A地区 盛　土

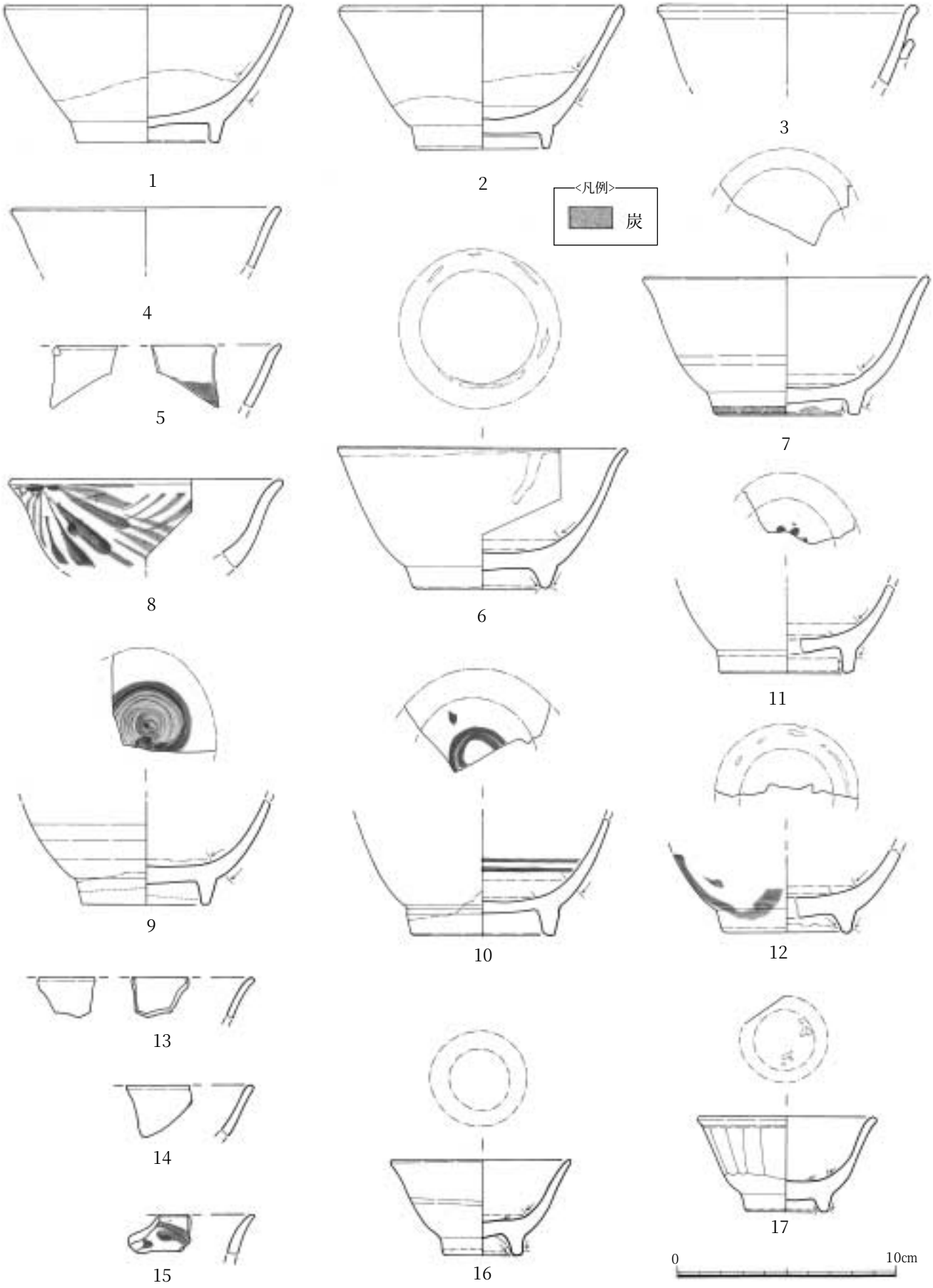
第16表　沖縄産施釉陶器出土状況ａ

出土地 ＼ 器種分類				碗																															
				A											B			C							D										
				1 a			1				2							1			2				1				2			1			
				口	胴	底	口～底	口	胴	底	口～底	口	胴	底	口	胴	底	口	胴	底	口～底	口	胴	底	口～底	口	胴	底	口	胴	底	口～底	口	胴	底
A地区	A	3	1層																				1	1		3	1		1						
		4	1層																							1									
		5	1層									1														1		1							1
		6	1層												1											3			2				1		3
		7	1層							1																									
		8	1層						1	2																2	1								
	B	4	1層														2			1		1				3		2							
		5	1層						1	2							3					1		2		7	3	2	1						
		6	1層						1			1												2		3		1	2						
		7	1層							1		1																							
		8	1層					1	1																	1	1	3							
		9	1層																							2									
	C	1	1層																				1			2	1								
		2	1層													1										1		4		1					
		3	1層					5		5		4					1	7		1		2		1		11	3	2					4		2
		4	1層		1			3	1					2						2		1		1		1		3					1		
		5	1層					1		1				1												1			1					1	
		7	1層					5	1	5																			1				1		
		8	1層									1														2	1	1					3		
		9	1層					6	4	14		1						1																	1
		10	1層						2	1										1								1		1					
		11	1層					1		1																1				2					
		12	1層					1																											
	D	1	1層																																
		2	1層						1	2							1					1						3	1	1					
		3	1層														1									1									
		4	1層																																
		5	1層							3		1														1									1
		6	1層																				1			1									
		7	1層	2	3	1		36	12	32			1	1	1		2	1								2						1		1	4
		8	1層		2			11	4	11		2																						1	2
		9	1層	1	1	1		15	8	16		3						1		1		1		1		2									
		10	1層	2	1	1		7	2	5											1			1	1	3	1	2	1					2	
			1層 6号集石				1																												
		11	1層							1							1									1	1							1	
		12	1層							2												1				3	1	1	1						
		13	1層																					1					1						
	E	7	1層		1			6	5	9		1						1								2							2	1	
		8	1層			1		15	7	31	1									1		1		1		1	2	1							4
		9	1層						2	2																									
		12	1層						1																	1	1	1							
		13	1層																					1											
	盛　土							2		2		4					1					1		1		5		8	1		2		1		
	不　明							1		2						1										2									1
B地区	B	1	1層							1																									
		2	1層																																
		5	1層																																
	C	2	1層																																
		3	1層																												1				
		5	1層																																
	盛　土																			1															
C地区	き	11	1層					1															1	1											
		12	1層																																
	く	14	1層																								1								
		15	1層						1										1																
	け	13	1層						3								3		1				2			3	1	2		1					
			2層																																
		15	1層						1	2						1			1	1		1				1	3	3	1						
	こ	13	1層																									2							
			2層							1					1					1															
		15	1層					2	1	2													1	1			3	1		1	3				
	さ	13	2層												1																				
	さ･し	14	1層																							1		1							
			2層																									1							
	表　採																																		
不　明						1		5		3																2		1							
合　計				5	9	5	1	124	60	160	1	20	1	4	4	3	15	11	3	10	1	11	7	15	1	77	25	47	14	7	6	1	13	7	19

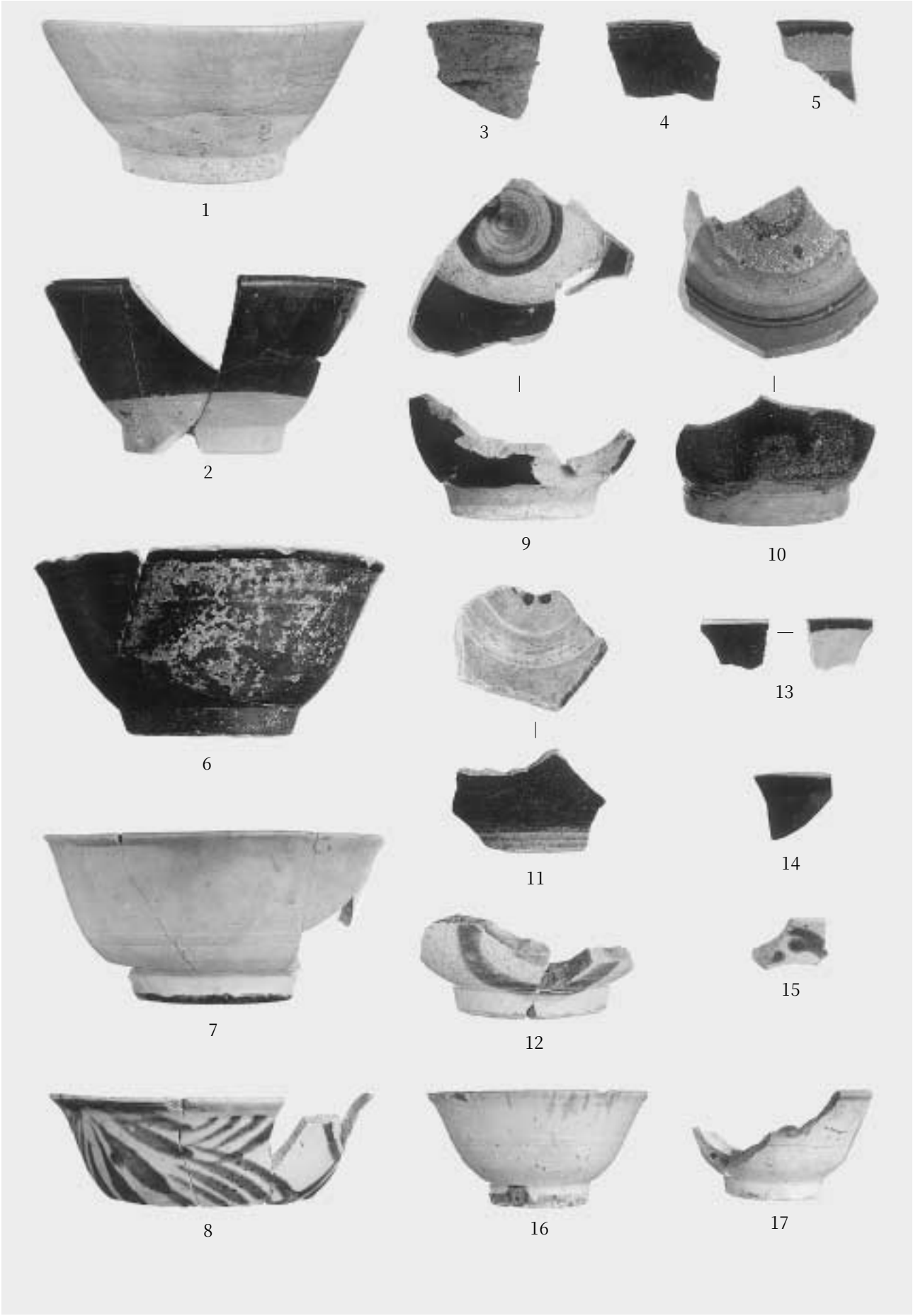
小碗											小杯			皿			鉢						鍋				鍋か急須		急須								瓶			酒器		
A				B			C			分類なし	口～底	口	底	口～底	口	底	A	B		C	胴	底	口	耳	胴	底	胴	底	口～底	口	注口	把手	耳	胴	底	蓋	口	胴	底	口	胴	底
2																		1	2																							
口～底	口	胴	底	口～底	口	底	口～底	口	底								口	口	口	口																						
	1				1	1									1				1		3													1					1		
																			1		1																					
													1					1																							1		
			1						1	1								1			4							1		2			1	1					1		
																			1											1			1	1			1				
																						1																				
				1	1													2	2		1		2								1	1				1				
					2											1	1		2		2															1						
																		1			4	1												1			2	1			
									1											1	2					1		1						1							
			2							1										1	1							1											1		
																					2																				
																					1							1													
																			1	1	1							1											1	1	
					3	1					1				1		2	3			6							6		1		1	5	5			1		1	
			2		1			1	1			1									1									2	1			2				1		
			1							1							1				1		2																		
										2											2				1			2			1		1	1	2				1		2	
										2							1	1			1	1						1			1			3	3					3	1
										1								2			1							1							1						
	1																1				1									1	1		1	6	1				1		
																																								1		
																							1					1													
			2													1					1															1	2				1	1
			1																		2		1															1		1		
										1											1		1												1						
										1								1			2		1					2											1	1		
1									5	5					1		1	8		1	10	1	10	1	2	2	1	10		3	3		1	9	5		3	3		13	
										1								1	1	1	10	2	6	1	2			5		2			2	5	1			4	1	2	1
			2						3	1							2	1	4	1	6	4	3	1	1	1	2	6		1			2	3	2		1	4		1	
			1																2	1	5	1	1					2						3			1			2	2
																	1						1		1	1								1							
														1		1		1																								
			2			1										2			1		3	1												1							
										2							1	1			4		6			2		5		3				3	1				1		
														1		1		7		1	13	2	15	1	6	2	2	7		4	3			14	10		3	3	1		3	2
	1								1	2								1			1	2	1															1			
																												2					1								
			2														1	6	1		7	3	5		1			2		2				2			1				2
																					2		2					2									2	1	1		1	1
										1							2																									
																														1											
																					4															1					
		1																											1									1			
																																						3				
	1						1								1		2				2		2										2	1	2	3		5				
																					1								1												
																					3		1		2								1	2			2	1			
														1	1						1													1		1						
		2													1			1			4													1			1					
																																					1					
																																					1					
										1											3		1		3		1	2	1	2			1					2			2
1	4	3	17	1	10	4	1	12	22	1	1	2	2	5	7	17	40	21	5	123	18	63	6	19	9	6	64	1	28	10	5	12	64	44	7	16	38	11	2	36	13

第16表　沖縄産施釉陶器出土状況b

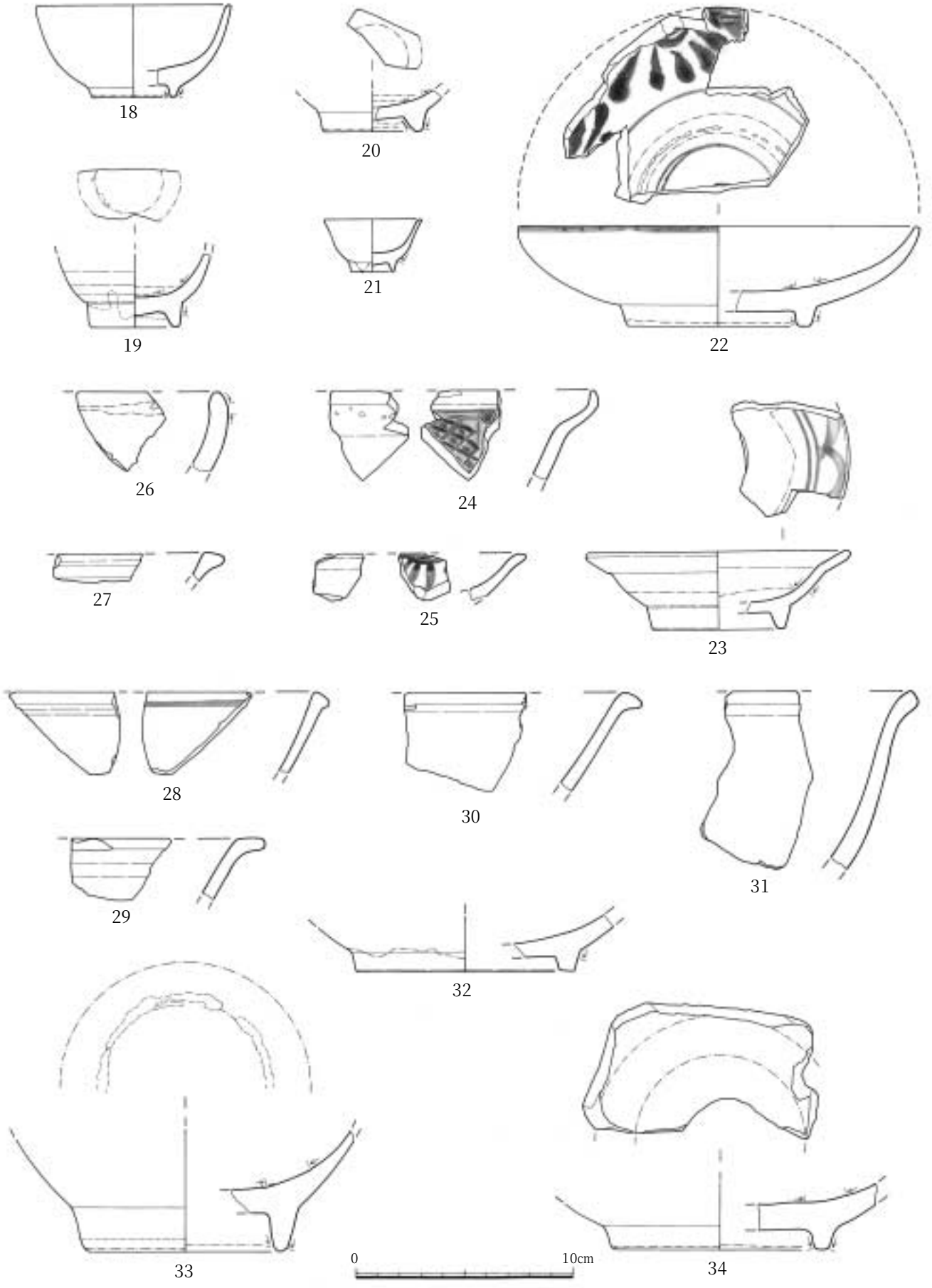
出土地				器種分類	急須か酒器	香炉			火取				火炉		蓋				壺				灯明具	碍子	器種不明			合計
					注口	口	胴	底	口～底	口	胴	底	口	底	A	B	C	分類なし	口～底	口	胴	底	口		口	胴	底	
A地区	A	3	1層												1							1				1		21
		4	1層												1												4
		5	1層													1					1						9
		6	1層	1																					2		27
		7	1層																								6
		8	1層	1							1				1							1						11
	B	4	1層							1	1				1						1				1			26
		5	1層							1					3					1					3		39
		6	1層							2					1						2				1		28
		7	1層										1		1												11
		8	1層																		1		1				16
		9	1層	1						1					2												10
	C	1	1層																								6
		2	1層												1	1											15
		3	1層										1		3								2		2		93
		4	1層	1								1			3					1	1	1	1		1		39
		5	1層												1								1		1		15
		7	1層	2									1		4	2						2			3		42
		8	1層							1					1	1					3	2			3		37
		9	1層								1		1		2						2	1			1		42
		10	1層															1			1				1		16
		11	1層							1															2	1	23
		12	1層																								2
	D	1	1層																								2
		2	1層									1			1						3		1		1	1	27
		3	1層							1																	9
		4	1層													1											5
		5	1層							1					1							2			1		20
		6	1層			1																		1			11
		7	1層							5	3	1	3		5	3				1	6	5	1		4	1	237
		8	1層			1					1		1		3	1				1	2	2			5	3	101
		9	1層							3		1			5	5	1			2	5	8	1		4	2	140
		10	1層												2						1	1			2		57
			1層 6号集石						1						1												8
		11	1層																					1	2		12
		12	1層												2						3						25
		13	1層																								2
	E	7	1層							1		1			6	2	1				2	3			3	1	77
		8	1層		1		1			2	1	3	1		2	8				3	8	4		1	3	1	206
		9	1層							1		1									3				2		21
		12	1層												1	1					1				1		11
		13	1層																								1
	盛　土				1	1	1			1										5	3	2	1	1	1	5		85
	不　明									1		1	2			1			1	1	2					2		30
B地区	B	1	1層																								1
		2	1層																						1		1
		5	1層																		1						1
	C	2	1層																							1	4
		3	1層																								2
		5	1層																		1						1
	盛　土																								1		3
C地区	き	11	1層																						1		9
		12	1層																								3
	く	14	1層																								1
		15	1層																						1		6
	け	13	1層							3			1			1	1								2		46
			2層																								2
		15	1層											1												1	28
	こ	13	1層											1		1											9
			2層																								3
		15	1層							1																	28
	さ	13	2層																								2
	さ・し	14	1層																								3
			2層																								1
	表　採																								1		1
不　明					2					2	1		1		1	2		3		2	2	1				1		51
合　計					9	2	3	1	1	29	9	10	13	2	56	31	3	4	1	17	55	36	9	1	5	64	12	1831



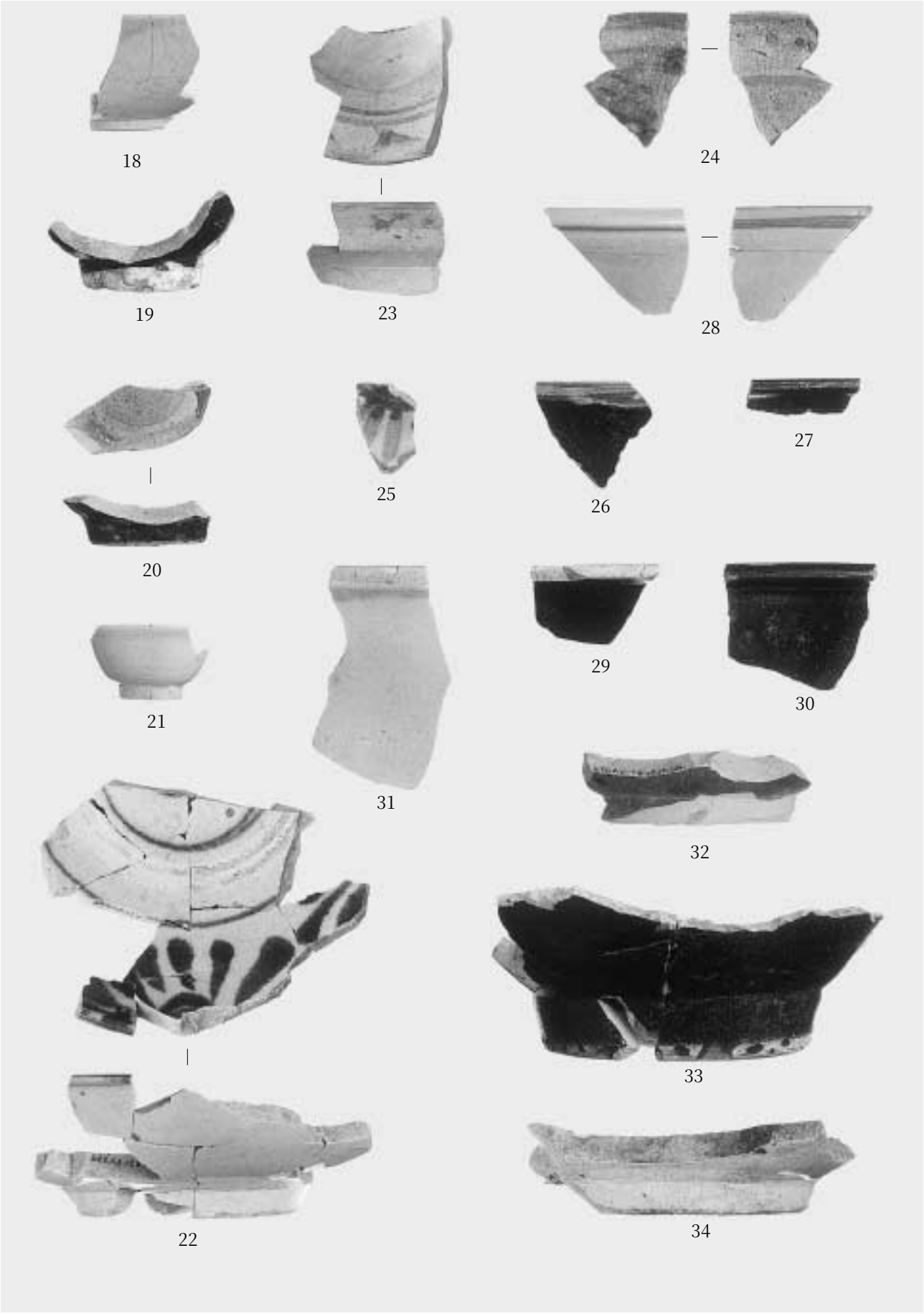
第29図　沖縄産施釉陶器1　碗(1～12)、小碗(13～17)



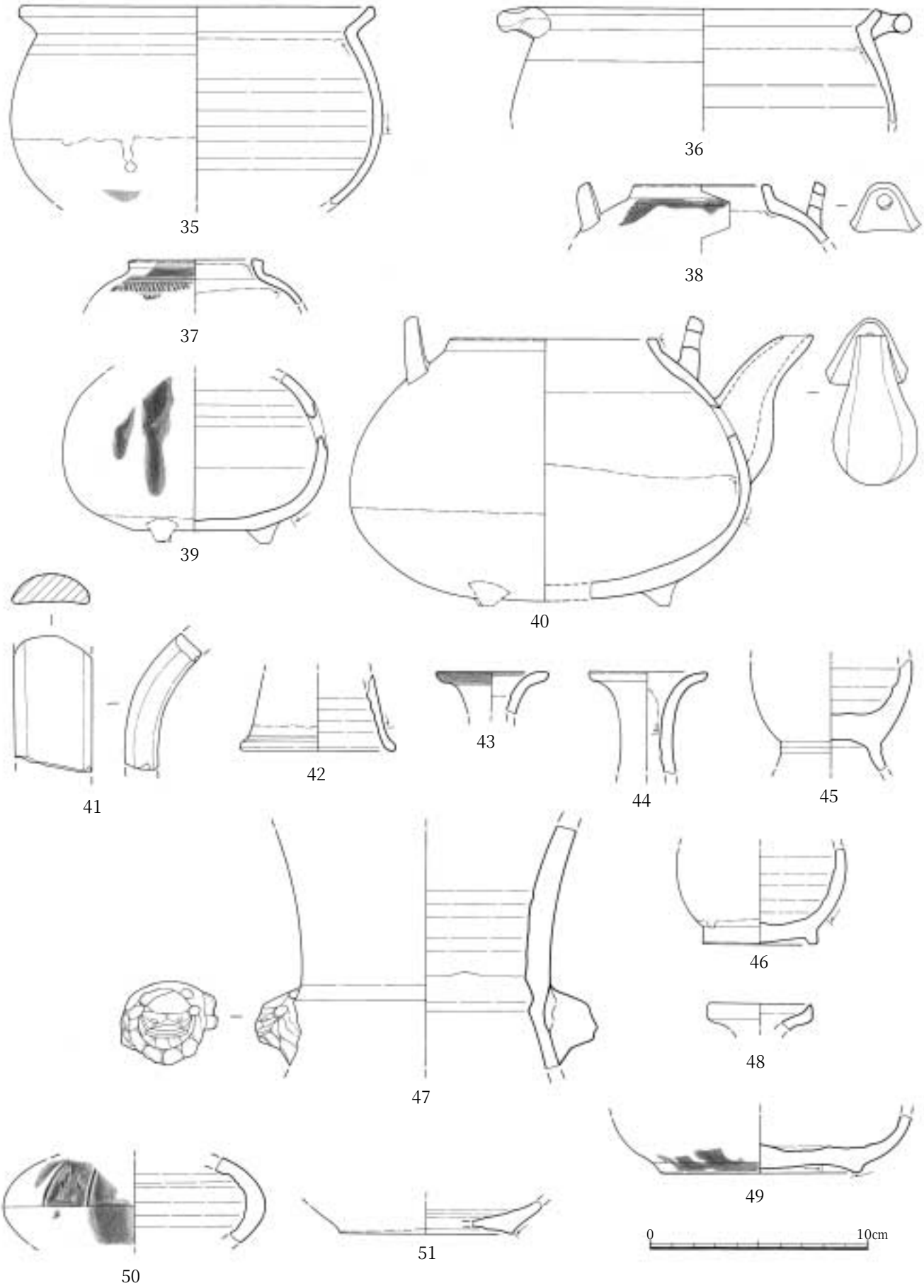
図版28　沖縄産施釉陶器1



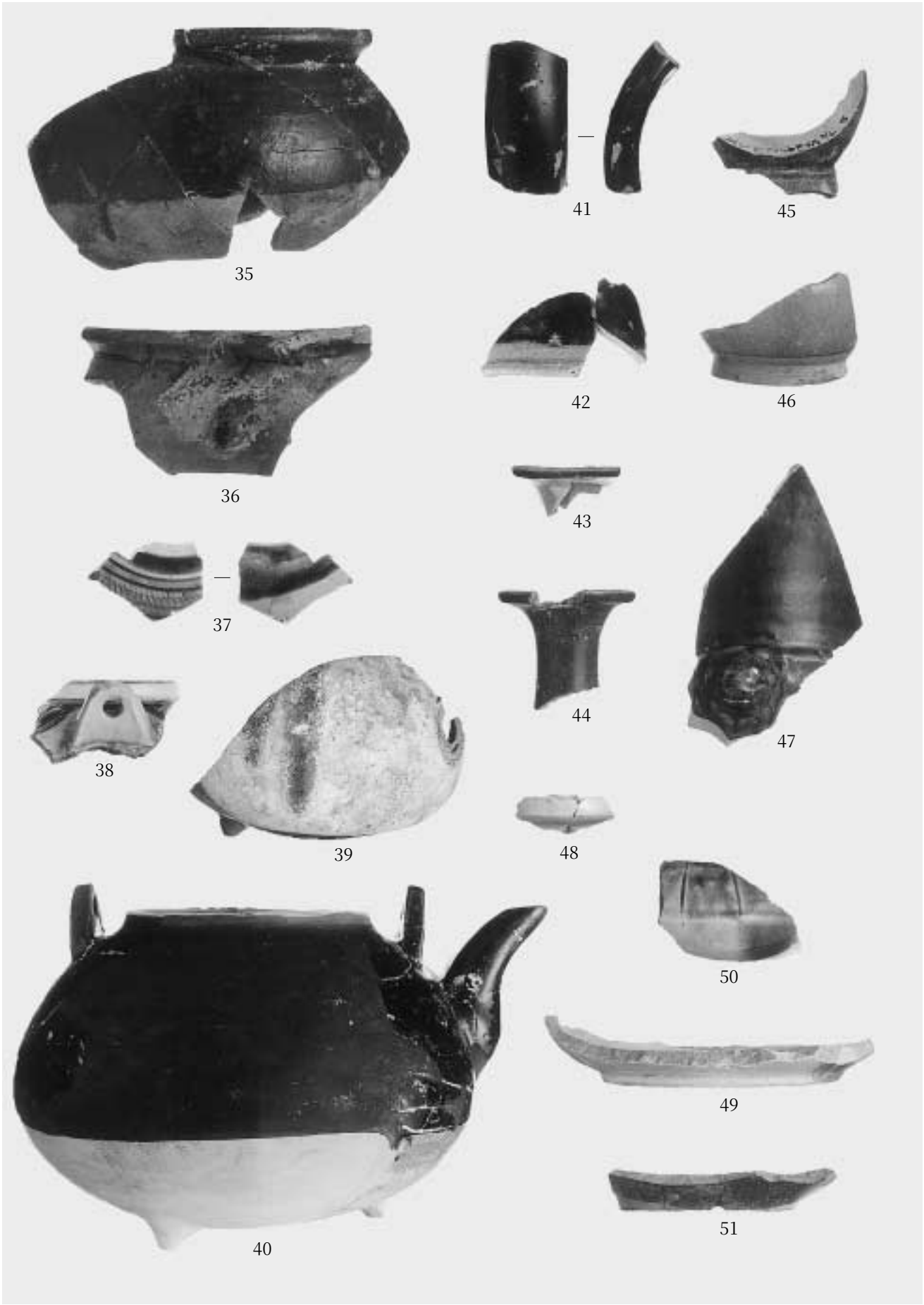
第30図　沖縄産施釉陶器2　小碗(18～20)、小杯(21)、皿(22～25)、鉢(26～34)



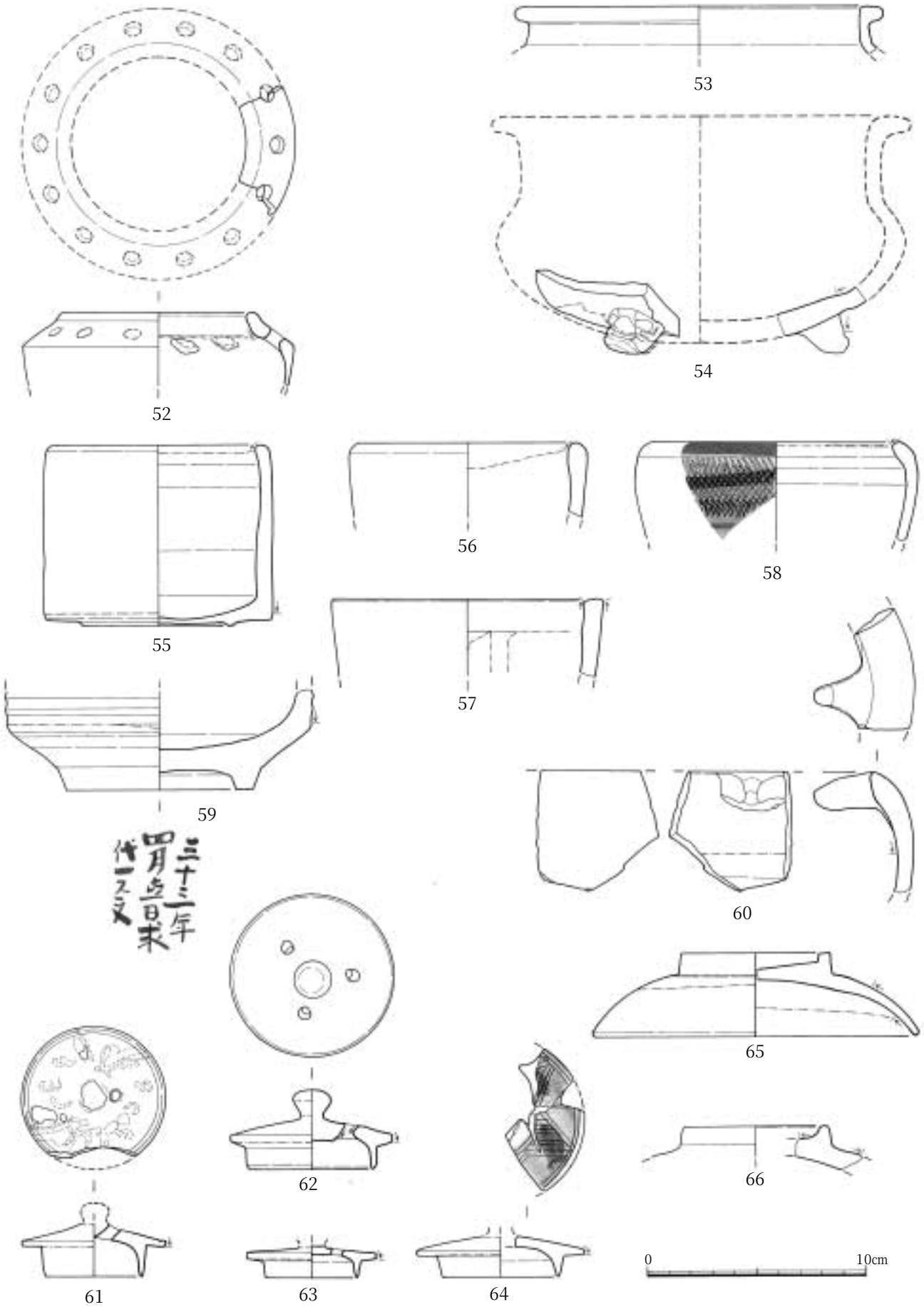
図版29　沖縄産施釉陶器2



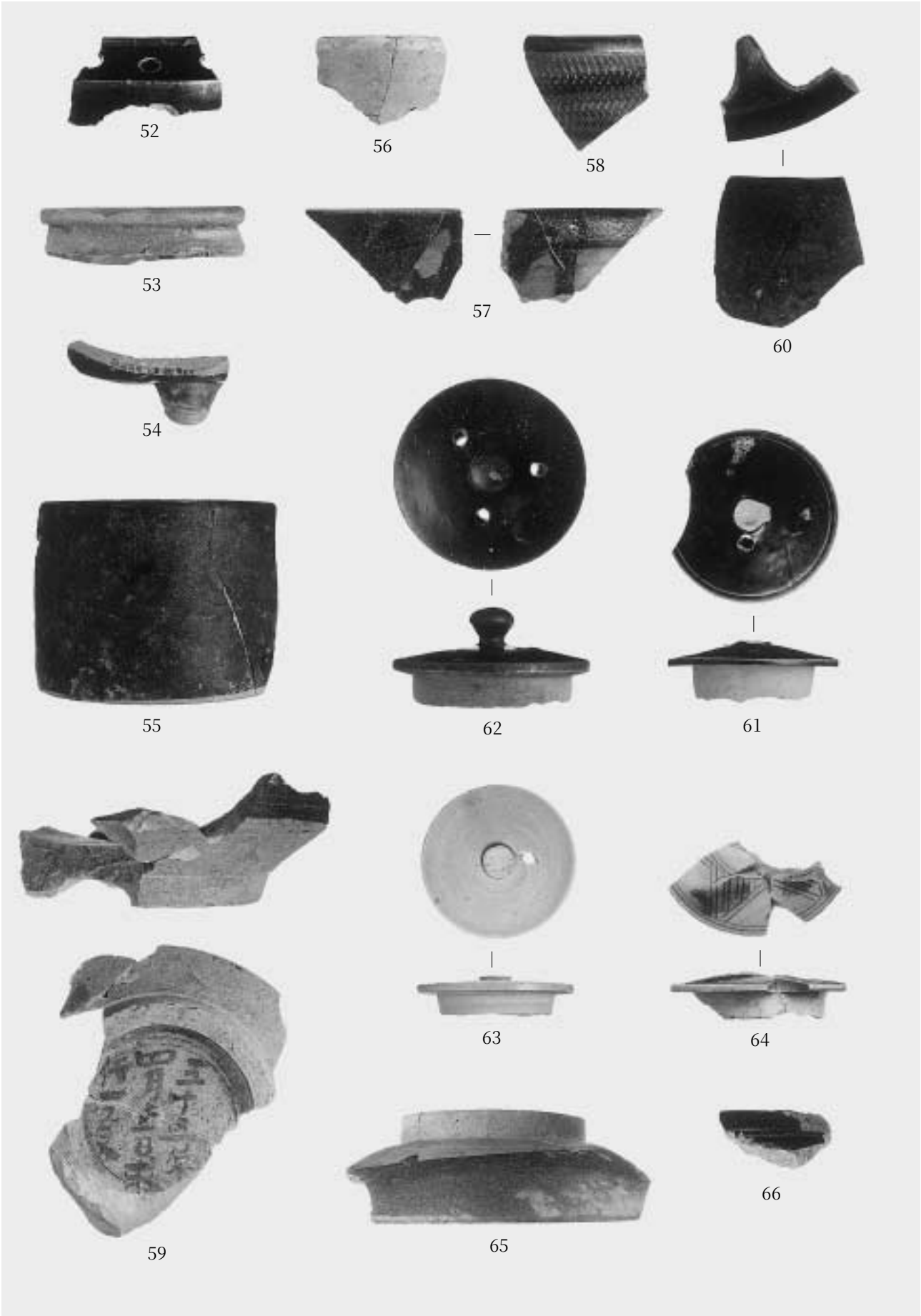
第31図　沖縄産施釉陶器3　鍋(35・36)、急須(37～41)、瓶(42～47)、酒器(48～51)



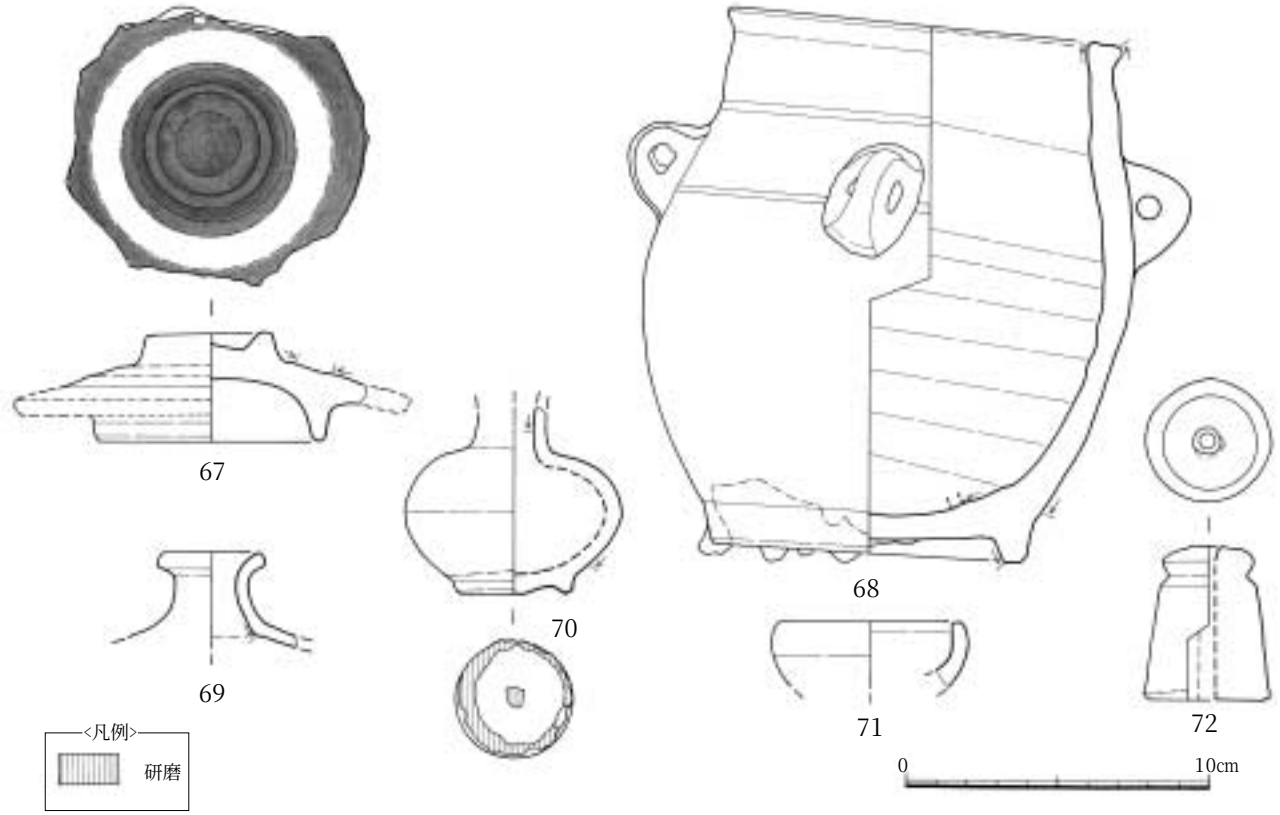
図版30　沖縄産施釉陶器3



第32図　沖縄産施釉陶器4　香炉(52～54)、火取(55～58)、火炉(59・60)、蓋(61～66)



図版31　沖縄産施釉陶器4



第33図　沖縄産施釉陶器5　蓋(67)、壺(68～70)、灯明具(71)、碍子(72)

図版32　沖縄産施釉陶器5

第19節　沖縄産無釉陶器（第34～36図）

「荒焼（アラヤチ）」と称される高温焼成の焼締め陶器である。基本的には無釉であるが、泥釉等は含んでいる。器種は碗、皿、瓶、壺、擂鉢等が確認されている。沖縄産施釉陶器に比べ大型の製品が多い。以下に各器種の分類について概略し。個々の観察については、第18表の観察表に記す。

１．碗（１・２）

１は厚手の直口口縁碗である。２は高台の造りが浅い底部である。

２．皿（３・４）

３は底部が碁笥底状に成形される内弯口縁の皿である。４は外底に線彫りの判がみられる。

３．瓶（５～８）

口縁部が朝顔状に開き、胴部が膨らむと考えられるもの（５・６）、全体が筒状のもの（８）がある。

４．蓋（９・10）

肩部が曲線を描き、庇部が張出すもの（９）、庇部及び身受け部の構成のもの（10）がある。

５．鉢（11～13）

Ａ類：口縁部が内弯するもので、口縁部の形態が舌状のもの（Ａ－１）、断面三角形のもの（Ａ－２）に分けることができる。

Ｂ類：口縁部を外側に鍔縁状に折り曲げるもの。

６．擂鉢（14～18）

Ａ類：口縁部直下に抉りを入れ、鍔縁を強調している。内面全体に擂目をいれるが、口縁部はナデ消されている（14・15）。

Ｂ類：口縁部を外側に鍔縁状に折り曲げるもの（16・17）。

７．壺（19～22）

口縁部を外側に曲げるもの（19）、玉縁状に肥厚させるもの（20）があり、底部では、平底から立上るもの（21）がある。胴部では、粘土紐を貼付け、文様を構成しているものがある（22）。

８．甕（23～25）

23は口縁部が内外両面に張出すもので口縁部に圏線及び線彫りの文様を施す。24は口縁部が外側に大きく張出すもので、口縁外面に圏線を彫る。25は口縁部が外側に張出すもので、口唇部及び胴部に貼付け等により文様が施される。

９．鍋（26・27）

鍋は胴部及び蓋が確認されており、26は胴部で、断面三角形の把手をつけている。27は蓋で、「ハ」字状に外側に開く。

10．火炉（28・29）

火炉は底部と胴部が確認されている。28は底部であり、平底から上方へ直線的に立上るものである。29は肩部であり、把手の中心を穿つものである。

11．窯道具（30）

平底であり、穴を開けている。

第18表　沖縄産無釉陶器観察一覧ａ

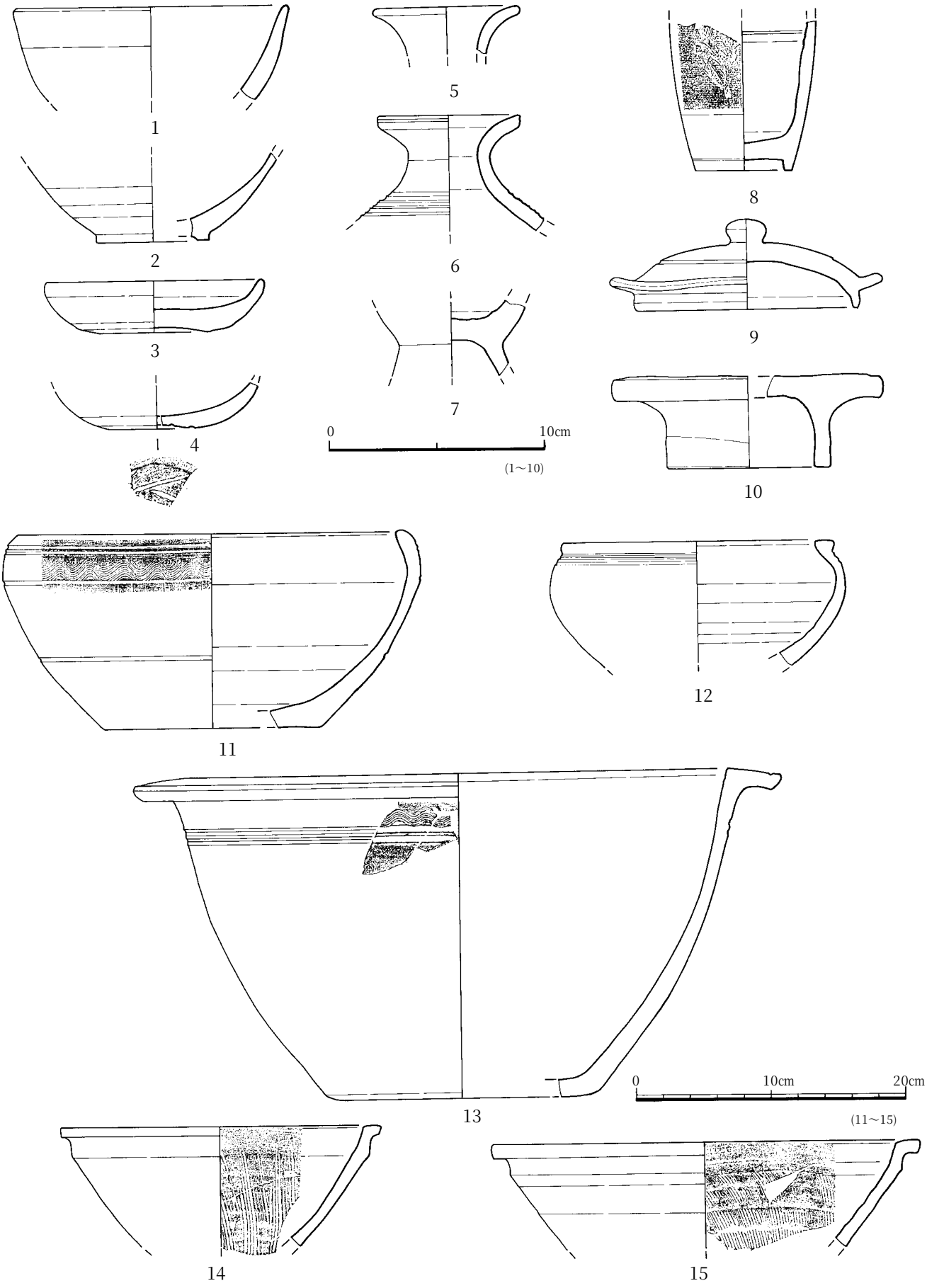
単位：cm

図	番号	器種･分類	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第34図（図版33）	1	碗	口縁	12.6	―	―	直口口縁碗。素地は明赤褐色で、白色粒子を含む。内外面に轆轤痕あり。	B地区 さ･し―14　2層
	2		底	―	―	5.2	外底面は浅く削られる。素地は外面は明赤褐色、内面は灰色。外面に轆轤痕あり。	A地区 D－11　1層
	3	皿	口～底	10.2	2.4	5.0	底部が碁笥底状に成形されている。素地は外側が灰色、内側は明赤褐色。内外面に轆轤痕あり。	A地区 A－8　1層
	4		底	―	―	4.2	外底面に線刻文が確認できる。素地は灰赤色。外面に轆轤痕あり。	A地区 C－8　1層
	5	瓶	口縁	6.8	―	―	素地は灰赤色で赤色粒子を含む。	A地区 B－6　1層
	6		口縁	6.6	―	―	肩部に陰圏線を数条巡らす。自然釉？が掛かる。素地は淡赤褐色で白色粒子を含む。内外面に轆轤痕あり。	A地区 D－7　1層
	7		底	―	―	―	脚部を欠損している。素地は淡赤褐色。内面に轆轤痕あり。	A地区 D－8　1層
	8		底	―	―	4.4	筒状を呈する。胴部に植物を押し付けたような文様がある。自然釉が掛かる。素地は暗紫赤色。	不　明
	9	蓋	撮～口縁	12.6	4.2	10.2	肩部に１条の陰圏線を巡らす。素地は明赤褐色で赤色粒子及び黒色粒子を含む。撮み径1.8cm。内外面に轆轤痕あり。	A地区 A－6　1層
	10		口縁	12.6	4.3	7.6	素地は外面灰色、内面は明赤褐色。内外面に轆轤痕あり。	A地区 D－9　1層
	11	鉢/A－1	口～底	28.7	14.6	16.1	口縁直下に圏線を巡らし、その間に波状文を描く。素地は明赤褐色で、黒色粒子及び白色粒子を含む。	A地区 A－3　1層
	12	鉢/A－2	口縁	20.4	―	―	口縁部を三角形に成形し、その直下に陰圏線を２条巡らす。素地は明赤褐色で白色粒子を含む。内側に轆轤痕あり。	A地区 A－6　1層
	13	鉢/B	口～底	48.4	24.2	20.5	口縁直下に波状文及び陰圏線を巡らす。素地は橙色で黒色粒子を含む。公園部周辺に自然釉が掛かる。	A地区 B－3　1層
	14	擂鉢/A	口～底	24.0	―	―	内面に８本で１条の擂目を入れ、口縁部はナデ消す。素地は橙色。	A地区 C－11　1層
	15		口縁	32.0	―	―	内面に８本で１条の擂目を入れ、口縁部はナデ消す。また、胴部は等間隔でナデ消しを行っている。素地は暗赤褐色。	A地区 E－7　1層 7号集石
第35図（図版34）	16	擂鉢/B	口縁	29.3	―	―	内面に細かい擂目を入れ、口縁部をナデ消す。素地は暗赤褐色で白色粒子を含む。外面に自然釉が掛かる。	A地区 D－10　1層
	17		底	―	―	10.2	全面に擂目が入る。素地は外側は灰色、内側は明赤褐色で、赤色粒子及び白色粒子を含む。外面に轆轤痕あり。	A地区 D－11　1層
	18	擂鉢	底	―	―	―	素地は暗赤褐色で白色粒子を含む。	C地区 け－13　1層

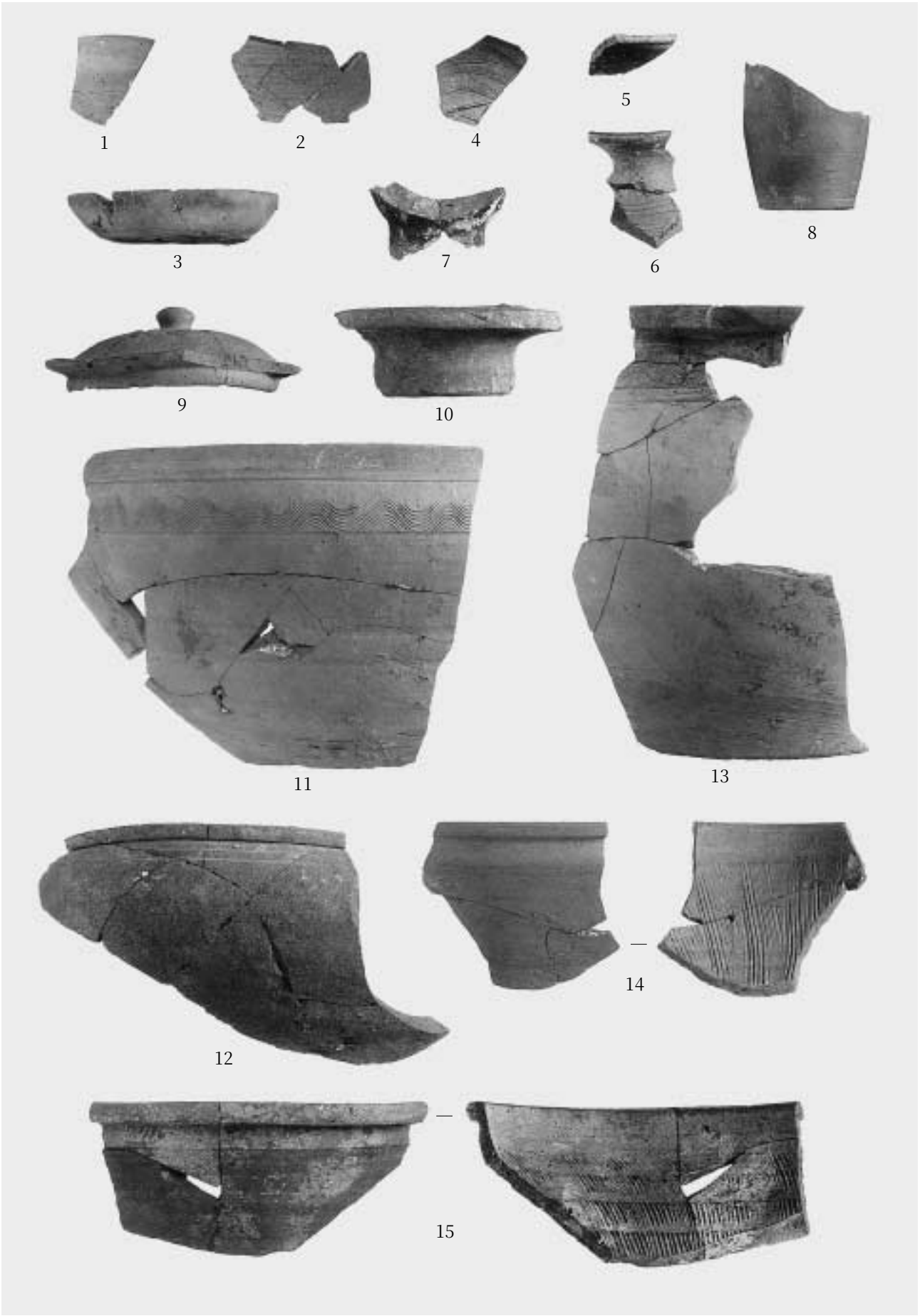
第18表　沖縄産無釉陶器観察一覧ｂ

単位：cm

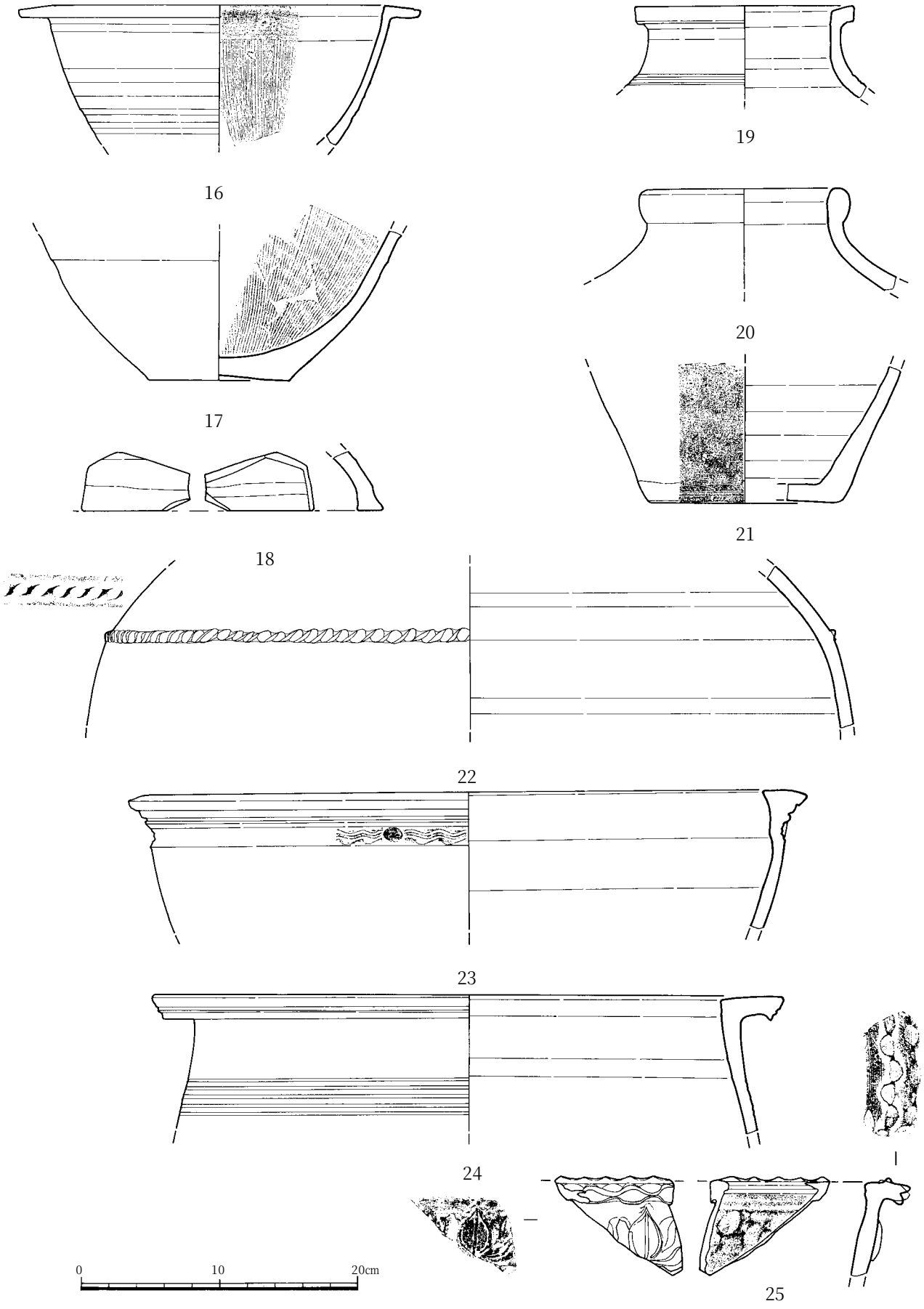
図	番号	器種･分類	部位	口径	器高	底径	観察所見	出土地
第35図（図版34）	19	壺	口縁	16.0	－	－	肩部に陰圏線を数条巡らす。素地は明赤褐色。外面に自然釉？が掛かる。内面に轆轤痕あり。	A地区 E－8　1層
	20		口縁	15.4	－	－	口縁部を玉縁状に肥厚させる。素地は暗赤褐色で白色粒子を含む。自然釉が掛かる。	B地区 さ･し－14　1層
	21		底	－	－	14.2	底部に調整痕が残る。素地は暗赤褐色で紫色粒子を含む。外面に自然釉が掛かる。内面に轆轤痕あり。	A地区 D－8　1層 3号集石
	22	甕	胴	－	－	－	肩部に粘土紐を貼付て文様を構成する。素地は暗赤褐色で白色粒子を含む。外面に自然釉が掛かる。	A地区 A－5　1層
	23		口縁	49.6	－	－	口縁直下に陰圏線、丸文の貼付及び波状文を巡らす。素地は暗赤褐色で白色粒子を含む。外面に自然釉が掛かる。内面に轆轤痕が残る。	A地区 C－2　1層
	24		口縁	46.2	－	－	口唇部に陰圏線、胴部に５条の陰圏線を巡らす。素地は明赤褐色で、白色粒子及び黒色粒子を含む。	A地区 盛　土
	25		口縁	－	－	－	口縁部に粘土紐で文様を造り、口唇部を波状に成形する。また、胴部に花文を貼付する。素地は暗赤褐色で白色粒子を含む。自然釉が掛かる。	A地区 E－8　1層
第36図（図版35）	26	鍋	胴	－	－	－	断面三角形の把手が付く。素地は明赤褐色。	A地区 E－9　1層
	27		庇	（撮径） 10.2	－	－	蓋である。撮に細かい砂が付着する。素地は淡暗褐色で黒色粒子を含む。	A地区 盛　土
	28	火炉	底	－	－	10.0	素地は明赤褐色で、白色粒子及び黒色粒子を含む。内面に轆轤痕あり。	A地区 E－8　1層
	29		胴	－	－	－	肩部に２条の陰圏線を巡らし、その下に横耳を貼付する。素地は明赤褐色で黒色粒子を含む。	A地区 E－8　1層
	30	窯道具	底	－	－	22.6	外面に自然釉が掛かる。素地は明赤褐色で、白色粒子及び黒色粒子を多量に含む。	C地区 き－11　1層



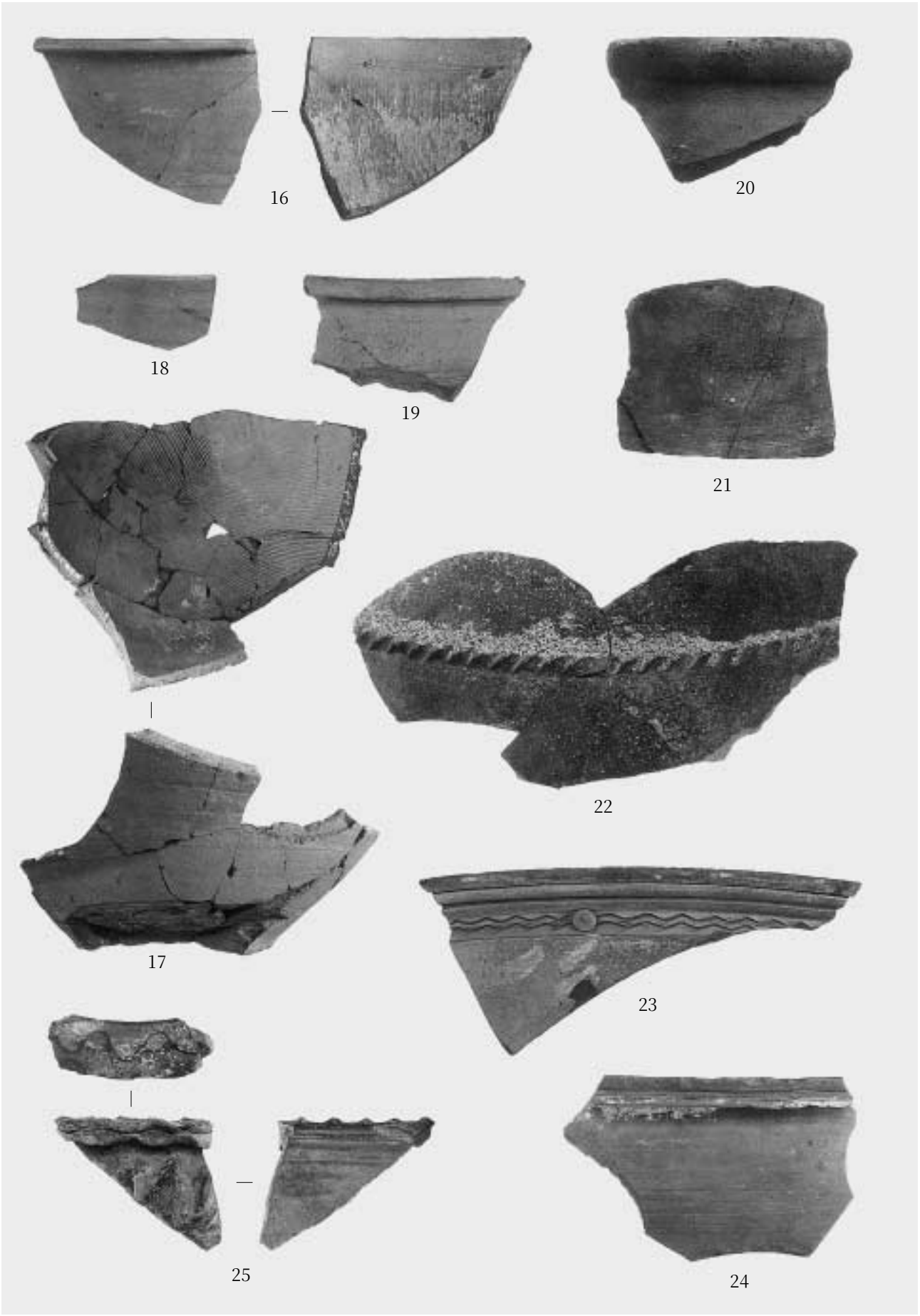
第34図　沖縄産無釉陶器1　碗(1・2)、皿(3・4)、瓶(5～8)、蓋(9・10)、鉢(11～13)、擂鉢(14・15)



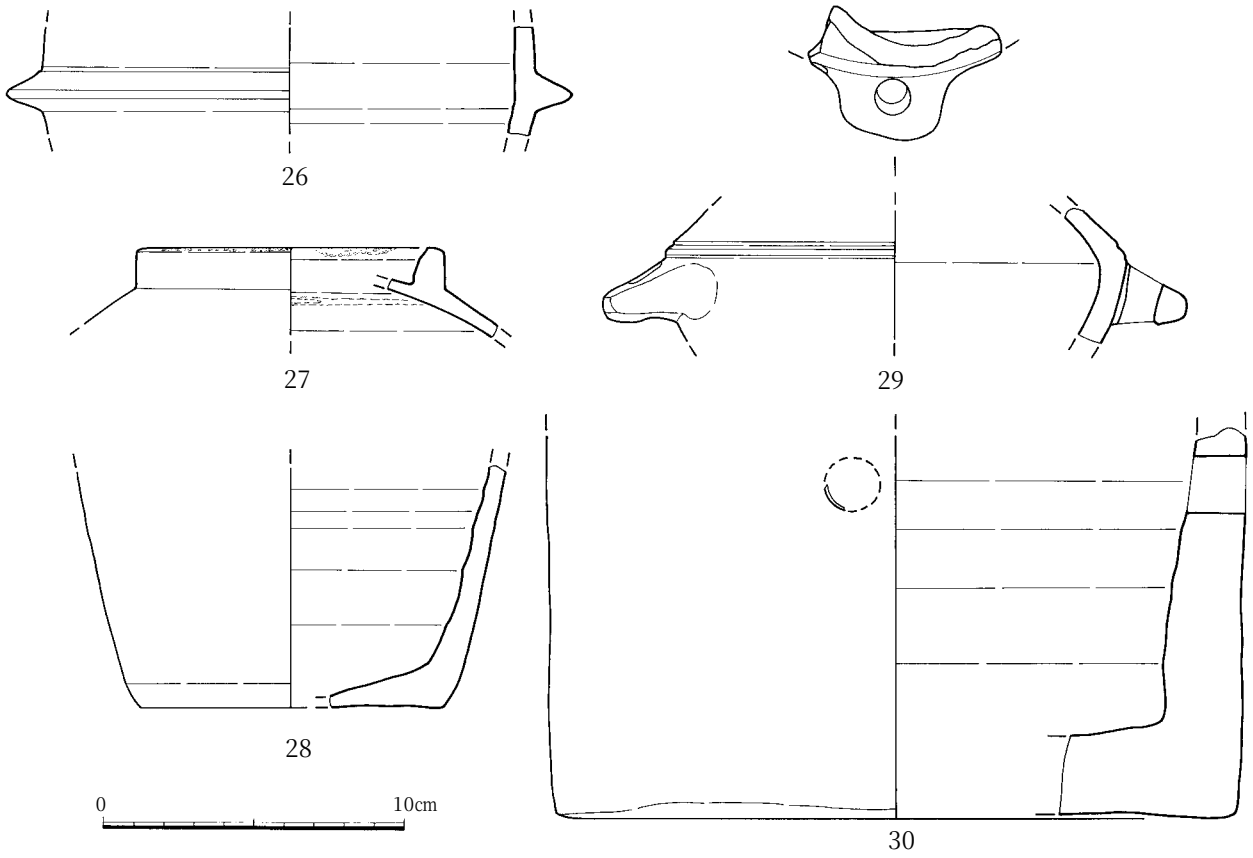
図版33　沖縄産無釉陶器1



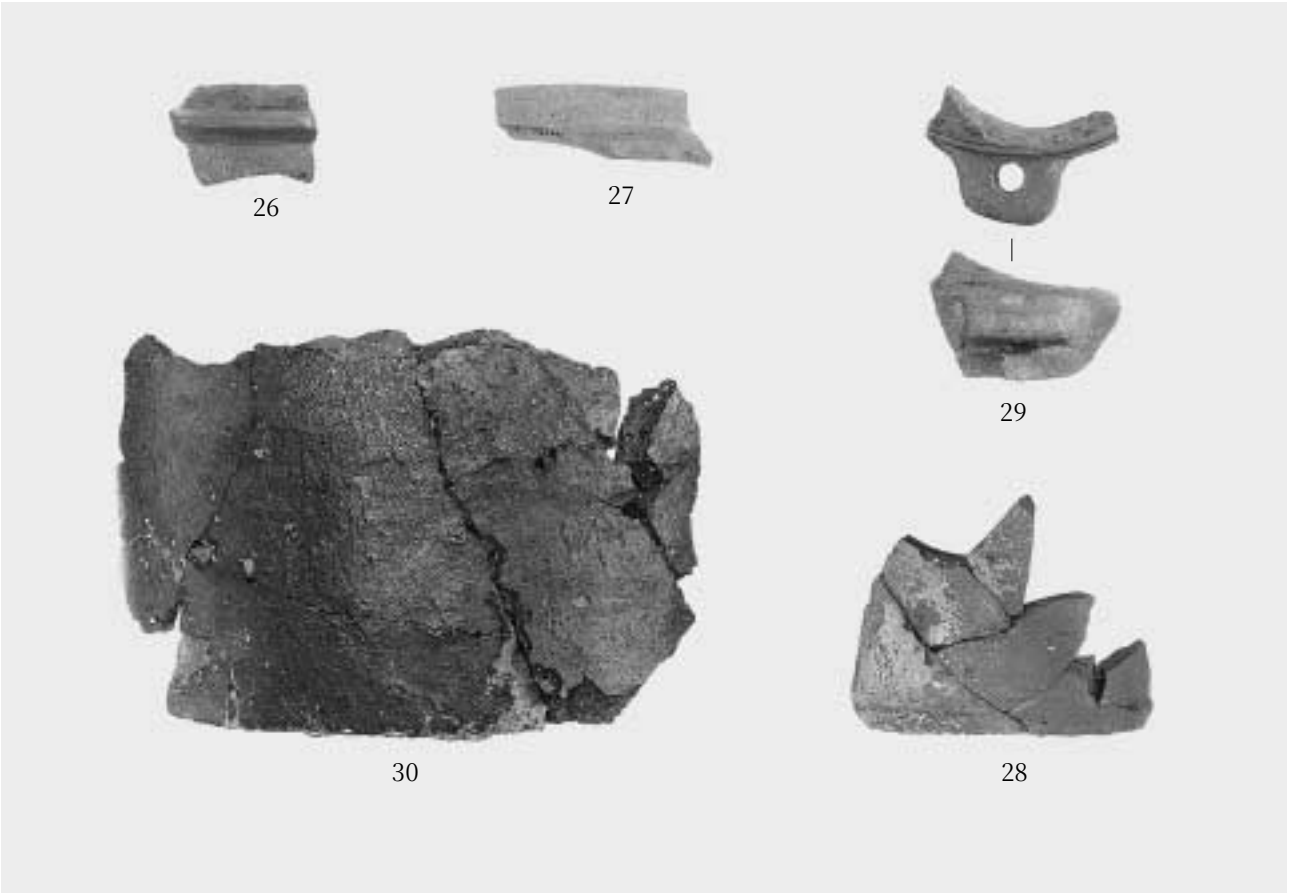
第35図　沖縄産無釉陶器2　擂鉢(16～18)、壺(19～21)、甕(22～25)



図版34　沖縄産無釉陶器2



第36　沖縄産無釉陶器3　鍋(26・27)、火炉(28・29)、窯道具(30)



図版35　沖縄産無釉陶器3

第19表　沖縄産無釉陶器出土状況

器種分類			出土地	A地区																																					
				A						B										C												D									
				3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	9	10	不明	1	2	3	4	5	7	8	9		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		9		
				1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層6号集石	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層3号集石	1層	1層6号集石	1層
碗			口																																								
碗			胴																																								
碗			底																				1																				
皿			口〜底						1																		1											1	1				
皿			口											1								1				2												1			1		
皿			胴																							1										1			1				
皿			底									1														1										1		3	3		2		
瓶			口										2	1	1						1		1		1													5	4		3		1
瓶			頸				1		1					1								2																1			4		
瓶			胴												1																							3	3				
瓶			底											2											1												1	3	2		2		1
蓋			撮〜口				1																																				
蓋			口				1							1												1			1					1				3			1		
蓋			肩												1						1									1								1			1		1
蓋			つまみ																			1																					
鉢	A	1	口〜底	1																																							
鉢	A	1	口			1	1																											1									
鉢	A	1	胴																																			2		1			
鉢	A	2	口				2											1					1				1												2		1		
鉢	A	2	底																																								
鉢	B		口〜底								1																																1
鉢	B		口			1		1				1	2	3	2	1	1	2						1	5		4		2									10	5		11		3
鉢	B		胴													3																											
鉢	B		底				1																																				
鉢	不明		口																								1																
鉢	不明		胴				2			1			1		2		4				2	3			1				1	1			1					4	3	1	2		1
鉢	不明		底									1										1				1	1											3			1		2
擂鉢	A		口〜底																											1													
擂鉢	A		口				1	1						2								1		1	4	1												3	2		4	1	1
擂鉢	A		胴						1				1	2	1		1								1	1	1			1							2	2			1		3
擂鉢	A		底																																						1		
擂鉢	B		口										1																														1
擂鉢	B		胴	1		1		1					1	1	3		2				1	2	1	1		6	5		1	2			1			1		9	1		4		3
擂鉢	B		底																																			2	1		1		
擂鉢	分類なし		底																																								
壺			口			2							2		1							2	1						3	1				2				11	2		10		
壺			耳																																								
壺			頸			1						1		1															1	1						1		4	2		1		
壺			胴	2		2	4		4				2	2		1					1	3	3		1	3			1	1				2		2		17	8		6		9
壺			底	1									2	1						1		1			1		1		1			1						4	4	1	3		
甕			口	1									1								2	1	1		1	1	2			1				2		1		3	2		1		1
甕			胴		1	1	1						2			3	1				1	3					1		1	2						1		8		1	5		1
甕			底																																				1				
壺・甕			胴					1													1		1			1	1					1						3	1		3		
壺・甕			底	1									1												1		1	1										3	2		2		2
鍋			胴																																								
鍋			底																																								
鍋			蓋																																								
急須			口			1																								1								1					
急須			注口				1																																				
急須			胴																																				1				
火炉			口〜耳															1																									
火炉			口										2		1									1	1	2										1		5	2		3		1
火炉			耳	2									1			1									1													1			1		
火炉			胴																										1							1		1	2				
火炉			底																																								
耳																								1												1	1	1					
窯道具			口																																								
窯道具			胴																																								
窯道具			底																																								
器種不明			胴	6	1	6	10	8	2		1	6	15	9	8	4	5	1	5	3	10	14	6	3	16	29	15		13	6	1		4	2	1	7		111	36	1	51		16
器種不明			底																																								
合計				15	2	16	26	12	9	1	2	10	36	27	21	13	14	5	5	4	20	35	16	8	35	50	35	1	26	19	1	2	6	10	1	18	4	229	91	5	126	1	48

																				B 地 区								C 地 区																		
						E												表土	盛土	B				C		盛土	不明	き		く		け					こ				さ	さ・し		表採	不明	合計
10		11	12	13	不明	1	6	7		8		9	10	11	12	13	不明			不明	1	2	5	2	5			11	12	14	15	13		15	18	19	13		15	不明	13	14				
3 1号層集石	6 1号層集石	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	7 1号層集石	1層	8 1号層集石	1層	1層	1層	1層	1層	1層				1層	1層	1層	1層	1層			1層	1層	1層	1層	1層	2層	1層	1層	1層	1層	2層	1層	1層	2層	1層	2層			
																											1																1			2
																																													1	1
		1																																												2
										2		1																						1												8
			1					1		1									2	1																										12
																																													1	4
			1							1									1																											14
			1					1		2									1																											25
										2																						1														13
										2																																				9
	1		1					2		2									2	1																									1	22
																																														1
														1					1																											11
																				1						1																				8
																																													1	2
																																														1
																			2													1							1							7
																																														3
		1						1												1												1														12
										1																																				1
										1																																				3
	1	1	1					7		26									8	5								4		3		1		3	1		1				1				3	121
																			1	1												1		2											1	9
																																														1
										1																																			3	5
	2		1					2		3									10	2																										50
										5	1								4	1																										21
																																														1
								1	2	9		1							2	1																										38
	1							1		5		1			2				2	1								2											1						3	37
																																														1
																			1													1		1			1								2	7
	3	2						3		10	1				1				8	2			1					2			1	1		9					4			2			1	99
		1						1	1	3		2							2	1												2		1												18
																																1														1
			1					4		10		1							3	1								5		3	1	2		4					1			1			2	76
																												1											1							2
								1		3		1							2																										1	21
	2	3	3					1	1	14	1	3			3	1			16	8								1		2	2	12		22			9	1	3	1	1	1	2		8	195
			1					2	2	6		1			1				4	3					2			4				2		3			1		1					1	1	57
		1		1					1	5									7													2		1					2						1	42
		1	1							7		1			3	1			9	2			1									1							2					1	1	64
			1																									1																		3
		2	1						2	5		2							6				1																							32
			1							7		1								1				1																						25
												1																																		1
																																														0
																			1																											1
										1																								1											1	6
																																														1
																																														1
										1																																				2
																				2												1		2											1	25
					1		1			1										1							1																			12
										3							1																													9
										1																																				1
										1																		2																	1	8
																												3	1															2		6
																												3	3	2																8
																												5	2	1														4		12
	3	7	8	6		2		16	2	99	3	14		1	12	1		1	62	11	2	3	7	1		2	6	29		7	13	48	2	51		1	12	1	31		4	9	1	3	5	918
																																													12	12
0	13	20	23	7	1	2	1	44	11	240	6	30	0	2	22	3	1	1	157	47	2	3	10	2	2	3	8	62	6	18	17	77	2	101	1	1	24	2	47	1	6	13	4	11	51	2110

第20節　陶質土器（第37～39図）

壺屋で「アカムヌー」あるいは「カマグワーヤチ」などと呼称される軟質の土器群である。鍋や火炉など火まわりの道具を主体としており、器面は主に橙色で、焼成不良で触ると粉末が付着する。整形方法はロクロナデを基本にナデ，ケズリを併用している。総数905点出土しており、器種は鍋・壺・鉢・火炉・土瓶・蓋・フライパン状製品などが得られている。その中で特徴的な資料27点を図示し、とりあげた。以下に各器種の分類概念を記し、個々の詳細は観察表に提示する。

1．鍋（1，2）

壺屋で「サークー」と呼ばれるタイプ。口縁部が「く」の字型に折れる。

2．壺（3）

胴部は袋状に広がるが、上部へ上がるにつれてすぼまり、口縁部が立ち上がる。

3．鉢（4，5）

口縁部が内湾する平底の鉢で、方言で「ミジクブサー」と称されるもの。口縁部に丸彫りの沈線と波状紋を施す。

4．火炉（6～8）

Ⅰ類：高台を有し、胴部は球形を呈し、口縁部は内湾する。口縁内面に器物を置くための突起を貼付する。（6、8）

Ⅱ類：底部からやや開きながら真っ直ぐに立ち上がり、肩部が内側に「く」の字状に折れる。（7）

5．土瓶（9、10～12）

Ⅰ類：腰部に稜を持ち、算盤珠状の形態を呈する。（9～11）

Ⅱ類：丸みを持った器形で、雪だるま状の形態を呈する。取手は横手である。（12）

6．蓋（13～18）

Ⅰ類：鍋用蓋。高台状の撮をもった緩やかなカーブをした舌状の形態。皿を伏せたような器形を呈する。（13～15）

Ⅱ類：土瓶用蓋。撮が付けられ、すべり止めの突起を有する。端部は庇状になる。（16～18）

7．フライパン状製品（19～21）

Ⅰ類：底部から内湾して立ち上がり、腰部にみられる稜から垂直気味にのびる。厚手。底部は中心に向かい上げ底になる。（19、21）

Ⅱ類：Ⅰ類と共通した形態だが、稜はみられず、薄手で口縁が肥厚する。（20）

8．型物（22）

獅子の顔面の破損資料。内面を丁寧に湾曲整形している。

9．小皿（23）

底部は平底で内湾気味に立ち上がる。薄手。灯明皿として使用されたと思われる。

10．器種不明（24、25）

24は上がり底で足をつくり、立ち上がり部に段を有する。25は平底の底部で、内湾気味に立ち上がる。外面の立ち上がり部に削りを入れている。

11．馬蹄形火炉（26、27）

26は下段部で、方形を呈する部位の口縁から底部である。27は半円形を呈する上段部の口縁部である。口縁部内側に器物を置くための突起を貼付している。凡例として喜友名貝塚・喜友名グスク（1900）出土の復元図資料を添付する。

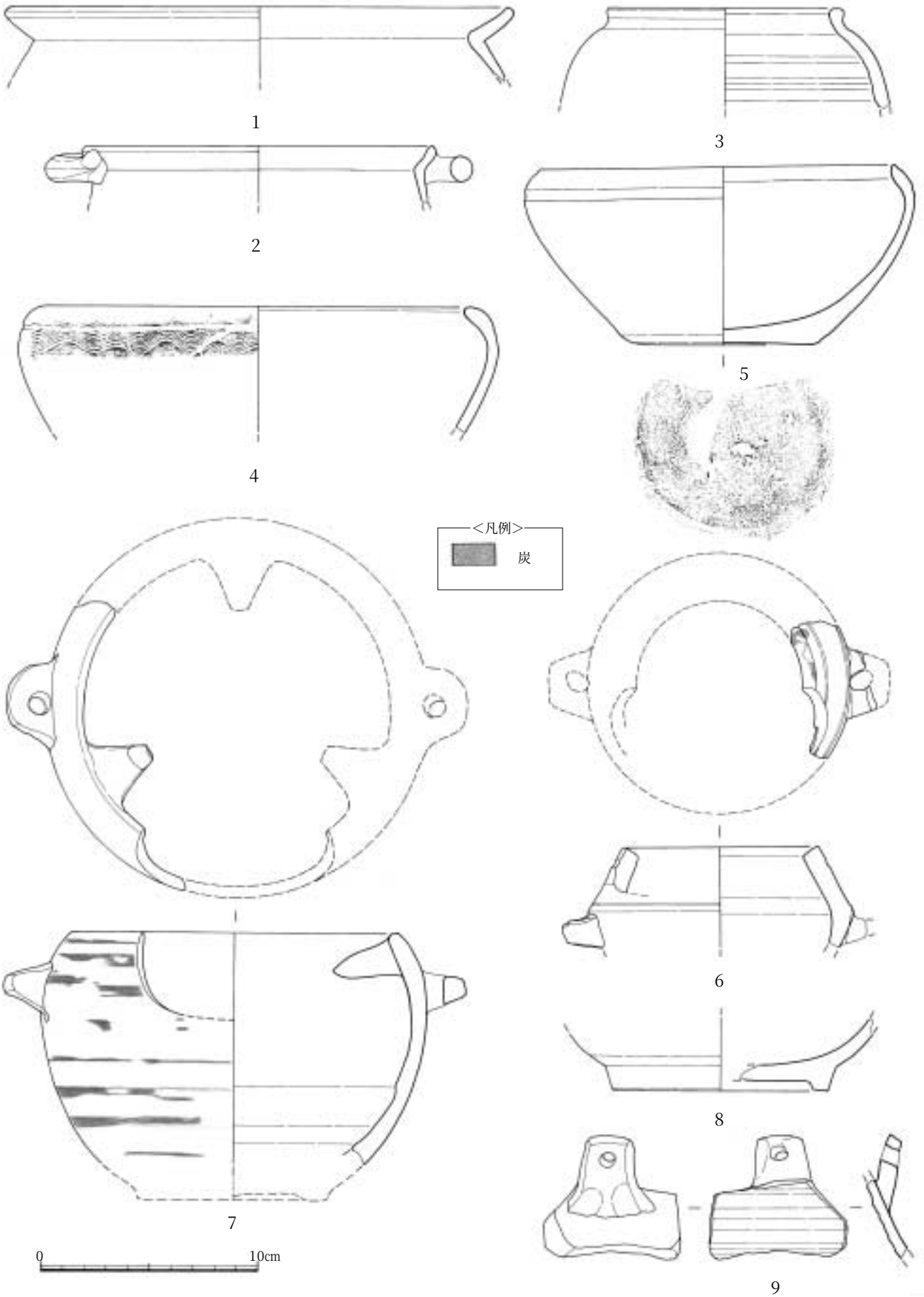
第20表　陶質土器出土状況

出土地			器種分類	鍋				壺	鉢				火炉								土瓶								鍋か土瓶	蓋				フライパン状製品			型物	小皿	馬蹄形火炉			器種不明				合計
													Ⅰ				Ⅱ			Ⅰ				Ⅱ					Ⅰ		Ⅱ		Ⅰ		Ⅱ									
				口	耳	胴	底	口	口～底	口	胴	底	口	耳	胴	底	口	耳	胴	口	注口	把手	胴	口	注口	胴	底	底	庇	撮	庇	撮	口	底	口		底	口～底	口	口	耳	胴	底	
A地区	A	1	1層																											1													1
		2	1層	1									1																														2
		3	1層	1		2				3						1				1			2					6	3												9	1	29
		4	1層	3																								1		1											2	1	8
		5	1層	1							2		2			1												1	1		1											2		11
		6	1層	5						1						1													1								1		3		1	1	14
		7	1層																																			1			1	2
		8	1層												1			1	1									1										1		3		8
		12	1層	1																																						1
	B	2	1層		1																																					1
		3	1層										1																													1	2
		4	1層	3	4	1							3			1						2						3											3		12		32
		5	1層	7	2	1				1			2		1					2						2		1		4	2				1				2		15	3	46
		6	1層	5	1	4				2			1	2									1		1			1	2		1		1	1					2		11	1	37
		7	1層	1																	1											2									1		5
		8	1層			1				1																					1									5	1	9
		9	1層		1	1															1							1											2		2	1	9
		12	1層																										1													1
	C	1	1層	2																		1						1		1	1											2		8
		2	1層	1	3	1			1				1			1						1						1											1		9	1	21
		3	1層	12	2	2				4	1		2		1	4	1					4	1					12	3	1	4	1							2		31	10	98
		4	1層	5	1		1				1	1		2		1						2						1		1		3							3		8	3	33
		5	1層																										1		1										1	2	5
		7	1層	2						1			1	1									1							1										2		2		11
		8	1層	2	2						2						2											1											2		7	1	19
		9	1層	2	1					1							1								1			1		1											5		13
		10	1層							1							1									2													1			1	6
		11	1層							1												1																		5	1	8
		12	1層	1																																						1
	D	1	1層	1									3															1															5
		2	1層	2									2																	1									2		5	1	13
		3	1層	4	1	2															3	1					1													4		16
		4	1層	1	2																																					3
		5	1層	2				1		1			1														1														2	1	9
		6	1層	2																	1	1							2										1		3		10
		7	1層										1		1										1			2	2			2		1					6		23	7	46
		8	1層	3	1					1			1				1									1										1			1		6	1	17
		9	1層	3						1		1						1		3	2							2	2										2	1	13	4	35
		10	1層	3			1	1		3			2		1	1	1			1	3	3						3		1	1	1							3		10	1	40
		11	1層																									2	1											1	4		8
		12	1層													1												2		1									3		1	4	12
		13	1層																																			1				1
	E	6	1層	1																				1				1															3
		7	1層	2									1				2				1																		5		9	1	21
		8	1層		1								2		1	1	2				1			1	1		3		1										7		26	1	48
		9	1層							1						1					1								1												2		6
		12	1層																		1										1										1		3
盛土				5	1	1				1	1		3	2		2	1	1		2					1			1	1		2									4		22	6	57
不明				1	1																						1			1										4	5	13
B地区	B	2	1層																																					1				1
		3	1層																																							1	1
	C	2	1層	1																																							1
		3	1層																																					1			1
		8	1層																																					1			1
C地区	き	11	1層																									1			1												2
	く	14	1層																						1																	1	2
		15	1層	1																	1										1												3
	け	13	1層				1						3	1											1			1		1	1	2									2	1	14
		15	1層	2									1	1																	1										2		7
	こ	13	1層																									1			1												2
		15	1層			1				3						1						1						1		1									1				9
	さ・し	14	1層												1																												1
不明				13	4		1			1			2		1		1			1	1		2			2		7													1		14	2	53
合計				102	29	17	4	2	1	28	7	2	36	9	7	17	12	4	2	6	16	19	9	3	5	9	4	59	22	9	26	13	1	1	1	1	1	1	1	64	2	286	67	905

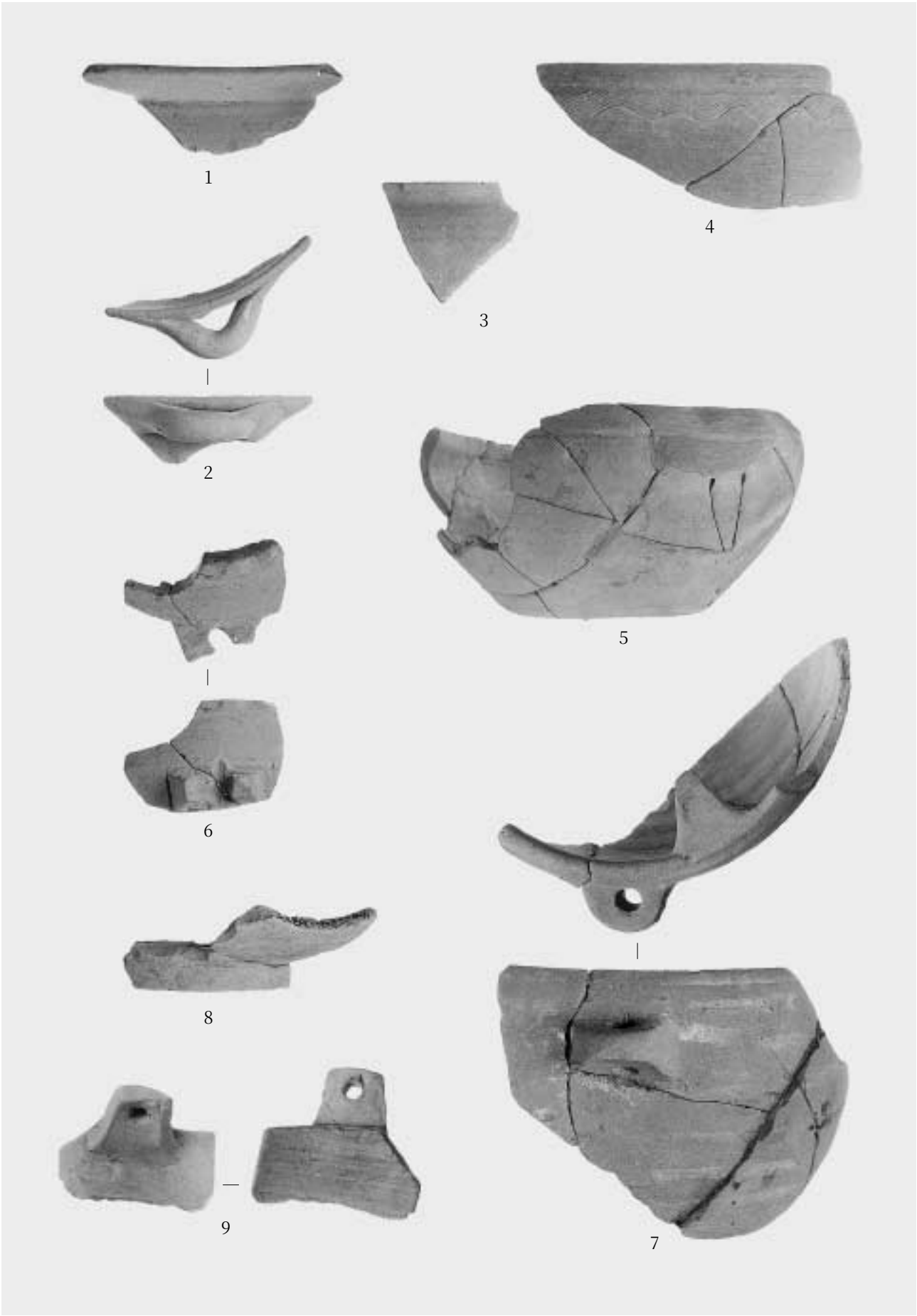
第21表　陶質土器観察一覧

単位：cm

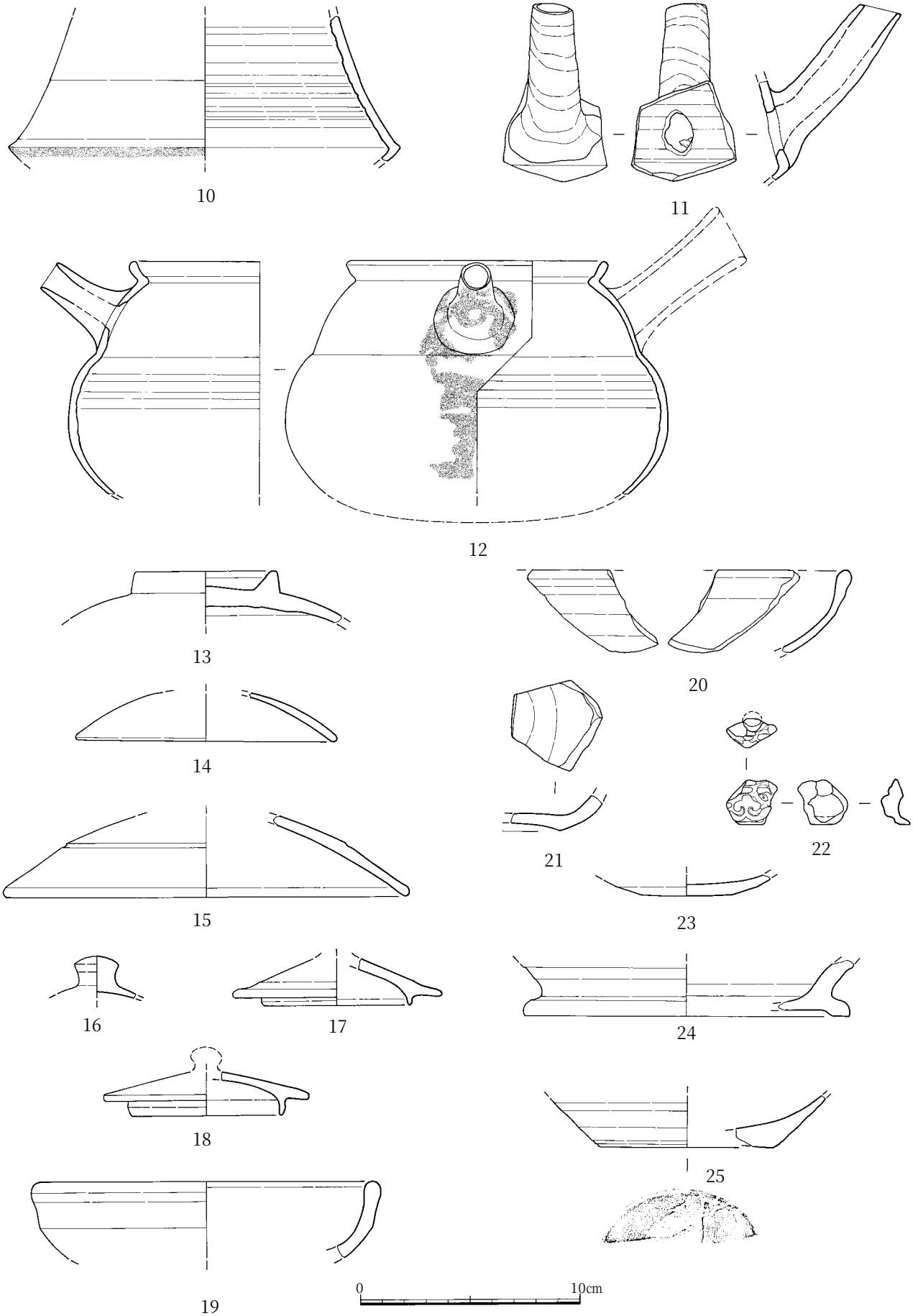
図	番号	器種/分類	部位	口径	器高	底径	器色	混入物	備　考	出土地
第37図（図版36）	1	鍋	口縁部	23.0	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	口縁のくびれが強い。	A地区 C－2　1層
	2		口縁部	16.0	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	把手を貼付している。	A地区 D－9　1層
	3	壺	口～胴	11.0	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	内面に轆轤痕。	A地区 D－10　1層
	4	鉢	口～胴	19.4	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	口縁部に波状の沈線を施す。	A地区 A－3　1層
	5		口～底	16.3	8.3	7.7	明橙色	白色粒、黒色粒、雲母粒。	底部に紐切痕。内面に煤が付着。	A地区 C－2　1層
	6	火炉Ⅱ	口～胴	9.0	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	外面に白化粧土の圏線を施す。	A地区 E－8　1層
	7	火炉Ⅰ	口～胴	15.0	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	口縁及び内面に煤が付着。焼成良好。	不明
	8	火炉Ⅰ	底部	—	—	10.0	外面にぶい黄橙、内面橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	外面に白化粧土の圏線を施す。内面に煤が付着。	A地区 C－3　1層
	9	土瓶Ⅰ	把手	—	—	—	にぶい黄橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	内面に条線が入る。器面に比べ把手のつくりは雑。	A地区 D－10　1層
第38図（図版37）	10	土瓶Ⅰ	胴部	—	—	—	にぶい橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	内面に整形時の条線が入る。外面に煤が付着。	A地区 D－10　1層
	11		注口	—	—	—	にぶい黄橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	内外面に煤が付着。注口のつくりは器面に比べ雑。	A地区 B－7　1層
	12	土瓶Ⅱ	口～胴	11.6	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	外面に白化粧土の圏線。Ⅰ類より薄く焼成良好。外面に煤が付着。	A地区 E－6　1層
	13	蓋Ⅰ	撮～庇	6.6	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	鍋用。	A地区 A－6　1層
	14		庇	12.0	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	鍋用。焼成良好。	A地区 D－7　1層
	15		庇	18.6	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	鍋用。	A地区 D－7　1層
	16	蓋Ⅱ	撮	—	—	—	にぶい橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	土瓶用。砂質が強い。	A地区 B－7　1層
	17		庇	9.6	—	6.7	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	土瓶用。	A地区 D－10　1層
	18		庇	9.4	—	6.8	にぶい黄橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	土瓶用。両面に煤が付着。	A地区 A－5　1層
	19	フライパン状製品Ⅰ	口～胴	15.3	—	—	黒褐色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	口縁内面の色調はにぶい黄橙色。	A地区 B－6　1層
	20	フライパン状製品Ⅱ	口～胴	—	—	—	黒褐色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	焼成良好。	A地区 D－7　1層
	21	フライパン状製品Ⅰ	底部	—	—	—	黒褐色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	底部が上底状。	A地区 B－6　1層
	22	型物	顔	—	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	器ものの一部か？	A地区 B－5　1層
	23	小皿	底部	—	—	4.3	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	内面に煤が付着。	A地区 D－8　1層
	24	器種不明	底部	—	—	15.0	にぶい橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	焼成良好。煤が付着。	A地区 C－3　1層
	25		底部	—	—	7.8	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	底部に紐切痕。	A地区 B－9　1層
第39図 図版38	26	馬蹄形火炉	口～底	—	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	煤が付着。	A地区 A－6　1層
	27		口縁部	—	—	—	橙色	白色粒、黒色粒、赤色粒、雲母粒。	煤が付着。	C地区 こ－15　1層



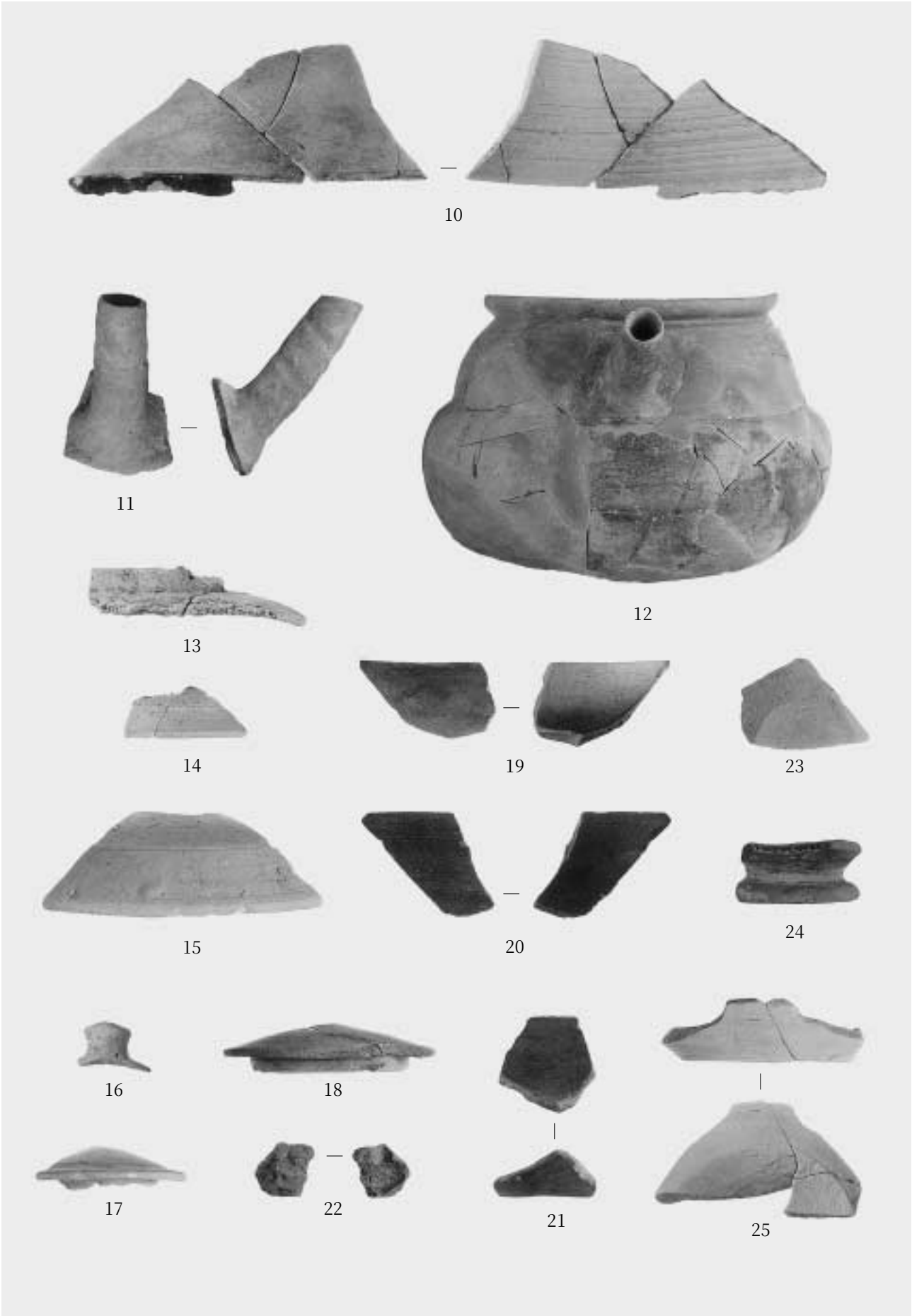
第37図　陶質土器1　鍋(1・2)、壺(3)、鉢(4・5)、火炉(6～8)、土瓶(9)



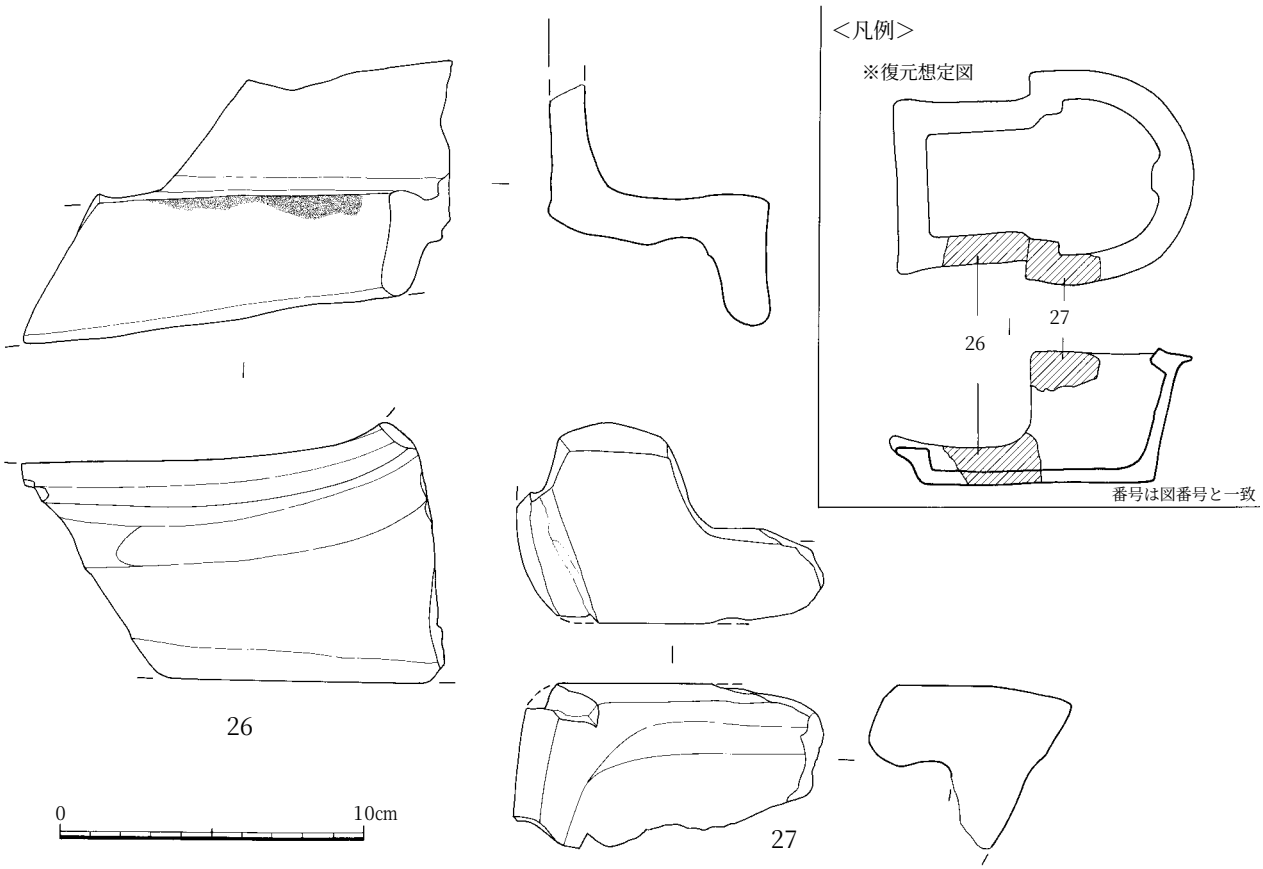
図版36　陶質土器1



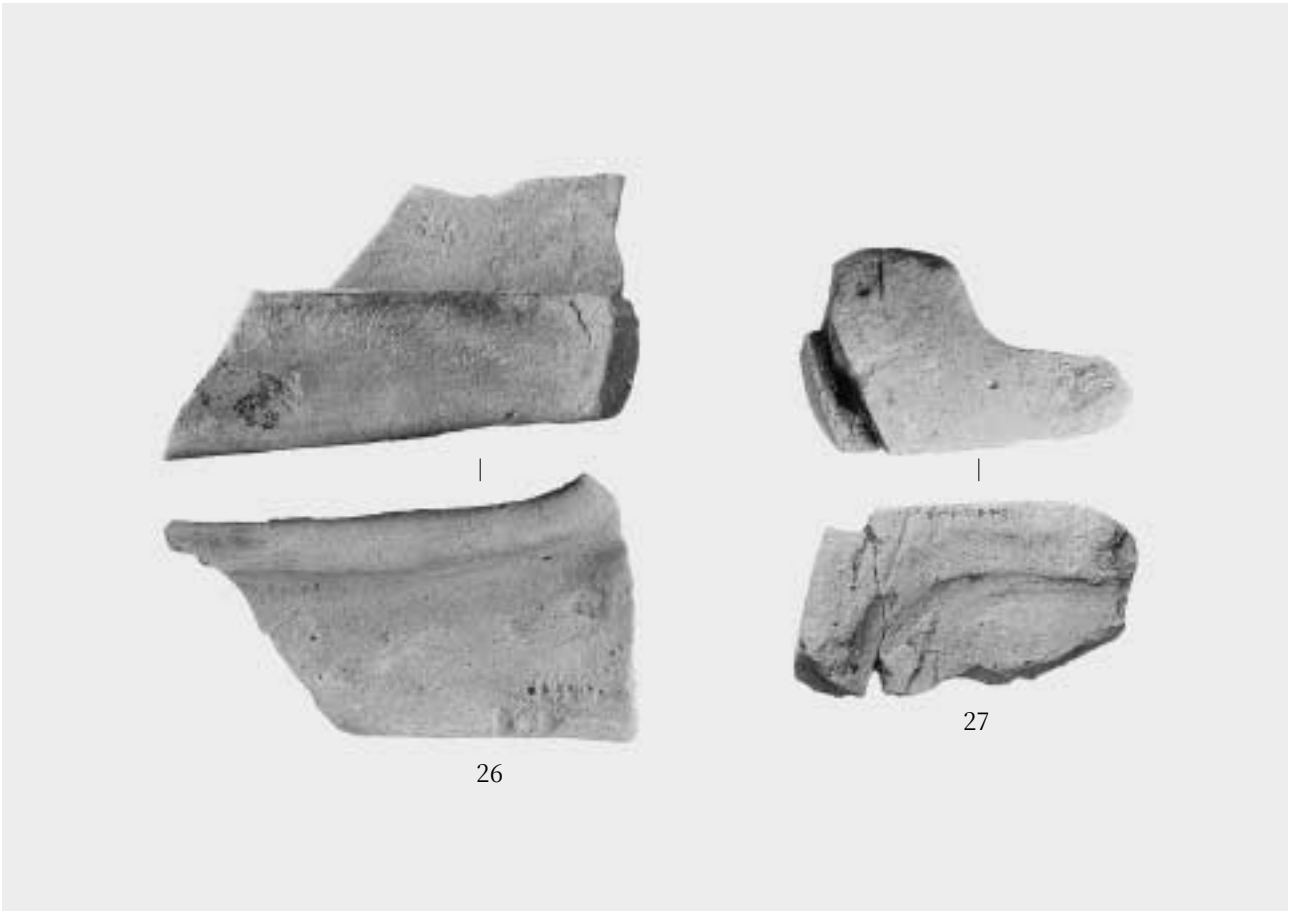
第38図　陶質土器2　土瓶(10～12)、蓋(13～18)、フライパン状製品(19～21)、型物(22)
小皿(23)、器種不明(24・25)



図版37　陶質土器2



第39図　陶質土器3　馬蹄形火炉(26・27)



図版38　陶質土器3

第21節　瓦質土器（第40図）

今回の調査では総数30点の瓦質土器が出土した。以下に特徴的な資料を図示した。

１は火炉の口縁部で、外反し口唇部を肥厚する。また口縁内部には器物を置くための突起が貼付されている。色調は暗灰色で、白色粒を少量含み焼成は良く、引き締まる。口径14.2㎝。Ｂ地区盛土出土。

２、３は鉢である。２は口縁部で、口縁を外側に折り曲げた鍔縁状の形態を呈する。また、外面の口縁部下部には縦位沈線文を施している。色調は灰オリーブ色で白色粒、黒色粒、雲母粒を含む。焼成は悪く、ややザラザラした質感である。27.4㎝。Ａ地区Ｄ－11・１層出土。３は底部で高台を有し、くびれて立ち上がる形態を呈する。全面の調整は丁寧に施される。色調は暗灰色で、白色粒が含まれ焼成は良く、引き締まる。底径12.6㎝。Ａ地区Ｅ－12・１層出土。

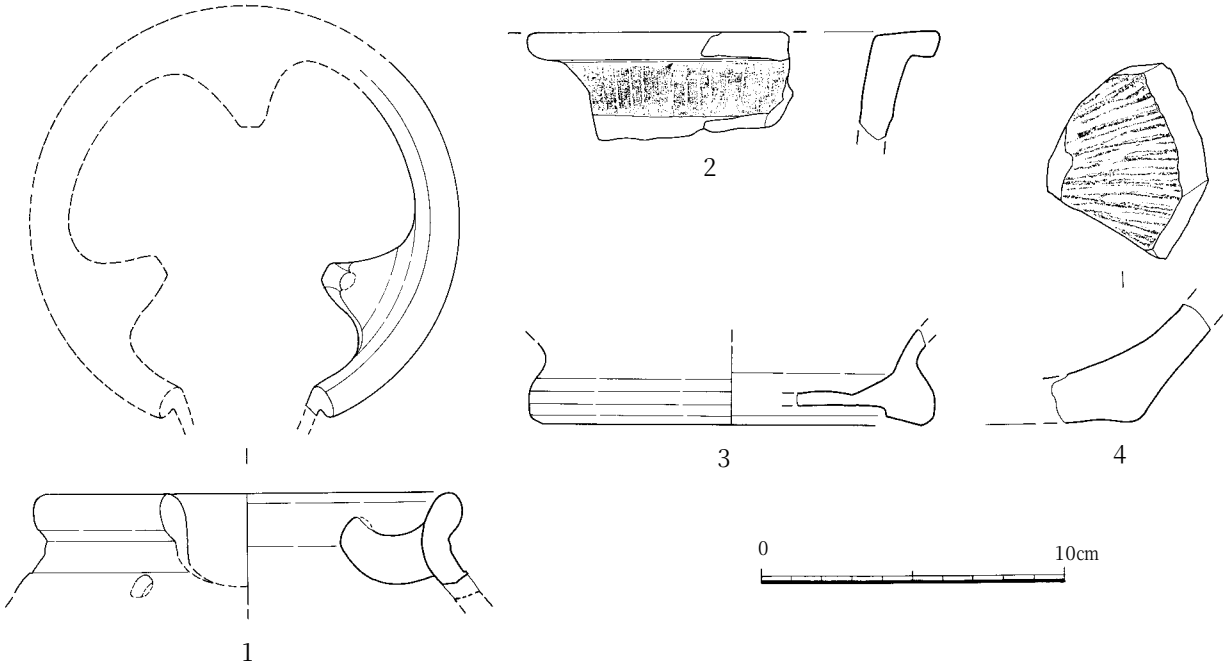
４は擂鉢の底部である。平底で斜めに真っ直ぐ立ち上がる形態を呈する。全面の調整はやや雑であり、色調は灰色で白色粒、黒色粒、雲母粒を含む。焼成は悪い。Ａ地区Ｄ－12・１層出土。

第22表　瓦質土器出土状況

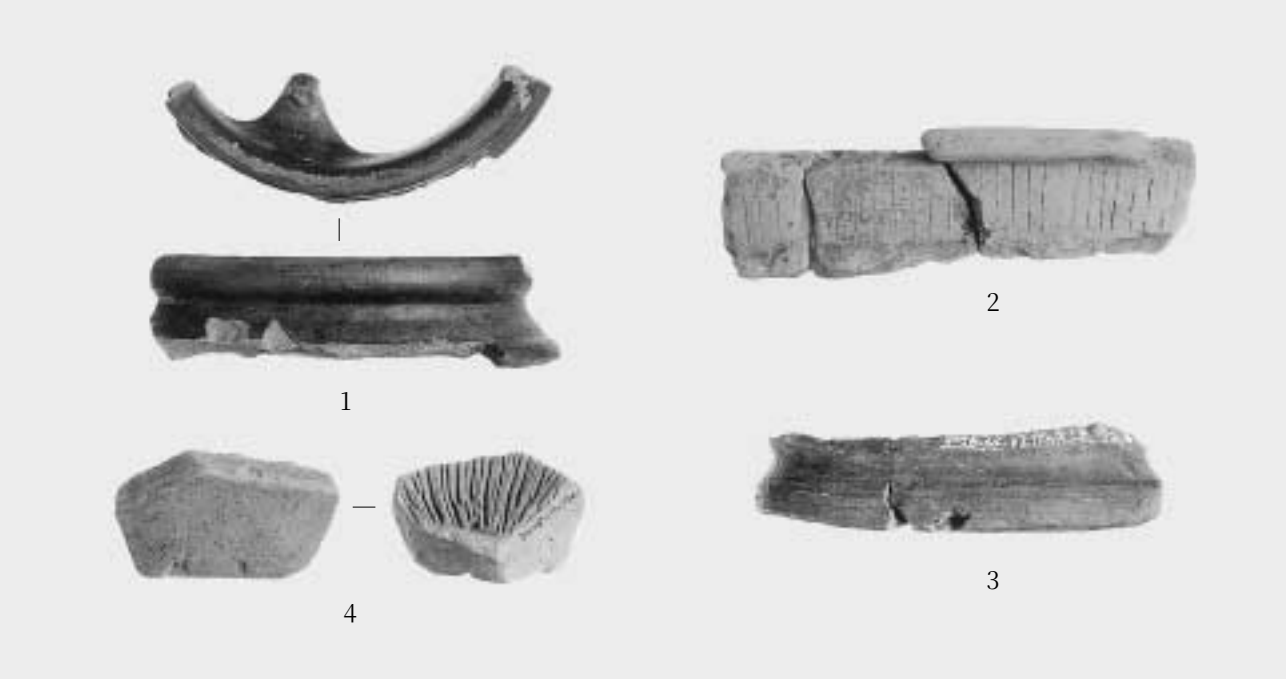
出土地＼器種			鉢		擂鉢		風炉	火炉	かまど		器種不明			合計
			口	底	胴	底	胴	口	口	底	口	胴	底	
A地区	A	3 1層							2	1				3
		5 1層							1					1
		6 1層									1			1
	B	2 1層											1	1
		4 1層							1					1
		6 1層			1									1
	C	1 1層										1		1
		8 1層									1	1		2
	D	5 1層										1		1
		11 1層	1		1		1						1	4
		12 1層				1	1				1			3
	E	8 1層									1		1	2
		12 1層		1										1
	盛土												1	1
	不明											1	1	2
B地区 盛土								1						1
不明									1		1	1	1	4
合計					2	1	2	1	5	1	5	5	6	30

第23表　瓦・塼出土状況

種類＼出土地		A地区																			B地区			C地区						不明	合計
		A			C		D								E				不明	盛土	C	盛土	不明	き	く	こ	さ		表採		
		4	8	9	4	11	3	7	8		9	10	11	12	7	8	9	12			5			11	12	14	13	13			
		1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層	1層 3号集石	1層	1層	1層	1層	1層 7号集石	1層	1層	1層	1層		1層			1層	1層	1層	1層	2層			
高麗系	軒平瓦					1																									1
	平瓦		1			3					1			1		1		1						1					1	4	14
大和系	雁振瓦												1																		1
	軒平瓦																													1	1
	丸瓦					1																									1
明朝系	軒丸							2			1				1									2			1	1			8
	丸瓦	1		1	1						1						2			1	1									1	9
	平瓦				3		1					1							1													6
塼						1			1	1				1		1		1				1	2	7	2	3				1	22
合計		1	1	1	4	6	1	2	1	1	3	1	1	2	1	2	2	2	1	1	1	1	2	10	2	3	1	1	1	7	63



第40図　瓦質土器　火炉(1)、鉢(2・3)、擂鉢(4)



図版39　瓦質土器

第22節　瓦（第41・42図）

瓦は総数41点出土した。出土した瓦は高麗系瓦、大和系瓦、明朝系瓦の３タイプに分類できる。その中でも特徴的な資料11点をとりあげた。資料は全て破片資料である。なお、今回の分類は大山清氏（大川1978）と上原静氏（上原1994・1996）の論考を参考にした。

１．高麗系瓦（１～３）

軒平瓦（１）

瓦当部を大きく欠損しているため全体は伺えないが、わずかに浦添５類に類似する二重の巴紋と思われる文様の一部が確認できる。色調は灰白色である。Ａ地区Ｃ－11・１層出土。

平瓦（２，３）

２は凸面に調整のための羽状文様の叩き目痕がみられるが、口縁付近はナデ調整によって叩き目痕を消している。凹面には細かい糸切り痕がみられる。色調は表面灰黄色、胎土中央部は灰色である。Ｃ地区き－11・１層出土。３は瓦の両端が破損しているため端部は伺えないが、凸面に調整のための羽状文様の叩き目痕がみられる。凹面は布目圧痕と２より間隔の広い糸切り痕がみられる。色調は表面灰白色、胎土中央部は灰色である。Ｃ地区表採出土。

２．大和系瓦（４～６）

雁振瓦（４）

完形は丸瓦の両端に平瓦をくっつけたような形態であるが、４はほぼ丸瓦部分のみの破片資料である。両面に丁寧なナデ調整を施しているが、丸瓦部凹面に溝状の窪みを数条施している。また、丸瓦端部に口径1.1㎝の釘穴が確認できる。色調は白灰色である。Ａ地区Ｄ－11・１層出土。

軒平瓦（５）

崎山２類に該当するもので、全体的に丁寧な調整が施されており、瓦当面には凸線の唐草文様がみられる。色調は表面灰黄色、胎土中央部は灰色である。出土地不明。

丸瓦（６）

玉縁部と筒部の一部が残る資料である。凸面は全体に丁寧なナデ調整が施されている。凹面は格子状の紐圧痕が確認できるが、切り込み部は篦によるナデ調整を行っている。色調は灰白色である。Ａ地区Ｃ－11・１層出土。

３．明朝系瓦（７～11）

軒丸瓦（７～９）

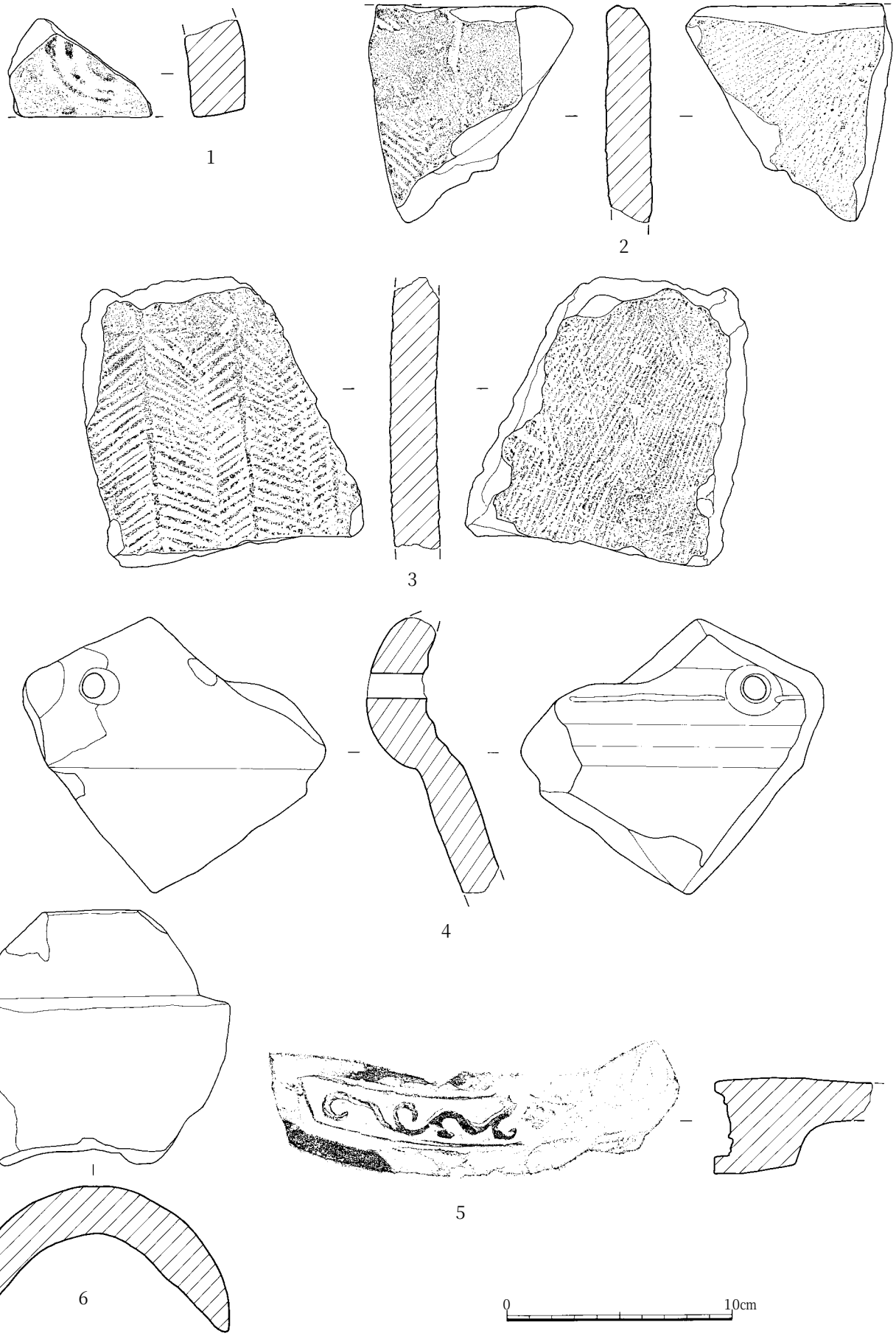
３点とも瓦当面に施された花の文様は牡丹である。７（Ｃ地区こ－13・１層出土）、８（Ｃ地区さ－13・２層出土）は第Ⅸ文様Ｃ01に該当するものである。文様は具象的で、花弁は芯部を包み込むような形状で縦にのびるように広がる。また、広い間隔で珠文もみられる。色調は共に赤色である。９は第Ⅲ文様Ⅲ08に該当するものである。色調は灰色で７，８とは異なり花弁が簡略化された形式で制作されている。７，８よりも古手のもので珠文もみられ、珠文の間隔は狭く、数も多く配される。Ａ地区Ｅ－７・１層７号集石出土。

丸瓦（10）

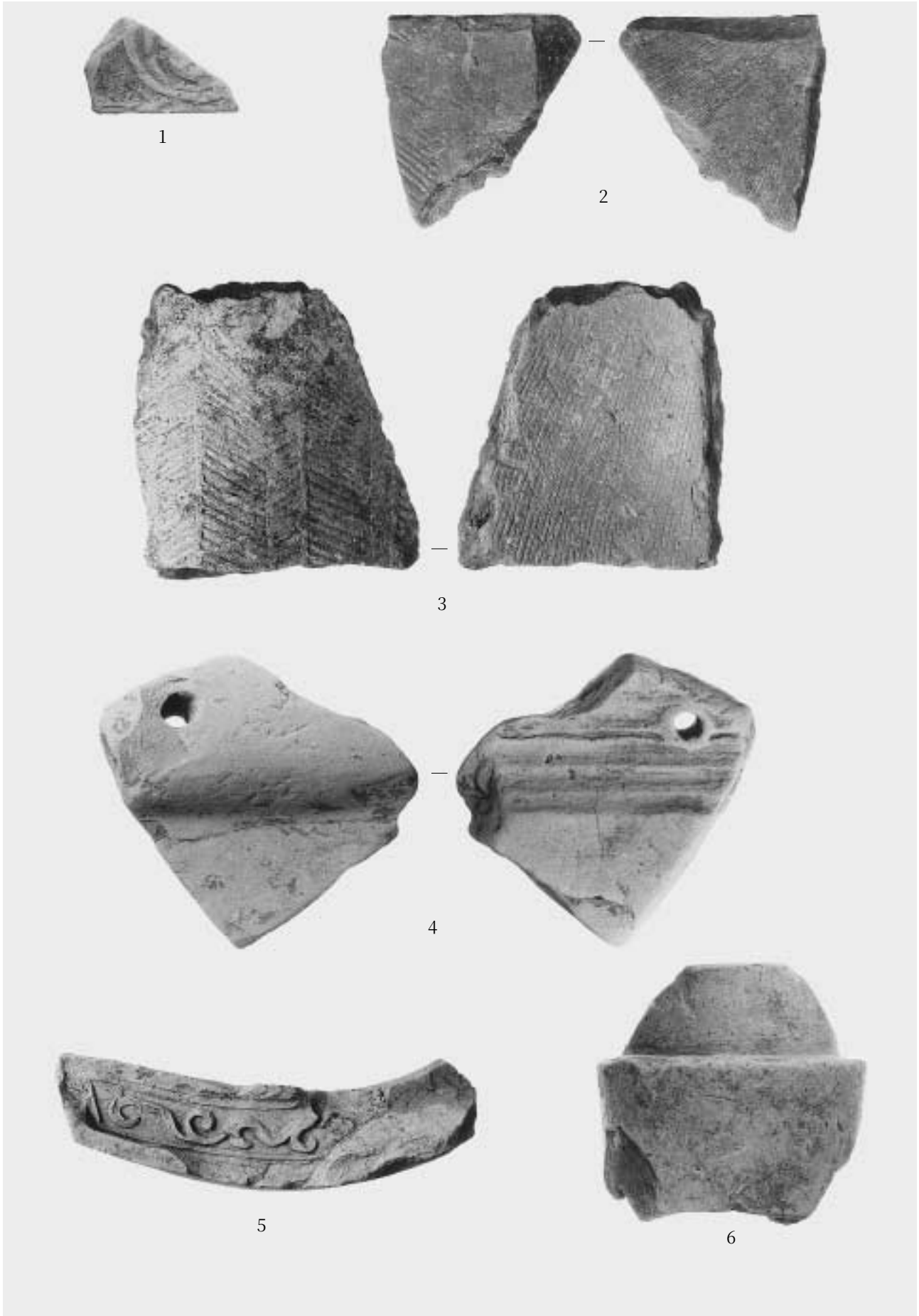
玉縁部から筒部中央部までを残す破片資料である。凸面には篦によるナデ調整が施され、一部に漆喰の付着がみられる。凹面には布目圧痕がみられるが玉縁部の切り込み部を丁寧に篦状のもので調整を施している。色調は灰黄色である。Ａ地区Ｅ－９・１層出土。

平瓦（11）

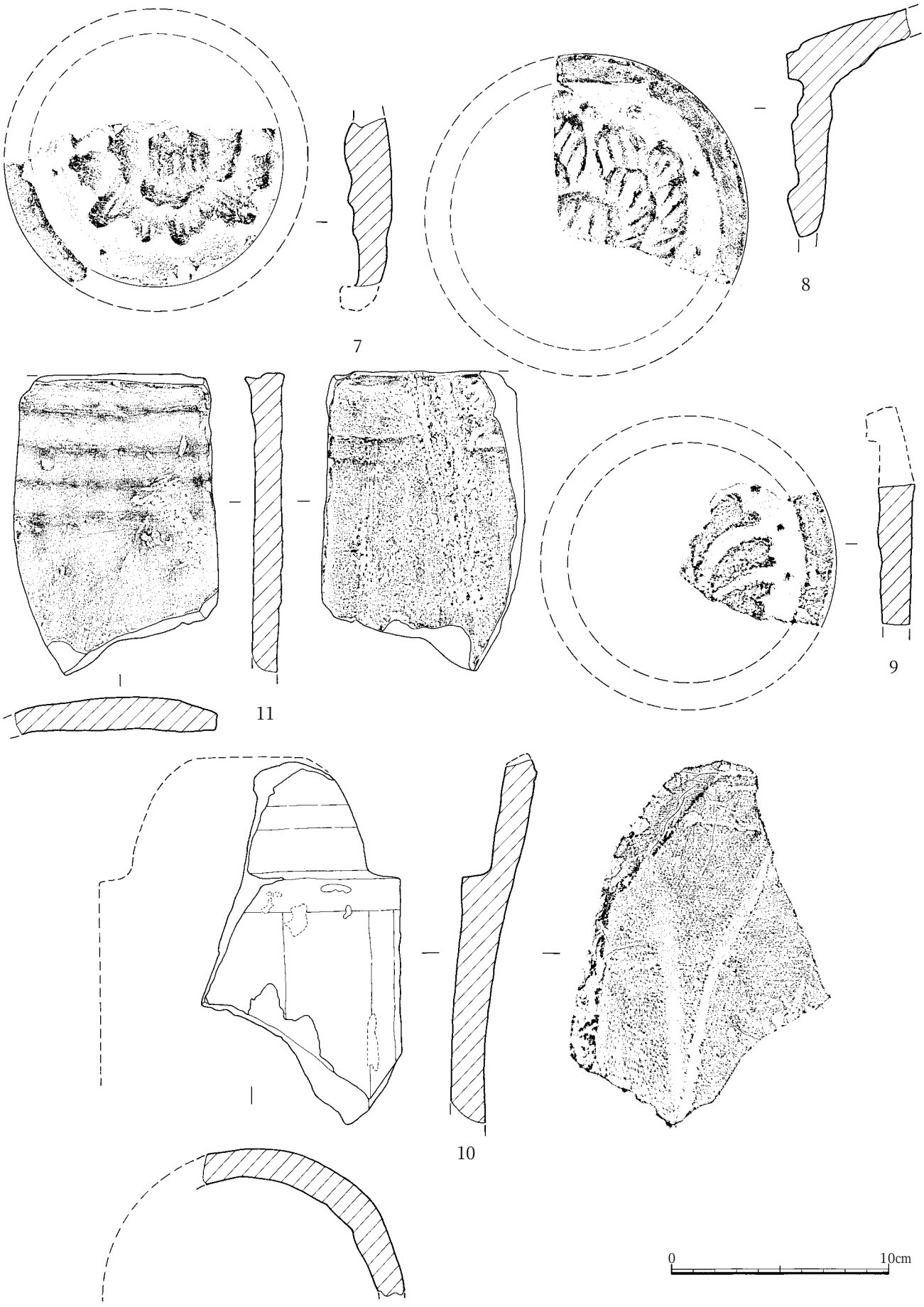
色調は赤色で焼成は良く、引き締まる。丸瓦同様、凸面には篦による整形が施され、凹面には布目圧痕がみられる。また端面と凹面の一部に漆喰が付着しているが、破損した面にも漆喰が付着していることから破損後に付着したとも考えられる。Ａ地区グリッド不明・１層出土。



第41図　瓦1



図版40　瓦1

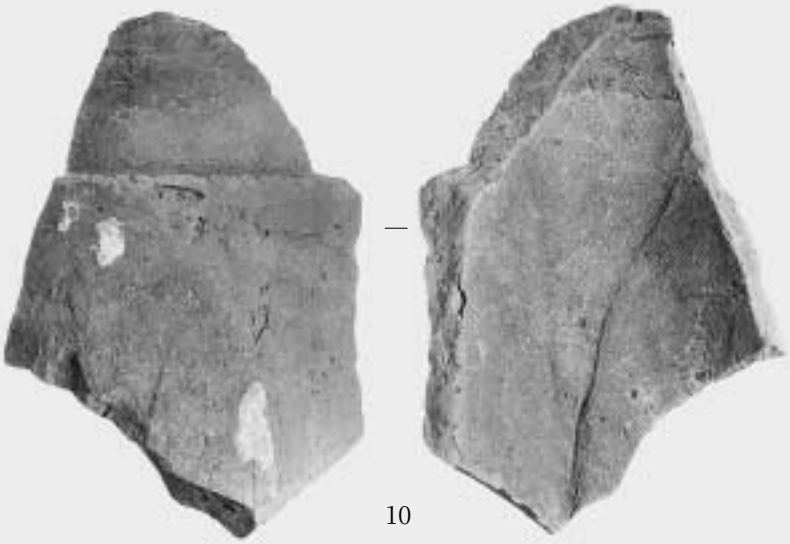


第42図　瓦2

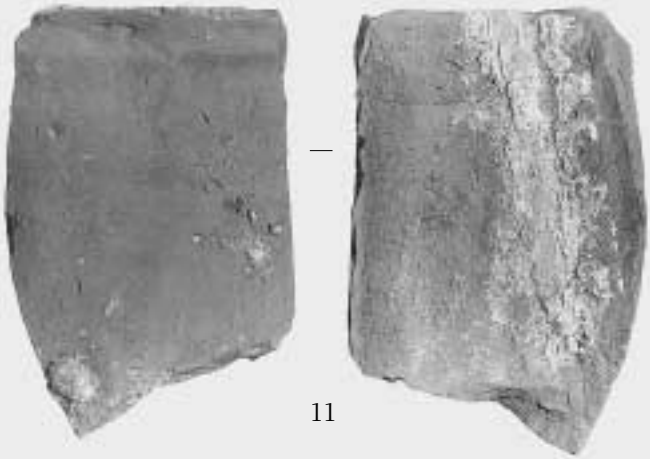
7

8

9



10



11

図版41　瓦2

第23節　円盤状製品（第43図）

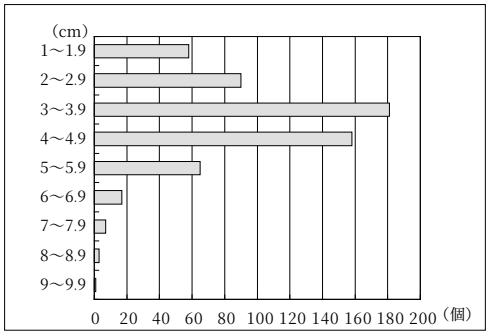
ここで出土した円盤状製品は日用雑器や瓦等を円形に加工し、二次利用した製品である。総数580点と大量の製品が出土した。大きさもさまざまであるが平均的に３～4.9㎝大のものが全体の約58％を占める。調整方法は片面もしくは両面からの打割によって整形するが、稀に凹凸の残った横面を丁寧な研磨によって整形されたものもみられる。以下に円盤状製品の集計表等及び、特徴的な資料26点を図示し、観察表にまとめた。

第24表　円盤状製品素材別出土状況

単位：cm

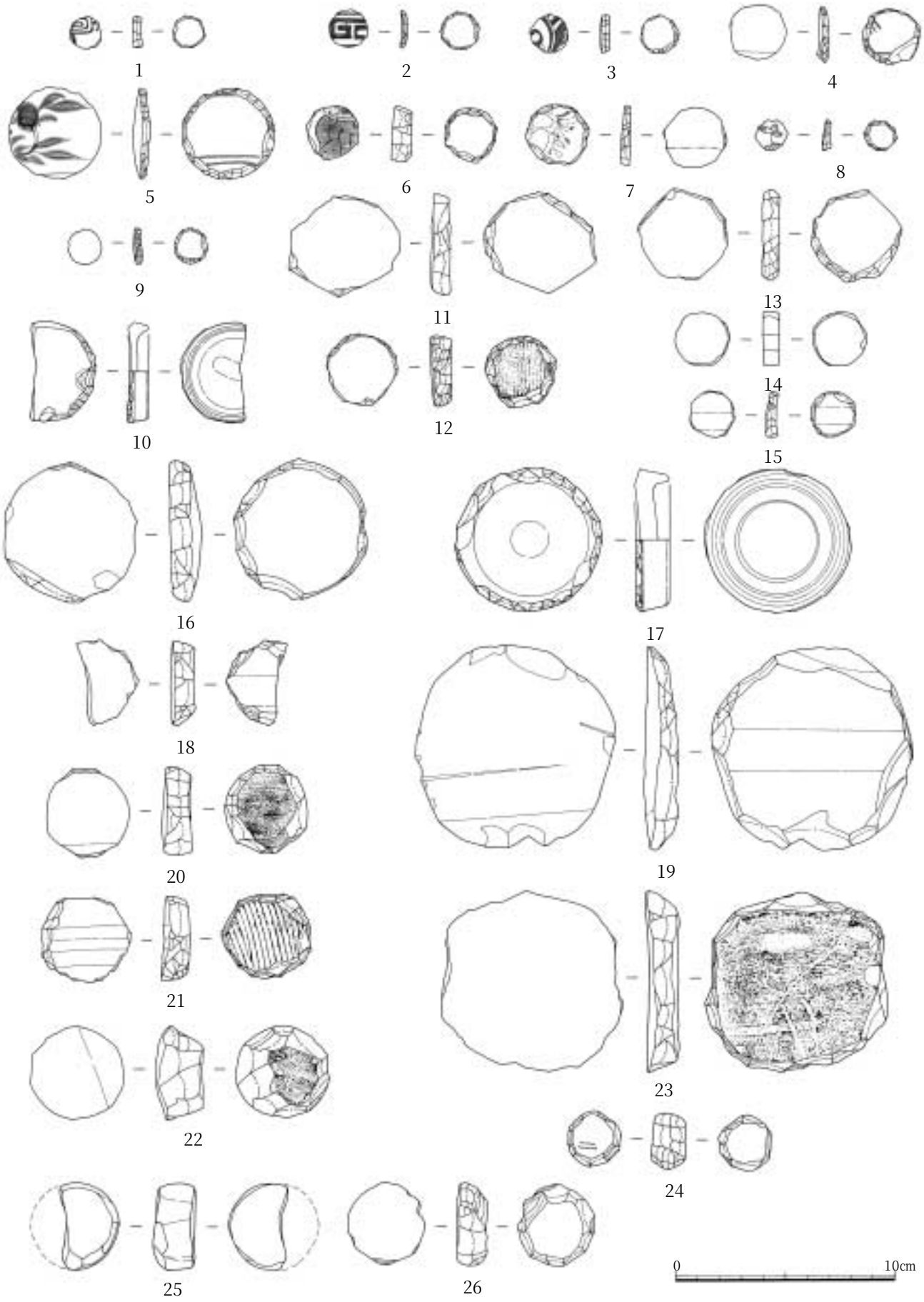
種類／大きさ	白磁	染付	色絵	褐釉陶器	本土産染付	本土産陶器	沖施	沖無	土器	陶質土器	瓦	石	合計
1～1.9	6	28	0	0	4	1	10	1	1	4	3	0	58
2～2.9	2	21	2	3	1	1	17	21	1	2	18	1	90
3～3.9	3	8	0	3	0	3	10	73	0	1	80	0	181
4～4.9	1	1	0	2	0	1	1	58	0	1	93	0	158
5～5.9	0	0	0	1	0	0	0	16	0	0	48	0	65
6～6.9	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	9	0	17
7～7.9	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	0	7
8～8.9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
9～9.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	12	58	2	9	5	6	42	176	2	8	259	1	580

第25表　大きさと数量の相関

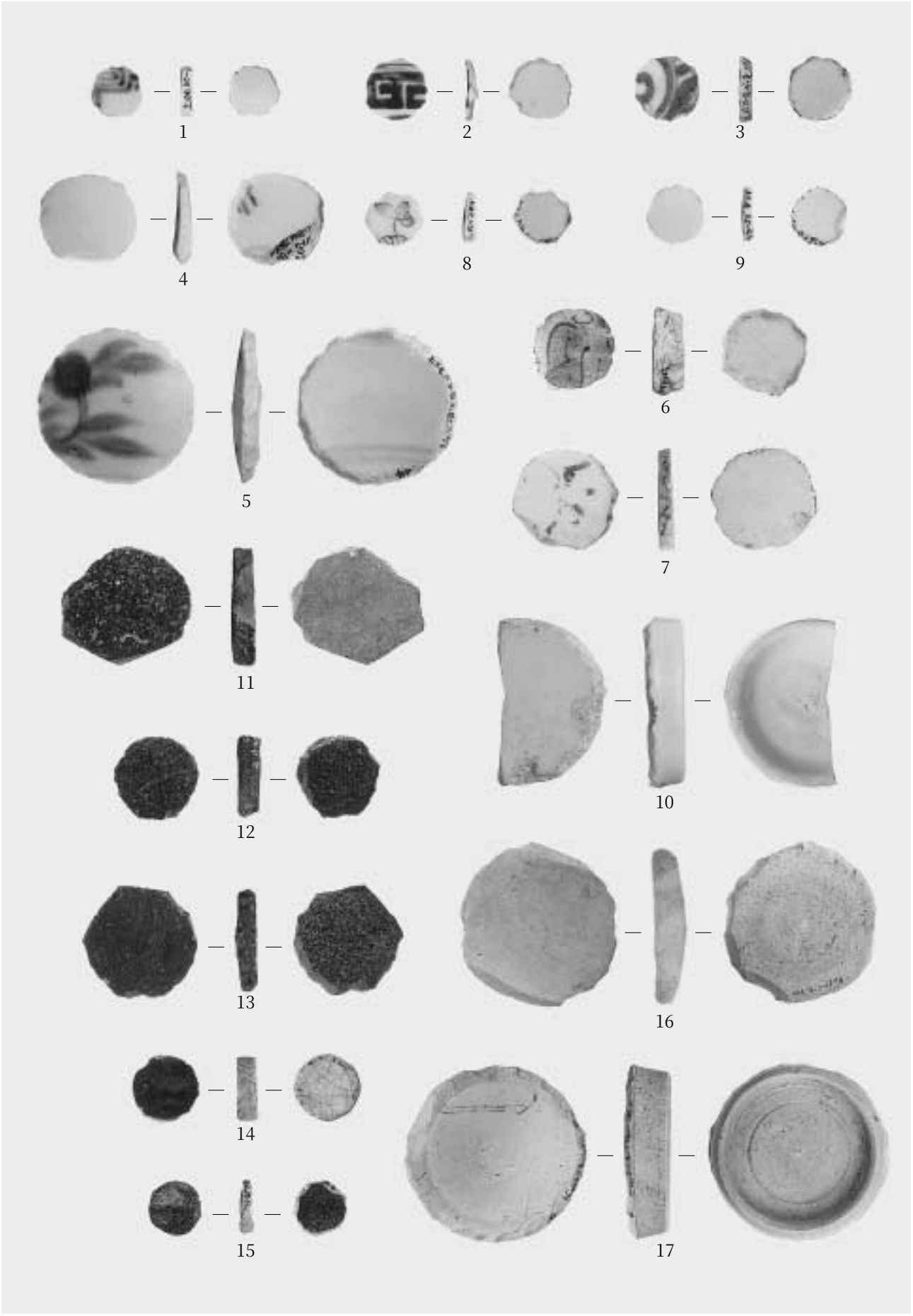


第26表　円盤状製品観察一覧

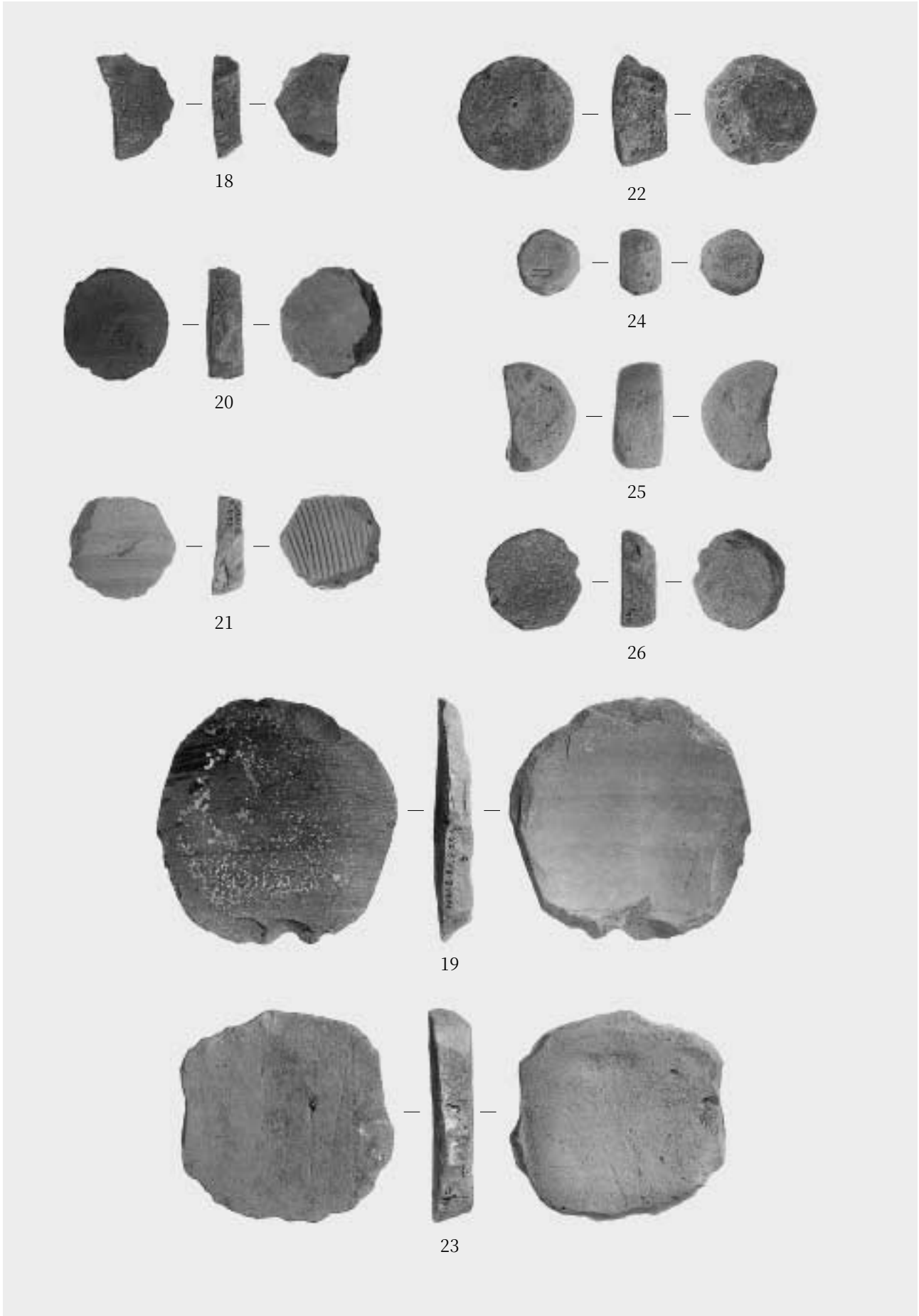
図	番号	素材	長径(㎝)	厚さ(㎝)	重さ(g)	使用部位	備考	出土地
第43図（図版42・43）	1	染付	1.5	0.4	1.4	胴部	完形。	A地区　C－4　1層
	2	染付	1.8	0.2	1.1	胴部	完形。	C地区　く－15　1層
	3	染付	1.8	0.3	1.7	胴部	完形。	A地区　C－8　1層
	4	染付	2.6	0.4	3.4	胴部	完形。	B地区　B－1　1層
	5	染付	4.2	0.5	11.9	胴部	完形。丁寧に打ち掻く。	A地区　D－8　1層
	6	染付	2.5	0.9	7.3	胴部	完形。	A地区　E－8　1層
	7	色絵	2.7	0.4	4.9	胴部	完形。	A地区　盛土
	8	本土産染付	1.4	0.3	0.9	胴部	完形。	A地区　D－7　1層
	9	白磁	3.3	0.3	1.2	胴部	完形。	A地区　C－4　1層
	10	白磁	4.7	0.3	12.6	底部	破損。細かく打割。	A地区　D－10　1層
	11	褐釉	4.2	0.8	28.1	胴部	完形。タイ産か？	A地区　D－5　1層
	12	本土産陶器	1.6	0.9	13.3	胴部	完形。薩摩。	不明
	13	本土産陶器	4.7	0.8	18.6	胴部	完形。	A地区　D－8　1層
	14	沖縄産施釉	6.5	0.8	6.0	胴部	完形。横面を丁寧な研磨によって調整。	C地区　こ－15　1層
	15	沖縄産施釉	6.7	0.5	2.8	胴部	完形。	A地区　C－3　1層
	16	沖縄産施釉	3.8	1.2	50.7	底部	完形。高台内を打割。	C地区　こ－13　1層
	17	沖縄産施釉	8.4	0.8	72.5	底部	完形。	A地区　D－8　1層
	18	沖縄産無釉	4.0	1.0	13.5	胴部	破損。	A地区　D－7　1層
	19	沖縄産無釉	4.4	1.0	126.1	胴部	完形。	A地区　E－8　1層
	20	沖縄産無釉	2.6	1.2	27.2	胴部	完形。	A地区　D－9　1層
	21	沖縄産無釉	3.9	1.0	21.7	胴部	完形。	A地区　D－12　1層
	22	瓦	9.4	1.9	35.5	丸瓦	完形。灰色瓦。	A地区　D－9　1層
	23	瓦	4.1	1.3	119.1	平瓦	完形。赤瓦。	A地区　D－1　1層6号集石
	24	瓦	3.9	1.5	10.2	不明	完形。赤瓦。	A地区　D－7　1層
	25	瓦	2.5	1.8	22.4	不明	破損。赤瓦。全面に研磨を施す。	A地区　D－9　1層
	26	石	2.1	1.3	26.3		完形。細粒砂岩。表面に丁寧な研磨を施す。	A地区　E－7　1層



第43図　円盤状製品



図版42　円盤状製品(1～17)



図版43　円盤状製品(18～26)

第24節　石器・石製品（第44図）

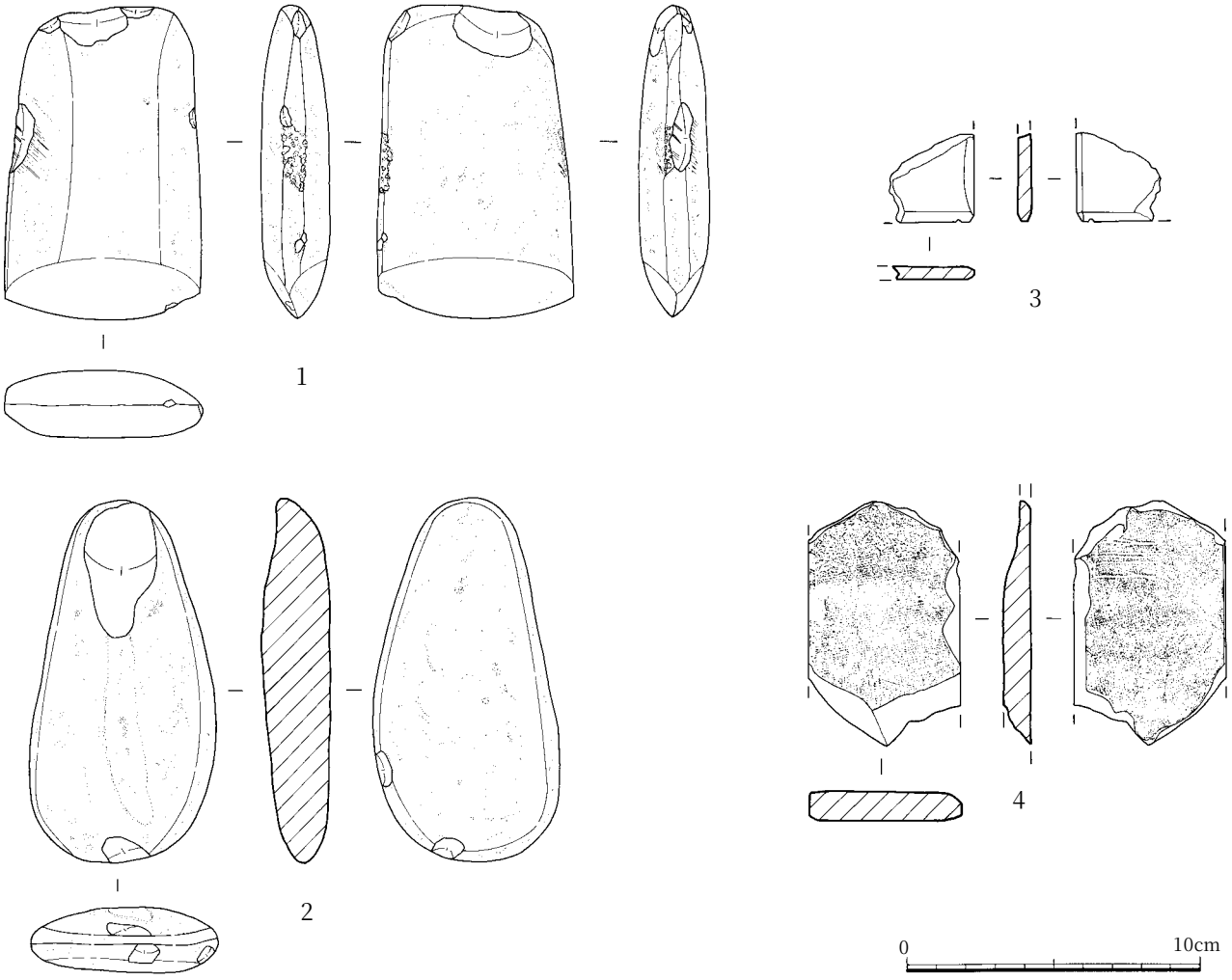
石器・石製品は４点確認されている。

１は緑色片岩製の石斧である。刃は両刃で、刃部及び基部ともに丹念に研磨されている。基端は敲打より欠けている部分があり、基部に擦れが確認できる。長さ10.6cm、幅6.5cm、厚さ2.2cm、重量282.6ｇ。Ａ地区Ｃ－９・１層出土。

２は砂岩製品である。両端に敲打痕があり、基部の中央には僅かな窪みが確認できる。長さ12.4cm、幅6.2cm、厚さ21.4cm、重量262.5ｇ。Ａ地区Ｃ－７・１層出土。

３は粘板岩製の石製品である。小破片のため用途は判然としない。表裏面ともに研磨され、縁は斜位に面取されている。重量6.9ｇ。Ａ地区Ｂ－９・１層出土。

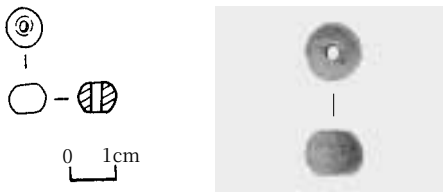
４は硯である。表裏面に線状の凹痕があるため、硯としての機能だけではなく、砥石としても使用された可能性もある。幅5.1cm、重量64.2ｇ。Ａ地区Ａ－５・１層出土。



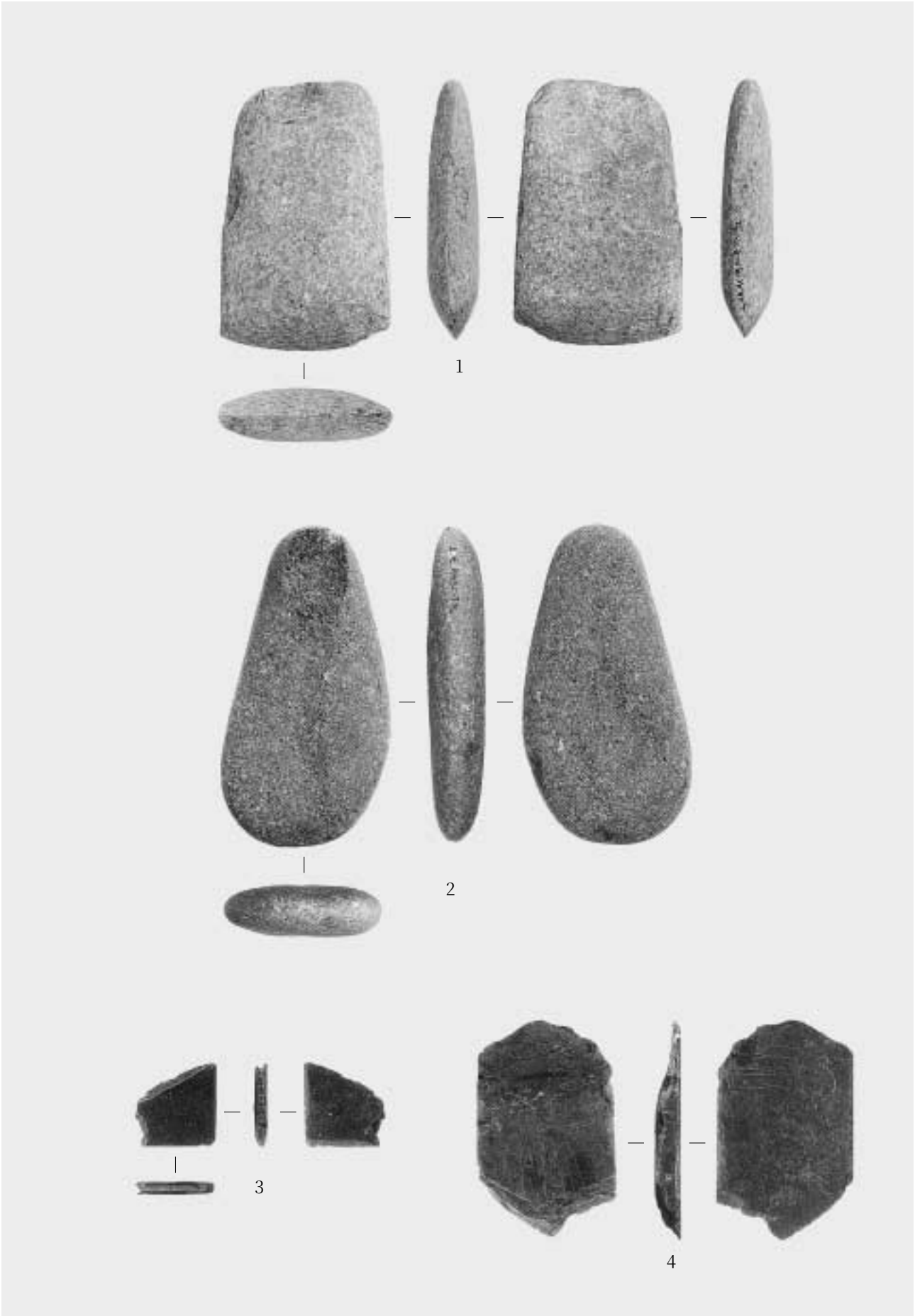
第44図　石器(1)、石製品(2・3・4)

第25節　玉（第45図）

ガラス製の玉が１点出土している。紐状のガラスを巻きつけて製作した痕が、表面に観察できる。表面に光沢はなく、若干脆くなっている。水色を呈する。外径８㎜、孔径２㎜、高さ６㎜、重量0.7ｇ。Ａ地区Ｃ－５・１層出土。



第45図　玉　　図版45　玉



図版44　石器・石製品

第26節　青銅製品（第46図）

青銅製品は簪12点、装飾品と考えられるものが１点出土している。

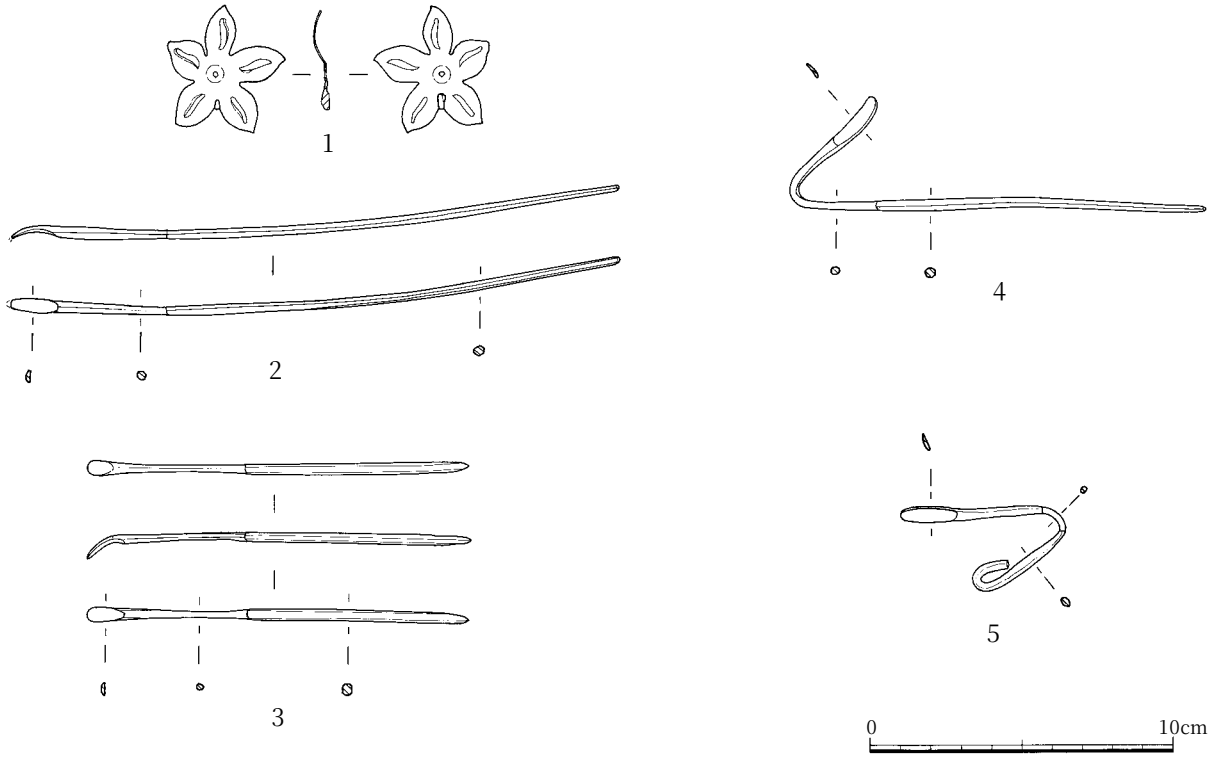
１は、装飾品の一部で花弁形であり、各花弁の中心に透かしがある。また、中央に他の部品によって固定されていたと考えられる孔が確認できる。重量2.2ｇ。Ｃ地区き－11・１層出土。

２は、簪であり、カブ、首、竿で構成されている。カブは匙形であり、先端を欠損している。首の断面は円形であり、竿の断面は六角形である。残存長162㎜、カブ3.78㎜、首2.38㎜、竿149㎜、重量5.7ｇ。出土地不明。

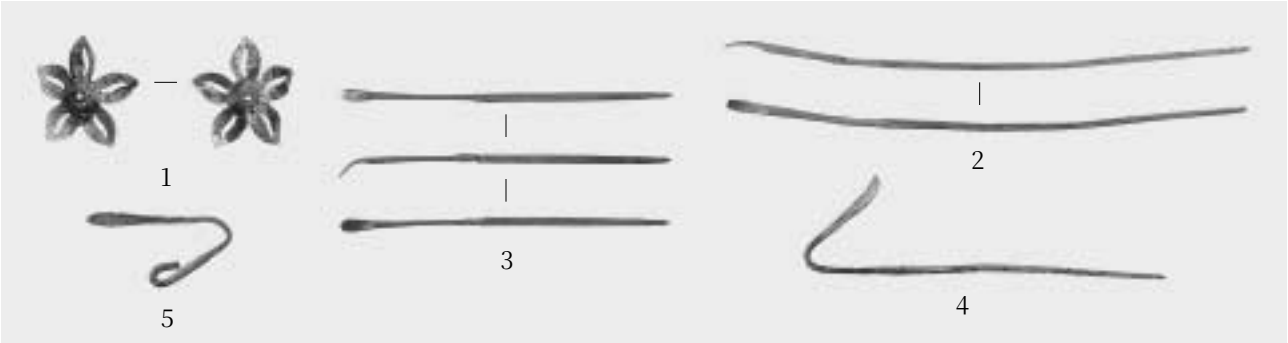
３は、簪であり、カブ、首、竿で構成されている。カブは匙形である。首の断面は円形、竿の断面は六角形である。全長102.5㎜、カブ4.07㎜、首1.80㎜、竿92.5㎜、重量3.8ｇ。Ａ地区出土層不明。

４は、簪であり、カブ、首、竿で構成されている。カブは比較的大きい匙形である。何らかの要因により首の途中から曲がっている。全長145㎜、カブ5.54㎜、首2.17㎜、竿128㎜、重量4.5ｇ。Ａ地区Ｄ－７・１層出土。

５は、簪であり、カブ、首、竿で構成されている。カブは匙形であり、首の断面は円形、竿の断面は丸みを帯びた六角形である。竿の先端が欠損し、屈曲していることから他の用途として再利用された可能性もある。残存長84㎜、カブ4.75㎜、首2.41㎜、竿の残存長68㎜、重量3.4ｇ。Ｃ地区さ・し－14・１層出土。



第46図　青銅製品



図版46　青銅製品

第27節　銭貨（第47図）

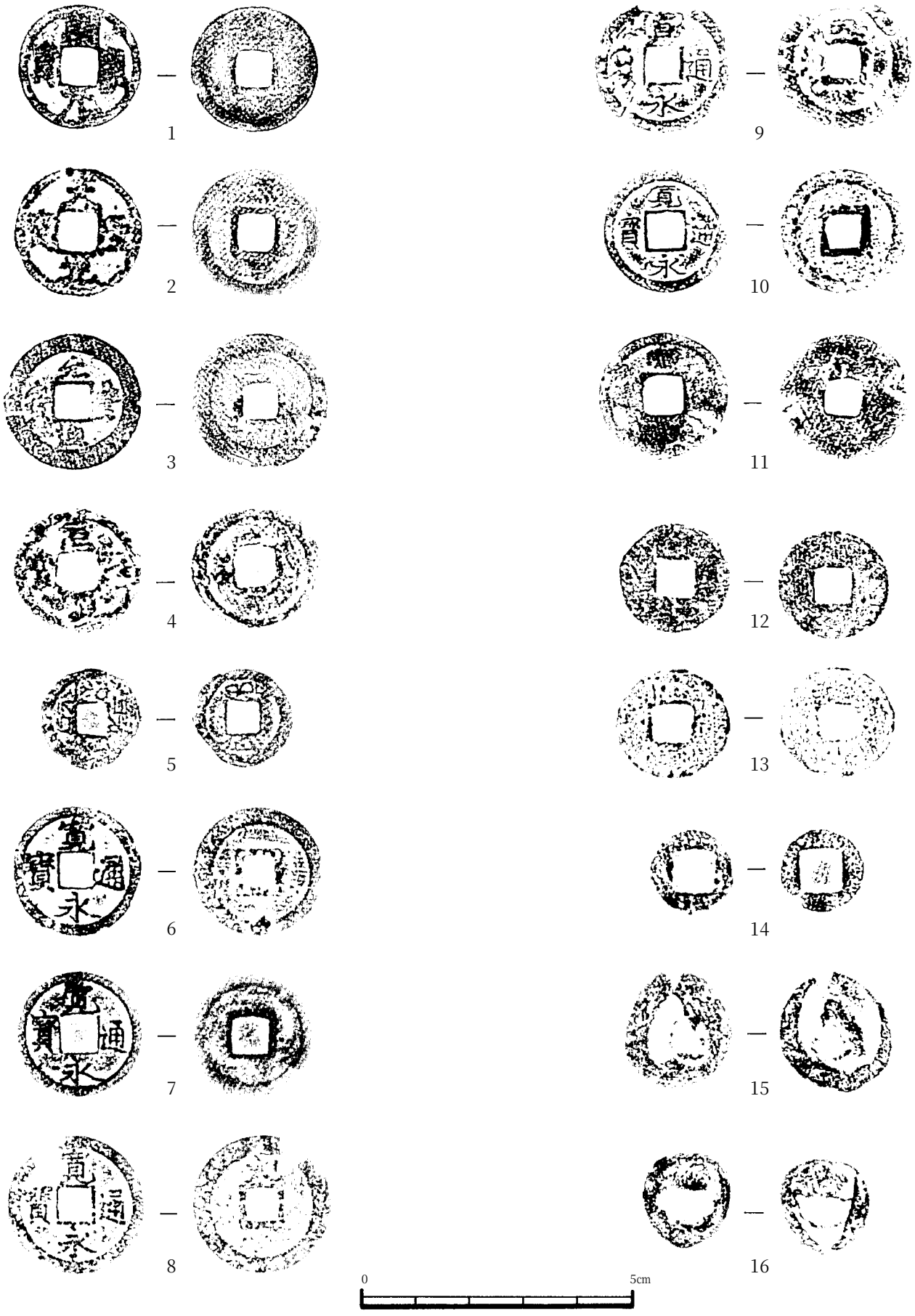
銭貨は小破片が多く、銭文が判別可能なものも少ないが、初鋳年が最も古いものを開元通寶（初鋳年621年）とし、寛永通寶（初鋳年1739年）までの６種が確認できている。その他に、無文銭、雁首銭も出土している。第27表に観察一覧を記す。

第27表　銭貨法量一覧

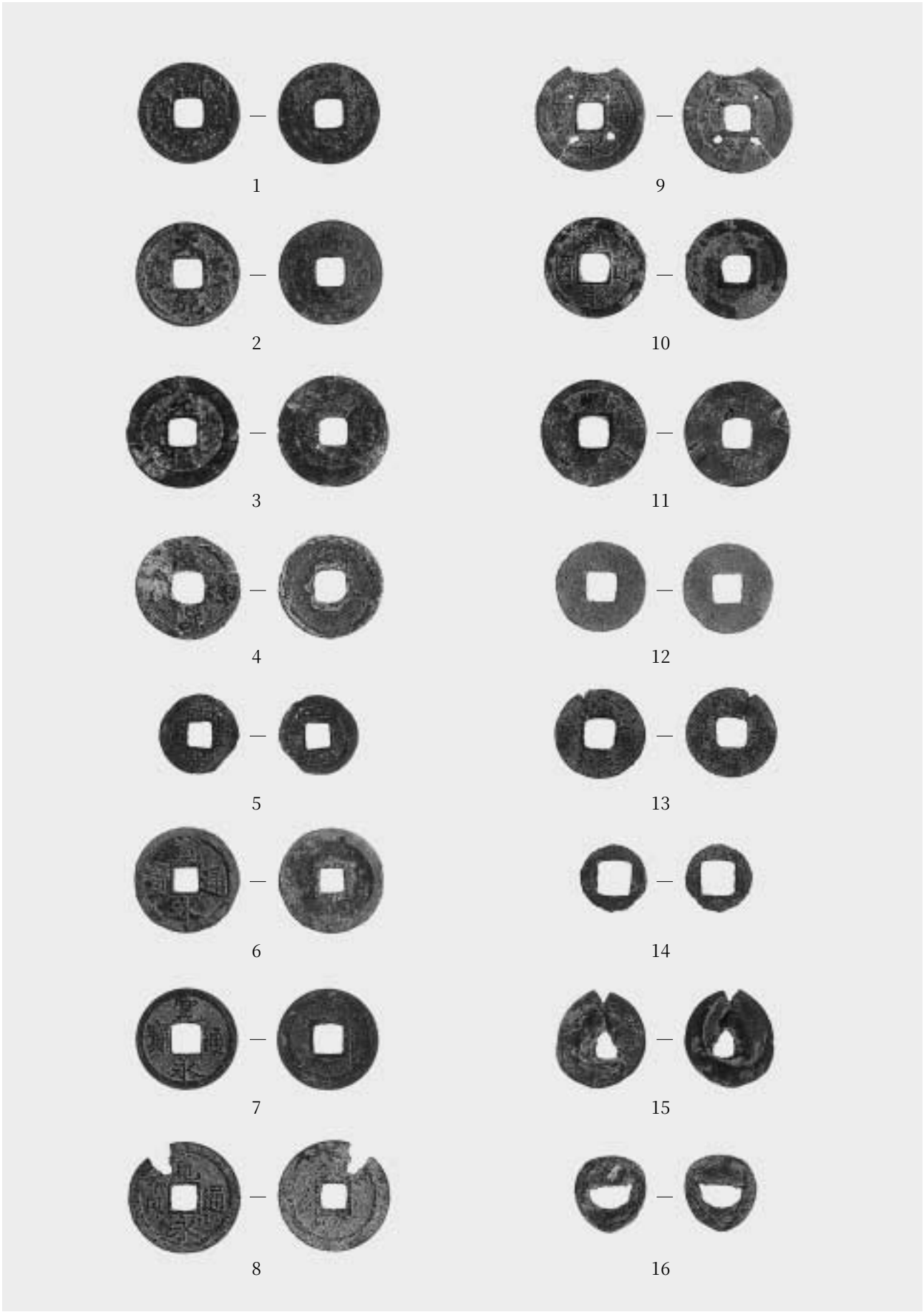
単位：mm/ g

図	番号	銭文	銭種	初鋳年	外径	孔径（縦）	孔径（横）	重量	出土地
第47図（図版47）	1	開元通寶	開元通寶	621	2.2	0.7	0.7	2.1	C地区 こ－13　２層
	2	天聖元寶	天聖元寶	1023	2.2	0.8	0.8	3.4	C地区 こ－13　２層
	3	元豊通寶	元豊通寶	1078	2.4	0.7	0.7	3.8	C地区 こ－13　２層
	4	元祐通寶	元祐通寶	1086	2.2	0.8	0.8	2.3	C地区 こ－13　２層
	5	乾隆通寶	乾隆通寶	1736	1.8	0.6	0.6	0.6	A地区 C－11　１層
	6	寛永通寶	寛永通寶	1636	2.4	0.7	0.7	4.1	A地区 E－11　１層
	7	寛永通寶	寛永通寶	1739	2.3	0.7	0.7	2.1	不明
	8	寛永通寶	寛永通寶	1739	2.5	0.7	0.7	3.5	A地区 C－３　１層
	9	寛〇通寶	寛永通寶	1739	2.4	0.7	0.7	2.7	A地区 C－８　１層
	10	寛永通寶	寛永通寶	1739	2.2	0.7	0.7	3.0	A地区 E－12　１層
	11	－	－	－	2.3	0.7	0.7	2.8	C地区 こ－13　２層
	12	－	無文銭	－	1.9	0.7	0.7	1.6	C地区 こ－13　２層
	13	－	無文銭	－	2.0	0.7	0.7	1.2	C地区 こ－13　２層
	14	－	無文銭	－	1.5	0.8	0.8	0.5	C地区 こ－13　２層
	15	－	雁首銭	－	－	－	－	2.7	A地区 D－12　１層
	16	－	雁首銭	－	－	－	－	1.2	A地区 D－７　１層

（〇は銭文不明瞭）



第47図　銭貨



図版47　銭貨

第28節　鉄製品（第48図）

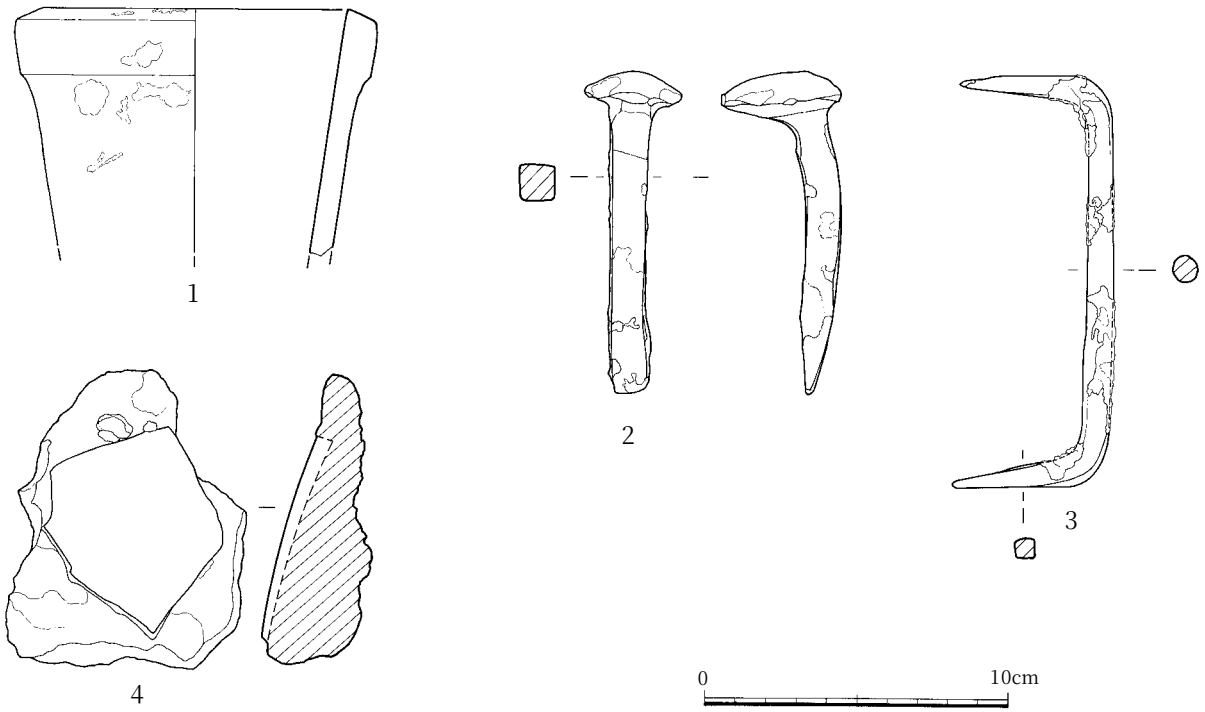
鉄製品の出土数は少なく、４点である。

１は、鉢と考えられるもので、口縁部は肥厚する。内外面ともに付着するものは無い。口径11.9㎝、重量150.7ｇ。Ｃ地区さ・し－14・１層出土。

２は、鏨と考えられるもので、頭部は広がりを持ち、基部は断面が方形である。重量138.0ｇ。出土地不明。

３は、鎹であり、基部の断面は円形で、爪部の断面は方形である。重量85.3ｇ。Ｃ地区け－15・１層出土。

４は、鉄塊が陶器に溶着したものである。鉄の部分は、素があり、重量感はない。重量300.6ｇ。Ｃ地区き－11・１層出土。



第48図　鉄製品

図版48　鉄製品

第29節　煙管（第50図）

煙管は総数46点出土しており、全てが吸口、雁首及び羅宇に分けることができる羅宇煙管であった。雁首はパイプ形及び釣鐘形があり、材質・成形によりⅠ～Ⅴ類に細分類した。吸口は成形によりⅠ・Ⅱ類に細分類した。第28表に観察一覧を記す。

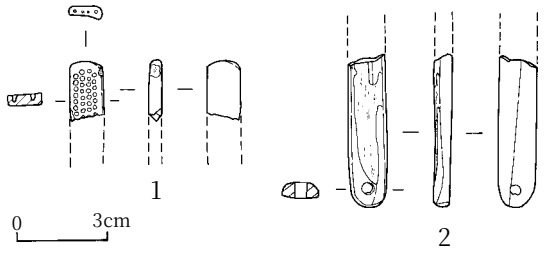
第28表　煙管観察一覧

単位：mm

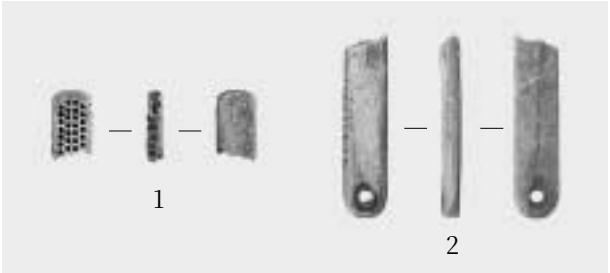
図	番号	部位・分類	材質	火皿		吸口		長さ	観察事項	出土地
				外径	内径	外径	内径			
第50図（図版50）	1	雁首/Ⅰ	陶器	1.5	1.1	—	—	2.3	全体に灰釉が掛かっている。沖縄産施釉陶器。	A地区 D－7　1層
	2	雁首/Ⅱ	瓦質土器	—	—	—	—	2.4	四隅は面取りされている。火皿内は、仕上げのための痕が円状に残る。	C地区 け－15　1層
	3	雁首/Ⅲ	陶器	1.9	1.2	—	—	2.8	丁寧に面取りされている。火皿の平面形は八角形を呈する。沖縄産無釉陶器であるが、自然釉がかかる。	A地区 盛　土
	4	雁首/Ⅲ	陶器	—	—	—	—	2.8	八角形に丁寧に面取りされている。火皿は欠損している。沖縄産無釉陶器。	A地区 A－6　1層
	5	雁首/Ⅳ	陶器	—	—	—	—	3.3	全体が丁寧に削られ成形されている。火皿の平面形は丸である。沖縄産無釉陶器。	A地区 D－7　1層
	6	雁首/Ⅴ	金属	1.1	0.9	—	—	5.3	雁首より羅宇が太かったのか、胴部外面に繋目があるが、足りなかったために金属を足している。胴部内部に羅宇の木材が残る。真鍮製か。	A地区 D－11　畦
	7	雁首/Ⅴ	金属	1.1	0.9	—	—	2.9	胴部下位に括れをもつ。胴部外面及び胴部と火皿の境目に繋目がある。真鍮製。	A地区 D－11　1層
	8	吸口/Ⅰ	陶器	—	—	0.9	0.2	3.3	胴部に印花を４ヶ所に押している。胴部下位以外に透明釉を掛ける。沖縄産施釉陶器。	A地区 B－4　1層
	9	吸口/Ⅱ	陶器	—	—	0.8	0.4	3.2	Ⅰに比べ胴部が膨らまない。透明釉を掛ける。沖縄産施釉陶器。	A地区 E－8　1層
	10	吸口/Ⅱ	陶器	—	—	0.9	0.5	2.6	灰釉を掛ける。細かい貫入が入る。	A地区 D－5　1層

第30節　骨製品（第49図）

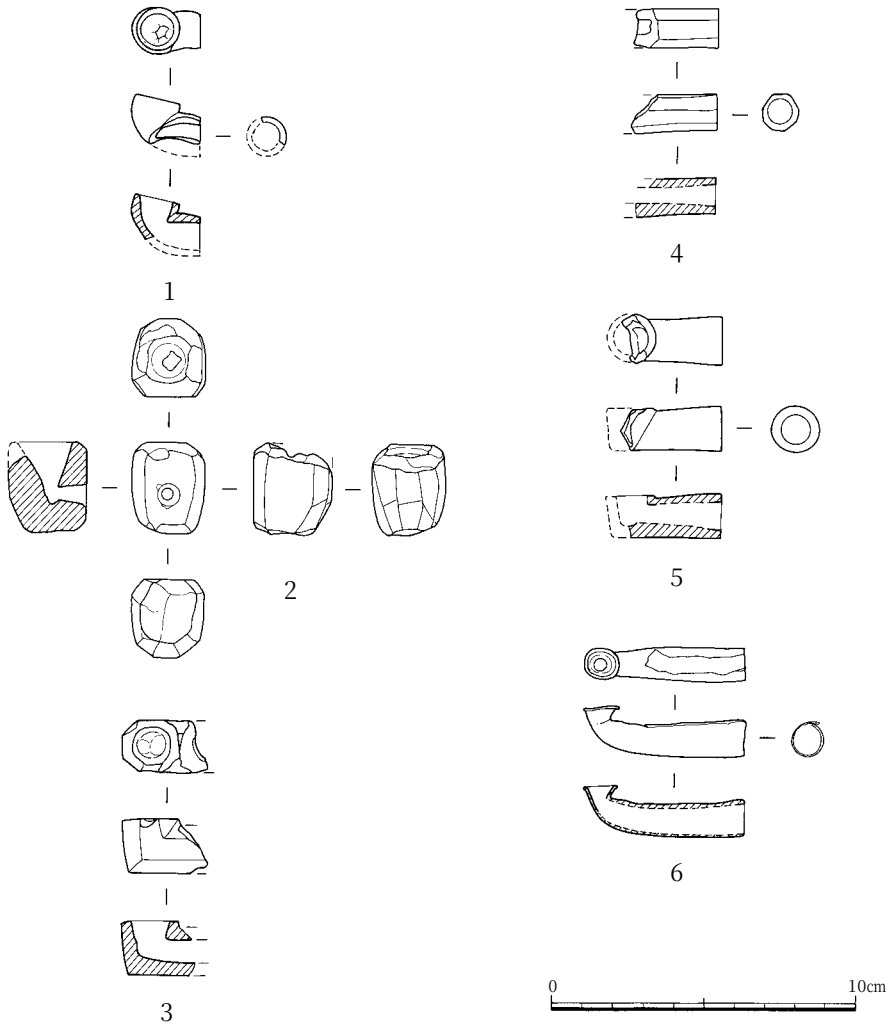
骨製品はハブラシが２点出土している。１は、ブラシ部であり、植毛孔が４列ある。また、植毛の補強の際に使用されていたと考えられる４つの孔が断面に確認できる。残存幅1.1cm。A地区出土層不明。２は、柄部であり、断面形より緩やかな湾曲であったことがわかる。柄尻部の孔に緑青色が付着しているため、金具がついていたことが考えられる。残存幅1.3cm。A地区A－３・１層出土。



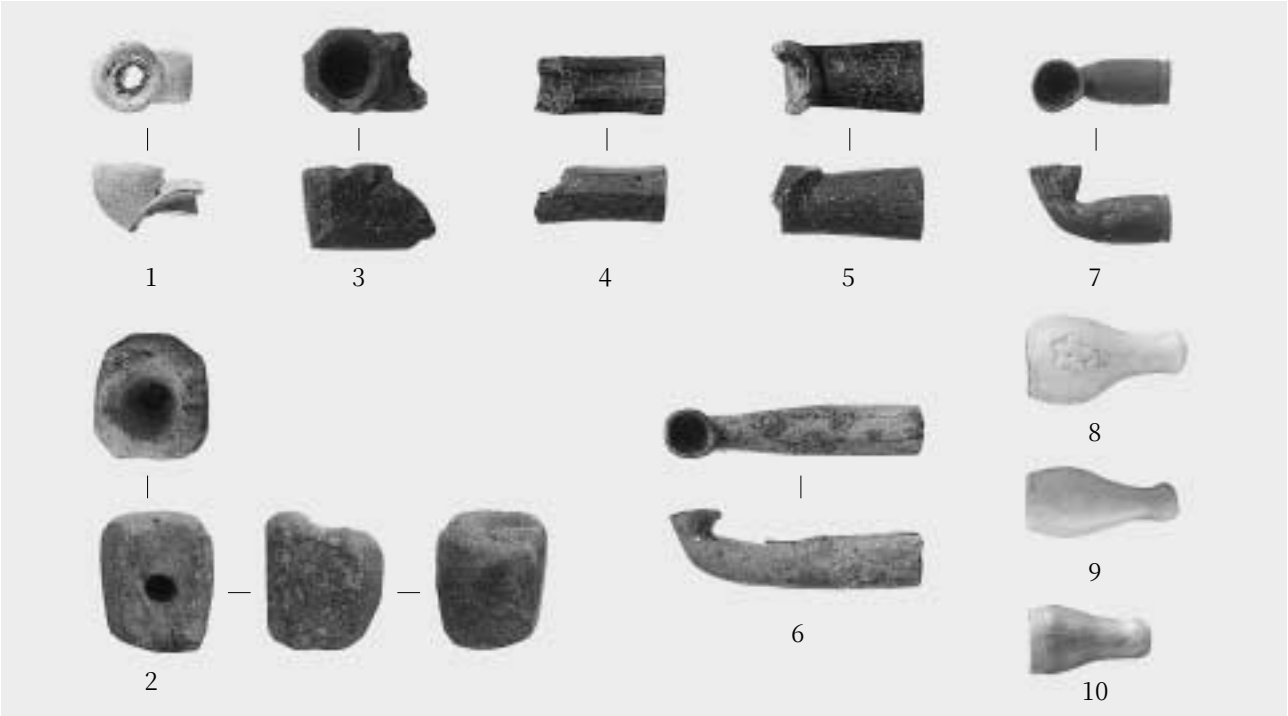
第49図　骨製品



図版49　骨製品



第50図　煙管



図版50　煙管

第31節　貝類遺体

貝類遺存体は、第29表に示すとおり、腹足綱（巻貝）19科53種、ウニ綱１科１種、二枚貝綱13科32種確認されている。腹足綱と二枚貝綱を比べると、個体数及び種類は腹足綱が多い。地区別ではＡ地区、Ｃ地区、Ｂ地区の順に多い。巻貝ではヤコウガイ、チョウセンサザエが比較的多く、二枚貝はウラキツキガイ、アラズジケマンガイが各地区より平均的に出土している。

貝類生息地分類一覧

Ⅰ：外洋・サンゴ礁域
- １：潮間帯中・下部
- ２：亜潮間帯上縁部
- ３：干瀬
- ４：礁斜面及びその下部
  - ａ：岩板
  - ｃ：岩礫底、砂泥底、砂底

Ⅱ：内湾・転石地域
- １：潮間帯中・下部
- ２：亜潮間帯上縁部
  - ｂ：転石
  - ｃ：岩礫底、砂泥底、砂

Ⅲ：河口干潟・マングローブ域
- ０：潮間帯上部
- １：潮間帯中・下部
  - ｃ：岩礫底、砂泥底、砂底
  - ｄ：マングローブ植物上

Ⅴ：陸域
- ８：林内

第29表　貝類出土状況１ａ（巻貝）

出土地 種類					A地区																																											
					A－3			A－5			A－6			B－4			B－5			B－6			B－7			B－8			B－9			C－3			C－4			C－5			C－7			C－7			C－8			C－9		
					1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層 1号集石			1層			1層		
番号	綱名	科名	貝種名	生息地	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1		ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																																																
2			ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																																
3			ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																																
4			サラサバテイ	Ⅰ-4-a																																																
5		サザエ科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a				1	1	7										1														1			1												1	5			2
6			ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a																																				1												1
7			チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a												1			1		2			1																				1								
8			チョウセンサザエの幼？																																																	
9			チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a							1																		2			1			1						1							2				
10			カンギク	Ⅱ-1-b								1																																								
11		ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8																																																
12		カワニナ科	スグカワニナ																																																	
13		オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c																																																
14			メオニノツノガイ																																																	
15			クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a																																												1				
16		フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c																		1																												
17			センニンガイ	Ⅲ-1-d																																																
18		ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c				1							1		1			2					1		1					1	1		2	3		1			2	1					2	7	1	2		
19			ネジマガキ	Ⅰ-2-c																																																
20			マガキガイ	Ⅰ-2-c																	1																1															
21			クモガイ	Ⅰ-2-c																																							1									
22		タカラガイ科	ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a																																																
23			ホシダカラ	Ⅰ-2-c																																																
24			ヤナギシボリタカラガイ																																																	
25			ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																																																
26			キイロダカラ	Ⅰ-1-a																																																
27			ハナマルユキ	Ⅰ-3-a									1																			1					1											1				
28	腹足綱	オキニシ科	イワカワウネボラ																																																	
29			オキニシ	Ⅰ-3-a																																																
30		フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																																																
31			ホラガイ	Ⅰ-4-a			1																																										1			
32		アッキガイ科	ガンゼキボラ	Ⅰ-4-a																																																
33			シロレイシダマシ																																																	
34			シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																																
35			ツノレイシ	Ⅰ-3-a																																																
36			ツノテツレイシ	Ⅰ-1-a																																																
37		オニコブシガイ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a																																																
38		フトコロガイ科	タモトガイ																																																	
39		ムシロガイ科	イボヨフバイ	Ⅱ-1-c																																																
40			ヒメオリイレムシロガイ																				1																											
41		エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c																																																
42		イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a							1																																									
43			ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a																																																
44		イモガイ科	クロフモドキ	Ⅰ-2-c																																																
45			クロミナシ	Ⅰ-2-c																																											1					
46			ロウソクガイ																																																	
47			マダライモ	Ⅰ-1-a										1																																				
48			サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																1																														
49			ジュズカケサヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																																
50			ゴマフイモ	Ⅰ-2-c																																																
51			ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a							1																																									
52			キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																																
53			イボシマイモ	Ⅰ-2-a																						1																										
54			アジロイモ君	Ⅱ-2-c							1															1																										
55			イモガイ科不明																																																	
56		ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																																																
57		アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																																																	
58		巻貝不明																				1																													1
59	ウニ綱	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ																																																
合計					0	0	1	2	1	7	4	1	1	1	1	1	1	0	1	4	3	2	1	1	1	2	1	0	2	0	0	3	1	1	3	3	3	1	0	1	3	1	1	1	0	0	3	12	7	2	0	4

注　完形と殻頂を合計し個体数とした。但し、破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「１」とした。

第29表　貝類出土状況１ｂ（巻貝）

種類＼出土地					A地区																																															
					C－10			C－11			C－12			D－3			D－5			D－6			D－7						D－8			D－9			D－10						D－11			D－11・12			D－12			D－13		
					1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層 1号集石			1層			1層			1層			1層 6号集石			1層			1層			1層			1層		
番号	網名	科名	貝種名	生息地	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																																					1											
2			ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																																
3			ギンタカハマ	Ⅰ-4-a											1	1																																				
4			サラサバテイ	Ⅰ-4-a																											1																					
5		サザエ科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a			1			1			1												6						3			3		1	1			1			1						1			1
6			ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a																				1	5		1			1	2			1			1															
7			チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a												1								1				2	1																							
8			チョウセンサザエの幼？																																																	
9			チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a	2			1											1				2								1	1	1								2											
10			カンギク	Ⅱ-1-b																																							1						1			
11		ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8																					1																											
12		カワニナ科	スグカワニナ																																																	
13		オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c					1																																											
14			メオニノツノガイ																																																	
15			クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a					1																																2				2							
16		フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c											1																1																					
17			センニンガイ	Ⅲ-1-d																																																
18		ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c										2			1					1	13	2	1				2		3	2		1																		
19			ネジマガキ	Ⅰ-2-c																																																
20			マガキガイ	Ⅰ-2-c		1												1					1							1					1						1											
21			クモガイ	Ⅰ-2-c																																																
22		タカラガイ科	ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a																																																
23			ホシダカラ	Ⅰ-2-c																																																
24			ヤナギシボリタカラガイ																														1																			
25			ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																																																
26			キイロダカラ	Ⅰ-1-a																																																
27			ハナマルユキ	Ⅰ-3-a																									1																					1		
28		オキニシ科	イワカワウネボラ																																																	
29			オキニシ	Ⅰ-3-a																																											1					
30		フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																																																
31			ホラガイ	Ⅰ-4-a																											1												1									
32		アッキガイ科	ガンゼキボラ	Ⅰ-4-a																																					1											
33			シロレイシダマシ																																																	
34			シラクモガイ	Ⅰ-3-a																														1																		
35			ツノレイシ	Ⅰ-3-a																																					2											
36			ツノテツレイシ	Ⅰ-1-a																																																
37		オニコブシガイ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a																																																
38		フトコロガイ科	タモトガイ																																																	
39		ムシロガイ科	イボヨフバイ	Ⅱ-1-c																																																
40			ヒメオリイレムシロガイ																																																	
41		エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c																																					1											
42		イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a																																													1			
43			ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a										1																																						
44		イモガイ科	クロフモドキ	Ⅰ-2-c																																																
45			クロミナシ	Ⅰ-2-c																																1																
46			ロウソクガイ																																																	
47			マダライモ	Ⅰ-1-a			1																									1																				
48			サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																																
49			ジュズカケサヤガタイモ	Ⅰ-1-a																			1																													
50			ゴマフイモ	Ⅰ-2-c																																																
51			ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																																																
52			キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																																
53			イボシマイモ	Ⅰ-2-a																																																
54			アジロイモ君	Ⅱ-2-c																				1																												
55			イモガイ科不明																						1																											
56		ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8																																																
57		アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																												1			1																		
58		巻貝不明																																																			
59	ウニ網	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ																																																
合計					2	1	2	1	2	1	0	0	1	3	2	2	1	1	1	0	0	1	17	5	14	0	1	2	4	2	13	4	2	7	1	2	2				10	0	3	0	2	0	1	0	3	1	0	1

注　完形と殻頂を合計し個体数とした。但し、破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「１」とした。

第29表　貝類出土状況１ｃ（巻貝）

種類＼出土地					A　地　区																					B　地　区															C　地　区														
					E－7			E－8						E－9			グリッド不明			盛土			不明			B－1			C－2			C－3			C－5			え－9			き－１１			き－１１			く－１４			け－１３		
					１層			１層			１層 ４号集石			１層			１層									１層			１層			１層			１層			１層			１層			１層			１層			１層		
番号	網名	科名	貝種名	生息地	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1	腹足網	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																	1						1																										
2			ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																																
3			ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																															
4			サラサバテイ	Ⅰ-4-a																	1		1															1					1	1									
5		サザエ科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a			1		1	3			1								1																						5			1								
6			ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a			2			1								1																				1						1									
7			チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a		2		1									1		1		1													2								2	1	1								1
8			チョウセンサザエの幼？		1																																														
9			チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a	2			2																																											
10			カンギク	Ⅱ-1-b				1																																											
11		ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	V-8						1													1																				1			1								
12		カワニナ科	スグカワニナ																																								1										
13		オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c																																															
14			メオニノツノガイ																																																
15			クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a													1																																		
16		フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c	2																																													
17			センニンガイ	Ⅲ-1-d																																														
18		ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c	5		1	5	1					1																																				
19			ネジマガキ	Ⅰ-2-c																1																															
20			マガキガイ	Ⅰ-2-c	2												1						3	1																											
21			クモガイ	Ⅰ-2-c																																															
22		タカラガイ科	ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a									1																																						
23			ホシダカラ	Ⅰ-2-c																																							1									
24			ヤナギシボリタカラガイ																																																
25			ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a				1																																								1			
26			キイロダカラ	Ⅰ-1-a																																														
27			ハナマルユキ	Ⅰ-3-a																																														
28		オキニシ科	イワカワウネボラ																							1																										
29			オキニシ	Ⅰ-3-a																																															
30		フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																			1																													
31			ホラガイ	Ⅰ-4-a														2						1																											1
32		アッキガイ科	ガンゼキボラ	Ⅰ-4-a																																															
33			シロレイシダマシ																																															
34			シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																															
35			ツノレイシ	Ⅰ-3-a																																															
36			ツノテツレイシ	Ⅰ-1-a																				1																											
37		オニコブシガイ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a																																														
38		フトコロガイ科	タモトガイ																																															
39		ムシロガイ科	イボヨフバイ	Ⅱ-1-c																																								1								
40			ヒメオリイレムシロガイ																																															
41		エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c																																														
42		イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a				1									3																																	
43			ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a																																														
44		イモガイ科	クロフモドキ	Ⅰ-2-c						1																																								
45			クロミナシ	Ⅰ-2-c																																															
46			ロウソクガイ																																															
47			マダライモ	Ⅰ-1-a	1																																														
48			サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																														
49			ジュズカケサヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																														
50			ゴマフイモ	Ⅰ-2-c																1																															
51			ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																																															
52			キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																1				1																											
53			イボシマイモ	Ⅰ-2-a																																															
54			アジロイモ君	Ⅱ-2-c																																															
55			イモガイ科不明																																															
56		ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	V-8																																														
57		アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																														1																	
58		巻貝不明																																															
59	ウニ網	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ																																													
合計					13	2	4	11	2	6	0	0	2	1	0	0	6	1	3	2	1	4	5	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	1	2	1	5	4	2	7	0	0	1	1	0	2

第29表　貝類出土状況１ｄ（巻貝）

種類＼出土地					C　地　区																											試掘			合　計			個体数
					け－１５			こ－１３						こ－１５			さ－１３			さ・し－１４			表採			不明												
					１層			１層			２層			１層			１層			１層																		
番号	網名	科名	貝種名	生息地	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	
1			ニシキウズ	Ⅰ-2-a																														2	0	1	2
2		ニシキウズガイ科	ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																													1	0	0	0	0
3			ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																														0	1	1	1
4			サラサバテイ	Ⅰ-4-a																														1	2	3	3
5			ヤコウガイ	Ⅰ-4-a									2																					2	4	50	6
6			ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a																														0	5	15	5
7		サザエ科	チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a																														8	7	9	15
8			チョウセンサザエの幼？																															1	0	0	1
9			チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a	1																												2	19	3	2	22
10			カンギク	Ⅱ-1-b							4																							5	1	2	6
11		ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8							136		7							4			2			2							146	0	10	146
12		カワニナ科	スグカワニナ								1																							1	1	0	2
13			オニノツノガイ	Ⅰ-2-c																														0	1	0	1
14		オニノツノガイ科	メオニノツノガイ					1																										1	0	0	1
15			クワノミカニモリ	Ⅰ-1-a																16	21	9											3	1	19	25	9	44
16		フトヘナタリ科	カワアイ	Ⅲ-1-c							1																							3	1	2	4
17			センニンガイ	Ⅲ-1-d							1																							1	0	0	1
18			オハグロガイ	Ⅱ-2-c																													1	45	17	9	62
19		ソデボラ科	ネジマガキ	Ⅰ-2-c																														0	1	0	1
20			マガキガイ	Ⅰ-2-c		1																				1								10	6	1	16
21			クモガイ	Ⅰ-2-c																														0	0	1	1
22			ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a																														0	0	1	1
23			ホシダカラ	Ⅰ-2-c																														0	0	1	1
24		タカラガイ科	ヤナギシボリタカラガイ																															0	1	0	1
25			ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																														2	0	0	2
26			キイロダカラ	Ⅰ-1-a										1																				1	0	0	1
27			ハナマルユキ	Ⅰ-3-a																													1	3	1	2	4
28	腹	オキニシ科	イワカワウネボラ																															1	0	0	1
29	足		オキニシ	Ⅰ-3-a																														1	0	0	1
30	網	フジツガイ科	ミツカドボラ	Ⅰ-2-a																														1	0	0	1
31			ホラガイ	Ⅰ-4-a																														0	0	8	1
32			ガンゼキボラ	Ⅰ-4-a																														1	0	0	1
33			シロレイシダマシ		1																													1	0	0	1
34		アッキガイ科	シラクモガイ	Ⅰ-3-a																														0	0	1	1
35			ツノレイシ	Ⅰ-3-a																														2	0	0	2
36			ツノテツレイシ	Ⅰ-1-a																														1	0	0	1
37		オニコブシガイ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a																													1	0	0	0	0
38		フトコロガイ科	タモトガイ											1																				1	0	0	1
39		ムシロガイ科	イボヨフバイ	Ⅱ-1-c																														1	0	0	1
40			ヒメオリイレムシロガイ																															1	0	0	1
41		エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-c							1																						1	2	0	0	2
42		イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a																														5	0	2	5
43			ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a																														1	0	0	1
44			クロフモドキ	Ⅰ-2-c																														0	0	1	1
45			クロミナシ	Ⅰ-2-c																														1	1	0	2
46			ロウソクガイ														1																	1	0	0	1
47			マダライモ	Ⅰ-1-a																														4	0	1	4
48			サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																														1	0	0	1
49			ジュズカケサヤガタイモ	Ⅰ-1-a																														1	0	0	1
50		イモガイ科	ゴマフイモ	Ⅰ-2-c																														1	0	0	1
51			ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a																														1	0	0	1
52			キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																														1	0	1	1
53			イボシマイモ	Ⅰ-2-a																														1	0	0	1
54			アジロイモ君	Ⅱ-2-c																														2	1	0	3
55			イモガイ科不明																															0	0	1	1
56		ナンバンマイマイ科	シュリマイマイ	Ⅴ-8							6	1														1								7	1	0	8
57		アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																															0	0	3	1
58		巻貝不明																																0	0	2	1
59	ウニ網	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ																														0	0	3	1
合　計					2	1	0	1	0	0	150	1	9	2	0	0	1	0	0	20	21	9	2	0	0	4	0	0	8	2	1	310	80	142	400

注　完形と殻頂を合計し個体数とした。但し、破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「１」とした。

第30表　貝類出土状況2ａ（二枚貝）

種類＼出土地					A地区																																												
					A－3					A－4					A－5					A－6					A－7					B－4					B－5					B－6					B－7				
					1層					1層					1層					1層					1層					1層					1層					1層					1層				
番号	網名	科名	貝種名	生息地	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片
					L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R	
1	二枚貝綱	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																													
2			リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-c																																					1									
3			ハイガイ	Ⅰ-1																																														
4		タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																																														
5		ウグイスガイ科	クロチョウガイ	Ⅰ-4-a																																														
6		イタヤガイ科	キンチャクガイ																																															
7		ウミギク科	メンガイ	Ⅰ-2-a																																														
8			メンガイの一種																										1																					
9		ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c	1	2		1								1		1		1				1						3	2	1	3					1		4	2		1		2	1			
10			ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																																				1									
11			カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																													1
12		ザルガイ科	ザルガイ																																															
13			リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																																														
14			カワラガイ	Ⅱ-2-c																																				2									
15		シャコガイ科	シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																																														
16			ヒメシャコガイ	Ⅰ-2-a																																														
17			ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																																														
18			シラナミガイ	Ⅰ-2-a																																														
19			シャコガイ科不明																																															
20		バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																														
21		ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																																														
22			リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																														
23		シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																				1																									
24		シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c														1																															
25		マルスダレガイ科	マルスダレガイ																																															
26			ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																																														
27			アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c						1					1																				1														
28			ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																										1					1														
29			オイノカガミ	Ⅱ-1-c																																														
30			マルオミナエシ	Ⅰ-2-a																																														
31			スダレハマグリ	Ⅱ-1-c											1																																		
32			ハマグリ	Ⅱ-1-c																																			1										
33			チョウセンハマグリ	Ⅰ-1-c																																														
34			オキシジミ	Ⅰ-c																										1																			
合計					1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	5	2	1	3	0	2	0	0	1	1	8	2	0	1	0	2	1	0	0	1

第30表　貝類出土状況2ｂ（二枚貝）

種類＼出土地					A地区																																												
					B－8					B－9					B－10					C－2					C－3					C－4					C－5					C－7					C－8				
					1層					1層					1層					1層					1層					1層					1層					1層					1層				
番号	網名	科名	貝種名	生息地	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片
					L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R	
1	二枚貝綱	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																					4	3															1								
2			リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-c																																													
3			ハイガイ	Ⅰ-1																																												1	
4		タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																																													
5		ウグイスガイ科	クロチョウガイ	Ⅰ-4-a																																													
6		イタヤガイ科	キンチャクガイ																																														
7		ウミギク科	メンガイ	Ⅰ-2-a																																													
8			メンガイの一種																																				1										
9		ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c	6	7	5	3	1		1					1							1			2			2	3	3	1	2			1									1	1		1	
10			ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																																													
11			カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																													
12		ザルガイ科	ザルガイ						1																																								
13			リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																																													
14			カワラガイ	Ⅱ-2-c				2																										1					1										1
15		シャコガイ科	シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																																													
16			ヒメシャコガイ	Ⅰ-2-a																																								1					
17			ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																																								1					
18			シラナミガイ	Ⅰ-2-a																																													
19			シャコガイ科不明																															2															
20		バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																													
21		ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																																													
22			リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																													
23		シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c														1																															
24		シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																													
25		マルスダレガイ科	マルスダレガイ																																														
26			ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																																													
27			アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	1	1																					1							1												1			
28			ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c		1																																											
29			オイノカガミ	Ⅱ-1-c		1																																											
30			マルオミナエシ	Ⅰ-2-a																																													
31			スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																																													
32			ハマグリ	Ⅱ-1-c																							1																				1	
33			チョウセンハマグリ	Ⅰ-1-c																																													
34			オキシジミ	Ⅰ-c																																													
合計					7	10	5	5	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	4	5	2	0	2	3	3	1	2	4	0	1	0	0	2	0	1	0	0	2	1	2	0	3	1

第30表　貝類出土状況2ｃ（二枚貝）

種類＼出土地					C−9					C−11					C−12					D−5					D−6					D−7					D−7					D−8					D−9					D−9				
					1層					1層					1層					1層					1層					1層					1層 1号集石					1層					1層					1層 6号集石				
番号	網名	科名	貝種名	生息地	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片
					L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R	
1		フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a				1																																														
2			リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-c																																																		
3			ハイガイ	Ⅰ-1																																																		
4		タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																											1																							
5		ウグイスガイ科	クロチョウガイ	Ⅰ-4-a														1																																				
6		イタヤガイ科	キンチャクガイ																																																	1			
7		ウミギク科	メンガイ	Ⅰ-2-a																																																		
8			メンガイの一種																																																			
9		ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c		1												1		2	2		1	3	1	1				16	7	1	8				1		1	1	1			4	5	2		2						
10			ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																																								1										
11			カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																																		
12		ザルガイ科	ザルガイ																																																			
13			リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																				1										1																				
14			カワラガイ	Ⅱ-2-c															1					1						1	1	1																						
15		シャコガイ科	シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																																																		
16			ヒメシャコガイ	Ⅰ-2-a																												1	1	3																				
17	二枚貝綱		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																														1									1											
18			シラナミガイ	Ⅰ-2-a																																																		
19			シャコガイ科不明																															1																				
20		バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																		
21		ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																																																		
22			リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																																		
23		シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																																											1	1						
24		シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																														2																				
25		マルスダレガイ科	マルスダレガイ																																																			
26			ヌノメガイ	Ⅱ-1-c										1										1									1																					
27			アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	1					1								1							3	1		1		2				1						1														
28			ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c							1																				1														1									
29			オイノカガミ	Ⅱ-1-c																										1				1																				
30			マルオミナエシ	Ⅰ-2-a																																																		
31			スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																																																		
32			ハマグリ	Ⅱ-1-c																				1																		2												
33			チョウセンハマグリ	Ⅰ-1-c																																																		
34			オキシジミ	Ⅰ-c																																																		
合　　計					1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3	1	2	2	0	1	7	4	2	0	1	0	20	10	3	10	10	0	0	1	0	1	2	1	2	1	5	6	2	1	3	0		1	0	0	0

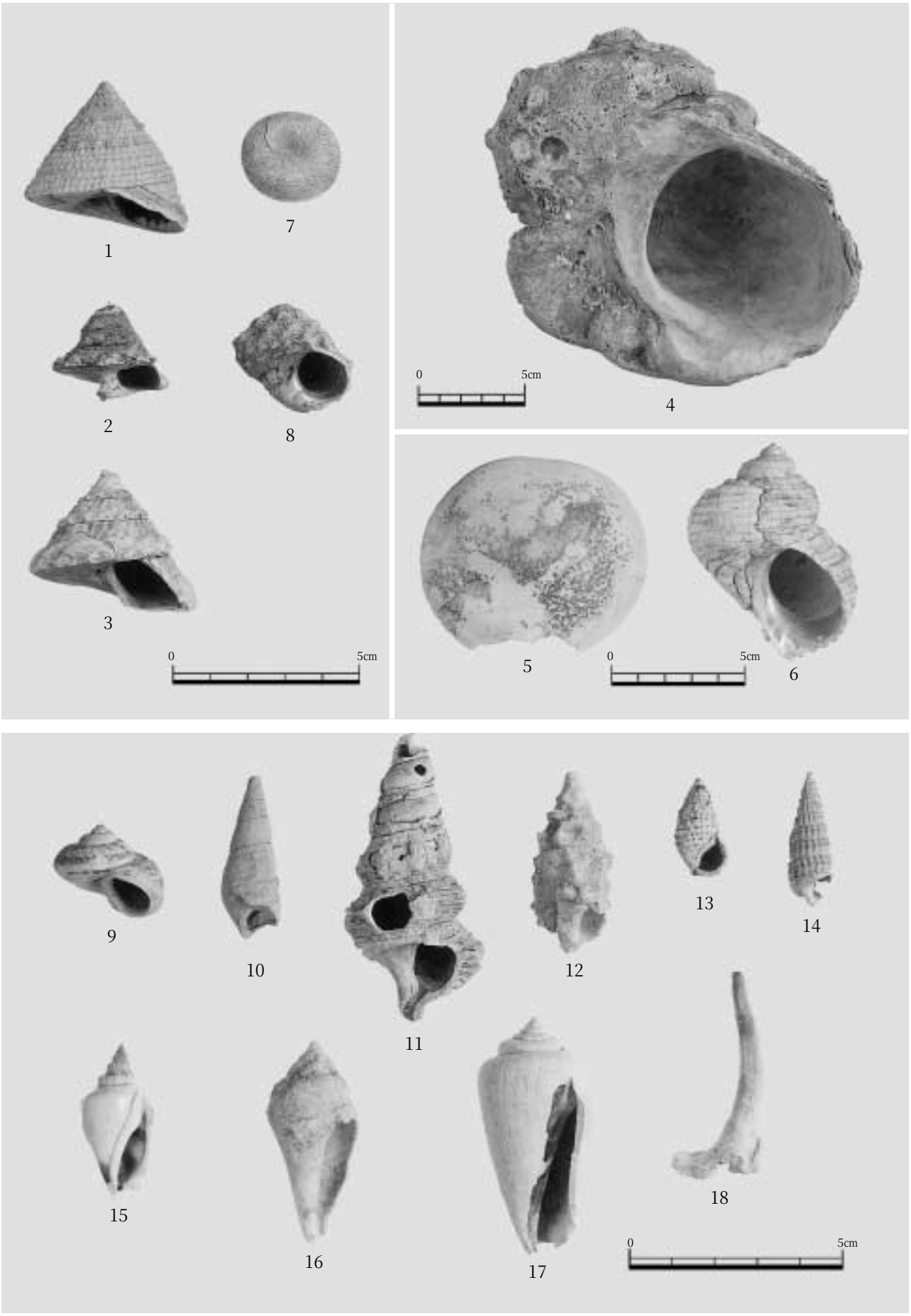
第30表　貝類出土状況2ｄ（二枚貝）

種類＼出土地					B地区 C−3					B地区 C−4					B地区 C−5					C地区 え−9					C地区 き−11					C地区 き−11					C地区 く−14					C地区 こ−13					C地区 こ−13					C地区 こ−15				
					1層					1層					1層					1層					1層					1層 石畳の西側端					1層					1層					2層					1層				
番号	網名	科名	貝種名	生息地	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片
					L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R	
1		フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																																		
2			リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-c																																																		
3			ハイガイ	Ⅰ-1																																																		
4		タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																																																		
5		ウグイスガイ科	クロチョウガイ	Ⅰ-4-a																																																		
6		イタヤガイ科	キンチャクガイ																																																			
7		ウミギク科	メンガイ	Ⅰ-2-a																																																		
8			メンガイの一種																																																			
9		ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c					1	1					3		2																												1									
10			ヒメツキガイ	Ⅱ-2-c																																																		
11			カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																																		
12		ザルガイ科	ザルガイ																																																			
13			リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																																																		
14			カワラガイ	Ⅱ-2-c																																							1											
15		シャコガイ科	シャゴウガイ	Ⅰ-2-c																																																	1	
16			ヒメシャコガイ	Ⅰ-2-a																																																		
17	二枚貝綱		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																				1										1																				
18			シラナミガイ	Ⅰ-2-a																																																		
19			シャコガイ科不明																																																			
20		バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																		
21		ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅰ-2-c																																																		
22			リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																																		
23		シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																																																		
24		シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c												1																																						
25		マルスダレガイ科	マルスダレガイ												1																																							
26			ヌノメガイ	Ⅱ-1-c											1			1																1																				
27			アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c											5	5	2			1					1	1									2	1									1									
28			ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																																																		
29			オイノカガミ	Ⅱ-1-c																																																		
30			マルオミナエシ	Ⅰ-2-a																																																		
31			スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																																																		
32			ハマグリ	Ⅱ-1-c																																																		
33			チョウセンハマグリ	Ⅰ-1-c																												1																						
34			オキシジミ	Ⅰ-c											1						1									1																								
合　　計					0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	11	6	4	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0

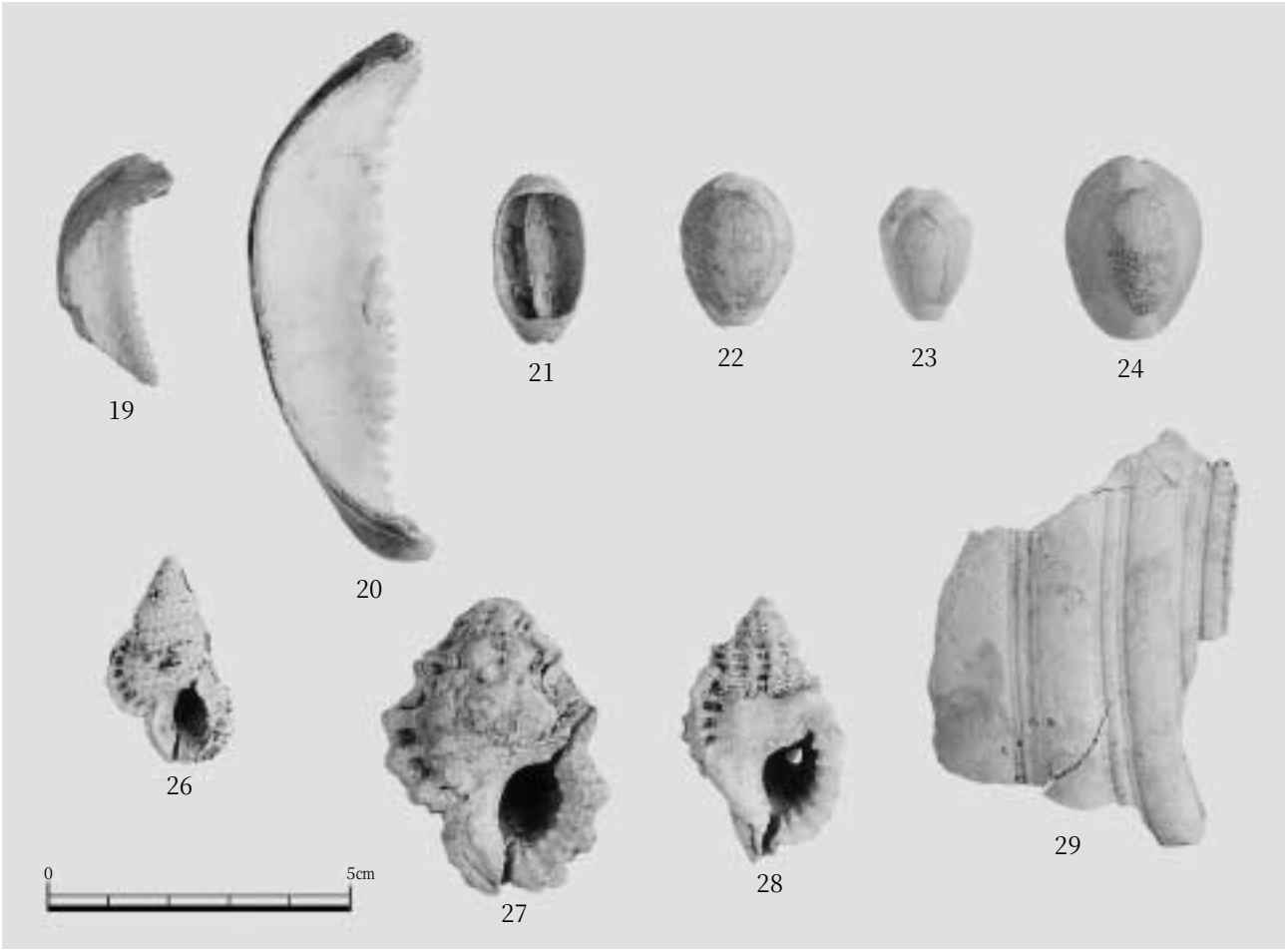
注　右殻、左殻のそれぞれの完形と殻頂を合計し多い方を固体数とした。合計数と固体数はかならずしも一致しない。

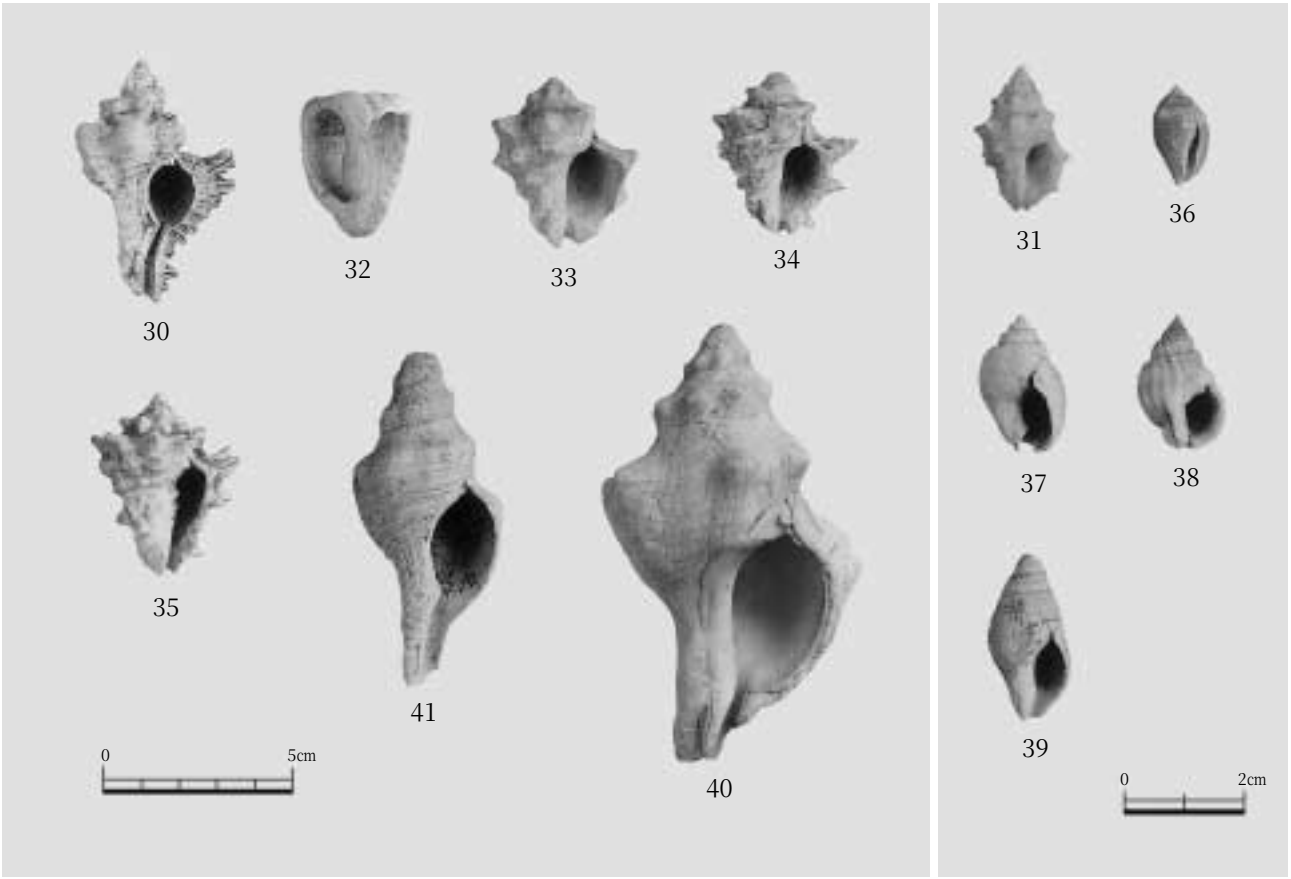
A 地区																																																												B 地区									
D－10										D－11					D－12					D－13					E－7					E－8										E－9					E－12					盛土					不明					B－1					B－5				
1層					1層 6号集石					1層					1層					1層					1層					1層					1層 4号集石					1層					1層															1層					1層				
完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片
L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R	
																																																							1														
										1																																																												
													1																	1																																							
1	3		1		1					1	1														3	3	2	3		2	1					1								1					1	1			1								1								
																																		2																																			
																																	1																																				
																																																				1																
																																																		1																			
				1																			1	1										1																				1															
															1																																																							
												1																																																										
																																		1																																			
																														1																																						
																																		1																																			
													1																				1																																				1
										1	1		4	3												1				1		1																							3			1								1			2
										2																2																													1	1													
																	1																																																				
																																																		1																			
																			1																																				1													
1	3	0	1	1	1	0	0	0	0	5	2	1	6	3	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	3	6	2	3	0	5	1	1	2	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	2	1	5	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3

さ－13					さ・し－14					不明					合計					個体数
1層					2層															
完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	完形		殻頂		破片	
L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		L	R	L	R		
															4	4	0	1	0	5
															2	0	0	0	0	2
															0	0	0	1	0	1
															0	1	0	0	0	1
															0	0	0	1	0	1
															0	1	0	0	0	1
															1	0	0	0	0	1
															1	0	0	1	2	1
	1				1										60	52	16	29	12	81
															2	0	0	0	0	2
															0	0	0	0	1	1
															0	0	0	0	1	1
															0	0	0	0	4	1
															3	1	2	3	5	5
															0	0	0	2	0	2
															1	0	1	1	4	2
															0	0	0	1	9	1
															1	0	0	0	0	1
															0	0	0	0	3	1
															0	0	1	0	0	1
															0	0	0	0	1	1
															1	0	0	0	0	1
															0	0	0	2	3	2
															0	1	0	3	3	4
															1	0	0	0	0	1
															1	0	0	2	3	2
											2				26	16	4	7	7	30
															5	7	0	0	0	7
															1	1	0	0	1	1
															0	0	1	0	0	1
															2	0	0	0	0	2
															0	0	1	3	2	3
															0	0	1	0	0	1
															3	2	0	0	1	3
0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	115	86	27	57	62	171

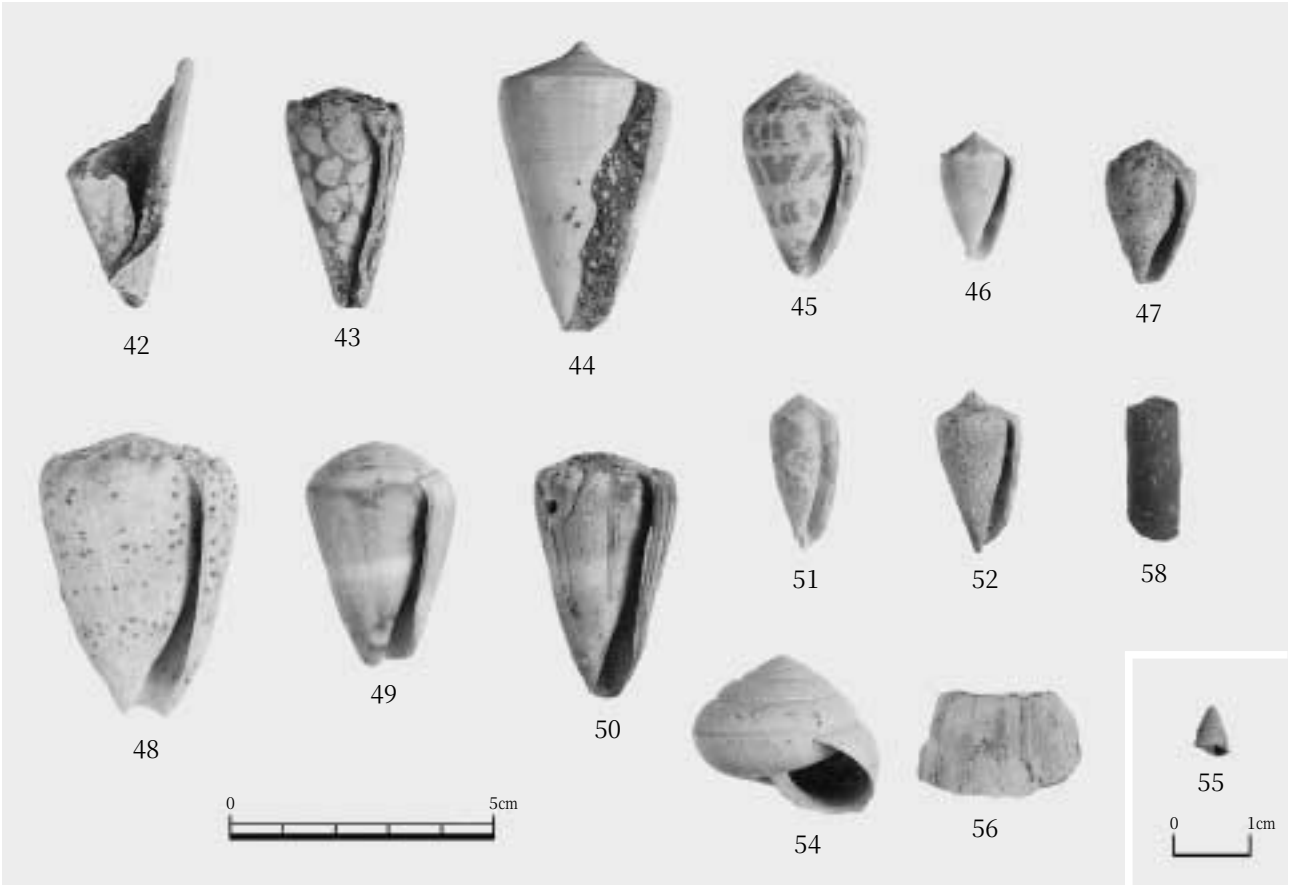


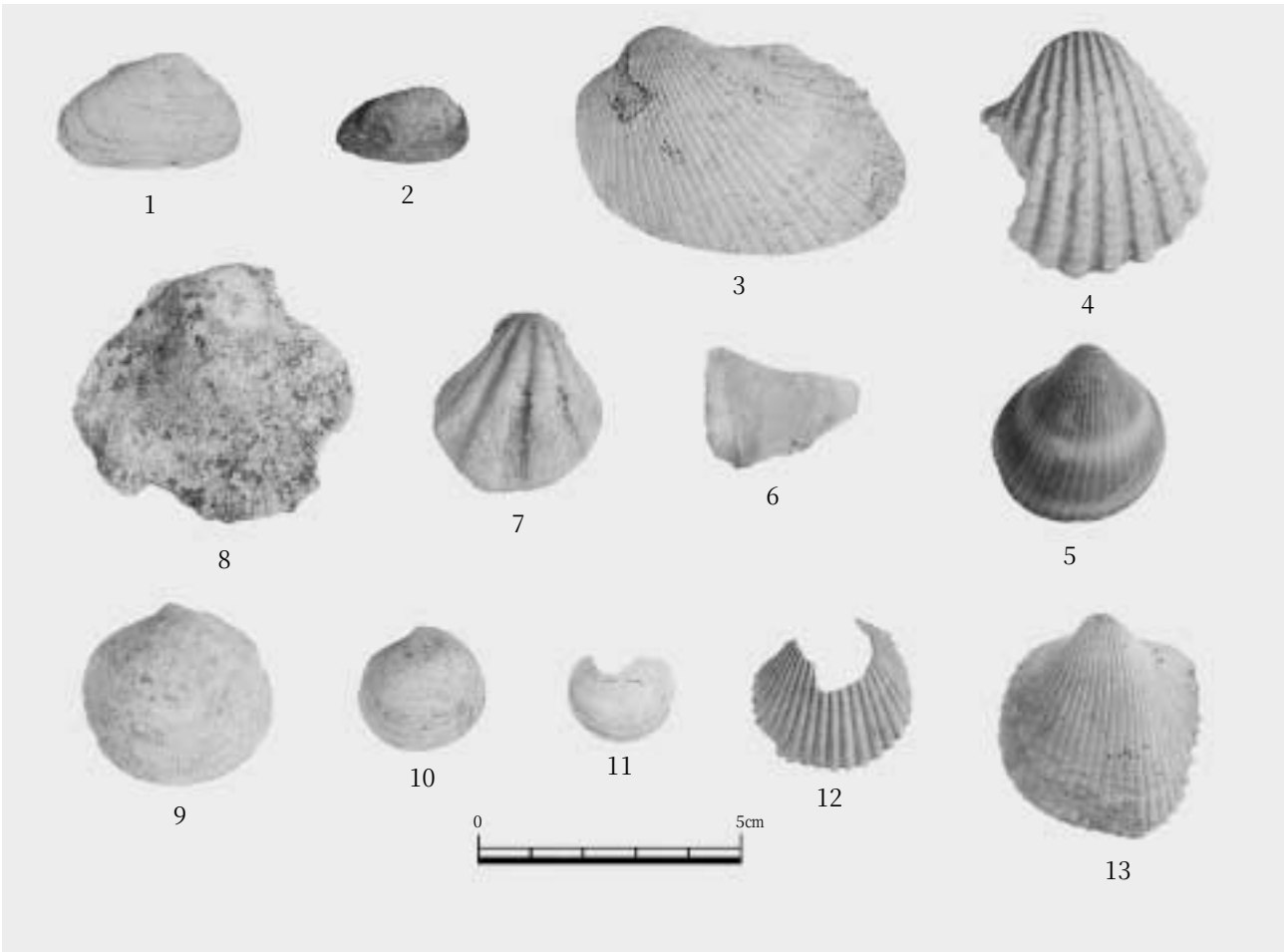
図版51　貝1　巻貝　(番号は表と一致)



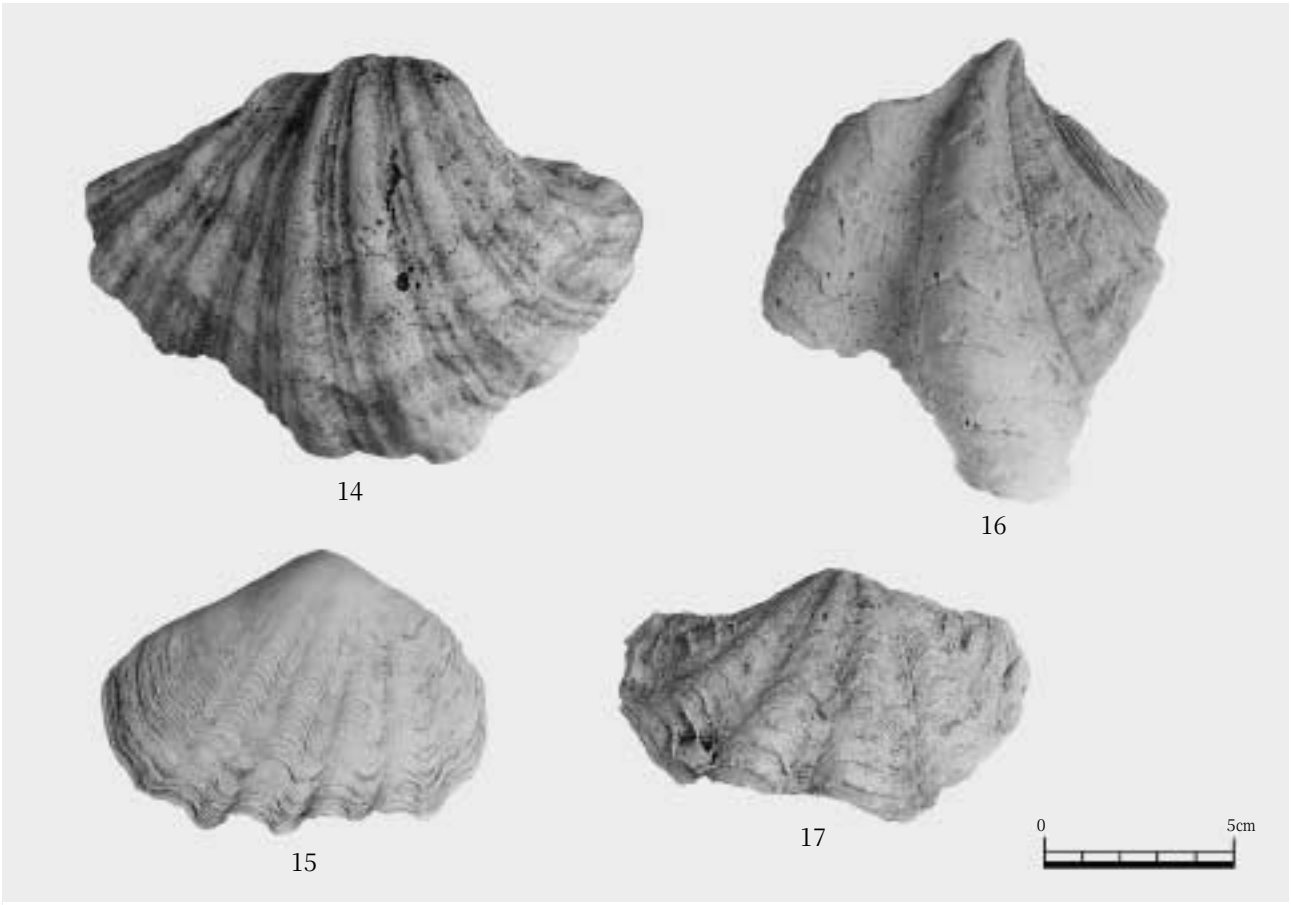


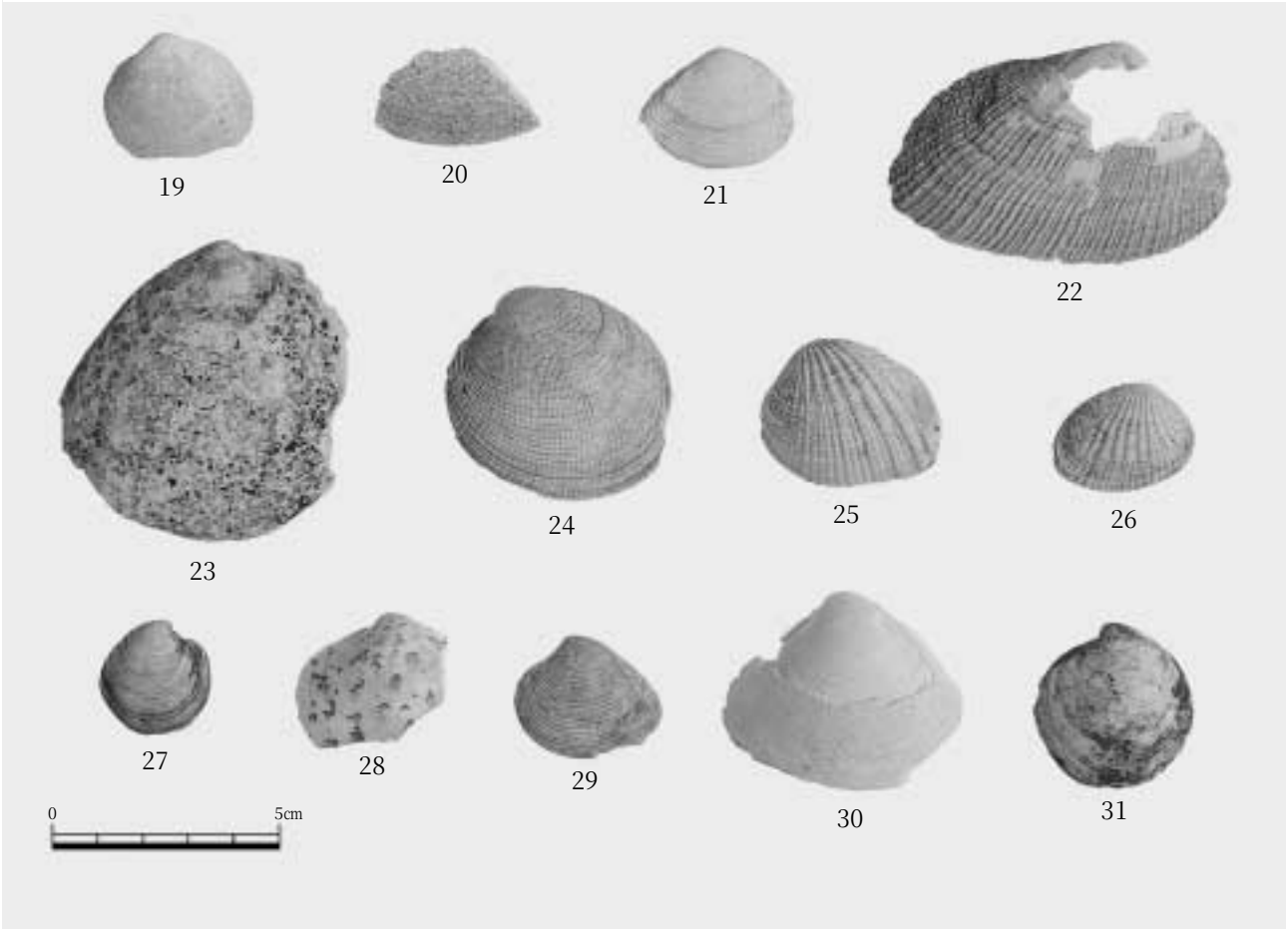
図版52　貝2　巻貝　(番号は表と一致)





図版53　貝3　上：巻貝　下：二枚貝　(番号は表と一致)





図版54　貝4　二枚貝　(番号は表と一致)

第32節　脊椎動物遺存体

今回の調査で動物遺存体は、甲殻網１目、軟骨魚網１目、硬骨魚網１目５科４種、鳥網１目１科１種、哺乳網３目４科５種以上が検出されている。以下に種目一覧を示す。

脊椎動物遺存体種名一覧

節足動物門　Phylum ARTHROPODA
甲殻網　Class Crustacea
十脚目　Order Decapoda
科・属不明　Fam.et gen.indet.
脊椎動物門　Phylum VERTEBRATA
軟骨魚綱　Class Chondrichthyes
メジロザメ目　Order Carcharhiniformes
科・属不明　Fam.et gen.indet.
硬骨魚綱　Class　Osteichthyes
スズキ目　Order　Perciformes
ハタ科　Family Serranidae
属・種不明　Get.et sp.indet.
タイ科　Family Sparidae
クロダイ　*Acanthopagrus schlegelii*
フエフキダイ科　Family Lethrinidae
ハマフエフキ　*Lethrinus nebulosus*
ベラ科　Family Labridae
コブダイ　*Semicossyphus reticulates*
属・種不明　Get.et sp.indet.
ブダイ科　Family Scaridae
イロブダイ　*Cetoscarus bicolor*
属・種不明　Get.et sp.indet.
鳥綱　Class Aves
キジ目　Order Galliformes
キジ科　Family Phasianidae
ニワトリ　*Gallus gallus var.domesticus*
哺乳綱　Class Mammalia
食肉目　Order Carnivora
ネコ科　Family Felidae
ネコ　*Felis catus*
寄蹄目　Order Perissodactyla
ウマ科　Family Equidae
ウマ　*Equus caballus*
偶蹄目　Order Artiodactyla
イノシシ科　Family Suidae
ブタ　*Sus scrofa var.domesticus*
ウシ科　Family Bovidae
ウシ　*Bos taurus*
ヤギ　*Capura hirucus*

第31表　カニ出土一覧

部位	出土地	個数
ハサミ脚	不明	1

第32表　サメ出土一覧

種類	部位	出土地			個数
メジロザメ	脊椎骨	A地区	A－6	1層	3
			C－3	1層	1
			D－7	1層	1
			D－8	1層	2
			E－8	1層	1
			E－12	1層	2
不明	歯	A地区	D－7	1層	1

第33表　魚類出土一覧

種　目			部位	右/左	出土地			個数
スズキ目	ハタ科	ハタ科の一種	前上顎骨	左	A地区	D－9	1層	1
				不明	A地区	D－10	1層	1
			主上顎骨	左	A地区	D－11	1層	1
			前鰓蓋骨	右	C地区	こ－13	2層	1
			角骨	左	A地区	D－9	1層	1
						D－12	1層	1
			方骨	右	C地区	こ－13	1層	1
			舌顎	左	A地区	E－8	1層	1
	タイ科	クロダイ	前上顎骨	右	C地区	こ－13	2層	1
				左	C地区	こ－13	2層	1
	フエフキダイ科	ハマフエフキ	主上顎骨	左	A地区	D－12	1層	1
			口蓋骨	右	A地区	E－8	1層	1
				左	A地区	D－7	1層	1
	ベラ科	コブダイ	下咽頭骨		A地区	D－7	1層	1
		ベラ科の一種	下咽頭骨		C地区	こ－13	1層	1
			歯		C地区	こ－13	2層	1
	ブダイ科	イロブダイ	歯骨	右	C地区	こ－13	2層	1
		ブダイ科の一種	前上顎骨	右	C地区	こ－13	1層	1
						さ･し－14	1層	1
				左	C地区	こ－13	1層	1
			歯骨	右	C地区	さ･し－14	1層	1
種目不明			背鰭棘（第1or2）		A地区	D－8	1層	1
			臀鰭血管間棘		A地区	D－11	1層	1
			脊椎骨		A地区	E－7	1層	2
					C地区	こ－13	1層	1
			尾椎		A地区	D－7	1層	1
					C地区	こ－13	2層	1
					不　明			1
			不明		C地区	け－13	2層	（1）
						こ－13	1層	（2）
							2層	（4）

注　（　）：破片

第34表　カメ類出土一覧

種類	部位	出土地			個数
陸ガメ	背甲	不　明			1
	不明	B地区	C－3	1層	1
不明		A地区	D－8	1層	（1）

注　（　）：破片

第35表　ニワトリ出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
鳥口骨	骨体	右	A地区	E－7	1層	1
肩甲骨	近位端	右		E－8	1層	1
上腕骨	近位部	左		D－10	1層	1
頸骨	骨体～遠位部	右		B－5	1層	1
	遠位部	左		D－11	1層	1
	骨体	右		C－7	1層	1
		左		不　明		1
大腿骨	骨体	右		A－5	1層	1
				D－8	1層	1
橈骨	近位端～骨体	左		D－7	1層	1
中足骨	遠位端～骨体	左		E－8	1層	♀1
	遠位端	右		B－8	1層	1
不明				B－4	1層	（1）

注（　）：破片

第36表　ニワトリ？出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
中足骨	完存	左	A地区	B－8	1層	1

第37表　トリ出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
鎖骨	骨体	不明	C地区	こ－13	2層	1
趾骨			A地区	B－8	1層	1
不明			A地区	C－7	1層	1
				D－9	1層	1

第38表　ネコ出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
椎体			不明			1
上腕骨	近位端～遠位部	右	C地区	き－11	1層	1
	近位端	左	C地区	き－11	1層	1
橈骨	近位端～骨体	左	A地区	B－4	1層	1
尺骨	近位端	左	C地区	き－11	1層	1
寛骨	坐骨	左	C地区	き－11	1層	1

第39表　ウマ出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
上顎骨	I^2	右	A地区	不明		1
	P^2			不明		1
	P^4			不明		1
	M^1			不明		1
	M^2			不明		1
	I^1	左	A地区	D－11	1層	1
	I^2			D－11	1層	1
	I^3			E－8	1層	1
	C			D－11	1層	1
	P^2			不明		1
	P^3			不明		1
	P^4			不明		1
	M^1			不明		1
	M^2			不明		1
	M^3			不明		1
下顎骨	I_1	右	A地区	不明		1
	I_2			C－11	1層	1
	I_3			D－1	1層	2
	P_4					1
	M_1					1
	M_3					2
	I_3	左	A地区	不明		1
				D－1	1層	1
	P_3					2
	P_4					1
	M_1			E－8	1層	1
				D－1	1層	1
	M_3					1
	下顎角	右	A地区	D－11	1層	1
	破片		A地区	C－12	1層	1
橈骨 尺骨	近位端 骨体	右	A地区	A－8	1層	1
尺骨	近位骨端はずれ	右	A地区	A－5	1層	1
寛骨	腸骨部	右	A地区	C－10	1層	①
	臼部	左	A地区	D－11	1層	1
	坐骨	右	A地区	D－5	1層	2
大腿骨	遠位部	左	A地区	B－8	1層	1
脛骨	骨体	右	A地区	不明		1
距骨		右	A地区	E－12	1層	1
膝蓋骨		左	不　明			1
基節骨	完存		A地区	D－11	1層	1
	破片			C－8	1層	1

注　○：キズあり、（　）：破片

第40表　ブタ歯出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
上顎骨	I^1	右	A地区	D－7	1層	1
				D－12	1層	1
	i^2			D－7	1層	1
	$M^{<2>}$			E－7	1層	1
	I^1	左		C－4	1層	1
	i^1		C地区	表採		1
	$M^{<3>}$					1
下顎骨	I_1	右	A地区	D－10	1層	1
	I_2			D－6	1層	1
	i_1			C－7	1層	2
	i_2					1
	P_4			D－7	1層	1
	dm_2		不　明			(1)
	$dm_4M_{<1>}$		A地区	C－7	1層	1
	M_1		B地区	C－5	1層	(1)
	M_2		A地区	D－9	1層	(1)
	犬歯	左	A地区	D－7	1層	♂1
	I_1			C－5	1層	1
	I_2			D－10	1層	1
	i_1		不明			1
			A地区	C－7	1層	1
			C地区	表採		1
	i_2		A地区	B－5	1層	1
				E－8	1層	1
				グリッド不明	1層	1
			不　明			1
	$dm_4M_{<1>}$		A地区	C－7	1層	1
	M_2			C－12	1層	1
				B－8	1層	1
				E－8	1層	1
	$M_{<3>}$			B－8	1層	1

注　(　)：破片、<　>：未萌出

第41表　ウシ出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
上顎骨	上顎骨	不明	A地区	E－8	1層	(1)
下顎骨	P_4	右		D－10	1層	1
				不明		1
	M_2			D－11	1層	1
	M_3					1
	M_1	左		D－8	1層	1
	M_2			D－11	1層	1
				E－12	1層	1
	M_3			D－8	1層	1
				D－11	1層	1
	筋突起	左		D－11	1層	1
				E－7	1層	1
	下顎骨	不明		B－4	1層	1
				D－8	1層	1
歯破片		不明		D－10	1層	(1)
椎体	仙骨			D－11	1層	1
肋骨		左		D－7	1層	1
				E－12	1層	①
		不明		C－4	1層	(1)
				D－7	1層	(1)
				E－8	1層	(1)
				不明		(2)
上腕骨	遠位部	左		D－11	1層	1
橈骨	近位部	右		D－11	1層	1
尺骨	遠位部	左		B－10	1層	1
	破片	右		A－8	1層	1
		左		A－8	1層	1
中手骨	近位端	右		不明		1
寛骨	腸骨部	右		E－8	1層	1
頸骨		左		D－12	1層	(1)
距骨		右		D－11	1層	1
中足骨	骨体	右		C－11	1層	1
		不明		C－9	1層	1
	遠位部	右		D－12	1層	1
	破片	右		D－12	1層	1
基節骨		右		E－12	1層	1
		左		C－11	1層	(1)
				D－11	1層	1

注　(　)：破片、○：キズあり

第42表　ヤギ出土一覧

部位		右/左	出土地			個数
上顎骨	M^1	右	A地区	D－8	1層	1
	M^1	左		B－6	1層	1
	M^2			E－8	1層	1
	上顎骨			B－6	1層	(1)
下顎骨	M_3	左		E－8	1層	1
椎体	環椎			D－10	1層	①
上腕骨	骨体～遠位部	左		盛土		1
橈骨	近位端	右		D－9	1層	1
				D－10	1層	1
	骨体	左		E－8	1層	1
中手骨	骨体	右		C－3	1層	1
寛骨	腸骨	右		D－10	1層	1

注　(　)：破片、○：キズあり

第43表　種不明出土一覧

部位	右/左	出土地			個数
寛骨	左	C地区	き－11	1層	{2}
不明		A地区	C－4	1層	1
			C－7	1層	2
			E－8	1層	1

注　{　}：幼

第44表　ブタ出土量ａ

部位	出土地	A地区																																				
		A－5			A－6			A－8			B－4			B－5			B－6			B－8			B－9			B－10			C－3			C－4			C－5			C－6		
		1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層		
		右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明
頭蓋骨	頭頂骨																																						1	
	頭頂骨～前頭骨																																							
	前頭骨																												1											
	側頭骨								3								1																							
	側頭骨鼓室部																																							
	側頭骨頬骨突起																																							
	側頭骨頬骨																																							
	側頭骨頸静脈突起																																			1				
	後頭顆																																							
	岩様部骨胞																																							
上顎骨	鼻骨																																							
	破片																																							
下顎骨	下顎骨																				(1)																			
	下顎角																																							
	関節突起																																							
	破片									1																											1			
椎体	胸椎																																							
	椎体																																							
	棘突起																																							
肋骨	第１																																							
	近位～	1												1															1											
	破片			2			1						1			1																								
肩甲骨	両端はずれ																																							
	遠位部										2			1																										
	遠位骨端はずれ																																							
	骨体																	1																						
上腕骨	両端はずれ																																							
	近位骨端はずれ～遠位部																																							
	近位部～遠位骨端はずれ																																							
	近位部～遠位部																																							
	骨体																																							
	骨体～遠位部																																							
	遠位部																																			1				
	遠位骨端のみ																																							
	遠位骨端はずれ														{1}			1																						
	破片		1																																					
橈骨	両端はずれ													{1}																										
	近位骨端のみ																																							
	近位骨端はずれ														{1}																									
	近位端																																							
	近位部																																							
	骨体																																							
	遠位部																																							
尺骨	両端はずれ																																							
	近位骨端はずれ～遠位部																																							
	近位骨端はずれ～骨体													{1}																										
	近位骨端はずれ	1																												1										
	近位部～遠位部																																							
	近位部～骨体																																							
	近位部														{1}																									
	骨体																																1							
	遠位骨端はずれ	1																																						
手根骨	Ⅳ																																							
中手骨	完存																																							
	Ⅱ																																							
	Ⅲ											1						1																						
	Ⅳ																													1										
	Ⅴ			1																										1										
寛骨	腸骨部																									1														
	臼部～坐骨																																							
	坐骨				1																																			
	恥骨				{1}																																			
大腿骨	両端はずれ																																							
	近位骨頭のみ											1																												
	近位骨端はずれ																																							
	近位骨端はずれ～骨体																																							
	近位骨端はずれ～遠位部																																							
	近位部～骨体																																							
	骨体～遠位部																							【1】																
	骨体										1																													
	遠位部																																							
	遠位骨端はずれ																																							
	破片										1						1																							
脛骨	両端はずれ																																							
	近位骨端はずれ																																							
	近位部								1																															
	近位部～骨体																																							
	骨体													{1}																										
	骨体～遠位部																																							
腓骨	骨体												1																											
距骨																																								
踵骨		1																																						
中手･中足骨													1																		1									
中足骨	Ⅱ																															1								
	Ⅲ																																							
	Ⅳ																												①											
	Ⅴ																																							
基節骨																																	1							
合　計		4	1	3	2	0	1	0	4	1	4	2	3	5	3	1	2	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3	3	1	1	2	0	0	2	1	0	1	0

注　(　)：破片、〇：キズあり、｛　｝：幼、【　】：胎

第44表　ブタ出土量b

部位 ＼ 出土地		A地区																														
		C－7				C－8			C－9			C－10			C－17			D－6			D－7				D－8			D－9			D－10		
		1層				1層			1層			1層			1層			1層			1層				1層			1層			1層		
		右左	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右左	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明
頭蓋骨	頭頂骨	1		1																			1									
	頭頂骨～前頭骨																				{1}												
	前頭骨																																
	側頭骨			2																			1	1									
	側頭骨鼓室部		1																														
	側頭骨頬骨突起			1																													
	側頭骨頬骨		1																														
	側頭骨頸静脈突起																																
	後頭顆																																
	岩様部骨胞																						1										
上顎骨	鼻骨																						1										
	破片																																
下顎骨	下顎骨		1	2						1														(1)									
	下顎角			1																													
	関節突起		1																														
	破片																							1									1
椎体	胸椎				2																												
	椎体				4																												
	棘突起				6																							1					1
肋骨	第1																																
	近位～		8	9			2																5	1									
	破片				39			3																	28①					2①				1
肩甲骨	両端はずれ		{1}																														
	遠位部																																
	遠位骨端はずれ		1	1 {1}																			{1}	{1}									
	骨体																																
上腕骨	両端はずれ		{1}	1																													
	近位骨端はずれ～遠位部			{1}																			{1}										
	近位部～遠位骨端はずれ																																
	近位部～遠位部																														【1】		
	骨体																						1										
	骨体～遠位部					【1】																											
	遠位部									1													①			1							
	遠位骨端のみ		2																												1		
	遠位骨端はずれ		1																					【1】									
	破片																																
橈骨	両端はずれ		{1}	{1}																													
	近位骨端のみ			1																													
	近位骨端はずれ		{1}																														
	近位端																							1									
	近位部																																
	骨体																																
	遠位部																																
尺骨	両端はずれ		1																														
	近位骨端はずれ～遠位部																																
	近位骨端はずれ～骨体			1																													
	近位骨端はずれ			{1}																													
	近位部～遠位部																																
	近位部～骨体																						1										
	近位部		{1}																														
	骨体																																
	遠位骨端はずれ																																
手根骨	Ⅳ																																
中手骨	完存																																
	Ⅱ		{1} 【1】																														
	Ⅲ		{1}				{1}								{1}							1 {1}											
	Ⅳ		1【1】	{2}			1															1											
	Ⅴ			【1】																					{1}								
寛骨	腸骨部		1									①										{1} ①	①										
	臼部～坐骨																						{1}										
	坐骨			{1}																													
	恥骨																																
大腿骨	両端はずれ		1																			{2}											
	近位骨頭のみ				2																	1											
	近位骨端はずれ																						{1}										
	近位骨端はずれ～骨体			1																													
	近位骨端はずれ～遠位部			{1}																													
	近位部～骨体		{1}																														
	骨体～遠位部																																
	骨体																											1					
	遠位部																																
	遠位骨端はずれ																							1									
	破片				1																			2		1							
脛骨	両端はずれ			{1}																													
	近位骨端はずれ																							{1}									
	近位部																																
	近位部～骨体																																
	骨体		1	1																													
	骨体～遠位部																					{1}											
腓骨	骨体																																1
距骨																								1									
踵骨			2																			{1}	{2}										
中手・中足骨					1															1													1
中足骨	Ⅱ																																
	Ⅲ																																
	Ⅳ																																
	Ⅴ																							1									
基節骨																		1										1					
合　計		1	33	32	55	1	4	3	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	23	16	32	3	0	1	1	1	5		0	5

注　（ ）：破片、○：キズあり、｛ ｝：幼、【 】：胎

第44表　ブタ出土量ｃ

部位 ＼ 出土地		A 地区																												B 地区											
		D－１１			D－１２			D－１３			E－７			E－８			E－９			E－１２			盛土			不明			B－１			B－２			C－３			C－５		
		1層			1層			1層			1層			1層			1層			1層									1層			1層			1層			1層		
		右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明	右	左	不明
頭蓋骨	頭頂骨																1																							
	頭頂骨～前頭骨																																							
	前頭骨																																							
	側頭骨																																							
	側頭骨鼓室部																																							
	側頭骨頬骨突起														1																									
	側頭骨頬骨																																							
	側頭骨頸静脈突起																																							
	後頭顆																																							
	岩様部骨胞																																							
上顎骨	鼻骨																																							
	破片												1																											
下顎骨	下顎骨														(1)																									
	下顎角																																							
	関節突起																																							
	破片												1																											
椎体	胸椎															1																									
	椎体																																							
	棘突起																																							
肋骨	第１																						1																	
	近位～																																							
	破片												4			11①																									
肩甲骨	両端はずれ																																							
	遠位部													1																											
	遠位骨端はずれ																																							
	骨体																																							
上腕骨	両端はずれ																																							
	近位骨端はずれ～遠位部																																							
	近位部～遠位骨端はずれ													【1】																										
	近位部～遠位部																									{1}														
	骨体																																{1}							
	骨体～遠位部													【1】																										
	遠位部										1	1			1								1			1														
	遠位骨端のみ																																							
	遠位骨端はずれ													2																										
	破片				1							2																												
橈骨	両端はずれ																																							
	近位骨端のみ																																							
	近位骨端はずれ													{1}	{1}																									
	近位端																																							
	近位部																																							
	骨体	1																																						
	遠位部														1																									
尺骨	両端はずれ																																							
	近位骨端はずれ～遠位部																																							
	近位骨端はずれ～骨体																																							
	近位骨端はずれ																																							
	近位部～遠位部	1																																						
	近位部～骨体		1																																					
	近位部																																							
	骨体																																							
	遠位骨端はずれ																																							
手根骨	Ⅳ																																				1			
中手骨	完存																																							
	Ⅱ																																							
	Ⅲ																																							
	Ⅳ																										1													
	Ⅴ																										1													
寛骨	腸骨部																																							
	臼部～坐骨																																							
	坐骨	1																																						
	恥骨																																							
大腿骨	両端はずれ																																							
	近位骨頭のみ																																							
	近位骨端はずれ								1																															
	近位骨端はずれ～骨体																																							
	近位骨端はずれ～遠位部																																							
	近位部～骨体																																							
	骨体～遠位部																																							
	骨体														1																									
	遠位部				①															1																			
	遠位骨端はずれ																																							
	破片																																							
脛骨	両端はずれ																																							
	近位骨端はずれ														1																									
	近位部																																							
	近位部～骨体																									1													1	
	骨体										1			1	1								1			1														
	骨体～遠位部													1																										
腓骨	骨体																																							
距骨																																								
踵骨															1					1									1											
中手･中足骨													1																										
中足骨	Ⅱ																																							
	Ⅲ		1																																				
	Ⅳ																																							
	Ⅴ																																							
基節骨																																							
合　計		3	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	7	8	9	13	1	0	0	0	2	0	2	1	0	4	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0

注　(　)：破片、○：キズあり、｛　｝：幼、【　】：胎

第44表　ブタ出土量ｄ

部位	出土地	C地区 き－１１ 1層 右	左	不明	く－１４ 1層 右	左	不明	け－１３ 1層 右	左	不明	け－１５ 1層 右	左	不明	こ－１３ 1層 右	左	不明	し－１３ 1層 右	左	不明	し－１４ 1層 右	左	不明	表採 右	左	不明	不明 右	左	不明	合計 右左	右	左	不明
頭蓋骨	頭頂骨																												0	1	3	0
	頭頂骨～前頭骨																												2	0	0	0
	前頭骨																												0	1	0	0
	側頭骨																												0	2	6	0
	側頭骨鼓室部																												0	1	0	0
	側頭骨頬骨突起																												0	0	2	0
	側頭骨頬骨																												0	1	0	0
	側頭骨頸静脈突起																												0	0	1	0
	後頭顆																						1						0	0	1	0
	岩様部骨胞																												0	1	0	0
上顎骨	鼻骨																												0	1	0	0
	破片																												0	0	0	1
下顎骨	下顎骨																												0	1	6	0
	下顎角																												0	0	1	0
	関節突起																												0	1	0	0
	破片																												0	0	0	5
椎体	胸椎																												0	0	0	3
	椎体																												0	0	0	4
	棘突起																							1					0	0	0	9
肋骨	第１																												0	1	0	0
	近位～													①										2		1	1		0	17	16	0
	破片			③			⑦																		5				0	0	0	111
肩甲骨	両端はずれ																												0	1	0	0
	遠位部																												0	4	0	0
	遠位骨端はずれ																												0	2	3	0
	骨体																												0	0	1	0
上腕骨	両端はずれ																												0	1	1	0
	近位骨端はずれ～遠位部																												0	1	1	0
	近位部～遠位骨端はずれ																						{1}						0	1	1	0
	近位部～遠位部																												0	2	0	0
	骨体																				①								0	2	1	0
	骨体～遠位部																												0	2	0	0
	遠位部																												0	4	5	0
	遠位骨端のみ																												0	3	0	0
	遠位骨端はずれ																												0	3	3	0
	破片																										1		0	0	5	0
橈骨	両端はずれ																						{1}				{1}		0	3	2	0
	近位骨端のみ																												0	0	1	0
	近位骨端はずれ																												0	2	2	0
	近位端																												0	0	1	0
	近位部																										1		0	0	1	0
	骨体																												0	0	2	0
	遠位部																												0	1	0	0
尺骨	両端はずれ																												0	1	0	0
	近位骨端はずれ～遠位部																						{1}						0	1	0	0
	近位骨端はずれ～骨体																												0	1	1	0
	近位骨端はずれ																												0	1	2	0
	近位部～遠位部																												0	1	0	0
	近位部～骨体																												0	1	1	0
	近位部																												0	1	1	0
	骨体																												0	0	1	0
	遠位骨端はずれ																												0	1	0	0
手根骨	Ⅳ																												0	0	1	0
中手骨	完存																												0	0	0	0
	Ⅱ																												0	2	0	0
	Ⅲ														1														0	5	4	0
	Ⅳ																												0	3	5	0
	Ⅴ																												0	1	3	1
寛骨	腸骨部											1			①									{2}					0	6	4	0
	臼部～坐骨																												0	0	1	0
	坐骨																						1						0	3	1	0
	恥骨																												0	1	0	0
大腿骨	両端はずれ																												0	3	0	0
	近位骨頭のみ																						1						0	2	1	2
	近位骨端はずれ																												0	0	2	0
	近位骨端はずれ～骨体																												0	0	1	0
	近位骨端はずれ～遠位部																												0	0	1	0
	近位部～骨体																												0	1	0	0
	骨体～遠位部																												0	0	1	0
	骨体								①																				0	1	3	0
	遠位部																												0	1	1	0
	遠位骨端はずれ																												0	1	0	0
	破片																												0	2	0	4
脛骨	両端はずれ																												0	0	1	0
	近位骨端はずれ																												0	0	2	0
	近位部																①												0	1	1	0
	近位部～骨体																												0	2	1	0
	骨体																												0	7	2	0
	骨体～遠位部																												0	2	0	0
腓骨	骨体		①																										0	0	1	2
距骨																													0	0	1	0
踵骨																													0	5	4	0
中手・中足骨																													0	0	0	7
中足骨	Ⅱ																												0	1	0	0
	Ⅲ																												0	0	1	0
	Ⅳ							1																					0	2	0	0
	Ⅴ																												0	0	1	0
基節骨																													0	2	1	0
合　計		0	1	3	0	0	7	1	1	0	0	1	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	4	6	6	1	4	0	2	122	117	149

注　（　）：破片、○：キズあり、｛　｝：幼、【　】：胎

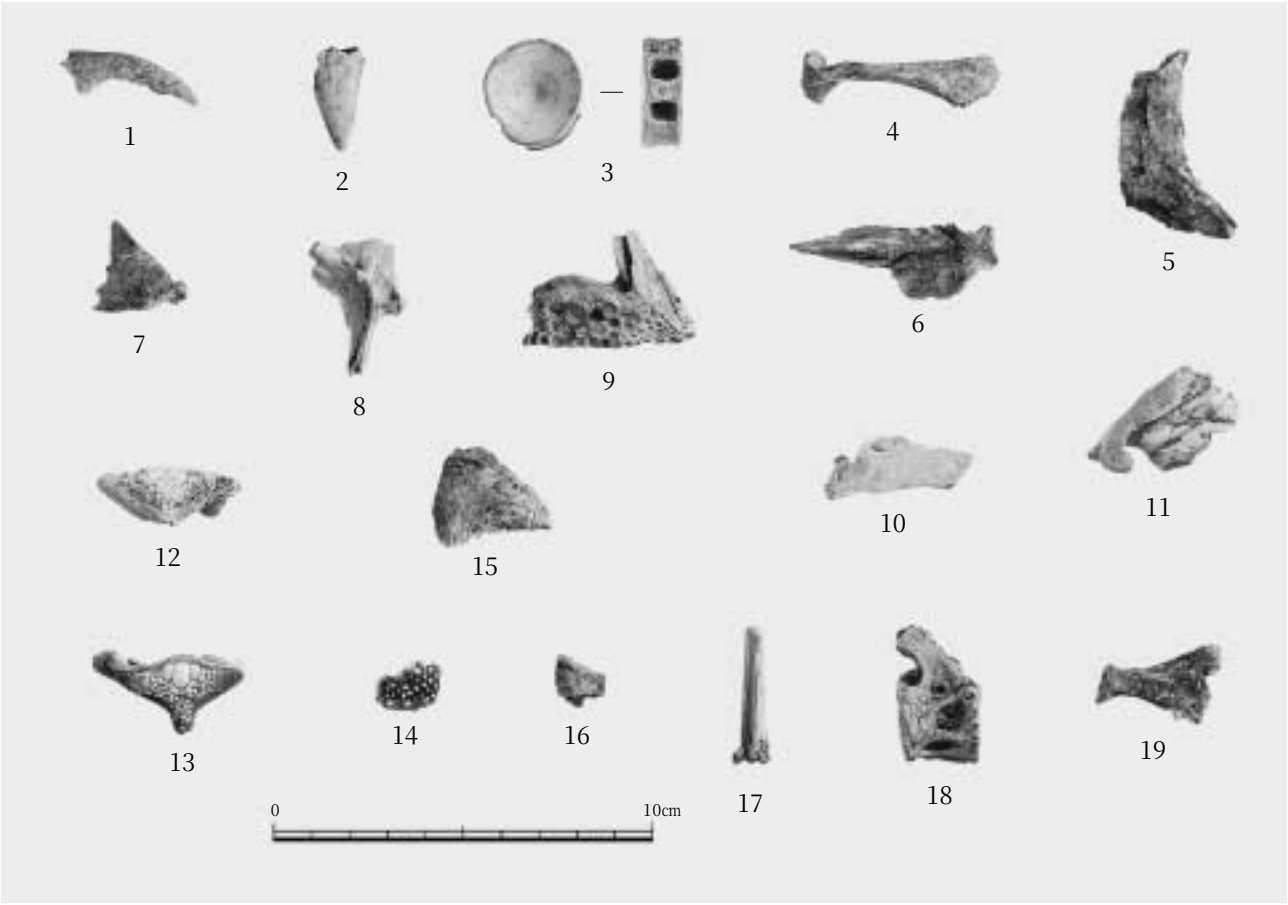
図版55　上：カニ・サメ・サカナ　下：カメ・ニワトリ・ニワトリ？・ネコ

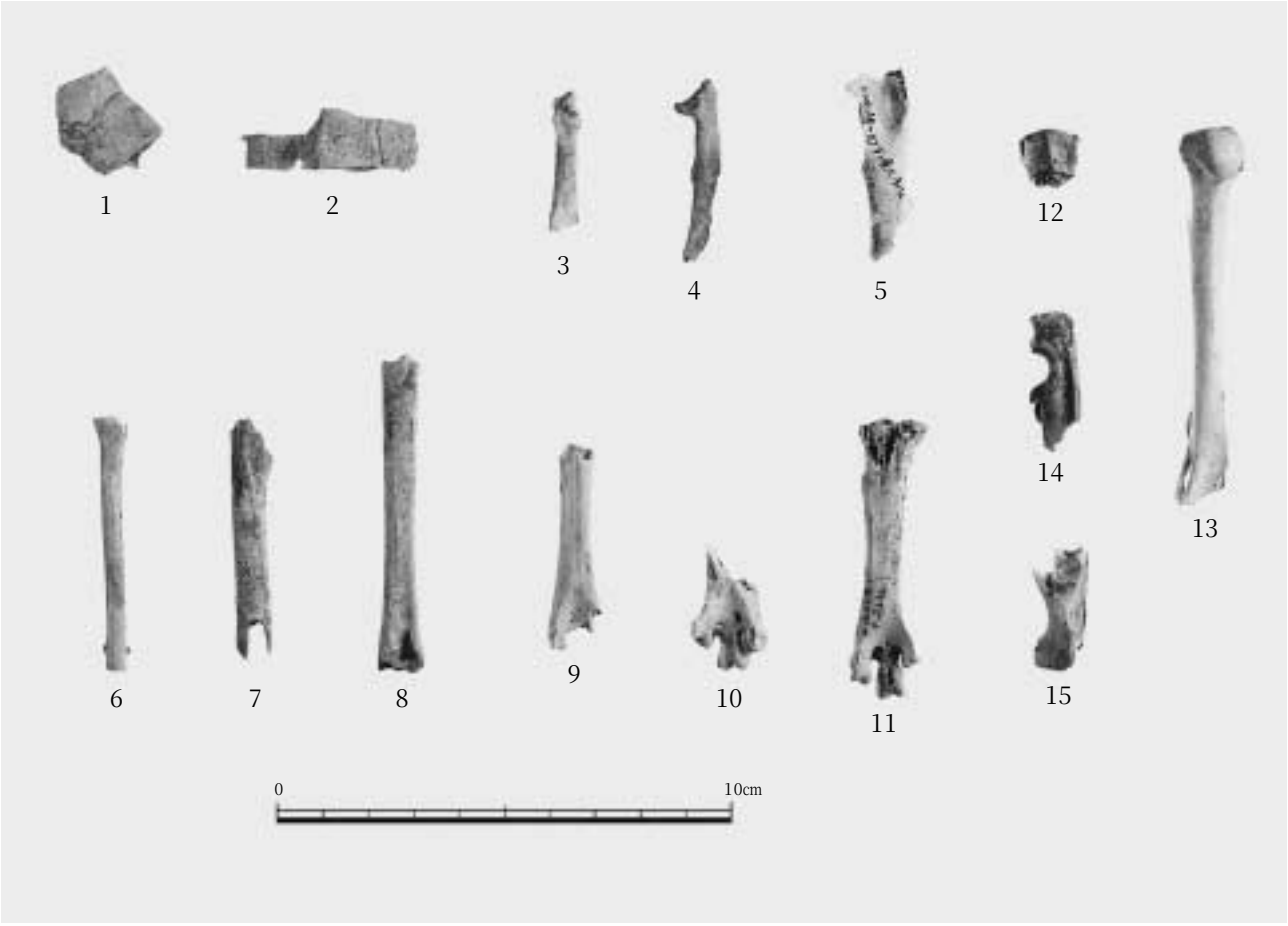
上

1. カニ　ハサミ脚
2. サメ　歯
3. メジロザメ　脊椎骨
4. ハタ科　左　主上顎骨
5. ハタ科　右　前鰓蓋骨
6. ハタ科　左　魚骨
7. ハタ化　右　方骨
8. ハタ科　左　舌顎
9. タイ科　クロダイ　左　前上顎骨
10. フエフキダイ科　ハマフエフキ　左　主上顎骨
11. フエフキダイ科　ハマフエフキ　左　口蓋骨
12. ベラ科　コブダイ　下咽頭骨
13. ベラ科　下咽頭骨
14. ブダイ科　イロブダイ　右　歯骨
15. ブダイ科　左　前上顎骨
16. ブダイ科　右　歯骨
17. 種不明　臀鰭血管間棘
18. 種不明　脊椎骨
19. 種不明　尾椎

下

1. 陸ガメ　不明
2. 陸ガメ　背甲
3. ニワトリ　右　鳥口骨　骨体
4. ニワトリ　右　肩甲骨　近位端
5. ニワトリ　左　上腕骨　近位部
6. ニワトリ　橈骨　左　近位端～骨体
7. ニワトリ　右　大腿骨　骨体
8. ニワトリ　右　脛骨　骨体～遠位部
9. ニワトリ　左　中足骨　骨体～遠位端　♀
10. ニワトリ　右　中足骨　遠位端
11. ニワトリ？　左　中足骨　完存　♀
12. ネコ　椎体
13. ネコ　右　上腕骨　近位端～遠位部
14. ネコ　左　尺骨　近位端
15. ネコ　左　寛骨　坐骨

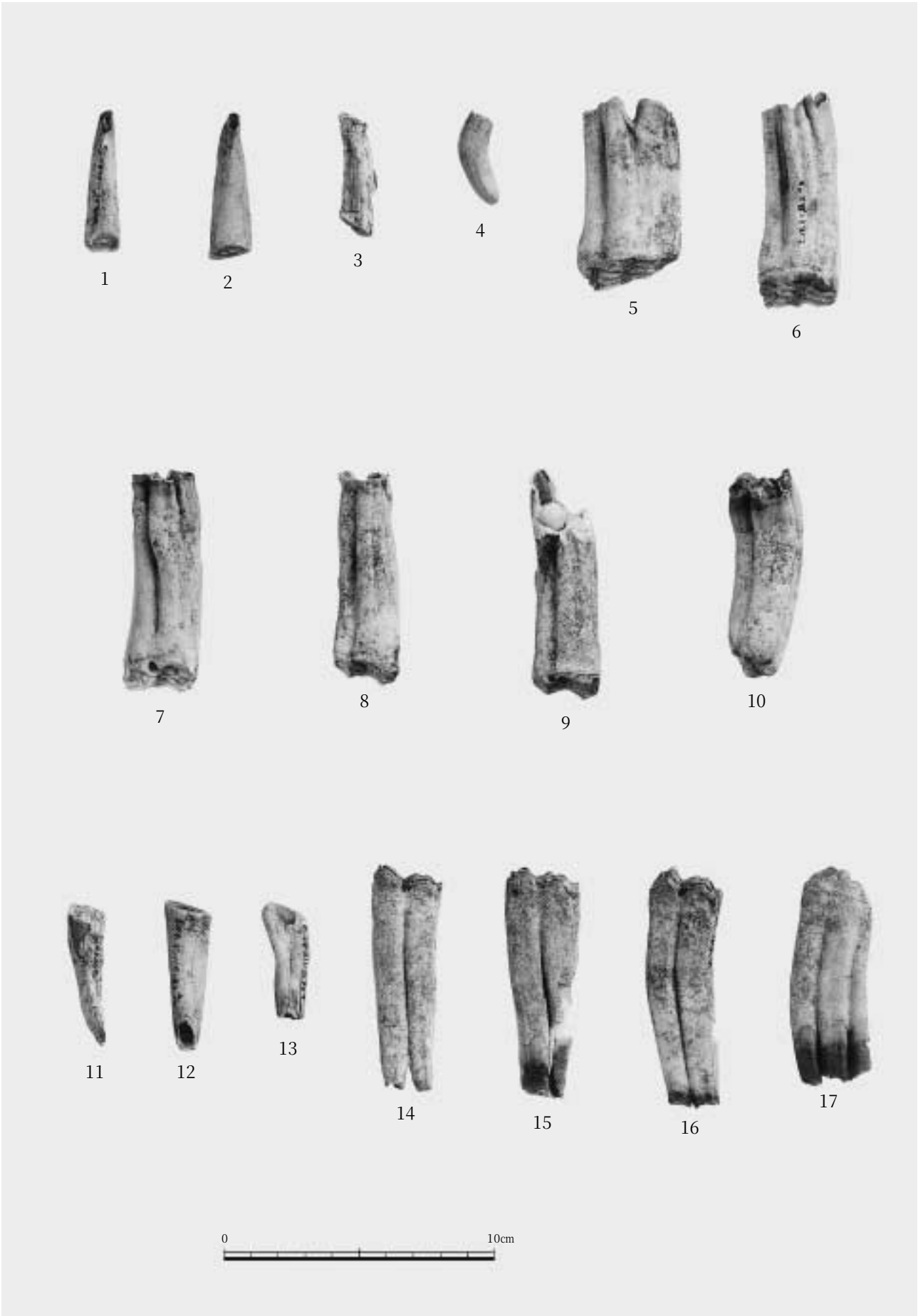




図版55　脊椎動物遺体1

図版56　ウマ

1．　左　上顎骨　I^1
2．　右　上顎骨　I^2
3．　左　上顎骨　I^3
4．　左　上顎骨　C
5．　左　上顎骨　P^2
6．　左　上顎骨　P^3
7．　左　上顎骨　P^4
8．　左　上顎骨　M^1
9．　左　上顎骨　M^2
10．　左　上顎骨　M^3
11．　右　下顎骨　I_1
12．　右　下顎骨　I_2
13．　右　下顎骨　I_3
14．　左　下顎骨　P_3
15．　左　下顎骨　P_4
16．　左　下顎骨　M_1
17．　左　下顎骨　M_3



図版56　脊椎動物遺体2

図版57　ウマ

18.　右　橈骨－ 近位端
　　尺骨－ 骨体
19.　右　尺骨　近位骨端はずれ
20.　右　寛骨　腸骨部　キズあり
21.　左　寛骨　臼部
22.　右　寛骨　坐骨
23.　左　膝蓋骨
24.　右　距骨
25.　基節骨　完存

18

19

20

21

22

23

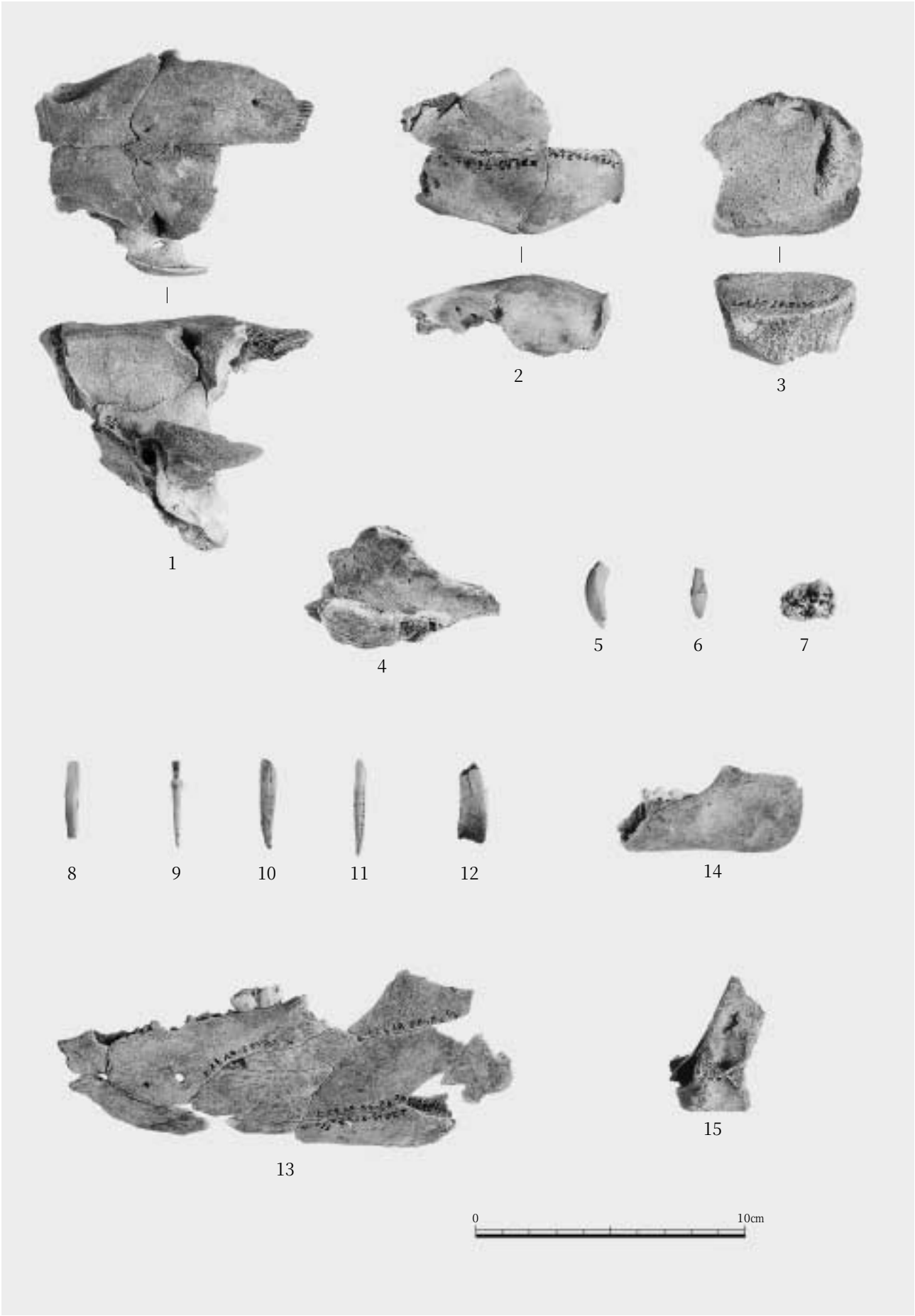
24

25

図版57　脊椎動物遺体3

図版58　ブタ

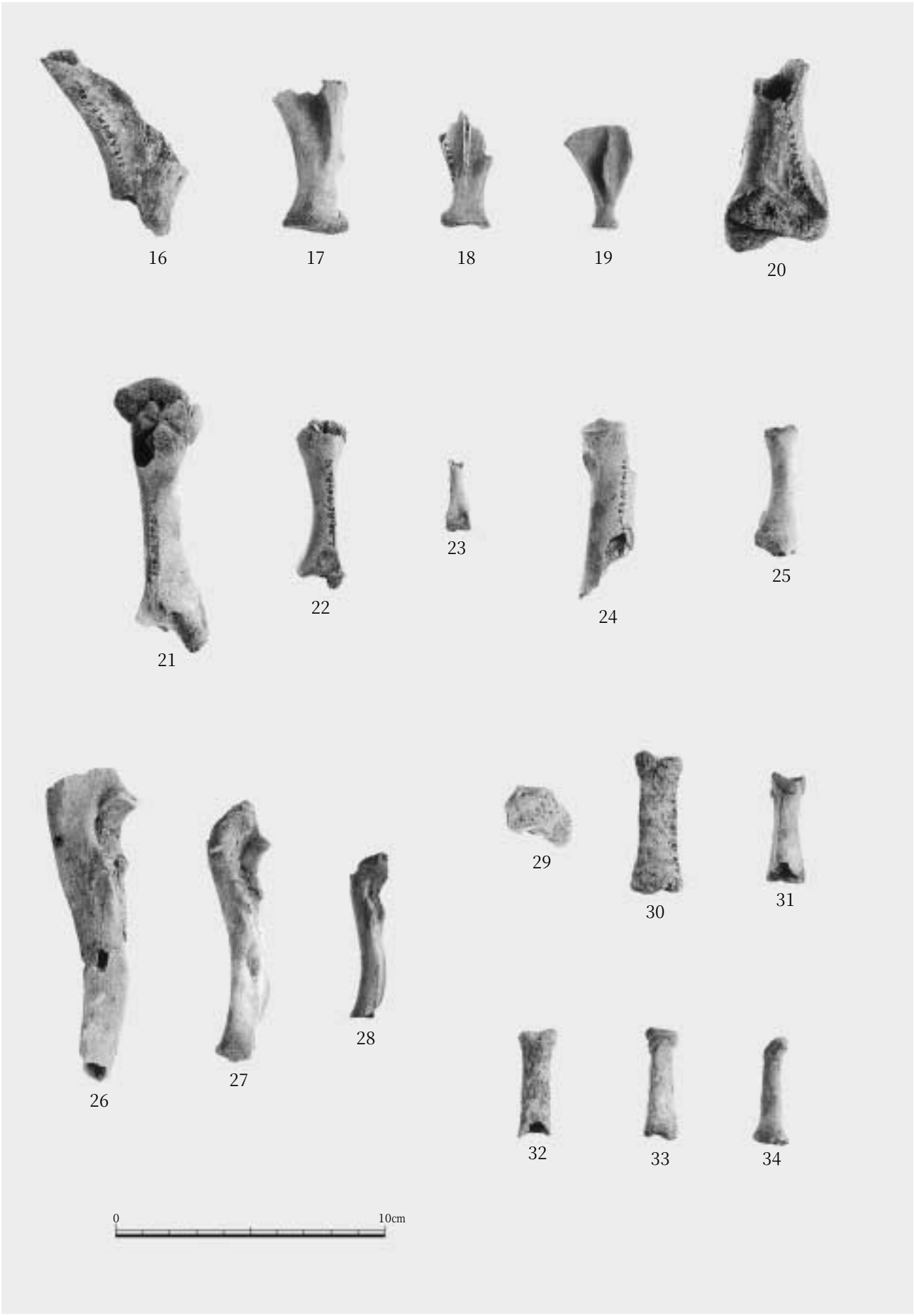
1．　右左　頭骨　頭頂骨～前頭骨
2．　右左　頭骨　頭頂骨～前頭骨（幼）
3．　左　頭骨　頭蓋骨
4．　左　頭骨　側頭骨
5．　左　上顎骨　I^{1}
6．　左　上顎骨　i^{2}
7．　右　上顎骨　$M^{\langle 2\rangle}$
8．　左　下顎骨　I_{1}
9．　左　下顎骨　i_{1}
10．　左　下顎骨　I_{2}
11．　左　下顎骨　i_{2}
12．　左　下顎骨　犬歯♂
13．　左　下顎骨　M_{2}
14．　左　下顎骨　$dm_{4}M_{\langle 1\rangle}$
15．　椎体　胸椎



図版58　脊椎動物遺体4

図版59　ブタ

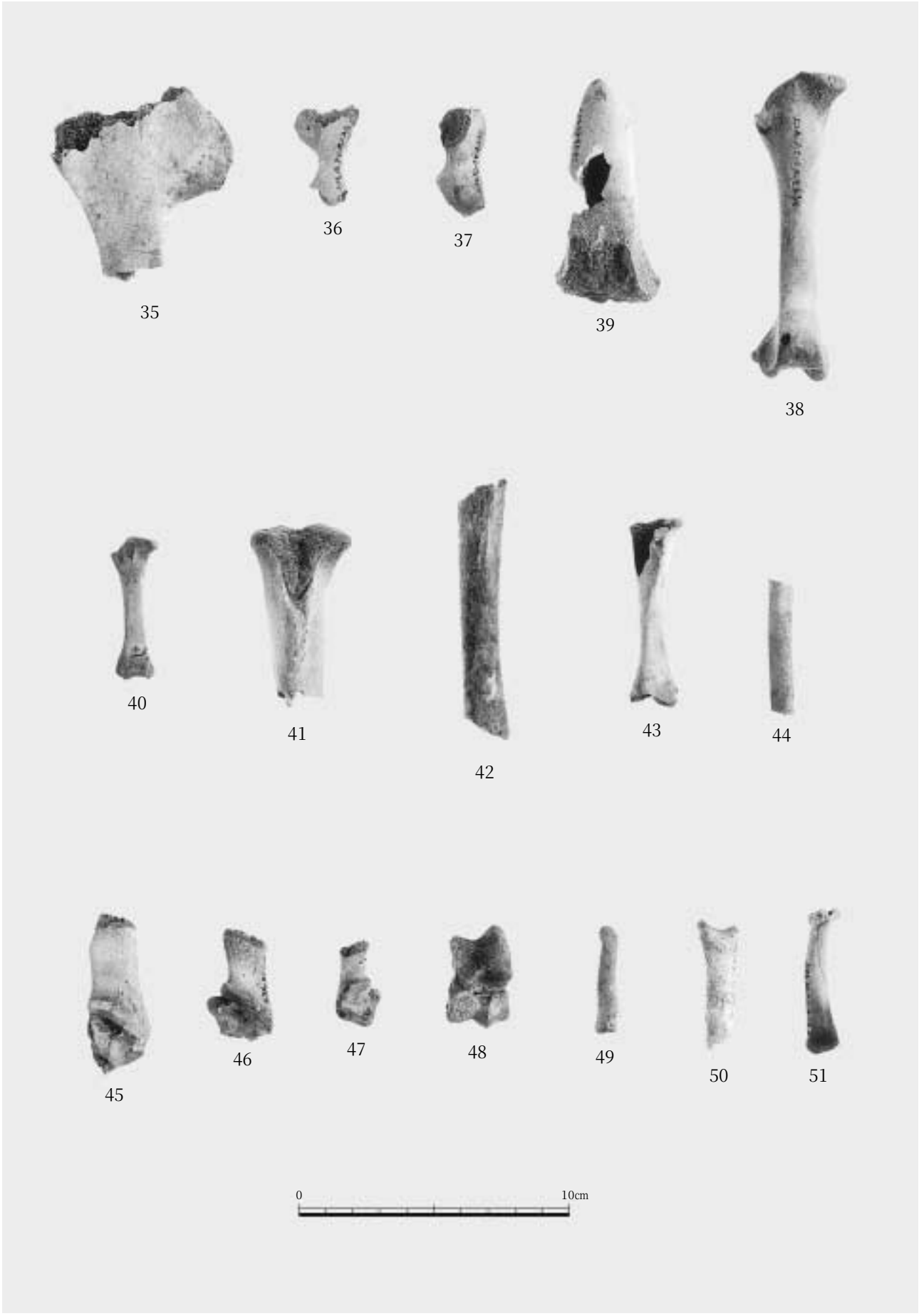
16.　右　肩甲骨　遠位部
17.　右　肩甲骨　遠位骨端はずれ
18.　左　肩甲骨　遠位骨端はずれ（幼）
19.　右　肩甲骨　両端はずれ（幼）
20.　左　上腕骨　遠位骨端はずれ
21.　左　上腕骨　両端はずれ
22.　右　上腕骨　両端はずれ（幼）
23.　左　上腕骨　遠位骨端はずれ（胎）
24.　左　橈骨　近位部
25.　左　橈骨　両端はずれ（幼）
26.　右　尺骨　近位部～遠位部
27.　右　尺骨　両端はずれ
28.　右　尺骨　近位骨端はずれ～遠位部（幼）
29.　左　第4 手根骨
30.　左　中手骨　Ⅲ
31.　右　中手骨　Ⅲ
32.　左　中手骨　Ⅲ
33.　左　中手骨　Ⅳ
34.　左　中手骨　Ⅴ



図版59　脊椎動物遺体5

図版60　ブタ

35.　左　寛骨　腸骨部　キズあり
36.　右　寛骨　腸骨部（幼）
37.　左　寛骨　臼部～坐骨
38.　右　大腿骨　両端はずれ
39.　右　大腿骨　遠位骨端はずれ
40.　右　大腿骨　両端はずれ（幼）
41.　左　脛骨　近位骨端はずれ
42.　左　脛骨　近位部～骨体
43.　左　脛骨　両端はずれ（幼）
44.　左　腓骨　骨体　キズあり
45.　右　踵骨
46.　右　踵骨
47.　左　踵骨
48.　左　距骨
49.　右　中足骨　Ⅱ
50.　左　中足骨　Ⅲ
51.　左　中足骨　Ⅴ



図版60　脊椎動物遺体6

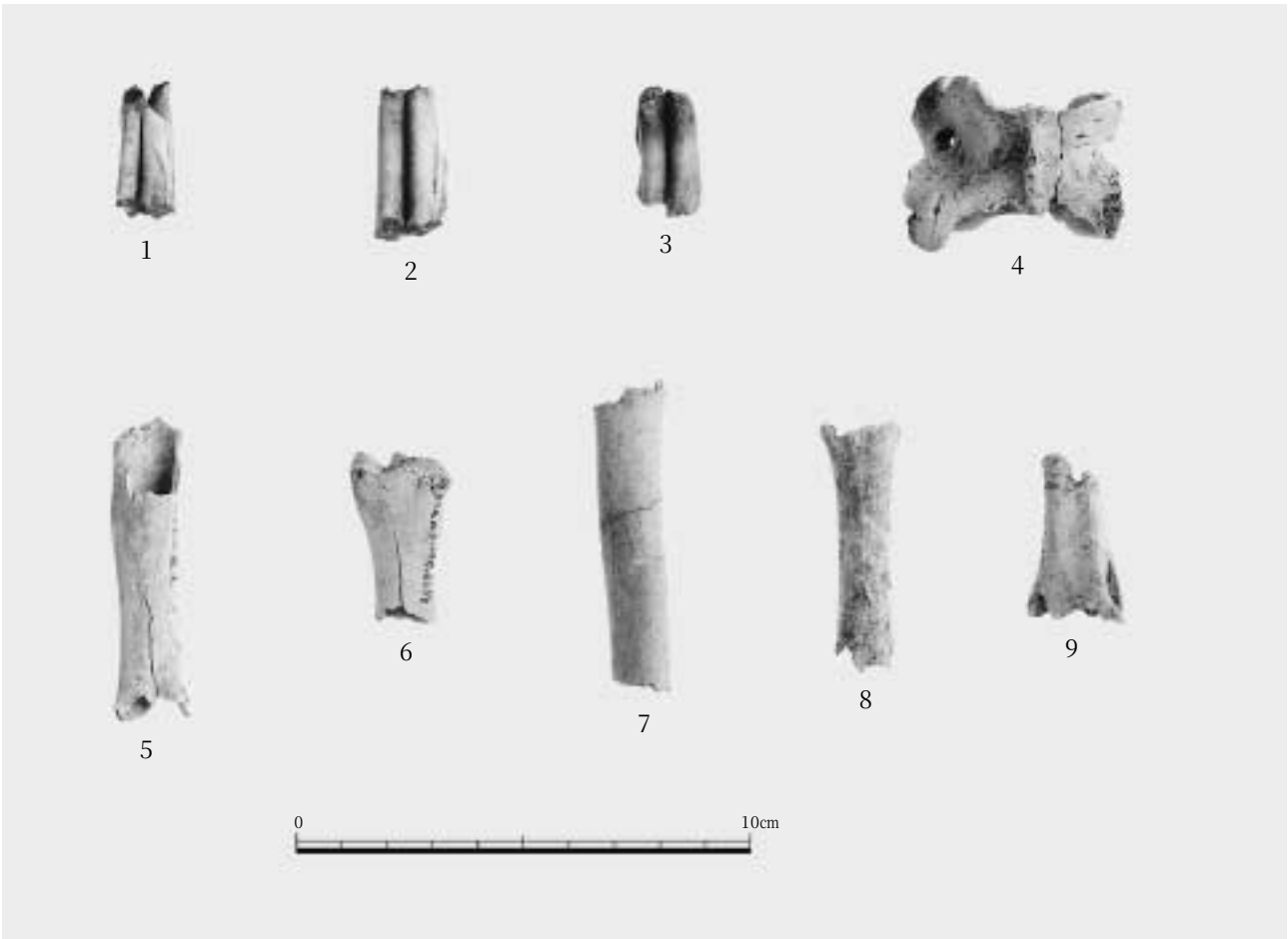
図版61　上：ウシ　下：ヤギ

上

1．　ウシ　右　下顎骨　P_4
2．　ウシ　左　下顎骨　M_1
3．　ウシ　左　下顎骨　M_2
4．　ウシ　左　下顎骨　M_3
5．　ウシ　左　上腕骨　遠位部
6．　ウシ　右　中手骨　近位端
7．　ウシ　右　中足骨　遠位部
8．　ウシ　右　基節骨

下

1．　ヤギ　右　上顎骨　M^1
2．　ヤギ　右　上顎骨　M^2
3．　ヤギ　左　下顎骨　M^3
4．　ヤギ　椎体　環椎　キズあり
5．　ヤギ　左　上腕骨　骨体～遠位部
6．　ヤギ　右　橈骨　近骨端
7．　ヤギ　左　橈骨　骨体
8．　ヤギ　右　中手骨　骨体
9．　ヤギ　右　寛骨　腸骨



図版61　脊椎動物遺体7

第６章　結　　語

前章までに平成６年度と平成14年度に実施した、上の毛及び周辺地区の発掘調査の成果について報告してきた。本章ではそれらを整理し、結語としたい。

今回報告しているのは、県営首里城公園整備に伴った事前調査であり、調査区域は首里城跡の東側の上の毛と呼称されている区域であった。

検出された遺構は、Ａ地区では石積遺構、集石遺構、Ｃ地区では石積遺構、石畳遺構がある。

Ａ地区の石積遺構は東西方向に延びているが、両端ともに掘削を受けており、本来の長さは確認できなかった。また、沖縄キリスト教短期大学の整備などによって、本来の地表面が掘削を受けたこともあり、石積は１段のみの検出となり、高さの推定も難しい状況であった。

集石遺構は全部で８基確認されている。検出されているのは、琉球石灰岩の岩盤の間にあり、破壊から逃れることのできたものだけである。集石を構成するのは拳大の琉球石灰岩であり、１重を基本に敷かれている。礫の範囲は、各集石により異なることから、遺構の性格は判然としない。しかし、各集石は隣接していることから、本来は１つの遺構であった可能性もある。

Ｃ地区では、国中城御嶽を囲む石積として、絵図などにも描かれている遺構の確認の際に、石積遺構を検出した。石積を構成するのは人頭大の琉球石灰岩を加工したもので、残存する部分は３段程度である。石積の下段には、上段と方向を別にする部分があることから、本来の石積は下段石積で、上段石積は後に構成された石積の可能性が高い。

石畳遺構は、城郭沿いに検出されたもので、城の下から上の毛へ続く石畳道である。残存する部分は僅かであり、北及び西側は岩盤まで掘削を受けており、延長部分では検出されていない。また、東側は、里道となっており、調査対象外区域であったため確認できていない。南側は、切石により端が設定されていることから、石畳としては延びないと考えられる。

Ｂ地区に関しては、沖縄キリスト教短期大学建築の際と考えられるが、琉球石灰岩の岩盤まで、掘削されており、遺構の検出はできなかった。

今回の調査では、伝承などに残されている情報を遺構から検討することは、結果的に国中城御嶽周辺と石畳遺構でのみ可能であった。他の部分では、去る沖縄戦での破壊やその後の整備により岩盤まで掘削されており、遺構が破壊されているか僅かに確認できる程度であった。

出土遺物は、盛土が行われていたＡ地区からの出土が多く、大きく切土されたＢ地区・Ｃ地区は非常に少なく、年代も若干新しい。Ａ地区においても元位置を保っているものは少なく、去る沖縄戦や沖縄キリスト教短期大学が設置されたこともあり、全体的にかなりの撹乱を受けている。

出土遺物は、中国産陶磁器、タイ産陶器、ベトナム産陶器、本土産陶磁器、沖縄産陶器の陶磁器をはじめ、瓦、石器・石製品、円盤状製品、金属製品、骨製品、自然遺物などが検出されている。

中国産陶磁器は、青磁、白磁、染付、色絵、褐釉陶器の他に少量であるが青磁染付、褐釉染付、瑠璃釉、黒釉陶器、緑釉陶器、三彩などが得られている。器種等については、これまでの首里城跡について報告されているものと類似している。

青磁は他の遺物に比べ、古手のものが多く、14～15世紀代のものが多く、器種では碗や皿を主体としている。また、第８図38の碗は年代がさらに古くなる可能性がある。白磁は碗を主体とし、年代は14～19世紀と幅広く、碗の主体をなすのが18～19世紀に位置づけられるもの、皿の主体をなすものが14～15世紀に位置づけられるものとなっており、器種により相違がある。染付は碗、小碗、皿が多く、年代は17世紀以降のものが主体となっている。色絵は碗、小碗が多く、年代は18世紀以降のものである。褐釉陶器は壺が多く、壺以外では急須が確認されている。これら以外の中国産陶磁器は、小碗や小杯、急須が主体となっている。

中国産以外の外国産陶磁器は、タイ産陶磁器、ベトナム産陶器が検出されている。タイ産陶磁器は、褐釉陶器と半練土器が確認されている。褐釉陶器は壺であり、半練土器は蓋と壺形が確認されている。ベトナム産陶器は、皿と考えられるものが確認されている。産地不明（第23図）は、産地が不明であるが、中国及び本土のものとは、異なる胎土、質感、成形のものである。表面に叩き目がみられる。

本土産陶磁器は、青磁、白磁、染付、色絵、陶器が検出されている。器種は碗、小碗、皿を主体とし、

年代は17世紀以降のものが多い。産地では肥前をはじめとして、瀬戸・美濃系、薩摩、関西系が確認されている。

沖縄産陶器は施釉陶器、無釉陶器、陶質土器、瓦質土器が検出されており、瓦質土器を除く３種は出土点数・地区ともに多い。

瓦は、高麗系、大和系、明朝系が確認されている。上の毛にあったとされる首里城の仮城は茅葺であったとされることから高麗系瓦は首里城からの投込みなどによりもたらされたと考えられる。

円盤状製品は完形のものが多数を占めるが、半分欠損したものも確認できる。同製品の用途を考える上での参考になると考えられる。

石器・石製品は石斧、硯などが確認されており、硯は砥石として二次的利用がなされた可能性がある。

金属製品は、青銅製品及び鉄製品ともに点数が少ない。銭貨は、小破片が多く、銭種の判別不可能なものが多かったが、出土状況に特徴がみられ、Ｃ地区のこ－13より比較的多くの銭貨が出土している。Ｃ地区の石積遺構の北側より出土していることから、御嶽に関連する使用方法と考えられるが、明確な痕跡を確認できていない。

自然遺物は、貝類遺存体及び動物遺存体ともに出土点数は少なかった。

＜引用文献＞

註．真栄平房敬　1997『首里城物語』ひるぎ社

＜参考文献＞

上原　静　1994「首里城西のアザナ地区出土の明朝系瓦とその推移」『南島考古』No.14　沖縄考古学会

上原　静　1996「首里城跡の高麗系瓦と大和系瓦」『文化課紀要』第12 号　沖縄県教育庁文化課

大川　清　1978「琉球古瓦調査抄報」『沖縄文化財調査報告(1962 年)』那覇出版社

沖縄県土木建築部　1988『首里城公園基本設計』

金城　政紀　1990「沖縄の中国陶磁器」『考古学ジャーナル　320』ニューサイエンス社

首里城研究グループ　1997『首里城入門－その建築と歴史－』ひるぎ社

金武正紀ほか（編）　1991『今帰仁城跡発掘調査報告Ⅱ』今帰仁村教育委員会

金城亀信（編）　1998『首里城跡－京の内跡発掘調査報告（Ⅰ）－』沖縄県教育委員会

島袋　洋（編）　2002『天界寺跡（Ⅱ）－首里城公園管理棟新設工事に伴う緊急発掘調査報告－』沖縄県立埋蔵文化財センター

知念隆博・新垣力（編）　2004『首里城跡　－城郭南側下地区発掘調査報告書－』沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第27集

首　里　城　跡

－上の毛及び周辺地区発掘調査書－

発　行　年　　2005年（平成17）３月25日
発行・編集　　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193番地の7
TEL　098-835-8751
印　　刷　　グローバル企画印刷株式会社
〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地
TEL　098-889-3222

©沖縄県立埋蔵文化財センター　2005 Printed in Japan
許可なく本書の無断複製、転載、複写を禁ずる。